

令和5年度  
行政評価報告書

令和6年2月

武蔵村山市



# 目 次

<b>1 本市の行政評価について</b> .....	<b>1</b>
(1) 行財政運営における行政評価の位置付け .....	1
(2) 行政評価の目的.....	1
<b>2 令和5年度の行政評価について</b> .....	<b>2</b>
(1) 根拠規定 .....	2
(2) 行政評価の対象.....	2
(3) 行政評価の方法.....	2
(4) 内部評価 .....	3
(5) 行政評価会議.....	3
(6) 外部評価 .....	3
(7) 評価結果の活用.....	3
(8) 行政評価の公表.....	3
<b>3 令和5年度における行政評価の結果について</b> .....	<b>5</b>
(1) 内部評価の総括.....	5
(2) 外部評価の総括.....	6
(3) 評価結果（今後の方向性）一覧 .....	7
<b>4 行政評価調書</b> .....	<b>15</b>
(1) 評価調書の見方.....	15
(2) 評価調書 .....	21
<b>参考資料</b> .....	<b>243</b>
1 武蔵村山市行政評価実施要綱 .....	243
2 令和5年度行政評価会議構成員名簿 .....	245
3 令和5年度行政評価会議の審議経過 .....	245
4 武蔵村山市行政評価委員会設置要綱 .....	246
5 行政評価委員会委員名簿 .....	247
6 行政評価委員会の審議経過 .....	248





# 1 本市の行政評価について

## (1) 行財政運営における行政評価の位置付け

人口減少や少子高齢化が進展し、価値観が多様化する中、業務を正確に遂行するだけでなく市民ニーズを的確に把握し、増大する行政需要に適切に対応していくことが求められている。しかし、市の財政は依然、厳しい状況にあり、民間委託やDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進などにより今後も行財政改革の推進を図るとともに、限られた人的資源や財源などをより効率的かつ効果的に活用し、行財政運営を行っていく必要がある。また、地方分権が進展し、市の果たす役割が大きくなり、市民の市に対する関心が高まる中、市民の信頼を確保し、市民協働によるまちづくりを進めるためには、市が実施する施策等の内容や成果を公表し、市民への説明責任を果たすとともに、透明性の向上を図っていくことが必要となっている。

こうした中、本市では、施策等の必要性や有効性などを検証・評価し、実効性のある施策等を展開していくために、次に掲げる目的を達成する手段として行政評価を活用するとともに、市民主体の行財政運営を実現するための仕組みとして位置付けている。

## (2) 行政評価の目的

本市における行政評価については、以下の三つを目的として実施している。

### ① 市民の視点に立った成果志向の行政運営への転換

市民の生活感覚で事務事業を改めて点検し、より成果を重視した選択的行政執行へと行政運営の転換を図る。

### ② 透明性の高い行政運営の実現

P（計画）→D（実行）→C（評価）→A（改善）サイクルを確立の上、行政評価の結果を市民に公表し、透明性の高い行政運営を進める。

### ③ 職員の意識改革

「何のために」、「誰のために」事業執行しているのかを自ら改めて点検することで、「市民に喜ばれる成果重視」へと意識の転換を図るとともに、使命感、意欲の高揚を図る。

図1 PDCAサイクル



## 2 令和5年度の行政評価について

### (1) 根拠規定

- ア 武蔵村山市行政評価実施要綱（令和4年訓令（乙）第25号。以下「要綱」という。）
- イ 武蔵村山市行政評価委員会設置要綱（平成28年訓令（乙）第147号）

### (2) 行政評価の対象

行政評価の対象は、要綱に規定されており、前年度の実施計画に登載された全ての事務事業その他市長が必要と認める事務事業とされている。本年度は、実施計画に登載されている事務事業に加え、目的や効果の検証が必要と思われる事務事業を対象としている。

#### ア 実施計画に登載されている事務事業

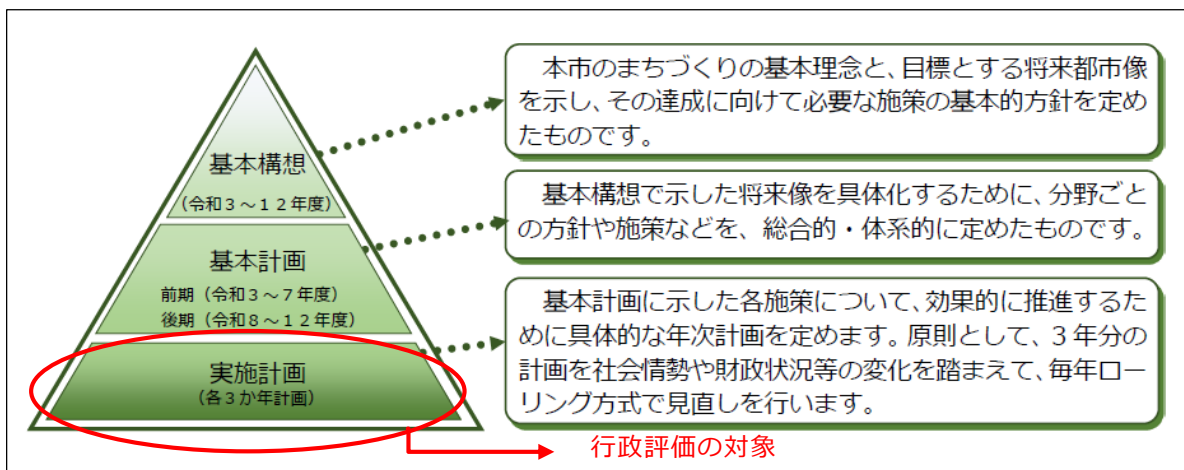
「武蔵村山市第五次長期総合計画 ④実施計画（令和4年度～令和6年度）」に登載されている全ての事務事業（全166件）を対象としている（「3(3)評価結果（今後の方向性）一覧」のとおり。）。

「実施計画」は、本市の総合的なまちづくりの指針である長期総合計画の一環として基本構想及び基本計画を受け、基本計画で体系化した施策を計画的に実施するために策定されるものであり、特に重点的かつ優先的に進めていくべき事務事業が登載されている（図2を参照）。

#### イ 見直し等を必要とする事務事業

臨時的なものを除き全ての補助金等を対象とした補助金等の見直し状況等に関する調査の結果を踏まえて、目的や効果の検証が必要と思われる補助事業（全11件）と、行政評価会議において外部評価の実施が必要と判断された事務事業（1件）を対象としている（「3(3)評価結果（今後の方向性）一覧」のとおり。）。

図2 長期総合計画の構成



### (3) 行政評価の方法

行政評価は、要綱において実施に必要な事項を定め、市の事務事業の全般について、その実施後に効果等の分析及び検証を行い、総合的に評価することとしている。

また、評価の方法については、各所管による内部評価及び行政評価委員会による外部評価により行うこととしている。

事務事業の評価は事務事業評価調書により行い、補助金等交付事業の評価は補助金等評価調書により行うこととしている。また、一つの事務事業を複数の課が所管するものや複数の

事務事業で構成するものについては、それぞれで評価を行うこととしている。

#### (4) 内部評価

各所管課において、事務事業評価調書又は補助金等評価調書を作成することにより、内部評価を実施する。本年度は(2)のとおり、全178件の事務事業が対象となっている。

#### (5) 行政評価会議

行政評価会議は、副市長主宰の下に、企画財政部長、総務部長、市民部長、協働推進部長、環境部長、健康福祉部長、子ども家庭部長、都市整備部長及び教育部長をもって組織し、外部評価を実施する対象事務事業の選定を行ったときは、その結果を市長に報告するとともに、対象事務事業を所管する部の長及び企画財政部長に通知するものとされている。

本年度は、現状の実績や課題を踏まえて目的や効果の検証が必要と思われるものを基準とし、それに基づき18件の事務事業を選定している。

#### (6) 外部評価

内部評価を行った事務事業のうち、行政評価会議が選定したものについて、行政評価委員会による外部評価を実施する。事務事業の実施状況や実績などを「妥当性」、「有効性」、「効率性」の三つの視点で評価し、その結果を踏まえながら、今後の方向性を含め、総合的に評価する。

##### ア 外部評価の目的

外部評価は、本市が行う行政評価について、その公正性及び客観性を確保するとともに、市民感覚を取り入れた評価とすることを目的として実施している。

##### イ 行政評価委員会

行政評価委員会は、市長が委嘱する6人の委員をもって組織され、外部評価に関すること及びその他行政評価の実施に関して必要と認めることについて審議し、その結果を市長に報告するとされている。

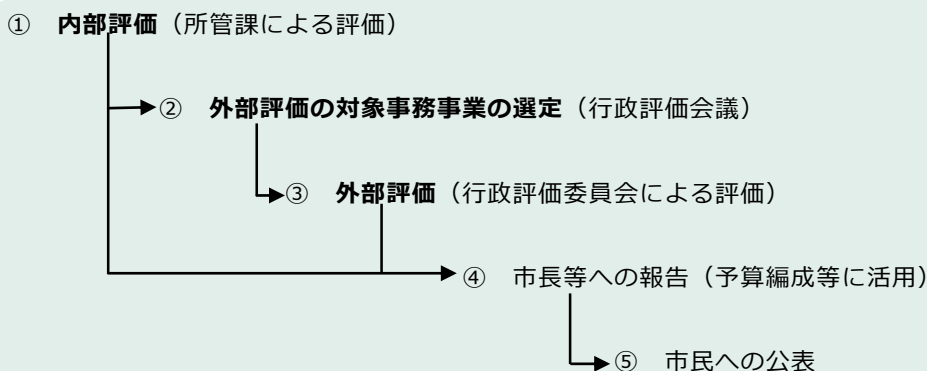
#### (7) 評価結果の活用

行政評価の結果（内部評価のみを行った事務事業を含む。）は、事務事業の見直しや翌年度の予算編成等に活用することとしている。

#### (8) 行政評価の公表

行政評価の結果（内部評価のみを行った事務事業を含む。）は、市報及び市ホームページで公表するとともに、市政情報コーナー、緑が丘出張所、市民総合センター及び各図書館で閲覧に供することとしている。

図3 令和5年度の行政評価の流れ



**【参考】これまでの行政評価**

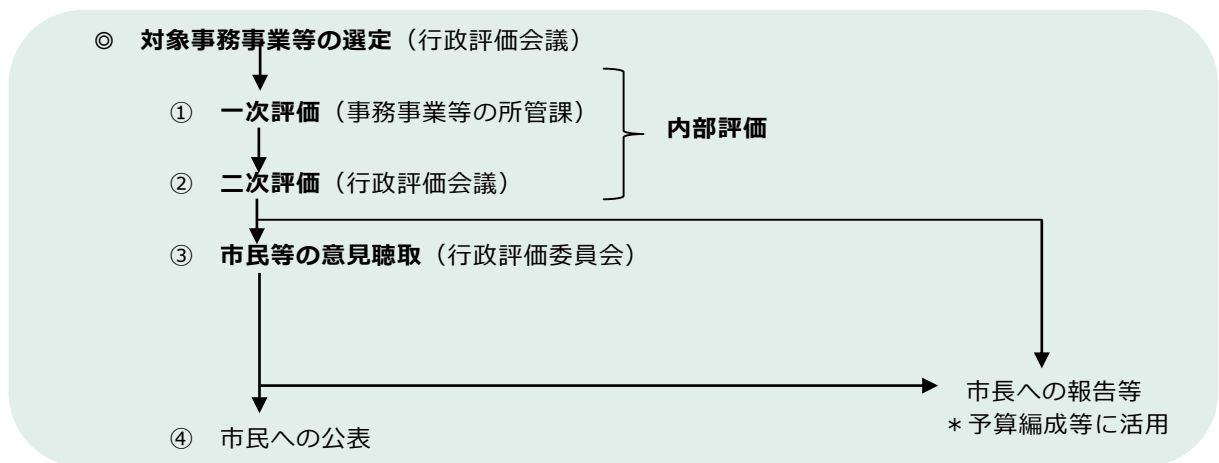
令和3年度までの行政評価は、毎年度、要領で実施に必要な事項を定め、市の施策及び事務事業の全般について、その実施後に効果等の分析及び検証を行い、総合的に評価していた。

市の政策（一定の行政目的を実現するための行政活動の大綱的な方針）を実現するため、複数の事務事業から構成される一連の行政活動を評価する「施策評価」と、施策を実現するための手段として個別の予算及び人員から構成される行政活動を評価する「事務事業評価」の二つの評価方法を用いて、前年度に実施した事務事業等のうちから、副市長が主宰する庁内の「行政評価会議」が選定した事務事業等を対象とし、評価を行ってきた。

この「施策評価」、「事務事業評価」の双方で所管課による一次評価と行政評価会議による二次評価を実施し、さらに、市長は二次評価の結果のうち必要があると認めるものについて、行政評価委員会に意見を求めることとしていた。

令和3年度に、より効果的に行政評価を実施するため、制度について評価対象の拡大や評価方法の効率化などを図る抜本的な見直しを実施し、令和4年度からは現在の制度により実施している。

**図4 これまでの行政評価の流れ**



### 3 令和5年度における行政評価の結果について

#### (1) 内部評価の総括

内部評価の対象となる事務事業は全部で178件であるが、一つの事務事業を複数の課が所管しているもの等があるため、評価の実施件数は全部で182件となった。これについて所管課が実施した内部評価の結果は、「拡充」が28件、「現状維持」が123件、「縮小・見直し」が13件、「廃止・休止・終了」が18件となり、区分別及び施策体系別の集計結果は次のとおりである。

表1 区分別内部評価結果

区分	今後の方向性				
	拡充	現状維持	縮小・見直し	廃止・休止・終了	合計
事務事業	28	90	6	15	139 (76.4%)
補助金等	2	31	7	3	43 (23.6%)
合計	30 (16.5%)	121 (66.5%)	13 (7.1%)	18 (9.9%)	182 (100.0%)

表2 施策体系別内部評価結果（実施計画に記載されている事務事業）

施策体系	今後の方向性				
	拡充	現状維持	縮小・見直し	廃止・休止・終了	合計
<b>第1章 市民との協働による地域振興</b>					
コミュニティ	1	1	0	0	2 (1.2%)
パートナーシップ	0	1	1	0	2 (1.2%)
<b>第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり</b>					
健康・医療	4	9	0	1	14 (8.2%)
福祉	8	27	1	0	36 (21.2%)
<b>第3章 安全で快適なまちづくり</b>					
安全・安心	1	11	2	2	16 (9.4%)
都市基盤	4	22	0	4	30 (17.7%)
地域交通	4	1	2	0	7 (4.1%)
<b>第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり</b>					
人権	0	2	0	0	2 (1.2%)
教育	3	23	3	4	33 (19.4%)
<b>第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり</b>					
産業	1	9	0	3	13 (7.6%)
環境	0	4	1	0	5 (2.9%)
<b>第6章 計画の推進に向けて</b>					
行政運営	3	3	0	2	8 (4.7%)
財政運営	0	0	0	1	1 (0.6%)
広域行政	0	1	0	0	1 (0.6%)
合計	29 (17.1%)	114 (67.1%)	10 (5.8%)	17 (10.0%)	170 (100.0%)

表3 見直し等を必要とする事務事業

区分	今後の方向性				
	拡充	現状維持	縮小・見直し	廃止・休止・終了	合計
事務事業	1	0	0	0	1 (8.3%)
補助金等	0	7	3	1	11 (91.7%)
合計	1 (8.3%)	7 (58.4%)	3 (25.0%)	1 (8.3%)	12 (100.0%)

(2) 外部評価の総括

外部評価の対象となる事務事業は、全部で18件である。これについて行政評価委員会が実施した外部評価の結果は、「拡充」が1件、「現状維持」が16件、「縮小・見直し」が1件、「廃止・休止・終了」が0件となり、区分別の集計結果は次のとおりである。

表4 区分別外部評価結果

区分	今後の方向性				
	拡充	現状維持	縮小・見直し	廃止・休止・終了	合計
事務事業	1	7	0	0	8 (44.4%)
補助金等	0	9	1	0	10 (55.6%)
合計	1 (5.6%)	16 (88.8%)	1 (5.6%)	0 (0%)	18 (100.0%)

(3) 評価結果（今後の方向性）一覧

ア 実施計画に搭載された事務事業（全166件）

※「事務事業名」の「☆」は補助金等交付事業、【外】は外部評価対象事務事業。  
「今後の方向性」の【内】は所管課による評価結果、【外】は外部評価結果。

施策名		事務事業名	今後の方向性	掲載ページ	
第1章 域振興 市民との協働による地域	ニ コ ミ ュ ー パ ー シ ッ ト ナ	【外】国際交流推進事業	【内】 拡充 【外】 拡充	P25	
		国際姉妹都市交流事業（ホストタウン推進事業）	現状維持	P27	
		協働事業提案制度	縮小・見直し	P28	
		【外】地域連携推進事業	【内】 現状維持 【外】 現状維持	P29	
第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり	健康・医療	妊婦健康診査事業	現状維持	P33	
		【外】歯周疾患検診事業	【内】 現状維持 【外】 現状維持	P34	
		AED購入事業	廃止・休止・終了	P36	
		休日診療等事業	現状維持	P37	
		休日歯科診療事業	現状維持	P38	
		【外】☆公的病院等運営費補助事業	【内】 現状維持 【外】 現状維持	P39	
		レセプト自動点検事業	現状維持	P41	
		医療費適正化事業	拡充	P42	
		特定健康診査未受診者受診勧奨事業	現状維持	P43	
		☆人間ドック等助成事業（国民健康保険）	現状維持	P44	
		☆人間ドック等助成事業（後期高齢者医療）	現状維持	P45	
		高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業（企画調整 ハイリスクアプローチ）	拡充	P46	
		高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業（ポピュレーションアプローチ）	（高齢福祉課分）	拡充	P47
	（健康推進課分）		拡充		
	福祉	生活困窮者就労支援事業	現状維持	P49	
		【外】生活困窮者及び被保護者就労準備支援等事業	（福祉総務課分）	【内】 現状維持 【外】 現状維持	P50
			（生活福祉課分）	【内】 現状維持 【外】 現状維持	
		権利擁護推進事業	拡充	P53	
		とうきょうママパパ応援事業	（産後ケア事業）	現状維持	P54
			（出産子育て応援事業）	拡充	P55
（多胎児家庭支援事業）			現状維持	P56	
病児保育事業	現状維持	P57			
子どもショートステイ事業	現状維持	P58			



施策名	事務事業名	今後の方向性	掲載ページ
	休日保育事業	現状維持	P59
	巡回指導・相談事業	現状維持	P60
	保育コンシェルジュ事業	現状維持	P61
	☆ベビーシッター利用支援事業	拡充	P62
	子どもカフェ運営事業	縮小・見直し	P63
	子どもの医療費助成事業（乳幼児分）	現状維持	P64
	子どもの医療費助成事業（学齢児童分）	拡充	P65
	☆認可外保育施設利用支援事業補助事業	現状維持	P66
	☆民間保育所運営費補助事業（保育士採用助成特別加算）	現状維持	P67
	☆民間保育所運営費補助事業（医療的ケア児支援加算）	現状維持	P68
	☆民間保育所分園運営費補助事業	現状維持	P69
	☆保育サービス推進事業	拡充	P70
	☆保育力強化補助事業	現状維持	P71
	☆保育士等キャリアアップ補助事業	現状維持	P72
	☆保育従事職員資格取得支援事業	現状維持	P73
	【外】☆保育従事職員宿舍借上支援事業	【内】現状維持 【外】現状維持	P74
	児童館親子ひろば事業	現状維持	P76
	子ども食堂推進事業	拡充	P77
	新・放課後子ども総合プラン事業	拡充	P78
	☆老人福祉施設整備費助成事業	現状維持	P79
	在宅医療・介護連携推進事業	現状維持	P80
	生活支援体制整備事業	現状維持	P81
	高齢者見守り相談室運営事業	現状維持	P82
	【外】認知症施策推進事業	【内】現状維持 【外】現状維持	P83
	地域生活支援拠点整備事業	拡充	P85
	基幹相談支援センター運営事業	現状維持	P86
	障害者就労支援センター運営事業	現状維持	P87



施策名		事務事業名	今後の方向性	掲載ページ
第3章 安全で快適なまちづくり	安全・安心	非常用可搬型外部給電器配備事業	縮小・見直し	P91
		避難誘導標識建替事業	廃止・休止・終了	P92
		☆ブロック塀撤去工事等助成金交付事業	現状維持	P93
		道路雨水吸込槽浚渫事業	現状維持	P94
		雨水対策事業	現状維持	P95
		(主) 84号線雨水対策事業	現状維持	P96
		(仮称)防災食育センター整備事業	拡充	P97
		☆防災士資格取得支援事業	縮小・見直し	P98
		谷戸川改修整備事業	廃止・休止・終了	P99
		一般河川整備事業	現状維持	P100
		☆消防団準中型・中型免許取得補助事業	現状維持	P101
		防火水槽整備事業	現状維持	P102
		消火栓改修事業	現状維持	P103
		交通安全対策事業	現状維持	P104
		防犯灯設置事業	現状維持	P105
	【外】登下校路防犯カメラ設置事業	【内】現状維持 【外】現状維持	P106	
	都市基盤	用途地域等の見直しに伴う都市計画変更事業	現状維持	P108
		都市核地区土地区画整理事業	拡充	P109
		村山工場跡地関連事業	現状維持	P110
		都営村山団地再生計画関連事業	現状維持	P111
		横田基地軍民共同使用推進事業	現状維持	P112
		地籍調査事業	現状維持	P113
		むさしの住宅跡地規制・活用検討事業	廃止・休止・終了	P114
		立川都市計画道路3・4・39号線整備事業	現状維持	P115
		立川都市計画道路3・5・20号線整備事業	現状維持	P116
		立川都市計画道路3・4・40号線整備事業	現状維持	P117
榎地区まちづくり事業		拡充	P118	
(主) 2号線交差点整備事業	現状維持	P119		
(主) 12号線拡幅整備事業	現状維持	P120		
(主) 4号線整備事業	廃止・休止・終了	P121		

施策名		事務事業名	今後の方向性	掲載ページ
		国立感染症研究所周辺道路整備事業	現状維持	P122
		(主)66号線拡幅整備事業	現状維持	P123
		市道隅切等整備事業	現状維持	P124
		境界確認委託事業	現状維持	P125
		道路等ストック総点検事業	現状維持	P126
		既設道路整備事業	現状維持	P127
		私道整備補助事業	現状維持	P128
		空家等対策計画策定事業	現状維持	P129
		公共汚水柵設置事業	現状維持	P130
		下水道ストックマネジメント事業	現状維持	P131
		管渠改良事業	拡充	P132
		雨水管理総合計画策定事業	拡充	P133
		空堀川上流雨水幹線整備事業	現状維持	P134
		家庭ごみ有料化及び戸別収集導入事業	廃止・休止・終了	P135
		☆ごみ集積所管理充実支援事業	廃止・休止・終了	P136
		廃棄物資源分別事業	現状維持	P137
		地域交通	多摩都市モノレール延伸促進事業	拡充
	【外】☆「モノレールを呼ぼう！市民の会」交付金交付事業		【内】現状維持 【外】現状維持	P139
	多摩都市モノレール関連調査事業		拡充	P141
	新青梅街道沿道交通施設等調査検討事業		拡充	P142
	☆市内循環バス運行経費補助事業		縮小・見直し	P143
☆市内循環バス車両購入経費補助事業	縮小・見直し		P144	
乗合タクシー運行事業	拡充		P145	
第4章	人権	男女共同参画推進事業	現状維持	P149
		ウィメンズチャレンジプロジェクト事業	現状維持	P150
まちづくり 誰もが学び活躍できる	教育	巡回相談員配置事業	拡充	P151
		適応指導教室機能強化事業	現状維持	P152
		【外】ICT教育支援員派遣事業	【内】現状維持 【外】現状維持	P153
		英語検定事業	現状維持	P155
		補助教員派遣事業	現状維持	P156

施策名	事務事業名	今後の方向性	掲載ページ
	学校司書配置事業	現状維持	P157
	地域未来塾事業	現状維持	P158
	民間プール試行利用事業	廃止・休止・終了	P159
	部活動支援事業	拡充	P160
	オンライン学習推進事業	廃止・休止・終了	P161
	消火設備改修事業	縮小・見直し	P162
	消防設備器具改修事業	現状維持	P163
	校舎屋上防水改修事業	現状維持	P164
	校舎窓枠等建具改修事業	現状維持	P165
	電話設備改修事業	廃止・休止・終了	P166
	校舎内部改修事業(トイレ改修)	現状維持	P167
	校舎外装改修事業	現状維持	P168
	小荷物運搬昇降機取替事業	現状維持	P169
	放送設備改修事業	現状維持	P170
	屋内運動場照明器具LED化事業	現状維持	P171
	屋内運動場トイレ改修事業	現状維持	P172
	屋内運動場床面改修事業	現状維持	P173
	屋内運動場屋根及び外装改修事業	現状維持	P174
	自家用電気工作物更新事業	現状維持	P175
	児童・生徒等安全対策事業	現状維持	P176
	社会科副読本作成事業	現状維持	P177
	電子図書導入事業	拡充	P178
	大南地区学習等供用施設空調設備等改修事業	現状維持	P179
	(仮称)生涯学習センター整備事業	現状維持	P180
	【外】☆総合型地域スポーツクラブ支援事業	【内】現状維持 【外】現状維持	P181
	☆スポーツ少年団支援事業	縮小・見直し	P183
	野山北公園プール改修事業	縮小・見直し	P184
	総合体育館(第一体育室上部以外)屋上防水改修事業	廃止・休止・終了	P185

施策名		事務事業名	今後の方向性	掲載ページ
第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり	産業	☆都市農地保全支援プロジェクト事業	現状維持	P189
		市街化調整区域内道路整備事業	現状維持	P190
		☆新規就農者育成総合対策事業	現状維持	P191
		☆体験型市民農園事業	現状維持	P192
		【外】☆武蔵村山地域ブランド創造活動事業	【内】現状維持 【外】現状維持	P193
		創業支援事業	現状維持	P195
		☆安心安全・エコ住宅等改修助成事業	廃止・休止・終了	P196
		☆商店街振興事業	現状維持	P197
		空き店舗活用事業	拡充	P198
		☆企業誘致促進事業	現状維持	P199
		緑が丘地区暫定管理事業	廃止・休止・終了	P200
		☆武蔵村山観光まちづくり協会助成事業	現状維持	P201
	村山温泉「かたくりの湯」大規模改修事業	廃止・休止・終了	P202	
	都市核地区土地区画整理事業地内公園整備事業	現状維持	P203	
	中藤五丁目運動広場防球ネット設置事業	現状維持	P204	
	環境	野山北・六道山公園(総合運動公園)整備事業	現状維持	P205
	都市公園施設改修事業	縮小・見直し	P206	
	☆樹林等保全事業	現状維持	P207	
第6章 計画の推進に向けて	行政運営	電話交換機等更新事業	現状維持	P211
		庁舎空調機器更新事業	廃止・休止・終了	P212
		(仮称)庁舎建設基金事業	拡充	P213
		保育所A I 入所選考システム導入事業	現状維持	P214
		広聴システム導入事業	廃止・休止・終了	P215
		庶務事務システム導入事業	拡充	P216
		テレワーク導入事業	拡充	P217
		文書管理システム・電子決裁システム導入事業	現状維持	P218
	運財政	収納管理システム改修等事業	廃止・休止・終了	P219
	行政広域	広域連携推進事業	現状維持	P220

イ 見直し等を必要とする事務事業（全12件）

※「事務事業名」の「☆」は補助金等交付事業、【外】は外部評価対象事務事業。

「今後の方向性」の【内】は所管課による評価結果、【外】は外部評価結果。

事務事業名	今後の方向性	掲載ページ
○ 目的や効果の検証が必要と思われる補助事業		
【外】☆職員自主研究グループ補助事業	【内】現状維持 【外】現状維持	P223
【外】☆消防団員厚生事業交付金交付事業	【内】現状維持 【外】現状維持	P225
【外】☆姉妹都市宿泊施設利用者補助事業	【内】縮小・見直し 【外】現状維持	P227
☆消費生活展実行委員会交付金交付事業	現状維持	P229
☆桜まつり交付金交付事業	現状維持	P230
【外】☆民間遊び場対策事業補助事業（遊び場用地の改善整備事業補助）	【内】現状維持 【外】現状維持	P231
☆奨学資金支給事業	廃止・休止・終了	P233
【外】☆市立小・中学校健全育成推進奨励費補助事業	【内】縮小・見直し 【外】縮小・見直し	P234
☆生涯学習フェスティバル交付金交付事業	現状維持	P236
☆地区ふれあいスポレク大会交付金交付事業	縮小・見直し	P237
☆社会教育関係団体補助事業（体育協会）	現状維持	P238
○ 行政評価会議において外部評価の実施が必要と判断された事務事業		
【外】DX推進事業	【内】拡充 【外】現状維持	P241

○ 【参考】外部評価の対象事務事業（全18件・再掲）

※「事務事業名」の「☆」は補助金等交付事業。

「今後の方向性」の【内】は所管課による評価結果、【外】は外部評価結果。

事務事業名	今後の方向性	掲載ページ
国際交流推進事業	【内】 拡充 【外】 拡充	P25
地域連携推進事業	【内】 現状維持 【外】 現状維持	P29
歯周疾患検診事業	【内】 現状維持 【外】 現状維持	P34
☆公的病院等運営費補助事業	【内】 現状維持 【外】 現状維持	P39
生活困窮者及び被保護者就労準備支援等事業	【内】 現状維持 【外】 現状維持	P50
☆保育従事職員宿舍借上支援事業	【内】 現状維持 【外】 現状維持	P74
認知症施策推進事業	【内】 現状維持 【外】 現状維持	P83
登下校路防犯カメラ設置事業	【内】 現状維持 【外】 現状維持	P106
☆「モノレールを呼ぼう！市民の会」交付金交付事業	【内】 現状維持 【外】 現状維持	P139
I C T教育支援員派遣事業	【内】 現状維持 【外】 現状維持	P153
☆総合型地域スポーツクラブ支援事業	【内】 現状維持 【外】 現状維持	P181
☆武蔵村山地域ブランド創造活動事業	【内】 現状維持 【外】 現状維持	P193
☆職員自主研究グループ補助事業	【内】 現状維持 【外】 現状維持	P223
☆消防団員厚生事業交付金交付事業	【内】 現状維持 【外】 現状維持	P225
☆姉妹都市宿泊施設利用者補助事業	【内】 縮小・見直し 【外】 現状維持	P227
☆民間遊び場対策事業補助事業（遊び場用地の改善整備事業補助）	【内】 現状維持 【外】 現状維持	P231
☆市立小・中学校健全育成推進奨励費補助事業	【内】 縮小・見直し 【外】 縮小・見直し	P234
D X推進事業	【内】 拡充 【外】 現状維持	P241

## 4 行政評価調書

### (1) 評価調書の見方


#### ア 事務事業評価調書

- ① … 事務事業名：事務事業の名称を記載  
施策名称：事務事業が該当する長期総合計画に掲げる施策の名称を記載  
所管部署：事務事業を所管する部、課、係名及び内線番号を記載  
根拠法令等：事務事業の実施根拠となる法令、計画等を記載
- ② … 目的：事務事業の実施目的を記載  
内容：事務事業の実施内容を記載
- ③ … 事務事業が該当するSDGsのゴールを記載
- ④ … 事務事業の成果や活動量を示す指標を設定し、3か年の目標及び実績を記載
- ⑤ … 事業経費のうち、事業費には事務事業の決算額及び予算額を記載（予算を補正している場合は補正後の金額を記載）  
人件費には事務事業の実施に係る所要人数を記載  
所要人員の計算：（1か月の平均事務処理時間）÷155時間※  

※正職員1人当たりの標準月間処理時間（7時間45分勤務×20日）
----------------------------------
- ⑥ … 事務事業に対する市民又は議会からの感想や意見、要望を記載
- ⑦ … 事務事業の実施状況や実績などを視点別に分析したもの
- ⑧ … 事務事業の令和4年度の実績を記載
- ⑨ … 事務事業の推進に当たっての課題を記載
- ⑩ … 視点別の分析や課題を踏まえて事務事業の今後の方向性を示すとともに、成果及びコストの両面から今後の実施方針を示したもの



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調書

事務事業の概要	事務事業名	国際交流推進事業			
	施策名称	第1章 市民との協働による地域振興 第1節 コミュニティ 2 交流			
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係	内線 242
	根拠法令等	— ①			
目的	国際化社会への対応と国際理解の推進のため、国際交流事業を推進する。		SDGsの取組 17 パートナリーシップで目標を達成しよう		
内容	国際化社会への対応を図り、国際理解を推進するため、国際交流の検討を行う。 さらに、地域の外国人コミュニティと、自治会等の交流を促進し、市民の国際交流の活性化に努める。		②  ③		

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	国際交流事業の実施	—	目標	実施	実施
			実績	中止	実施	
			達成率	—	—	
2	—	④	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		0	51	248	
財源内訳					
一般財源		-	51	248	
国都支出金		-	0	0	
その他		-	0	0	
人件費					
会計年度任用職員以外の職員(千円)		718	⑤	693	
所要人員(人)		0.09	0.09	0.09	
会計年度任用職員(千円)		0	0	0	
所要人員(人)		0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		718	739	941	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい ⑦	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
新型コロナウイルス感染症の影響により、横田基地高校生英語ツアーを中止し、市内在住又は在学の高校1年生を対象に、立川に新たに開設した体験型英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS(以下「TGG GREEN SPRINGS(立川)」という。)」の英語体験学習を実施し、国際理解の推進を図った。 英語体験学習参加者数 14人 ⑧	当該施設が令和5年1月にオープンしたことから、令和4年度は、対象学年や開催時期を限定せざるを得なかった。今後は、より多くの高校生が参加しやすい開催時期とし、幅広い英語レベルの参加者に対応できるよう工夫が必要である。 ⑨

今後の方針																				
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 横田基地高校生英語ツアーは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年度から開催を中止している。令和4年度に、コロナ禍の影響を受ける横田基地での計画的な事業継続は困難と判断した。今後も、実施環境が安定しているTGG GREEN SPRINGS(立川)の英語体験学習の実施を継続するとともに、対象者を高校1年生から全学年に広げ、参加者数を増やしていく。 ⑩	今後の方針 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)	成果	コスト			削減	維持	増加	向上			○	維持				低下			
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上			○																	
維持																				
低下																				



## イ 補助金等評価調書

- ① … 補助金等名：補助事業の名称を記載  
施策名称：補助事業が該当する長期総合計画に掲げる施策の名称を記載  
所管部署：補助事業を所管する部、課、係名及び内線番号を記載  
根拠法令等：補助事業の実施根拠となる法令、計画等を記載
- ② … 目的：補助事業の実施目的を記載  
内容：補助事業の補助内容を記載  
対象：補助事業の交付対象を記載
- ③ … 補助事業が該当するSDGsのゴールを記載
- ④ … 補助事業の成果や活動量を示す指標を設定し、3か年の目標及び実績を記載
- ⑤ … 事業経費のうち、事業費には補助事業の決算額及び予算額を記載（予算を補正している場合は補正後の金額を記載）  
人件費には補助事業の実施に係る所要人数を記載  
所要人員の計算：（1か月の平均事務処理時間）÷155時間※  

※正職員1人当たりの標準月間処理時間（7時間45分勤務×20日）
----------------------------------
- ⑥ … 補助事業に対する市民又は議会からの感想や意見、要望を記載
- ⑦ … 他市の状況を記載
- ⑧ … 交付団体の決算予算の状況を示したもの（補助金等の交付対象が市民である場合や交付団体等の決算予算の状況を把握していない場合は「－」を記載）
- ⑨ … 交付した市補助金の使途を示したもの
- ⑩ … 交付した市補助金に対する団体収入に占める補助金や繰越金の割合や交付した市補助金に対する繰越金の割合を示したもの
- ⑪ … 補助事業の実施状況や実績などを視点別に分析したもの
- ⑫ … 補助事業の令和4年度の実績を記載
- ⑬ … 補助金交付に当たっての課題を記載
- ⑭ … 視点別の分析や課題を踏まえて補助事業の今後の方向性を示すとともに、成果及びコストの両面から今後の実施方針を示したもの

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調査

補助金等の概要	補助金等名	公的病院等運営費補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 2 医療・救急		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	武蔵村山市公的病院等運営費補助金交付要綱		
	目的	救急医療を実施している公的病院等に対して、運営費の一部を補助することにより、救急医療の確保及び地域医療の充実を図る。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	特別交付税に関する省令の規定により算定された額（救急告示病院としての病床数、小児救急医療、小児医療のための病床数）を基準とし、予算の範囲内において運営費の一部を補助する。		3 すべての人に健康と福祉を	
対象（交付先）	社会医療法人財団大和会武蔵村山病院			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	救急医療を要する傷病者のための専用病床数	床
			実績	30	30	
			達成率	-	-	
2	小児医療のための専用病床数	床	目標	-	-	-
			実績	24	24	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	49,252	53,194	53,194		⑥
一般財源	29,551	31,016	31,916		
国都支出金	0	0	0		
その他	19,701	21,178	21,278		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.01	0.01	0.01		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	49,332	53,271	53,271		⑦

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円）	53,194
市補助金	-	-	-		使途内訳	
会費	-	-	-			
繰越金	-	⑧	-			
事業収入	-	-	-			
その他	-	-	-			
支出	総額（千円）				割合（%）	
交際費、飲食費	-	-	-		団体収入に占める補助金の割合	
人件費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合	⑩
事業経費	-	-	-		交付金額に対する繰越金の割合	
その他	-	-	-			

視点別の分析	市の関与は必要か		見直しの余地がある	
	公益性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
補助基準は明確か		<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
補助金の交付により期待された効果が得られたか		<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	
補助内容や補助額の見直しは可能か		<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
補助期間を設定しているか		<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
類似の補助金との統合は可能か		<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない	
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
武蔵村山病院において、救急医療の確保及び地域医療の充実を図るため、小児救急診療事業及び救急医療事業を実施した。	特別交付税に関する省令に基づく不採算地区公的病院等に対して、運営費の一部を補助するものであるが、新型コロナウイルス感染症等で病院の負担は大きくなっている。

今後の方針			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了		
市民の小児救急及び救急医療の需要に対応し、市民の生命及び健康を守る必要があることから、今後も継続して病院の運営費を補助していく。			
	⑭		
今後の方針	コスト		
成果	削減	維持	増加
	向上		
	維持	○	
	低下		

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

ウ 外部評価調書（行政評価委員会による外部評価に基づき作成したもの）

- ① … 事務事業名：事務事業の名称を記載  
所管部署：事務事業を所管する部、課、係名を記載
- ② … 事務事業の実施状況や実績などを視点別に分析したもの
- ③ … 行政評価委員会による視点別の分析や課題を踏まえて今後の方向性を示したもの
- ④ … 総合評価として事務事業（補助事業）の推進に向けての工夫改善等の意見をまとめたもの

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		DX推進事業	
所管部署		企画財政部 デジタル推進課 デジタル企画係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・市民との協働により事業を実施しているか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・受益者負担は適切か</li> <li>・施策への貢献度は適切か</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託等は可能か</li> <li>・事業費の更なる削減は可能か</li> <li>・類似事業等との統合は可能か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>④ 本事業は、行政手続のオンライン化や行政事務のペーパーレス化などデジタル技術を活用して市民の利便性の向上及び業務の効率化を図るものであり、その意義が認められることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、本事業の実績把握及び効果検証が不十分であることや、デジタルデバイドの解消に向けた方針が明確に定まっていないことが課題となっている。</p> <p>また、機能面の充実とは別に、業務の効率化により削減した時間を接遇対応等の市民サービスの質の向上に充てることが肝要である。</p> <p>よって、今後は、市民の評価やニーズを的確に把握するための体制を構築するとともに、DX推進本部において事業全体の効果を分析し、その結果を個別の取組に反映させるなど、より効果的な事業に発展させていくことを求めたい。</p>		



## (2) 評価調書




## 第1章 市民との協働による地域振興

- コミュニティ
  
- パートナーシップ





武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	国際交流推進事業			
	施策名称	第1章 市民との協働による地域振興 第1節 コミュニティ 2 交流			
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係	内線 242
	根拠法令等	—			
	目的	国際化社会への対応と国際理解の推進のため、国際交流事業を推進する。			SDGsの取組 17 パートナリシップで目標を達成しよう
内容	国際化社会への対応を図り、国際理解を推進するため、国際交流事業の検討を行う。 さらに、地域の外国人コミュニティと、自治会等の交流を促進し、市民の国際交流の活性化に努める。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	国際交流事業の実施	—	目標	実施	実施
			実績	中止	実施	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		0	51	248		英語体験学習の参加者に実施したアンケートでは、約8割が満足しており、次回も参加したいと回答した。
財源内訳	一般財源	-	51	248		
	国都支出金	-	0	0		
	その他	-	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	718	688	693		
	所要人員(人)	0.09	0.09	0.09		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		718	739	941		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当


令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、横田基地高校生英語ツアーを中止し、市内在住又は在学の高校1年生を対象に、立川に新たに開設した体験型英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS(以下「TGG GREEN SPRINGS(立川)」という。)」の英語体験学習を実施し、国際理解の推進を図った。</p> <p>英語体験学習参加者数 14人</p>	<p>当該施設が令和5年1月にオープンしたことから、令和4年度は、対象学年や開催時期を限定せざるを得なかった。今後は、より多くの高校生が参加しやすい開催時期とし、幅広い英語レベルの参加者に対応できるよう工夫が必要である。</p>

今後の方針																								
<p>【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>横田基地高校生英語ツアーは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年度から開催を中止している。令和4年度に、コロナ禍の影響を受ける横田基地での計画的な事業継続は困難と判断した。今後も、実施環境が安定しているTGG GREEN SPRINGS(立川)の英語体験学習の実施を継続するとともに、対象者を高校1年生から全学年に広げ、参加者数を増やしていく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		国際交流推進事業	
所管部署		協働推進部 協働推進課 協働推進係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・市民との協働により事業を実施しているか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・受益者負担は適切か</li> <li>・施策への貢献度は適切か</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託等は可能か</li> <li>・事業費の更なる削減は可能か</li> <li>・類似事業等との統合は可能か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>高校一年生を対象としたTGGでの英語体験学習は、英語学力の向上に寄与することにより、国際化社会への対応を図る上で一定の効果が得られることから、今後も継続することが適当である。しかし、学校単位での利用が開始されたことを勘案すれば、その役割等について検討する必要がある。</p> <p>また、本事業の目的である地域の外国人コミュニティと自治会等との交流の促進に対する有効性が認められるとは言い難い。</p> <p>よって、今後は、自治会を通じた調査等により外国人コミュニティの実態を把握した上で、ボランティアセンターと連携し、自治会等と日常的に交流できるような場を積極的に創出することが肝要である。</p> <p>また、現在休止している横田基地高校生英語ツアーについては、市域に横田基地を有する本市で実施することに重要な意義があると思料する。そのため、将来にわたってTGGでの英語体験学習に切り替えることについては、再検討することを強く求めたい。</p>		

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	国際姉妹都市交流事業（ホストタウン推進事業）		
	施策名称	第1章 市民との協働による地域振興 第1節 コミュニティ 2 交流		
	所管部署	企画財政 部	企画政策 課	企画政策 係 内線 372
	根拠法令等	—		
	目的	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後にモンゴル国ウランバートル市ハンオール区と国際姉妹都市又は国際友好都市の協定を締結し、国際交流を推進する。		SDGsの取組 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 
内容	モンゴル国ウランバートル市ハンオール区と国際姉妹都市の協定を締結し、交流事業を実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	交流事業の実施	—	目標	実施	実施	実施
								実績	中止	中止
達成率	—	—								
2	交流事業以外のモンゴル国関係イベントの実施件数	件	目標	1	2	2				
				実績	1	1				
				達成率	100%	50%				

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		74	133	155
財源内訳	一般財源	74	133	155
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	515	987	993
	所要人員（人）	0.06	0.13	0.13
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		589	1,120	1,148

**市民・議会等から寄せられた意見**


平成31年3月予算特別委員会で「民間団体の交流を促進してほしい」、令和3年3月予算特別委員会で「コロナ禍の実際の行き来ができない中で、オンラインなどを活用し子どもたちの国際交流を進めてほしい」、同年6月市議会定例会一般質問で「協定により交流事業を恒例化してほしい」との意見があった。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度は、6月から11月までの間で子どもたちのオンライン交流を計画していたが、モンゴル国との連絡調整に難航し、年度内の交流事業の実施は中止とした。代替として、令和5年3月にオンラインツアーを実施した。	モンゴル国との連絡調整に時間を要する。令和6年にはハンオール区の地方選挙が予定されており、政権等の変化が、今後の交流事業の継続に影響するおそれがある。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
令和5年度は、8月に子どもたちのオンライン交流を初めて実施する予定である。交流事業は、子どもたちの国際交流体験として継続すべきと考えるが、令和6年にはハンオール区において選挙が予定されているため、交流事業の実施が困難となる可能性が高い。令和4年度に実施したオンラインツアーでは、子どもだけでなく、市民の方がモンゴル国について知る機会につながり、満足度もおおむね高かったことから、同様の事業の実施を検討していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	協働事業提案制度			
	施策名称	第1章 市民との協働による地域振興 第2節 パートナースhip 2 市民参加と協働			
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係	内線 242
	根拠法令等	武蔵村山市協働事業提案制度実施要綱			
	目的	暮らしやすい地域社会の形成を目指し、市政への市民参加を促進するとともに、市民による地域の課題等の解決のため、市民との協働によるまちづくりを推進する。			SDGsの取組 17 パートナースhipで目標を達成しよう 
内容	市民活動団体の専門性や柔軟性等をいかした事業の提案を募集することにより、市政への市民参加を促進するとともに、市民による地域の課題、社会的課題等の解決につなげ、暮らしやすい地域社会の形成を目指す。 事業の提案は、「協働型事業部門」と「団体育成型部門」で募集し、採択された事業に補助金を交付する。				


事務事業の実施状況	評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		1	協働事業提案制度の提案団体数 (各年度の目標なし。長期総合計画で令和3年度から令和7年度まで累計15件としている。)	団体	目標	—	—	—	
					実績	4	5		
					達成率	—	—		
		2	補助金交付団体数 (各年度の目標なし。長期総合計画で令和3年度から令和7年度まで累計15件としている。)	団体	目標	—	—	—	
					実績	3	4		
	達成率				—	—			
	事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見			
	事業費(千円)		1,932	1,620	1,679				
	財源内訳	一般財源	1,932	1,620	1,679				
国都支出金		0	0	0					
その他		0	0	0					
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)		3,111	2,981	3,000				
	所要人員(人)		0.39	0.39	0.39				
	会計年度任用職員(千円)		0	0	0				
	所要人員(人)		0.00	0.00	0.00				
合計(事業費+人件費)		5,043	4,601	4,679					

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
	令和4年度において、令和5年度事業実施団体の募集を行ったところ、5団体から申請があったが、協働相手となる課との事前協議により1団体が辞退した。4団体の提案事業が採択され、令和5年度に事業を実施する。	事業の種類や補助の内容等、制度の在り方を見直す必要がある。

所管課の評価	今後の方針																								
	【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
	制度開始から10年が経過したため、令和5年度において、対象事業の種類や補助の内容等制度の在り方について見直す予定である。																								
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">今後の方針</td> </tr> <tr> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						今後の方針			コスト			成果	向上		○		維持				低下			
			今後の方針																						
コスト																									
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																									

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	地域連携推進事業			
	施策名称	第1章 市民との協働による地域振興 第2節 パートナーシップ 2 市民参加と協働			
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係	内線 242
	根拠法令等	—			
	目的	市と大学や企業等が連携・協力し双方の資源を活用することにより、地域課題の解決に努め、市民サービスを効果的に提供することを目的とし、地域連携の推進を図る。			SDGsの取組 17 パートナーシップで目標を達成しよう 
内容	大学等と連携協力し、経済・産業・文化等の様々な分野における連携を推進する。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	地域包括連携協定の締結件数（各年度末時点の累計件数）	件	目標	—	—	—
				実績	6	6	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	0	82	
財源内訳	一般財源	-	-	82	
	国都支出金	-	-	0	
	その他	-	-	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	230	231	
	所要人員（人）	0.01	0.03	0.03	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		80	230	313	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和4年度における地域包括連携協定を締結した企業数は0社であるが、複数の企業と包括協定締結に向けて協議中であるとともに、過年度に協定を締結した国立音楽大学や明治安田生命保険相互会社とは定期的な協議を実施している。	—

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
コカ・コーラボトラーズ株式会社、佐川急便株式会社、第一生命保険株式会社、住友生命保険相互会社及び立川ダイスから地域包括連携協定について打診があり、現在検討中である。 今後も企業から、地域包括連携協定についての打診があった際には、庁内での意見を集約し、検討を進めていくこととする。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					



外部評価調書（事務事業）

事務事業名		地域連携推進事業	
所管部署		協働推進部 協働推進課 協働推進係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・市民との協働により事業を実施しているか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・受益者負担は適切か</li> <li>・施策への貢献度は適切か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託等は可能か</li> <li>・事業費の更なる削減は可能か</li> <li>・類似事業等との統合は可能か</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>本事業は、大学や企業等と連携協力して効率的に地域課題を解決し、市民サービスを効果的に提供することを目的とするものであり、その意義が認められる。また、企業等からの包括連携協定の申出が増加していることから判断すると、本事業には底堅いニーズが認められるため、今後も継続することが適当である。</p> <p>しかし、協定締結後の管理運営体制が明確でなく、当初の目的が達成されているかを把握できていないため、まずは、事業の効果を検証し必要に応じて協定内容の見直しを行うような仕組みを構築することが肝要である。</p> <p>また、市が抱える課題を協定締結先と積極的に共有することにより、効率的に解決していくなど、より効果的な事業へと発展させることを期待したい。</p>		


## 第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり

- 健康・医療
  
- 福祉





武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	妊婦健康診査事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 1 健康づくり		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども子育て支援 課	母子保健 係 内線 621
	根拠法令等	母子保健法		
目的	妊婦の健康管理を支援し、妊産婦及び乳幼児の死亡率低下、障害発生の予防を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	妊婦を対象として、14回分の妊婦健康診査を受診するための受診票を交付する。健康診査の内容は、基本項目（健康状態の把握、検査計測など）及び必要に応じて行う医学的検査（血液検査、超音波検査など）である。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	妊婦健康診査（1回から14回まで、子宮頸がん検診、超音波検査及び新生児聴覚検査）の延べ受診者数	人
			実績	5,798	5,401	
			達成率	87%	81%	
2			目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	平成29年第2回市議会定例会において、新生児聴覚検査費用の公費助成について要望があった。		
財源内訳						
一般財源	689	1,272	6,139			
国都支出金	0	0	0			
その他	31,817	28,817	37,155			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,596	1,529	1,539			
所要人員（人）	0.20	0.20	0.20			
会計年度任用職員（千円）	135	144	143			
所要人員（人）	0.10	0.10	0.10			
合計（事業費+人件費）	34,237	31,762	44,976			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
居住する区市町村以外に所在する医療機関で健康診査が受けられるよう、毎年度、代表団体が東京都医師会と委託契約を締結している。 令和4年度の受診者数は、延べ5,401人であった。	妊娠届出数は予測が難しいため、目標と実績にかい離が生じている。 特に、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、妊娠届出数が減少している（令和元年度：484人、令和2年度：407人、令和3年度：394人、令和4年度：347人）。


今後の方針			
成果	コスト		
	削減	維持	増加
	向上		
維持		○	
低下			

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

本事業は、母子保健法第13条に規定する健康診査であり、健康診査の内容は、「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準（平成27年厚生労働省告示第226号）」に定められており、本市の事業はこの基準に基づき実施している。  
 また、令和元年度から当該基準にない新生児聴覚検査費用の公費助成を実施しているが、当該検査は、聴覚異常を早期に発見することにより、専門の施設での適切な支援につなぐことができるため、今後とも継続する必要があると考える。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	歯周疾患検診事業				
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 1 健康づくり				
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係	内線	212
	根拠法令等	健康増進法				
	目的	歯を失う大きな原因となっている歯周病の予防と早期発見を推進し、高齢期において健康で快適な生活が送れるように支援する。			SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	対象者：40歳以上の市民 検診内容：問診、歯科健診、歯周ポケット測定、結果説明等（65歳以上の方には、口の乾燥状態、舌の動き、飲み込み等の検査も実施）					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	歯周疾患検診受診者数	人	目標	400	450	450
								実績	446	443
達成率	112%	98%								
2	歯周疾患検診要精検者数	人	目標	—	—	—				
				実績	329	336				
				達成率	—	—				

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		2,973	2,886	3,139
財源内訳	一般財源	1,952	1,907	1,946
	国都支出金	723	712	1,193
	その他	298	267	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,994	1,911	1,923
人件費	所要人員（人）	0.25	0.25	0.25
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		4,967	4,797	5,062

市民・議会等から寄せられた意見	
歯科医師会から計画人員を増員してほしいという要望があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●受診期間：令和4年6月1日～11月30日</li> <li>●対象者：40歳以上の市民（令和4年度中に40歳となる方を含む。）</li> <li>●検診内容：問診・歯科健診・歯周ポケット測定・結果説明等65歳以上の方には、口の乾燥状態、舌の動き、飲み込み等の検査</li> <li>●指定歯科医療機関：18歯科医療機関</li> <li>※市報、市ホームページのほか公共施設、医療機関等でポスターを掲示し、本事業を周知した。</li> </ul>	歯科医師会から計画人員を増員してほしいという要望が出されている。


今後の方針	
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
歯周疾患検診は疾病の発見のみならず、検診の実施により自己管理能力高揚させ、実践へ結びつけることにより、豊かな高齢期を迎えることを目的としている。さらに、生活習慣の改善を行うことが発症予防及び重症化予防を進める上で重要であることから、現状の体制を継続して実施していく。	
成果	今後の方針
	コスト
	削減 維持 増加
向上	
維持	○
低下	

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		歯周疾患検診事業	
所管部署		健康福祉部 健康推進課 健康推進係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・市民との協働により事業を実施しているか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・受益者負担は適切か</li> <li>・施策への貢献度は適切か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託等は可能か</li> <li>・事業費の更なる削減は可能か</li> <li>・類似事業等との統合は可能か</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、歯周疾患検診の実施により歯周病の予防と早期発見を推進し、高齢期において健康で快適な生活を送れるよう支援することを目的としており、受診者の多くが治療や定期通院につながるなど一定の成果を挙げていることから、今後も継続する必要がある。</p> <p>他方、本事業の趣旨に照らし、利用実績を正確に把握するとともに、歯科医師会への委託料が適正かどうかを判断するため検診費用等の算定根拠を明確にすることが肝要である。</p> <p>また、今後は、潜在的な歯周疾患患者の利用につなげるため、周知方法や実施方法の見直し等を検討し、より効果的な事業へと発展させることを期待したい。</p>		

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	AED購入事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 2 医療・救急		
	所管部署	総務部	防災安全課	消防係 内線 333
	根拠法令等	武蔵村山市自動体外式除細動器貸出要綱		
目的	消防団として救命救急技術を普及しており、災害時等に多発する救命救急需要への対処も求められることから、自動体外式除細動器（以下「AED」という。）について、消防車両内に配備するとともに各団体への貸出用として配備するもの。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	消防団が所有する車両内に配備しているAED（10台）及び市内団体への貸出用のAED（4台）について、令和3年度に耐用期限が経過したため購入するもの。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	消防団所有車両内に配備しているAEDの使用件数	件	目標	—	—	—
				実績	0	0	
達成率				—	—		
2	市内で活動する団体に対するAEDの貸出件数	件	目標	—	—	—	
			実績	0	1		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		0	3,769	0
財源内訳	一般財源	-	3,769	-
	国都支出金	-	0	-
	その他	-	0	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	0
所要人員（人）	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用職員	0	0	0
	所要人員	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		0	3,769	0

市民・議会等から寄せられた意見	
—	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効果性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
実施計画のとおり消防団車両への配備用10台及び貸出用4台の、合計14台のAEDを購入した。	—

今後の方針	
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
本事業は、AEDについて消防団が所有する車両内に配備するとともに市内で活動を行う団体に対して貸し出すために購入するものであり、消防団員による災害時や各種行事等での救命救急活動等に備えることにより、市民の安心や安全の確保に資するものである。 令和4年度にAEDを更新したため事業を終了するが、今後も耐用年数を踏まえ、定期的に更新を行っていく。	
成果	今後の方針 コスト
	削減 維持 増加
	向上 維持 低下

（廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	休日診療等事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 2 医療・救急		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	医療法、東京都保健医療計画		
	目的	日曜、祝日、年末年始において症状に応じた適切な医療が受けられる体制を確保するため、入院を必要としない軽症患者に対する初期（一次）救急を実施することにより、市民が安心して治療が受けられるように努める。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	①休日診療：日曜、祝日、年末年始に実施（午前9時から午前11時30分まで、午後1時から午後4時まで） ②休日準夜診療：日曜、祝日に実施（午後5時30分から午後8時30分まで） 実施場所：①②ともに保健相談センター			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	休日急患診療受診者数	人	目標	—	—	—
				実績	248	366	
達成率				—	—		
2	休日準夜診療受診者数	人	目標	—	—	—	
			実績	41	28		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		23,725	23,627	24,248		—
財源内訳	一般財源	18,314	18,282	18,824		
	国都支出金	5,411	5,345	5,424		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77		
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		23,805	23,704	24,325		


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
新型コロナウイルス感染症対応のため、受診前にあらかじめ電話で相談することを周知している。発熱症状がある患者については、診療後必要に応じて抗原検査等を行った。 休日急患診療受診者数：366人 休日準夜診療受診者数：28人	休日診療から休日準夜診療まで通して診療を行うため、医師等への負担が大きい。 しかし、休日準夜診療を廃止すると、急病患者が迅速に治療を受けることができないほか、入院を必要とする急病患者（一次救急）が、二次救急指定医療機関を受診することにより、入院を要する中等症及び重症の患者（二次救急）が医療機関で迅速な治療が受けられず、本来実施すべき二次救急診療を圧迫するおそれがある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 休日等において、急病患者が迅速に受診できる医療機関が必要であることから、現状の体制を継続して実施していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	休日歯科診療事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 2 医療・救急		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	医療法、東京都保健医療計画		
	目的	日曜、年末年始における急病患者に対し休日歯科診療を実施することにより、市民が安心して治療が受けられるようにすることを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	休日歯科診療：日曜、年末年始に実施（午前9時から午前11時30分まで、午後1時から午後4時まで） 実施場所：歯科医師会加入の医療機関1か所持ち回りによる輪番制			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	休日歯科診療受診者数	人	目標	—	—	—
				実績	167	164	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		7,905	7,905	8,031	
財源内訳	一般財源	6,150	6,150	6,244	
	国都支出金	1,755	1,755	1,787	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77	
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		7,985	7,982	8,108	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か <input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 市民のニーズに適合しているか <input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 市民との協働により事業を実施しているか <input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当 受益者負担は適切か <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当 施策への貢献度は適切か <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	民間委託等は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 事業費の更なる削減は可能か <input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 類似事業等との統合は可能か <input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
日曜、年末年始に休日歯科診療を歯科医師会加入の医療機関1か所持ち回りによる輪番制で実施した。 休日歯科診療受診者数：164人	休日歯科診療受診者数は横ばいであるが、日曜、年末年始に休日歯科診療を廃止すると、急病患者が迅速に治療を受けることができない。平成22年度から平成24年度にかけて、休日歯科診療体制の見直し等を行い、輪番制の導入や経費の削減を行っている。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 休日において、急病患者が迅速に受診できる歯科医療機関が必要であることから、現状の体制を継続して実施していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	公的病院等運営費補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 2 医療・救急		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	武蔵村山市公的病院等運営費補助金交付要綱		
	目的	救急医療を実施している公的病院等に対して、運営費の一部を補助することにより、救急医療の確保及び地域医療の充実を図る。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	特別交付税に関する省令の規定により算定された額（救急告示病院としての病床数、小児救急医療、小児医療のための病床数）を基準とし、予算の範囲内において運営費の一部を補助する。			
対象（交付先）	社会医療法人財団大和会武蔵村山病院			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	救急医療を要する傷病者のための専用病床数	床
			実績	30	30	
			達成率	—	—	
2	小児医療のための専用病床数	床	目標	—	—	—
			実績	24	24	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	49,252	53,194	53,194		—
一般財源	29,551	31,916	31,916		
国都支出金	0	0	0		
その他	19,701	21,278	21,278		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 近隣市においても公的病院等に対して、運営費の補助をしている。
	80	77	77		
	所要人員（人）				
	0.01	0.01	0.01		
	会計年度任用職員（千円）				
	0	0	0		
	所要人員（人）				
	0.00	0.00	0.00		
	合計（補助金+人件費）				
	49,332	53,271	53,271		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円） 53,194
市補助金	—	—	—		使途内訳
会費	—	—	—		
繰越金	—	—	—		
事業収入	—	—	—		
その他	—	—	—		
支出	総額（千円）				
	0	0	0		
	交際費、飲食費				
	—	—	—		
	人件費				
	—	—	—		
	事業経費				
	—	—	—		
	その他				
	—	—	—		
	割合（％）				
	団体収入に占める補助金の割合				—
	団体収入に占める繰越金の割合				—
	交付金額に対する繰越金の割合				—

視点別の分析	公	益	性	令和4年度の実績			
				市の関与は必要か	市民のニーズに適合しているか	一般市民にも間接的な受益があるか	廃止・休止した場合の市民への影響
有効性				<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある		
有効性				<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
有効性				<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
有効性				<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当	
有効性				<input checked="" type="checkbox"/> 補助基準は明確か	<input type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	
有効性				<input checked="" type="checkbox"/> 補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性				<input type="checkbox"/> 補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性				<input checked="" type="checkbox"/> 補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない	
効率性				<input checked="" type="checkbox"/> 類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
	武蔵村山病院において、救急医療の確保及び地域医療の充実を図るため、小児救急診療事業及び救急医療事業を実施した。	特別交付税に関する省令に基づく不採算地区公的病院等に対して、運営費の一部を補助するものであるが、新型コロナウイルス感染症対応等で病院の負担は大きくなっている。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
市民の小児救急及び救急医療の需要に対応し、市民の生命及び健康を守る必要があることから、今後も継続して病院の運営費を補助していく。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
	向上		
維持	○		
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		公的病院等運営費補助事業	
所管部署		健康福祉部 健康推進課 健康推進係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・一般市民にも間接的な受益があるか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・補助基準は明確か</li> <li>・補助金の交付により期待された効果が得られたか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助内容や補助額の見直しは可能か</li> <li>・補助期間を設定しているか</li> <li>・類似の補助金との統合は可能か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>本事業は、救急医療を実施している公的病院等に対し運営費の一部を補助するものであり、救急医療の確保及び地域医療の充実を図る上で一定の意義が認められる。</p> <p>他方、補助に当たっては、根拠となる「特別交付税に関する省令」に基づき適正に補助されているものと思料するが、透明性を確保するため市負担分の算定根拠を明示することを求めたい。</p> <p>また、補助の基準となる病床の稼働率等の実績把握に努め、本事業の趣旨である救急医療の確保が図られていることを適宜確認することが肝要である。</p> <p>なお、当委員会としては、地域医療を担う医療機関の在り方として、まちづくりの場等に病院の関係者が参加するなど、医療行為以外の面で地域と交流しながら質の向上が図られることを期待したい。</p>		



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	レセプト自動点検事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係 内線 138
	根拠法令等	「国民健康保険の診療報酬明細書点検事務調査事務処理要領について」（昭55.5.10保険発第42号）		
	目的	診療報酬明細書等（以下、「レセプト」という。）の点検業務を実施することにより適正な療養給付費の支出を維持するとともに、医療費の適正化及び国民健康保険事業の健全化を図ることを目的とする。	SDGsの取組 10人や国の不平等をなくそう	
内容	レセプトの点検業務について、職務経験や専門知識の有無にかかわらず実施可能となる人工知能（AI）を搭載したレセプト自動点検システム及びRPAツールを利用し、業務精度の向上及び効率的な点検を実施する。			



評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	財政効果額	円
			実績	1,786	1,478	
			達成率	131%	84%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
財源内訳	449	640	1,819			
一般財源	449	640	1,819			
国都支出金	0	0	0			
その他	0	0	0			
人件費	2,234	2,064	1,462			
会計年度任用職員以外の職員（千円）	2,234	2,064	1,462			
所要人員（人）	0.28	0.27	0.19			
会計年度任用職員（千円）	390	330	328			
所要人員（人）	0.29	0.23	0.23			
合計（事業費+人件費）	3,073	3,034	3,609			


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か					
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある		
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効果性	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
類似事業等との統合は可能か	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
【点検件数】 242,405件 月平均20,200件 【費用(税込)】 1件当たり：2,42円 RPA使用料（年間）：52,800円	限られた人員の中で効果的かつ効率的に点検するために、令和2年度よりAI及びRPAを活用した自動点検を導入したものである。導入により短時間で効果的な点検業務ができ、費用についても抑えられていることから現時点での課題はない。

今後の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
医療機関からの診療報酬（医療費）の請求はレセプトにより行われ、審査委員会の審査を経て、支払いの根拠として保険者に送付される。診療報酬等支払いの適正化を図るために審査済のレセプトについて点検し、確認することは保険者としての責務である。 しかしながら、レセプトの点検は専門的な知識を要することから、職員が行うのは困難であり、従来からその業務を委託し、点検員の目視による点検を実施してきたところである。目視では一度に点検できる枚数に限界があることから、令和2年度より、AI及びRPAを活用した自動点検システムを利用することによって、職務経験や専門知識の有無にかかわらず自動点検が可能となった。一サイクルに要する業務時間は従来約1か月から2日程度に短縮され、費用も3分の1程度となり、短時間で効果的な点検業務の実施が可能となったものである。 令和5年度も引き続き当該システムによる点検を実施し、医療費の適正化を図る。	今後の方針 コスト 削減 維持 増加			
	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	医療費適正化事業			
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度			
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係	内線 138
	根拠法令等	国民健康保険法			
目的	健康課題に基づく個別の保健事業を推進することで、国民健康保険被保険者の健康増進、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病の発症や重症化予防等を図ることを目的とする。			SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	本市の健康課題に対応した個別の保健事業として、生活習慣病治療中断者受診勧奨事業、糖尿病性腎症重症化予防・受診行動適正化事業、ジェネリック医薬品利用促進事業、COPD（慢性閉塞性肺疾患）早期発見啓発事業、骨粗しょう症治療中断者受診勧奨事業等の事業を実施する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度					
				1	健康寿命（男性/女性） ＝平均自立期間	歳	目標	79.4	83.2	79.5	83.3	79.7	83.5
								実績	79.4	83.3	79.9	83.9	
達成率	100%	100%	101%					101%					
2	1人当たり医療費の減少 （月額）	円	目標	23,217		22,056		20,953					
				実績	26,493		△ 18,326						
				達成率	114%		-83%						

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和4年第3回市議会定例会において、「医療費削減に向け糖尿病腎症から人工透析への移行を食い止める施策として進めていただきたい。」との要望があった。		
財源内訳						
一般財源	0	0	0			
国都支出金	11,145	15,466	17,317			
その他	1,488	1,401	8,384			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	12,124	16,812	16,923			
所要人員（人）	1.52	2.20	2.20			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	24,757	33,679	42,624			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
効果性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<b>【実施した主な保健事業の実績】</b> ●健診異常値受診勧奨事業 勧奨通知送付数：75件/保健指導実施者：6人 ●生活習慣病治療中断者受診勧奨事業 勧奨通知送付数：43件/保健指導実施者：12人 ●糖尿病性腎症重症化予防・受診行動適正化事業 勧奨通知送付数：184件/保健指導実施者：8人 ●ジェネリック医薬品利用促進事業 通知件数：1,218件（年4回発送） ●COPD（慢性閉塞性肺疾患）早期発見啓発事業 勧奨通知送付数：247件 ●受診行動適正化保健指導事業 通知送付数：60件/保健指導実施者：3人 ●骨粗しょう症治療中断者受診勧奨事業 通知送付数：23件	委託事業者を活用して実施しているが、個別の保健事業における保健指導等において参加者をフォローするには、本市の資源を活用できる市職員（専門職）の関与が重要であるため、専門職の確保が急務である。 また、各事業の計画、対象者の抽出、事業の実施・進行管理、事業の効果分析等に当たり専門の知識を必要とするが、国や東京都からの要求が年々増えており適正な事業実施のために恒常的な時間外勤務が発生している。

今後の方針																								
<b>【今後の方向性】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は、国民健康保険データヘルス計画に掲げる「健康寿命の延伸」及び「医療費の適正化」を達成するため、健康課題に対応した個別の保健事業を実施し、生活習慣病の重症化等を予防することにより、将来的な医療費の適正化を図るものである。国民健康保険制度の安定的な財政運営を持続させるためにも重要である。 また、保健事業の推進に当たっては、PDCAサイクルを用いることで本市の実情に合わせた既存事業の拡充や新規事業の実施を図るなど、将来を見据えた事業推進により目標達成するよう努めている。具体的には、個別の保健事業について、毎年度、4つの評価指標を用いて計画、実施、評価を行っており、東京都や国民健康保険連合会等の第三者による事業評価も活用しながら、効果的かつ効率的に事業が実施できるよう努めている。 令和4年度より歯科医療費の分析、多剤服薬者に対する服薬情報通知の送付、骨粗しょう症治療中断者受診勧奨事業を追加した。また、令和5年度にも一部の事業を拡充（骨粗しょう症治療中断者の対象範囲の拡大）しつつ、引き続き、被保険者に寄り添った事業が実施できるよう取り組んでいく。また、データヘルス計画の最終年度を迎えることから、次期計画に向けて分析評価を進めるとともに、庁内外の関係機関との連携を更に強化していきたい。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><small>（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）</small></p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	特定健康診査未受診者受診勧奨事業				
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度				
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係	内線	138
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律				
	目的	国民健康保険被保険者が自らの健康リスクを把握し、生活習慣病の発症及び重症化を予防する契機となる特定健康診査の受診者を増やすため、受診勧奨を実施する。			SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	効果的に受診へと導くために、人工知能やナッジ理論を用いた通知による受診勧奨を実施する。また、医療機関や保険薬局、スーパーマーケット等へのポスター掲示や大型商業施設へのデジタルサイネージ広報、保健師による電話勧奨などの効果的な取組等を積み重ねて周知を図る。					



評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	特定健康診査受診率	%	目標	56.3	58.1	60
				実績	50.8	47	
達成率				90%	81%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		5,079	4,311	5,440
財源内訳	一般財源	0	0	0
	国都支出金	5,079	4,311	5,440
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,596	1,529	1,539
	所要人員(人)	0.20	0.20	0.20
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		6,675	5,840	6,979

市民・議会等から寄せられた意見	
—	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●受診勧奨通知【1回目】令和4年6月20日 7,354件 【2回目】令和4年9月13日 5,926件 勧奨通知後に受診した者 1,980人(14.9%)</li> <li>●はがきによる受診勧奨：令和4年7月25日 初回健診である40歳：142件 受診率の低い40代から50代：358件 受診率の低い残堀地区の60歳～64歳：200件 通知後受診：115件(16.4%)</li> <li>●電話による勧奨：令和4年9月22日から同年10月4日まで 74件架電 → 架電後受診22件(29.7%)</li> <li>●その他、医療機関、保険薬局、公共施設へのポスター掲示、大型商業施設でのデジタルサイネージ、自治会回覧板、SNS等を活用して周知に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康寿命延伸の大きな阻害要因に生活習慣病がある。その生活習慣病の予防、早期発見、重症化予防の入口であり要である特定健康診査の受診率が伸び悩み、目標値を達成できない状況が続いている。</li> <li>●地域により、受診者の偏りがある。</li> <li>●未経験者(一度も受診したことがない者)と不定期受診者等の健康無関心層への行動変容を促す「コール・リコール」に取り組んでいるが、全員が行動変容するに至っていない。</li> </ul>

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
<p>特定健康診査の受診者と未受診者を比較すると、未受診者の方が医療費が高い。また、生活習慣病の医療費で比較しても、未受診者の医療費は高く、特に入院医療費が高い。これは、生活習慣病が重症化してから受診するためと推測されることから、生活習慣病の早期発見・早期治療に結び付けるためにも受診率の向上は急務である。</p> <p>委託事業者による人工知能やナッジ理論を活用した効果的な通知に加え、令和3年度から実施している不定期受診者と健診未経験者への「コール・リコール」を継続する。</p> <p>特に受診率の低い地域や年代等のはがき等による勧奨、ポスター掲示、自治会への回覧板、大型商業施設へのデジタルサイネージ、SNS発信、保健師による電話勧奨、健康づくり相談会での受診勧奨も引き続き継続して取り組んでいく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							



武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	人間ドック等助成事業（国民健康保険）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係 内線 138
	根拠法令等	武蔵村山市国民健康保険・後期高齢者医療保険人間ドック等受診料助成金交付要綱		
	目的	国民健康保険被保険者が人間ドック又は脳ドックを受診した場合、その費用の一部を助成することにより、疾病の早期発見及び予防に寄与し、健康の保持増進を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	①日本人間ドック学会の1日ドック基本検査項目表の必須項目を全て含む場合 2万円 ②特定健康診査の実施に関する基第1条第1項第1号から第9号までに規定する項目を全て含む場合 1万円 ③脳ドック受診 2万円			
対象（交付先）	国民健康保険被保険者（40歳以上を対象）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	特定健康診査の受診率向上につながった受診者数（平成29年度比）の割合	%
			実績	7	8.9	
			達成率	41%	47%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

事業経費				令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
補助金	交付金額（千円）			3,360	3,381	5,000
	一般財源			3,360	3,381	5,000
	国都支出金			0	0	0
	その他			0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			0	0	0
	所要人員（人）			0.00	0.00	0.00
	会計年度任用職員（千円）			390	287	285
	所要人員（人）			0.29	0.20	0.20
合計（補助金+人件費）				3,750	3,668	5,285

**市民・議会等から寄せられた意見**  
市民から助成要件等が分かりにくいとの意見があった。

**他市等の状況**  
●人間ドック助成：14自治体実施  
●脳ドック助成：9自治体実施  
●婦人科ドック助成：1自治体実施  
(いずれも令和2年度現在、26市中、本市除く)

交付団体等の決算予算の状況				令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
収入	総額（千円）			0	0	0
	市補助金			-	-	-
	会費			-	-	-
	繰越金			-	-	-
	事業収入			-	-	-
	その他			-	-	-
支出	総額（千円）			0	0	0
	交際費、飲食費			-	-	-
	人件費			-	-	-
	事業経費			-	-	-
	その他			-	-	-

**交付団体等の令和4年度の市補助金の使途**

交付金額（千円）	3,381
使途内訳	
割合（%）	
団体収入に占める補助金の割合	—
団体収入に占める繰越金の割合	—
交付金額に対する繰越金の割合	—


視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	継続性	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない
類似の補助金との統合は可能か		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
●人間ドック助成 164件：2,990,000円 (内訳：2万円助成135件、1万円助成29件) ●脳ドック助成 20件：391,000円 (内訳：2万円助成19件、1万1千円助成1件)	●助成要件の項目が53項目と多く、1項目でも欠けると助成金額が減額されることから、市民にとって分かりにくいものとなっており、改善を求める声もある。 ●既に疾病があり、検査ができない項目があった場合でも、助成要件の欠損として助成金額が減額される。 ●実施医療機関によって結果表の様式が異なり、検査を実施していても結果表に記載されないケースがあるため、実施医療機関への確認が必要である。

今後の方針				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
疾病の早期発見及び予防に寄与し、健康を保持増進する事業としては有効であるため、令和5年度も引き続き助成を実施する。				
一方、被保険者からは助成要件が分かりにくい、助成申請時には助成金額が分からない等の意見が多く寄せられている現状である。しかし、本助成事業の実施に当たっては、市医師会の強い要望により助成要件を定めているため、その変更について被保険者が受け入れやすい要件となるよう医師会に働きかけ理解を求めていきたい。				
なお、本助成において実施した検査項目により特定健康診査を実施したとみなすため、その受診率向上にも寄与しているところである。				
成果	今後の方針			
	コスト			
		削減	維持	増加
	向上		○	
維持				
低下				

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	人間ドック等助成事業（後期高齢者医療）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民部	保険年金課	後期・年金係 内線 135
	根拠法令等	武蔵村山市国民健康保険・後期高齢者医療保険人間ドック等受診料助成金交付要綱		
	目的	後期高齢者医療被保険者に対して、人間ドック又は脳ドックの受診費用の一部を助成することにより、疾病の早期発見及び予防に寄与し健康の保持増進を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	①日本人間ドック学会の1日ドック基本検査項目の必須項目全てを含む場合 2万円 ②特定健康診査の実施に関する基準第1条第1号から第9号までに規定する項目が全て含まれている人間ドック 1万円 ③脳ドック受診 2万円			
対象（交付先）	後期高齢者医療被保険者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	受診者数	人
			実績	52	45	
			達成率	104%	90%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	920	770	1,000		市民から助成要件等が分かりにくいとの意見があった。
一般財源	776	534	690		
国都支出金	0	0	0		
その他	144	236	310		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 26市中14市が実施している（令和4年度現在）。
所要人員（人）	0.00	0.01	0.01		
会計年度任用職員（千円）	390	416	414		
所要人員（人）	0.29	0.29	0.29		
合計（補助金+人件費）	1,310	1,263	1,491		


収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円）	770
市補助金	-	-	-	-	使途内訳	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	総額（千円）				割合（%）	
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	—
人件費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	—
事業経費	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	—
その他	-	-	-	-		

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	公平性	市の関与は必要か		
					必要である	見直しの余地がある	非該当
					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
●人間ドック 40件：670,000円 （内訳：1万円助成13人、2万円助成27人） ●脳ドック助成 5件：100,000円 （2万円助成5人）	●助成要件の項目が53項目と多く、1項目でも欠けると助成額が減額されることから、市民にとって分かりにくいものとなり、改善を求める声がある。 ●既に疾患があり、検査ができない項目があった場合でも、助成要件の欠損として助成金額が減額される。 ●実施医療機関によって結果表の様式が異なり、検査を実施していても結果表に記載されないケースがあるため、実施医療機関への確認が必要である。

今後の方針																				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上		○		維持				低下			
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上		○																		
維持																				
低下																				
<p>疾病の早期発見及び予防に寄与し、健康を保持増進する事業としては有効であるため、令和5年度も引き続き助成を実施する。</p> <p>一方、被保険者からは助成要件が分かりにくい、助成申請時には助成金額が分からない等の意見が多く寄せられている現状である。しかし、本助成事業の実施に当たっては、市医師会の強い要望により助成要件を定めているため、その変更について被保険者が受け入れやすい要件となるよう医師会に働きかけ理解を求めていきたい。</p> <p>なお、本助成において実施した検査項目により健康診査を実施したとみなすため、その受診率向上にも寄与しているところである。</p>	<p>（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）</p>																			

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業（企画調整 ハイリスクアプローチ）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民部	保険年金課	後期・年金係 内線 135
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律		
	目的	複数の疾患及びフレイル状態に陥りやすい高齢者に対し、高齢者一人一人の状況に応じたきめ細かな対応を効果的かつ効率的に行うため、東京都後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という。）と市が連携し、介護保険の地域支援事業及び国民健康保険の保健事業を一体的に実施することにより、健康寿命の延伸を図る。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	保険年金課では、ハイリスクアプローチ（個別的支援）として、糖尿病性腎症及び糖尿病の後期高齢者を対象に、かかりつけ医等の医療機関と連携し、糖尿病性腎症等の重症化予防に必要な保健指導及び医療機関への受診勧奨を実施する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	保健指導実施率	%	目標	—	100	100
				実績	—	100	
達成率				—	100%		
2	未受診者への医療機関受診勧奨架電実施率	%	目標	—	100	100	
			実績	—	100		
			達成率	—	100%		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		0	2,189	15,081
財源内訳	一般財源	-	0	3,491
	国都支出金	-	0	0
	その他	-	2,189	11,590
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	11,007	10,928	11,000
	所要人員（人）	1.38	1.43	1.43
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		11,007	13,117	26,081

市民・議会等から寄せられた意見	
【保健指導参加者からの意見】	
●保健指導に参加して、定期的に指導を受けることで、生活習慣や食事を意識するようになった。	
●資料が見やすく、様々なことを対面で聞けて本当に参加して良かった。	
●話を聞いてもらえて良かった。また来て欲しい。説明が分かりやすかった。	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<p>【保健指導】 日常生活圏域全4圏域において実施し、勧奨通知を135人に発送後、架電勧奨を行い23人に保健指導を実施した（参加率17%）。その後、2人の途中辞退者が発生したため、保健指導の最終完了者は21人となった。</p> <p>【医療機関未受診者への受診勧奨】 受診勧奨通知を1人に発送し、架電による保健指導を1人に実施した（架電率100%）。</p> <p>【医療機関治療中断者への受診勧奨】 受診勧奨通知を4人に発送し（受診勧奨実施率100%）、そのうち3人の受診につながった（医療機関受診率75%）。</p>	<p>保健指導への参加や医療機関への受診に係る勧奨通知について、恐怖をおおったり、脅したりする表現ではなく、後期高齢者が安心して保健指導に参加できるようなものにするとともに、医療機関へ受診しようという意欲を高めるような通知内容を検討していく。</p>

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
<p>令和5年度については、令和4年度に実施した内容に加え、同年度に保健指導を完了した方に対し、重症化予防の重要性と継続した自己管理を支援するため、架電による保健指導を実施する。</p> <p>また、委託業者と連携を図り、一人一人に寄り添ったきめ細かな保健指導を実施し、高齢者の健康寿命の延伸を図る。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業（ポピュレーションアプローチ）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	地域包括ケア 係 内線 632
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく高齢者保健事業の実施等に関する指針		
	目的	高齢者が自らの健康状態に関心を持ち、介護予防・フレイル予防の重要性を理解することで、住み慣れた地域で、持続的に自立した生活を営みながら、継続的に社会参加のできる地域づくりを行い、もって健康寿命の延伸を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	「お互いさまサロンの参加者に対する集団支援（ポピュレーションアプローチ）」に係る事業として、日常生活圏域ごとに1か所、計4か所の通いの場において、口腔と栄養に係る一体的な健康教室・相談事業（歯つらつ教室事業）、フレイルチェック会事業、個別相談支援事業等を行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	初回から終了までの継続参加者の割合	%	目標	—	100	100
				実績	—	71	
達成率				—	71%		
2	事業の前後で口腔機能が変化した人数（維持・改善）の割合	%	目標	—	100	100	
			実績	—	64		
			達成率	—	64%		


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—	
財源内訳					
一般財源	0	559	1,006		
国都支出金	-	0	0		
その他	-	559	1,006		
人件費					
会計年度任用職員以外の職員（千円）	479	810	2,805		
所要人員（人）	0.06	0.11	0.36		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）	479	1,369	3,811		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性 <td rowspan="2">市民のニーズに適合しているか</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適合している</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当</td>	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
効果性 <td rowspan="2">廃止・休止した場合の市民への影響</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当</td>	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性 <td rowspan="2">施策への貢献度は適切か</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切である</td> <td><input type="checkbox"/> 不適切な部分がある</td>	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	
	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	
事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	
	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	
	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
4か所の通いの場において歯科衛生士による集団指導や口腔機能の測定を実施するとともにオーラルフレイル予防の重要性に関する普及啓発を行った。 事業開始時と終了時の各測定結果との比較では、口腔機能の維持・向上が見られた。また、事業終了後に実施した利用者へのアンケート調査では、94%の参加者が自主的に口腔機能改善を目指すとしており、一定の効果が確認された。	事業の初年度であるため、日頃より積極的に活動を行っている通いの場へのアプローチとなったが、順次、通いの場へ訪問を行い、事業の啓発に努める必要がある。また、通いの場に参加していない高齢者に対するアプローチを検討する必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
令和5年度については、日常生活圏域ごとに2か所、計8か所へ通いの場を拡大し、本事業を実施する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業（ポピュレーションアプローチ）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく高齢者保健事業の実施等に関する指針		
	目的	高齢者が自らの健康状態に関心を持ち、介護予防・フレイル予防の重要性を理解することで、住み慣れた地域で、持続的に自立した生活を営みながら、継続的に社会参加のできる地域づくりを行い、もって健康寿命の延伸を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	「お互いさまサロンの参加者に対する集団支援（ポピュレーションアプローチ）」に係る事業として、日常生活圏域ごとに1か所、計4か所の通いの場において、口腔と栄養に係る一体的な健康教室・相談事業（歯つらつ教室事業）、フレイルチェック会事業、個別相談支援事業等を行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	初回から終了までの継続参加者の割合	%	目標	—	100	100
				実績	—	71	
達成率				—	71%		
2	事業の前後で口腔機能が変化した人数（維持・改善）の割合	%	目標	—	100	100	
			実績	—	64		
			達成率	—	64%		

事業経費				令和3年度決算		令和4年度決算		令和5年度予算	
事業費（千円）				0	0	0	0	1,504	
財源内訳	一般財源			-	-	-	-	0	
	国都支出金			-	-	-	-	0	
	その他			0	0	0	0	1,504	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			0	994	0	0	1,770	
	所要人員（人）			0.00	0.13	0.00	0.00	0.23	
	会計年度任用職員（千円）			0	0	0	0	0	
	所要人員（人）			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）				0	994	0	0	3,274	

市民・議会等から寄せられた意見	
—	

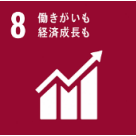
視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
各日常生活圏域に1か所、計4か所のお互いさまサロンで事業を実施した。 歯科衛生士による集団指導や口腔機能の測定を実施し、オーラルフレイル予防の重要性について普及啓発を実施したことにより、事業開始時と終了時の各測定結果との比較では、口腔機能の維持・向上が見られた。また、事前及び事後評価会議を開催し、運用方法や実績等について関係機関と共有した。 なお、会計年度任用職員の人件費は事業費に含む。	●対象となる通いの場の拡大とそれに伴う従事職員の体制整備 ●評価方法の検討

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和5年度については、日常生活圏域ごとに2か所、計8か所へ通いの場を拡大して本事業を実施する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	生活困窮者就労支援事業				
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 1 地域福祉				
	所管部署	健康福祉 部	福祉総務 課	市民なやみごと相談 係	内線	155
	根拠法令等	生活困窮者自立支援法				
目的	就労に問題を抱える生活困窮者に対して、個々の状態に応じた求人開拓や職業安定所への同行、就職後のフォローアップ等により、安定した就労への道筋をつけることを目的とする。				SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も 	
内容	生活困窮者を対象として、プラン作成、求人開拓、職業安定所への同行、就職後のフォローアップ等の支援を実施する。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	就労決定者数	人
			実績	42	28	
			達成率	84%	56%	
2	就労支援対象者数	人	目標	50	50	50
			実績	79	59	
			達成率	158%	118%	


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		4,838	5,594	6,897		令和4年第1回予算特別委員会において、市議会議員より困窮者の就労支援事業について質問があり、委託にて就労支援事業に取り組むと回答している。
財源内訳	一般財源	1,209	1,398	1,725		
	国都支出金	3,629	4,196	5,172		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		4,838	5,594	6,897		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
就労支援対象者数59人、就労決定者数28人であった。 (令和3年度までは会計年度職員、令和4年6月以降は委託により支援を実施している。)	ハローワークと連携しているが、その市内企業の求人開拓が不十分であるため、市内企業への就労実績を上げることにより市の就労支援の取組をアピールする必要がある。

今後の方針																			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																		
本事業は、生活困窮者自立支援法における必須事業である。 現在の委託事業者とは令和9年3月までの業務委託契約を締結しており、引き続き支援を行うため現状維持とする。																			
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト			削減	維持	増加	向上			維持	○		低下		
	今後の方針																		
	コスト																		
削減	維持	増加																	
向上																			
維持	○																		
低下																			
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																			

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	生活困窮者及び被保護者就労準備支援等事業				
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 1 地域福祉				
	所管部署	健康福祉 部	福祉総務 課	市民なやみごと相談 係	内線	155
	根拠法令等	生活困窮者自立支援法				
目的	直ちに就労を開始することが難しい生活困窮者及び生活保護受給者に対して、最終目標である就労への道筋をつけることを目的とする。				SDGsの取組	
内容	直ちに就労を開始することが難しい生活困窮者及び生活保護受給者に対して、個々の状態に応じた生活指導や社会参加訓練を実施する。 また、就労の開始に限らず障害認定を支援するなど、各種福祉制度を活用して利用者を社会的に自立させることも本事業に含まれる。				8 働きがいも経済成長も 	

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	就労準備支援等事業実施者数	人
			実績	3	15	
			達成率	100%	500%	
2	就労準備支援等事業継続者数	人	目標	3	3	13
			実績	3	13	
			達成率	100%	433%	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費(千円)	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	平成28年第1回市議会の一般質問において、市議会議員より生活保護受給者への就労支援について質問があり、就労準備支援等事業に取り組むと回答している。		
財源内訳						
一般財源	1,166	1,166	1,166			
国都支出金	2,332	2,332	2,332			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	3,498	3,498	3,498			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
新規利用者12名、前年度からの継続利用者3名であった。	ひきこもりなどにより、就労準備支援であっても参加できない市民をいかに掘り起こしていくかが課題である。

今後の方針																								
成果	【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
	生活困窮者自立支援法における任意事業である本事業を利用する市民の居場所づくりに役立っている側面がある。																							
	現在の委託事業者とは令和8年3月までの業務委託契約を締結しており、引き続き就労の支援を行うため現状維持とする。																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			今後の方針			コスト				削減	維持	増加	向上				維持		○		低下		
今後の方針																								
コスト																								
	削減	維持	増加																					
向上																								
維持		○																						
低下																								

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	生活困窮者及び被保護者就労準備支援等事業				
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 1 地域福祉				
	所管部署	健康福祉 部	生活福祉 課	保護第一・保護第二・経理・医療 係	内線	163
	根拠法令等	生活困窮者自立支援法				
目的	生活困窮者及び被保護者が、就労のための基礎能力を身に付け安定的な就労に就き、自立を図ることを目的とする。				SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も	
内容	平成28年10月から事業委託により、福祉総務課（生活困窮者が対象）と共同実施するもの。被保護者に対する就労準備支援等事業（支援の開始、支援計画の作成、支援活動の報告、支援の連携、連絡会議の実施、日常生活自立の関する支援、社会生活自立に関する支援、就労自立に関する支援等）を実施する。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	就労自立支援により就職した人数	人	目標	7	6
			実績	4	4	
			達成率	57%	67%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）	3,498	3,498	3,498
財源内訳			
一般財源	1,166	1,166	1,166
国都支出金	2,332	2,332	2,332
その他	0	0	0
人件費			
会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	0
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
会計年度任用職員（千円）	0	0	0
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）	3,498	3,498	3,498

市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	市民のニーズに適合しているか
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響
	影響は大きい <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	民間委託等は可能か
	困難である <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	


令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
【支援対象者数（令和5年3月末現在）】 ●生活自立支援：20人 ●社会自立支援：4人 ●就労自立支援：4人 ●被支援者合計：28人  ※令和4年度に就労自立支援を行った者のうち4人が就労決定した。	本事業は、生活困窮者及び被保護者が社会生活を身に付け、就労により自立することを目指すものであるが、支援対象者の中には、引きこもり等が続いており、自立に向けた長期的な支援が必要になる場合がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 生活困窮者及び被保護者が、就労のために必要な基礎能力を身に付け、自立を図ることができるよう、「生活自立支援」、「社会自立支援」、「就労自立支援」を支援対象者に合わせて適切に行っていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		生活困窮者及び被保護者就労準備支援等事業	
所管部署		健康福祉部 福祉総務課 市民なやみごと相談係 健康福祉部 生活福祉課 経理・医療係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・市民との協働により事業を実施しているか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・受益者負担は適切か</li> <li>・施策への貢献度は適切か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託等は可能か</li> <li>・事業費の更なる削減は可能か</li> <li>・類似事業等との統合は可能か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価		<p>本事業は、直ちに就労が困難である生活困窮者及び被保護者を対象として、個々の状態に応じた生活指導や社会参加訓練などの就労準備支援を行うものであり、その意義は十分に認められることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>また、支援員を常駐させて利用者の状態に応じたきめ細かな支援を行うとともに、毎月の報告により継続的に実績を把握していることや、関係団体と連携しアウトリーチにより本事業の利用につなげていることは評価できる。</p> <p>今後も、真に支援が必要な人に本事業が行き届くための努力を継続していくことが肝要である。</p>	

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	権利擁護推進事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 1 地域福祉		
	所管部署	健康福祉 部	福祉総務 課	福祉総務 係 内線 152
	根拠法令等	成年後見制度の利用の促進に関する法律		
	目的	全ての人の権利と利益が守られ、住み慣れた地域の中で、安心、快適に暮らしていただけるまちづくりを推進する。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	福祉サービスの利用援助、福祉サービス利用者等からの苦情対応、認知症高齢者、知的障害者等の権利擁護、成年後見制度の利用支援など、福祉サービス利用者等に対する支援の充実を図る。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	福祉サービス総合支援事業における新規相談件数	件	目標	74	111	111
				実績	111	103	
達成率				150%	93%		
2	成年後見活用あんしん生活創造事業における利用手続支援の新規相談件数	件	目標	65	94	94	
			実績	94	77		
			達成率	145%	82%		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		19,486	19,605	21,158
財源内訳	一般財源	11,735	11,854	11,784
	国都支出金	7,751	7,751	9,374
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	479	459	462
	所要人員(人)	0.06	0.06	0.06
	会計年度任用職員(千円)	14	15	15
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01
合計(事業費+人件費)		19,979	20,079	21,635

**市民・議会等から寄せられた意見**

令和2年3月に報告した「市民意識調査報告書」において、地域福祉権利擁護事業については名称も内容も知らないと回答した市民の割合が最も高くなった。このことから、制度周知をより強化していく必要があると考えている。


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
福祉サービス総合支援事業については、合計相談件数が4,067件であり、そのうち103件が新規相談となっている。制度の延べ利用者数は増加しているものの、新規相談件数については微減となっている。 成年後見活用あんしん生活創造事業における利用手続支援件数については、合計相談件数が3,346件であり、そのうち77件が新規相談となっている。制度の延べ利用者数は増加しているものの、新規相談件数については微減となっている。	権利擁護制度を必要としている全ての人に対して内容が行き届いているか、関係機関との連携が果たされているかなど、様々な課題がある。このことから、中核機関を令和6年度中に設置するための検討を早期に進めていく必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 「第五次地域福祉計画」に内包する「武蔵村山市成年後見制度利用促進基本計画」において、地域連携ネットワークの構築と成年後見制度利用促進に係る中核機関を設置することを定めていることから、関係機関と協議を進め、計画の推進を図っていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	とうきょうママパパ応援事業（産後ケア事業）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども子育て支援 課	母子保健 係 内線 621
	根拠法令等	母子保健法		
目的	家族等から十分な育児等の支援が得られず、心身の不調や育児不安等を抱える生後6か月以内の乳児とその母親を対象に、母親の身体的回復や心理的な安定を促進することを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 		
内容	本市における産後ケア事業は、短期入所事業、通所事業及び居宅訪問事業の3つの事業を実施する。居宅訪問事業は令和4年6月から実施し、短期入所事業及び通所事業は同年9月から実施した。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	短期入所事業、通所事業、居宅訪問事業の事業利用者延べ人数	人	目標	—	50	50
				実績	—	12	
				達成率	—	24%	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		0	4,883	13,208
財源内訳	一般財源	-	1	0
	国都支出金	-	4,882	13,208
	その他	-	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	798	3,821	3,846
人件費	所要人員（人）	0.10	0.50	0.50
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		798	8,704	17,054

市民・議会等から寄せられた意見	
令和3年第2回市議会定例会で、産後の母親等に対するケアの重要性について一般質問があった。	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
居宅訪問事業については居宅訪問者（助産師）と委託契約を締結し、令和4年6月から事業を開始した。短期入所事業及び通所事業については委託先医療機関と委託契約を締結し、同年9月から事業を開始した。各事業の利用実績について、居宅訪問事業4回、短期入所事業5回、通所事業3回であった。なお、会計年度任用職員の人件費は事業費に含む。	法律上は生後1年を経過しない乳児及びその母親を対象としていることから、今後、対象者の拡大について検討を進める。

今後の方針																			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																		
母子保健法の改正により、令和3年度から産後ケア事業の実施が市町村の努力義務として法定化された。近年、核家族化や晩婚化、若年妊娠等によって、産前産後の身体的、精神的に不安定な時期に家族等の身近な人の助けが十分に得られず、不安や孤立感を抱いたり、うつ状態の中で育児を行う母親が少なからず存在している状況にあることから、本事業は今後も継続して実施する必要があると考える。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上	削減	維持	増加															
	維持		○																
	低下																		

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	とうきょうママパパ応援事業（出産子育て応援事業）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども子育て支援 課	母子保健 係 内線 621
	根拠法令等	武蔵村山市出産・子育て応援事業実施要綱		
目的	市内の全ての子育て家庭に対して妊娠期から保健師等が面接、相談等を行い、出産・子育てに関する不安を軽減することを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●妊婦の心身の状態及び家庭状況を把握するため、母子健康手帳交付時に妊婦の全数面接を実施する。</li> <li>●面接を受けた妊婦に対し、子育て用品等の育児パッケージを配布する。</li> </ul>			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	妊婦の面接者数	人	目標	460	460	460
								実績	394	347
								達成率	86%	75%
2	—	—	目標	—	—	—				
				実績	—	—				
				達成率	—	—				

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—			
事業費（千円）	16,109	12,524	126,224				
財源内訳	一般財源	1,105	17				19,493
	国都支出金	15,004	12,507				106,731
	その他	0	0				0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0				0
	所要人員（人）	0.00	0.00				0.00
	会計年度任用職員（千円）	0	0				0
	所要人員（人）	0.00	0.00				0.00
合計（事業費+人件費）	16,109	12,524	126,224				

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性	市民との協働により事業を実施しているか		
				必要である	見直しの余地がある	非該当
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>
	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>347人に母子健康手帳を交付し、同数の面接を実施した。</p> <p>また、面接を受けた妊婦を対象として、1万円分の育児パッケージを配布した。</p> <p>なお、正規職員人件費及び会計年度任用職員人件費は、事業費に含む。</p>	<p>課題は特にないが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、妊娠届出者数が減少している（令和元年度：484人、令和2年度：407人、令和3年度：394人、令和4年度：347人）。</p>

今後の方針			
成果	向上	コスト	
		削減	維持
		増加	
			○


【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

今後も、妊婦の全数面接を継続し、面接により産後の支援が必要な方を把握したときは、産後ケア事業につなげていく取組を進める。

また、令和5年度から新たな支援策として、出産・育児等の見通しを立てるための面談や、子育て支援に関する継続的な情報発信を通じて必要な支援につなげる「伴走型相談支援」と、妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対し、出産育児関連用品の購入費等の負担軽減を図る「経済的支援」を一体として実施する。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	とうきょうママパパ応援事業（多胎児家庭支援事業）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども子育て支援 課	母子保健 係 内線 621
	根拠法令等	武蔵村山市多胎児家庭家事育児サポーター事業実施要綱 武蔵村山市多胎児家庭移動経費支援事業実施要綱		
	目的	多胎児を養育する家庭を対象として、家事育児サポーターによる育児等の支援を行うほか、母子保健事業等を利用する際の移動費用の一部を助成し、多胎児家庭の育児等の負担を軽減することを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	家事育児サポーターの利用時間の上限は、1歳未満240時間、2歳未満180時間、3歳未満120時間である。移動経費の助成は、1年間に支出したタクシー料金の実支出額と24,000円を比較していずれか低い額を助成する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	家事育児サポーター事業利用者数	組	目標	10	9	7
				実績	2	3	
達成率				20%	33%		
2	移動経費支援事業利用者数	組	目標	10	9	7	
			実績	0	0		
			達成率	0%	0%		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		363	120	4,019
財源内訳	一般財源	0	1	76
	国都支出金	284	93	3,568
	その他	79	26	375
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,037	994	1,000
	所要人員（人）	0.13	0.13	0.13
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		1,400	1,114	5,019

市民・議会等から寄せられた意見	
-	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●家事育児サポーター利用者数 3組 (内訳：1歳未満1組、2歳未満0組、3歳未満2組)</li> <li>●家事育児サポーター利用時間 52時間 (内訳：1歳未満2時間、3歳未満50時間)</li> <li>●移動経費支援事業利用者数 0組</li> </ul>	移動経費支援事業は令和2年11月から、家事育児サポーター事業は令和3年10月から開始した事業であるが、両事業とも実績が目標値を下回っている。 母子健康手帳の交付時に対象者に対して事業の周知を図っているが、今後も事業の周知に努め、利用者数の増加を図る必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は、同時に2人以上を育児することに伴う身体的、精神的、経済的負担を軽減し、多胎児家庭が安心して子育てをする環境を整備するために必要な事業であり、今後も制度の周知に努め、事業を継続して実施する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	病児保育事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部 子ども子育て支援 課 子ども家庭支援センター 係 内線 621		
	根拠法令等	児童福祉法 子ども・子育て支援法		
目的	病中又は病気の回復期にあって集団保育を受けることが困難な期間にある児童を、医療機関併設の専用施設において一時的な保育を行うことにより、児童の健全な育成及び資質の向上に寄与するとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 		
内容	体温の管理等により、児童の健康状態を的確に把握するとともに、当該児童の状態に応じ、安静を保てるような処遇をすることにより、病気の回復期にある児童に対して適切な保育を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				目標	実績	達成率
1	病児保育の延べ利用人数	人	目標	430	447	464
				実績	311	296
				達成率	72%	66%
2	-	-	目標	-	-	-
				実績	-	-
				達成率	-	-


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		10,732	10,800	11,256	
財源内訳	一般財源	1,228	1,548	1,440	
	国都支出金	9,504	9,252	9,816	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	439	459	462	
	所要人員(人)	0.06	0.06	0.06	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		11,171	11,259	11,718	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴い、近年利用実績が大幅に変動しつつある。令和4年度については、令和3年度までの回復傾向から一転し、減少した。 【実績(延べ利用人数)の推移】 令和元年度…396人 令和2年度…88人 令和3年度…311人 令和4年度…296人	コロナ禍が一段落したことにより、今後は利用ニーズの増加が見込まれるため、引き続き本事業の普及啓発に努め、サービス利用を検討する家庭に本情報を浸透させる。また、委託先の法人とも連携の上、市内保育所等にも周知を進める。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は、病児保育の実施を通じて児童の健全な育成及び資質の向上に寄与するとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的としていることから、今後も継続する必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	子どもショートステイ事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部 子ども子育て支援 課 子ども家庭支援センター 係 内線 621		
	根拠法令等	児童福祉法第 子ども・子育て支援法		
目的	保護者が家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合や、経済的な理由により緊急一時的に当該児童を保護することが必要な場合等に養育及び保護を行うことを目的に実施する。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 		
内容	本事業を実施するに当たり、児童養護施設を有する社会福祉法人に委託し、主に以下の内容を行う。 (1)食事の提供及び身の回りの世話に関すること。 (2)遊び、学習等の生活指導に関すること。 (3)通園又は通学の援助に関すること。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	ショートステイの利用日数（延べ日数）	日	目標	149	149	149
				実績	80	132	
				達成率	54%	89%	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		3,147	3,330	3,605
財源内訳	一般財源	1,862	1,593	1,598
	国都支出金	1,285	1,737	2,007
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	718	688	693
人件費	所要人員（人）	0.09	0.09	0.09
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		3,865	4,018	4,298


市民・議会等から寄せられた意見	
国や東京都が掲げる子ども・子育て施策においても、児童虐待防止、要保護児童の緊急保護等のため、本事業の充実を求められているところである。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が残りつつも、徐々にコロナ禍以前の利用水準に回復した。 【実績（利用延べ日数）の推移】 令和元年度…148日 令和2年度…137日 令和3年度…80日 令和4年度…132日	真に本事業の利用を必要とする児童が、適切に利用することができるよう、事業の普及啓発はもちろんのこと、子ども家庭相談の場のなかで、潜在的なニーズを引き出し、事業に結び付ける必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
本事業は、保護者が家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合等に児童を養護、保護等を行うことを目的としており、児童福祉の観点からも、引き続き実施する必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	休日保育事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	子ども子育て支援法、みらい保育園休日保育実施要項		
	目的	日曜日等の休日に、保護者の就労のため保育を必要とする子どもへの対応並びに保護者の子育て及び就労支援を目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	休日保育の利用時間は、本市の保育認定に応じて、日曜日（祝日は準備ができ次第の受入れ）の7時から18時の間で保育を必要とする時間とする（年末年始は除く。）。また、定員は10名とし、利用料金は徴収しない。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	休日保育の実施設数		施設	目標	1	1
		実績	1		1		
		達成率	100%		100%		
2	休日保育（定員10名）の延べ利用人数		人	目標	60	60	60
				実績	14	5	
				達成率	23%	8%	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		3,328	3,345	3,286
財源内訳	一般財源	1,172	1,157	1,137
	国都支出金	2,010	2,047	2,008
	その他	146	141	141
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	52	50	50
人件費	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		3,380	3,395	3,336


市民・議会等から寄せられた意見	
-	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	廃止・休止した場合の市民への影響
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度の延べ利用者数は5人であり、令和3年度の14人から減少した。	みらい保育園は、令和2年度から令和5年度まで4年間実施していることから、令和6年度より本事業を他の保育園へ移行することを要望している。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和2年度よりみらい保育園で開始した事業であり、休日の保育利用を必要とする保護者が一定数いることから就労支援の一環として実施している。保護者は平日勤務が多く、休日の保育利用は平日と比べて極端に減るものの、需要があることから、今後も本事業の環境を保持し、引き続き保育園に対して事業運営の継続を求めていく必要がある。 今後、みらい保育園での実施から他の保育所等での実施に向けた検討を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
	今後の方針		コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	巡回指導・相談事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市保育所等巡回指導・相談事業実施要綱		
目的	保育所や幼稚園に在籍する発達障害等を有すると思われる児童等の保育・教育を支援するため、相談員（学識経験者、臨床心理士等）が保育所や幼稚園での児童の状況等を観察の上、関係職員に具体的な指導方針等について助言や相談などを行う。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	令和3年度までは、市内の幼稚園4園、認可保育所13園、認証保育所1園を対象に実施していたが、令和4年度から新たに小規模保育所1園を対象に加えて実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	事業実施施設数	施設	目標	18	19	19
							実績	14	14	
達成率	78%	74%								
2	指導・相談延べ回数	回	目標	80	80	80				
			実績	58	55					
			達成率	73%	69%					

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		1,586	1,492	2,702	
財源内訳	一般財源	260	214	667	
	国都支出金	1,326	1,278	2,035	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	2,470	2,367	2,382	
	所要人員（人）	0.31	0.31	0.31	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		4,056	3,859	5,084	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
対象施設：14施設 巡回指導・相談回数：55回	発達が気になる子どもの入所は増加傾向にあることから、今後は保育士への支援だけでなく保護者への支援が重要となるため、家庭との連携が円滑になるよう働きかけていく必要がある。

今後の方針																			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																		
毎年、14施設が巡回相談を利用しており、訪問回数も約50回から60回に及んでいる。巡回相談は、相談員（学識経験者、臨床心理士等）の専門的な見地から指導方針等について具体的な助言や相談などを行っており、保育の質の向上に貢献していることから、今後も本事業を継続する必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上	削減	維持	増加															
	維持		○																
	低下																		



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	保育コンシェルジュ事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	子ども・子育て支援事業計画		
	目的	子育て家庭の「個別ニーズ」を把握し、教育・保育施設及び地域子育て支援事業等の利用を目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	平成28年度から実施しており、職員1人及び保育コンシェルジュ会計年度任用職員1人の合計2人を配置している。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
				1	相談件数	件	目標	—	—
							実績	42	50
達成率	—	—							
2	—	—	目標	—	—				
			実績	—	—				
			達成率	—	—				

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		2,643	3,024	3,176
財源内訳	一般財源	0	1,654	0
	国都支出金	0	0	0
	その他	2,643	1,370	3,176
会計年度任用職員以外の職員(千円)		1,133	1,085	1,092
人件費	所要人員(人)	0.14	0.14	0.14
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		3,776	4,109	4,268


市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効果性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
相談件数50件  通常の窓口対応(入所に関する相談)は、子ども青少年事務の会計年度任用職員を含めて全員で対応するが、母子相談員への相談や、子ども家庭支援センターとの連携が必要と思われる家庭内トラブル等を抱える家庭の場合は、保育コンシェルジュが担当し、関係機関等との連絡、調整を行うことにより効果的に保護者への支援を行っている。	—

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
保育コンシェルジュが担っている保育所の対応に関する相談、家庭内トラブルに関する相談等の件数は、令和3年度が42件、令和4年度が50件であり、前年度と比較して増えていることから本事業のニーズは非常に高い。 また、共働き世帯の増加等を要因として今後も保育需要は高いものと想定されることから、保護者のニーズを的確に把握し、適切に保育サービスを提供するとともに、子ども家庭支援センター等と連携し、家庭内トラブルの解決に結び付けるような支援は今後も必要であるため、本事業を継続していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	ベビーシッター利用支援事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市ベビーシッター利用支援事業実施要綱		
	目的	保育所等の入所待機児童の解消に資することを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	0歳から2歳までの待機児童の保護者又は育児休業を1年間取得した後に復職する保護者を対象として、児童が保育所等に入所できるまでの間、東京都が実施するベビーシッター利用支援事業に基づき東京都の認定を受けたベビーシッター事業者を利用する場合の利用料の一部を補助する。			
対象(交付先)	待機児童の保護者、育児休業を満了し復職する保護者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	0歳から2歳までの待機児童の保護者のサービス利用者数	人	目標	—	3
			実績	—	1	
			達成率	—	33%	
2	育児休業を1年間取得した後に復職する保護者のサービス利用者数	人	目標	—	1	1
			実績	—	0	
			達成率	—	0%	

補助金	事業経費	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
	交付金額(千円)	0	9	120	
一般財源	—	5	60		
国都支出金	—	4	60		
その他	—	0	0		
会計年度任用職員以外の職員(千円)	824	789	794		
所要人員(人)	0.10	0.10	0.10		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	824	798	914		
人件費	—				

収入	交付団体等の決算予算の状況	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	総額(千円)	0	0	0	
市補助金	—	—	—	事業経費	9
会費	—	—	—	使途内訳	
繰越金	—	—	—		
事業収入	—	—	—		
その他	—	—	—		
支出	総額(千円)	0	0	0	割合(%)
交際費、飲食費	—	—	—	団体収入に占める補助金の割合	—
人件費	—	—	—	団体収入に占める繰越金の割合	—
事業経費	—	—	—	交付金額に対する繰越金の割合	—
その他	—	—	—		

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない		
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度の利用者は1人であった。	東京都の単年度事業のため、今後事業が継続されるかが課題である。


今後の方針  
 拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

【今後の方向性】  
 本事業は、待機児童解消対策の一環として実施しており、毎年、東京都、全国保育サービス協会及び本市の三者間による連携協力によりベビーシッター利用支援事業(ベビーシッター事業者連携型)に関する協定を締結している。  
 本市の待機児童の状況については、新定義では令和4年度に引き続き令和5年度も0人である。ただし、旧定義では令和5年4月1日現在で19人となっているため、必要に応じ市ホームページや窓口において本事業を周知して利用を促進する。

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	子どもカフェ運営事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部 子ども子育て支援 課 子ども家庭支援センター 係 内線 621		
	根拠法令等	武蔵村山市子どもカフェ事業実施要綱 武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画		
	目的	乳幼児及びその保護者が気軽に集い、交流を図る場を提供する子どもカフェ事業を実施することにより、乳幼児に安全な遊び場を提供するとともに、保護者の子育てに対する不安感、負担感を緩和し、もって児童福祉の向上及び子育て世代の負担の軽減を図ることを目的とする。	SDGsの取組 17 パートナリーシップで目標を達成しよう	
内容	以下の内容を行う。 (1)乳幼児とその保護者が気軽に集い、交流を図る場の提供 (2)子育てに関する相談の受付及び対応並びに子育て関連情報の収集及び提供 (3)利用者交流会等の開催			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	開催回数	回
			実績	141	142	
			達成率	118%	101%	
2	参加者数	人	目標	1,200	1,400	1,500
			実績	1,140	1,457	
			達成率	95%	104%	

事業経費				令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)				4,780	4,840	6,078
財源内訳	一般財源			2,390	2,420	3,039
	国都支出金			2,390	2,420	3,039
	その他			0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)			320	459	462
	所要人員(人)			0.04	0.06	0.06
	会計年度任用職員(千円)			0	0	0
	所要人員(人)			0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)				5,100	5,299	6,540

**市民・議会等から寄せられた意見**


市民と市長のタウンミーティングにおいて、市民から「子育て中の保護者が気軽に交流し、育児の疲れを癒してリフレッシュできる場を作っていただきたい」と、本事業の開始を要望された経緯がある。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<p>令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が残る中、目標を上回る開催回数及び参加者数の実績であった。</p> <p>なお、平成30年度に実施した本事業に対する行政評価委員会からの意見に基づき、1か月間、本市西部に位置する三ツ木地区会館を活用し出張子どもカフェ事業を試行実施したところ、参加者には大変好評であり、相応の実績となった。その結果を踏まえて、「子どもカフェ事業在り方検討委員会」を開催し、今後の本事業についての方向性を報告書として取りまとめた。</p>	<p>現在は、委託法人が民家を借り受けて事業を実施しているものの、事業継続に当たっては、貸主の今後の契約に係る意向や当該民家の老朽化に伴う補修の必要性があることが懸念される。</p> <p>そのため、今後の安定した事業運営に際しては、適切な拠点の確保が必要となると考えられる。また、類似事業等との統合を検討することで、より効果的な親子の居場所づくりを展開したいと考えている。</p>

今後の方針																									
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																									
<p>本事業は、乳幼児及びその保護者が気軽に集い、乳幼児に安全な遊び場を提供するとともに、保護者の子育てに対する不安感、負担感を緩和し、子育て世代の負担の軽減等を図ることを目的としており、今後も継続していく。</p> <p>なお、今後は、「子どもカフェ事業在り方検討委員会」における検討結果を踏まえ、開催場所の適地を検討するとともに、子ども青少年課が実施する児童館事業と整理統合し、事業内容の充実とコストの抑制に向けて協議、検討等を行っていく方針である。</p>																									
<table border="1" style="margin-left: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="4">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="4">コスト</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				今後の方針				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○	維持			低下		
今後の方針																									
コスト																									
	削減	維持	増加																						
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																									

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	子どもの医療費助成事業（乳幼児分）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	手当・青少年 係 内線 185
	根拠法令等	武蔵村山市子どもの医療費の助成に関する条例 武蔵村山市子どもの医療費の助成に関する条例施行規則		
	目的	乳幼児の保健の向上と健やかな育成を図り、もって子育ての支援に資する。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	乳幼児（6歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）を養育している者に対して、病院等で診療を受けた場合に、各保険法の規定に基づき窓口で支払う自己負担分を助成する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
				1	対象人数（各年度末時点）	人	目標	—	—
							実績	3,645	3,456
達成率	—	—							
2	助成金額	円	目標	—	—				
			実績	119,440,414	119,515,223				
			達成率	—	—				

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		135,258	133,983	149,696	
財源内訳	一般財源	70,977	70,190	77,898	
	国都支出金	64,281	63,793	71,798	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	7,976	7,642	7,692	
	所要人員（人）	1.00	1.00	1.00	
	会計年度任用職員（千円）	1,343	1,432	1,425	
	所要人員（人）	1.00	1.00	1.00	
合計（事業費+人件費）		144,577	143,057	158,813	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
医療助成費：119,515,223円 審査支払委託料：3,629,125円  対象人数については、少子化等の影響により減少傾向にある。医療助成費については、令和3年度と比較してほぼ横ばいの状態となっている。	—

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は、乳幼児の医療費を助成することにより、子どもの疾病等の早期発見や治療の促進など、乳幼児の保健の向上と健やかな育成に大きく寄与する事業であることから、今後も継続すべき事業である。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																						



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	子どもの医療費助成事業（学齢児童分）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	手当・青少年 係 内線 185
	根拠法令等	武蔵村山市子どもの医療費の助成に関する条例 武蔵村山市子どもの医療費の助成に関する条例施行規則		
	目的	学齢児童の保健の向上と健やかな育成を図り、もって子育ての支援に資する。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	学齢児童（6歳に達する日の翌日以後の4月1日から15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）を養育している者に対して、病院等で診療を受けた場合に、各保険法の規定に基づき窓口で支払う自己負担分を助成する。ただし、通院1回につき200円の自己負担がある。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	対象人数（各年度末時点）	人	目標	—	—	—
				実績	5,421	5,242	
達成率				—	—		
2	助成金額	円	目標	—	—	—	
			実績	125,266,707	127,459,904		
			達成率	—	—		


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見					
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算						
事業費（千円）	140,892	141,662	170,618	—					
財源内訳	一般財源	1,170	52				3,219		
	国都支出金	139,722	141,610				167,399		
	その他	0	0				0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	7,976	7,642				7,692		
	所要人員（人）	1.00	1.00				1.00		
	会計年度任用職員（千円）	1,343	1,432				1,425		
所要人員（人）	1.00	1.00	1.00						
合計（事業費+人件費）	150,211	150,736	179,735						

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
医療助成費：127,459,904円 審査支払委託料：3,363,675円  対象人数については、少子化等の影響により減少傾向にある。医療助成費については、令和3年度と比較してほぼ横ばいの状態となっている。	—

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は、学齢児童の医療費を助成することにより、子どもの疾病等の早期発見や治癒の促進など、学齢児童の保健の向上と健やかな育成に大きく寄与する事業であることから、今後も継続すべき事業である。 なお、子育て支援をより一層充実させていくため、令和5年10月1日から本事業の所得制限を撤廃する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	認可外保育施設利用支援事業補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	令和4年度武蔵村山市認可外保育施設利用支援事業補助金交付要綱、東京都認可外保育施設利用支援事業補助要綱、保育所等利用多子世帯負担軽減事業費補助金		
	目的	認証保育所等を利用する児童の保護者に対し、補助金を交付することにより、経済的負担を軽減し、もって児童福祉の増進に資することを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	【利用者支援】保護者の市町村民税所得割課税額により5,000円から20,000円の範囲内で補助する。(市町村民税所得割課税額が143,400円以上の保護者及び無償化給付対象児童は対象外) / 【多子世帯支援】保育料から無償化の給付額(非課税世帯に属する0~2歳児:42,000円、3~5歳児:37,000円)を引いた金額と多子世帯支援の補助金額を比べていずれか低い金額を補助する。			
対象(交付先)	認証保育所を利用する児童の保護者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	利用者支援延べ児童数	人
			実績	50	34	
			達成率	42%	28%	
2	多子世帯支援延べ児童数	人	目標	108	108	108
			実績	55	60	
			達成率	51%	56%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算				
交付金額(千円)	1,547	1,492	4,800		-		
一般財源	288	203	1,200				
国都支出金	1,259	1,289	3,600				
その他	0	0	0				
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	412	395	397	他市等の状況		
	所要人員(人)	0.05	0.05	0.05			
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(補助金+人件費)				1,959	1,887	5,197	

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額(千円)	0	0	0	0	交付金額(千円)	1,492
市補助金	-	-	-	-	交際費、飲食費	1,492
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	総額(千円)	0	0	0	割合(%)	
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	-
人件費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	-
事業経費	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	-
その他	-	-	-	-		

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	効果率	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度は令和3年度補助実績に比べおおむね横ばいとなった。	-

今後の方針


【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

保育ニーズの多様化により、認可外保育施設の利用者も増加傾向にあると思われる。子ども子育て支援の一環として認証保育所等を利用する児童の保護者に対する経済的負担の軽減を図る観点からも、本補助金は必要であるため今後も継続していく。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	民間保育所運営費補助事業（保育士採用助成特別加算）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	民間保育所運営費補助金交付要綱		
	目的	常勤の保育士の確保に係る派遣業者等へ支払う紹介料又はこれに類する経費の一部を補助することにより、保育内容の充実並びに児童及び職員の処遇向上に寄与し、もって児童福祉の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	対象経費算定基準額30万円と実際に事業者が支出した額を比べて低い方の額を補助する。			
対象（交付先）	市内の民間保育所			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	確保した常勤保育士数	人
			実績	5	8	
			達成率	63%	100%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	1,500	2,400	2,400		-
一般財源	1,500	2,400	2,400		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.05	0.05	0.05		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	1,912	2,795	2,797		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円） 2,400
市補助金	-	-	-	-	事業経費 2,400
会費	-	-	-	-	
繰越金	-	-	-	-	
事業収入	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	
支出	総額（千円）				割合（%）
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合
人件費	-	-	-	-	—
事業経費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合
その他	-	-	-	-	—
					交付金額に対する繰越金の割合
					—

視点別の分析	内容	評価	
		必要である	見直しの余地がある
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
率	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
補助対象施設数は、令和3年度は3園、令和4年度は6園である。	市内民間保育所から本事業を要望され、平成29年度から実施している。 平成29年度は、東京都市町村総合交付金まちづくり振興割地域特選事業枠による補助を利用したが、平成30年度以降、同補助は「毎年度同一内容で実施されており、定例的であると認められる事業」として採択されないことから、国及び都の補助はない。


【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

保育士採用募集に伴う紹介料等の一部を助成しているものであり、保育士確保の観点から継続することが望まれる。

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	民間保育所運営費補助事業（医療的ケア児支援加算）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	民間保育所運営費補助金交付要綱		
	目的	ネブライザー（吸入器）の管理等が必要な医療的ケア児の入所を受け入れた保育園に対し、保健師人件費の一部を補助することにより、保育内容の充実並びに児童及び職員への処遇向上に寄与し、もって児童福祉の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	対象経費算定基準額45万円と実際に事業者が支出した額を比べて低い方の額を補助する。			
対象（交付先）	民間保育所			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	補助対象施設数	園
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	0	0	0		-
一般財源	-	-	-		
国都支出金	-	-	-		
その他	-	-	-		
会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	0		他市等の状況
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	0	0	0		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円）	-
市補助金	-	-	-		使途内訳	
会費	-	-	-			
繰越金	-	-	-			
事業収入	-	-	-			
その他	-	-	-			
支出	総額（千円）	0	0	0		
交際費、飲食費	-	-	-		割合（%）	
人件費	-	-	-		団体収入に占める補助金の割合	-
事業経費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合	-
その他	-	-	-		交付金額に対する繰越金の割合	-

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か					
				市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
				一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	受益がある	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	明確である	<input type="checkbox"/>	不明確な部分がある	
				補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	効果がある	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	設定している	<input type="checkbox"/>	設定していない					
			<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和3年度及び令和4年度ともに補助対象となる施設数がないため補助実績なし。	当初予算には計上していないため、補助対象に該当する施設があった場合には予算を補正して対応する。

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了


日常的に医療的ケアを必要とする医療的ケア児を受け入れる環境づくりは重要であり、本事業を継続する必要がある。

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）



武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	民間保育所分園運営費補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	令和4年度武蔵村山市民間保育所分園運営費補助金交付要綱		
	目的	賃貸物件を用いた保育所の分園において児童福祉法第39条の規定による保育を行う保育所分園の設置者に対してその賃借料の一部を補助することにより、保育所分園の整備を促進し、もって保育所待機児童の解消に資することを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	保育所分園の設置者が支払った毎月の賃借料の額と150,000円を比較していずれか少ない額とする。 ※実際の毎月の賃借料：450,000円 建物面積：172.00㎡、敷地面積：654.56㎡			
対象(交付先)	社会福祉法人三宝会 まどか保育園分園(残堀一丁目48番地の3)			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	保育所分園の設置数	施設
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	保育所分園(定員29名)の入所人数(各3月1日付)	人	目標	29	29	29
			実績	29	29	
			達成率	100%	100%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額(千円)	1,800	1,800	1,800		-
一般財源	1,800	1,800	1,800		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	258	247	249	他市等の状況
	所要人員(人)	0.03	0.03	0.03	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(補助金+人件費)	2,058	2,047	2,049		-

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額(千円)	0	0	0	0	交付金額(千円)	1,800
市補助金	-	-	-	-	賃借料	1,800
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
総額(千円)	0	0	0	0		
支出	交際費、飲食費	-	-	-	割合(%)	
	人件費	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	—
	事業経費	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	—
	その他	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	—

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
対象：まどか保育園分園 補助額：1,800千円	-


今後の方針  
 拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

本補助金は、保育所分園の設置者に対してその賃借料の一部を補助することにより、保育所待機児童の解消に資することを目的としているものである。  
 本市の待機児童(新定義)の状況について、令和3年度は18人であったが、令和4年度及び令和5年度は0名となっており、今後も待機児童の解消を継続していくためには、保育所分園の運営を維持することが望ましく、本補助金を継続する必要があると考える。

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	保育サービス推進事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	東京都保育サービス推進事業補助金交付要綱 武蔵村山市保育サービス推進事業補助金交付要綱		
	目的	地域の实情に応じて保育サービスの向上を図るため、特別保育事業、地域子育て支援事業等を推進する取組を行う保育所等に対し、その取組に要する費用の一部を補助することにより、保育サービスの質の向上を図り、もって児童福祉の向上に寄与することを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	小規模保育事業者に対し東京都保育サービス推進事業補助金交付要綱に規定する次の①から③までの加算項目ごとに算定した額を補助する。 ①特別保育事業等推進加算、②地域子育て支援推進加算、③第三者評価受審費加算			
対象(交付先)	市内の小規模保育所(大南つばみ保育園)			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	特別保育事業等推進加算の対象となる事業の実施数	事業
			実績	—	3	
			達成率	—	50%	
2	地域子育て支援推進加算の対象となる事業の実施数	事業	目標	—	1	1
			実績	—	1	
			達成率	—	100%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額(千円)	0	2,954	2,399		—
一般財源	—	1,477	1,200		
国都支出金	—	1,477	1,199		
その他	—	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)				他市等の状況
所要人員(人)	0.10	0.10	0.10		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	824	3,743	3,193		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額(千円)	0	0	0		交付金額(千円) 2,954	
市補助金	—	—	—		事業経費 2,954	
会費	—	—	—			
繰越金	—	—	—			
事業収入	—	—	—			
その他	—	—	—			
支出	総額(千円)					
交際費、飲食費	—	—	—			
人件費	—	—	—			
事業経費	—	—	—			
その他	—	—	—			
					割合(%)	
					団体収入に占める補助金の割合	—
					団体収入に占める繰越金の割合	—
					交付金額に対する繰越金の割合	—


視点別の分析	内容	評価	
		判定	理由
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
率	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度は、小規模保育所(大南つばみ保育園)において各種加算の対象となる次の事業を実施した。 ●特別保育事業等推進加算 「零歳児保育対策実施かつ産休明け保育実施」、「障害児保育」及び「育児困難家庭への支援」に該当する事業を実施した。 ●地域子育て支援推進加算 「保育拠点活動支援」に該当する事業を実施した。	—

今後の方針	
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は、平成27年4月から始まった子ども・子育て支援新制度における地域型保育事業の一環であり、地域における多様なニーズにきめ細かく対応し、質が確保された保育を提供することにより、0歳児から2歳児までの低年齢児の待機児童対策にも寄与するものである。 本市では、特別保育事業等推進加算の対象のうち六つ(①零歳児保育対策実施かつ産休明け保育実施、②アレルギー児対応、③育児困難家庭への支援、④外国人児童受入れ、⑤障害児保育、⑥休日保育)を推進したいと考えており、未実施の三つについては今後取組できるよう働きかけていく。	今後の方針 コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 ○ 低下

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	保育力強化補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市保育力強化事業補助金交付要綱、保育力強化事業補助要綱		
	目的	地域の实情に応じた多様な保育ニーズに対応する事業を実施する認証保育所に対し、事業に要する経費を補助することにより、児童福祉の増進を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	障害児保育、アレルギー児対応、外国人児童受入れ、第三者評価審議費等のうち東京都が定める当該年度の「子供家庭支援区市町村包括補助事業における保育力強化事業の算定基準について（通知）」により算出した額の合計額			
対象（交付先）	認証保育所 アレグロバンピーノ			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	保育力強化事業数	事業
			実績	1	1	
			達成率	20%	20%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	716	673	1,876		—
一般財源	0	0	0		
国都支出金	716	673	1,876		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.05	0.05	0.05		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	1,128	1,068	2,273		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円） 673	
市補助金	—	—	—		人件費 673	
会費	—	—	—			
繰越金	—	—	—			
事業収入	—	—	—			
その他	—	—	—			
支出	総額（千円）					
交際費、飲食費	—	—	—			
人件費	—	—	—			
事業経費	—	—	—			
その他	—	—	—			
					割合（％）	
					団体収入に占める補助金の割合	—
					団体収入に占める繰越金の割合	—
					交付金額に対する繰越金の割合	—

視点別の分析	内容	評価	
		○	□
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
率	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度も前年度に比べおおむね同額の補助実績となった。	—

今後の方針


【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

多様な保育ニーズに対応し、地域の实情に応じた保育サービスの向上を図るため、認証保育所の障害児保育、アレルギー児対応等の取組を今後も支援する必要がある。

		今後の方針		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	保育士等キャリアアップ補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市保育士等キャリアアップ補助金交付要綱 東京都保育士等キャリアアップ補助金交付要綱		
	目的	職務内容等に応じた賃金体系を設定し、保育士等の資質向上の計画に沿った研修の実施等を行う認証保育所に対し、保育士等に係る賃金改善に要する費用の一部を補助することにより、保育サービスの質の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	要綱に定めるキャリアパス要件を満たし、補助対象施設・事業に従事する職員（非常勤職員を含み、経営に携わる法人等の役員である職員を除く。）の人件費のうち、賃金改善に要した費用とする。			
対象（交付先）	認証保育所及び小規模保育事業所（小規模保育事業所は令和4年度から対象）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	賃金改善した保育士等の延べ人数	人
			実績	144	326	
			達成率	32%	71%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
補助金	交付金額（千円）	5,628	7,409	10,254	
	一般財源	0	1,715	2,299	
	国都支出金	5,628	5,694	7,955	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	412	395	770	他市等の状況
	所要人員（人）	0.05	0.05	0.10	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（補助金+人件費）		6,040	7,804	11,024	—

交付団体等の決算予算の状況		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
収入	総額（千円）	0	0	0	
	市補助金	-	-	-	人件費 7,409
	会費	-	-	-	
	繰越金	-	-	-	
	事業収入	-	-	-	
支出	総額（千円）	0	0	0	
	交際費、飲食費	-	-	-	
	人件費	-	-	-	
	事業経費	-	-	-	
	その他	-	-	-	

視点別の分析	内容	評価	
		必要である	見直しの余地がある
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効果性	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度から新たに小規模保育所大南つぼみ保育園が対象となったため、実績は延べ362人となり、前年度と比較して倍以上の保育士の賃金改善を行った。 【内訳】 認証保育所：延べ162人 小規模保育所：延べ164人	—

今後の方針

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了


		今後の方針		
		コスト		
成果	向上	削減	維持	増加
	維持		○	
	低下			

保育士等の働きやすい環境を整備するとともに、保育サービスの質の向上を図るため、保育士等のキャリアアップに向けた取組については、今後も実施する必要がある。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)



武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	保育従事職員資格取得支援事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市現任保育従事職員資格取得支援事業補助金交付要綱		
	目的	市内の保育所等が雇用する保育従事職員が保育士資格を取得することを支援することにより、保育士資格取得者の拡充を図り、もって子どもを安心して育てることができる体制を整備することを目的とする。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	保育士資格を有していない保育従事職員のうち、保育士試験を受験するための学習等に要した費用の一部を助成する。 対象経費：受験料（合格者には、教材費及び講習受講料を追加）			
対象（交付先）	市内の民間保育所			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	保育士試験受験者数	人
			実績	5	5	
			達成率	71%	71%	
2	保育士試験合格者数	人	目標	3	3	3
			実績	1	1	
			達成率	33%	33%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	72	66	1,370		他市等の状況 —
一般財源	0	15	0		
国都支出金	72	51	1,265		
その他	0	0	105		
会計年度任用職員以外の職員（千円）	412	395	397		
所要人員（人）	0.05	0.05	0.05		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	484	461	1,767		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円） 66
市補助金	-	-	-		その他 66
会費	-	-	-		
繰越金	-	-	-		
事業収入	-	-	-		
その他	-	-	-		
総額（千円）	0	0	0		
支出					割合（%）
交際費、飲食費	-	-	-		団体収入に占める補助金の割合 —
人件費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合 —
事業経費	-	-	-		交付金額に対する繰越金の割合 —
その他	-	-	-		


視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

所管課の評価	令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
	保育士試験受験者数は、令和3年度は2園・5人であり、令和4年度も2園・5人で同数となった。	本事業による保育士試験に係る補助は、合格することが要件であり、合格者には、2年分の教材費等が補助対象となるため、常に予算の確保が必要である。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
今後、保育士の不足が予想される中、保育従事職員の働きやすい環境を整備するとともに、保育サービスの質の低下に対しても対策が必要であることから、保育士の資格取得を支援する本事業は、今後も保育士確保のための取組として必須の事業である。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
	向上		
維持	○		
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	保育従事職員宿舍借上支援事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市保育従事職員宿舍借上支援事業補助金交付要綱		
	目的	保育従事職員のために宿舍の借上げを行う保育事業者に対して、その経費の一部を補助することにより、保育従事職員の確保を図り、もって児童福祉の向上に資することを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	事業者が実際に支出した額から寄附金その他の収入額を差し引いて得た額と、補助対象月数に82,000円を乗じて得た額とを比較して、いずれか少ない方の額に8分の7を乗じて得た額			
対象（交付先）	市内の民間保育所			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	宿舍を借り上げた保育従事職員数	人
			実績	46	43	
			達成率	77%	72%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	24,696	22,659	39,690		-
一般財源	3,506	3,244	13,230		
国都支出金	21,190	19,415	26,460		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.10	0.10	0.10		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	25,520	23,448	40,484		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円） 22,659	
市補助金	-	-	-	-	事業経費 22,659	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	総額（千円）					
交際費、飲食費	-	-	-	-		
人件費	-	-	-	-		
事業経費	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
					割合（%）	
					団体収入に占める補助金の割合	-
					団体収入に占める繰越金の割合	-
					交付金額に対する繰越金の割合	-

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か				
				市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
				一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
				廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	受益がある	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
				補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない
				補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	明確である	<input type="checkbox"/>	不明確な部分がある
				補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	効果がある	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある
				補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	設定している	<input type="checkbox"/>	設定していない				
			<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある		

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和3年度は、保育所13か所で対象者46名、令和4年度は、保育所13か所で対象者43名の利用があった。	東京都の時限立法の補助金である。

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

保育士の確保は、保育所にとって喫緊の課題であり、受入児童数にも影響を及ぼすことから、保育従事職員の処遇向上を図ることは重要であり、保育従事職員の確保と定着につなげるため、今後も本事業を継続していく必要がある。


成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		保育従事職員宿舎借上支援事業	
所管部署		子ども家庭部 子ども青少年課 保育・幼稚園係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・一般市民にも間接的な受益があるか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・補助基準は明確か</li> <li>・補助金の交付により期待された効果が得られたか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助内容や補助額の見直しは可能か</li> <li>・補助期間を設定しているか</li> <li>・類似の補助金との統合は可能か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、保育従事職員のために宿舎の借上げを行う保育事業者に対し、その経費の一部を補助するものであり、保育人材の確保に一定の成果を挙げていることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>また、本市独自の取組として補助の対象とする職員について採用後の年数による制限を設けず、保育人材の定着等につなげていることや、保育事業者からの毎月の報告により継続的に補助対象職員の在籍確認を行い、適正に運用していることは評価できる。</p> <p>よって、今後も補助金が適正に利用されていることを確認する体制を維持しながら、保育人材の確保に努めていくことが肝要である。</p>		

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	児童館親子ひろば事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	児童館 内線 565-3825
	根拠法令等	児童福祉法、武蔵村山市立児童館設置条例等		
目的	乳幼児とその保護者に交流の場を提供し、居場所づくりや子育て世代の負担軽減等を目的とする。	SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに		
内容	児童館の午前中の比較的利用者が少ない時間帯を利用し、乳幼児及びその保護者を対象に歌遊びや絵本の読み聞かせなどを行いながら交流や子育て相談できる居場所の提供を図る。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	事業開催回数	回
			実績	48	48	
			達成率	100%	100%	
2	事業参加者延べ人数	人	目標	1,200	1,200	1,200
			実績	1,002	1,123	
			達成率	84%	94%	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		1,822	1,822	1,822
財源内訳	一般財源	912	911	911
	国都支出金	910	911	911
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	80	77	77
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員(千円)	41	43	43
	所要人員(人)	0.03	0.03	0.03
合計(事業費+人件費)		1,943	1,942	1,942

**市民・議会等から寄せられた意見**

市民から以下のおり意見があった。


- 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策がされていたので安心して参加できた。
- 日頃のちょっとした悩みごとや心配ごとを相談できる。
- お友だちと関わって遊ぶ姿が見られて嬉しい。
- もう少し回数を増やしてもらいたい。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながらの実施であったため、年度開始当初は参加人数が少なかったが、年間を通して見ると前年度より参加人数が増加した。</p> <p>このような状況下においても、感染防止対策を講じながら、内容を工夫し予定どおりの開催ができた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行したものの、今後も感染防止対策は継続する必要があるため、保護者や子ども同士の関わりを増やしなが、より多くの乳児、保護者に参加してもらえるよう、活動内容や開催場所を工夫する。</p>

今後の方針																								
<p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>令和4年度は48回実施し、延べ1,123人の乳児及び保護者が親子ひろばに参加し、有意義な時間を過ごしている。また、一人で子育てし仲間づくりをしたい保護者もいる中で、本事業の存在意義は高まっている。</p> <p>なお、令和6年度から子ども子育て支援課の「健やかひろば事業」に統合されるため、本事業としては発展的に充実するものである。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	子ども食堂推進事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部 子ども子育て支援 課 子ども家庭支援センター 係 内線 621		
	根拠法令等	武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画		
目的	民間団体等が行う地域の子どもやその保護者への食事や交流の場を提供する取組に対し、補助金を交付することにより安定的な実施環境を整備し、地域に根差した活動を支援することを目的とする。	SDGsの取組 2 飢餓をゼロに 		
内容	以下の内容を行う。 (1)子ども食堂を開設し、同所で子ども等へ食事や交流の場を提供すること。 (2)子ども食堂にて料理等した弁当や食材を配食又は宅食すること。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	子ども食堂の実施数	か所	目標	4	4	5
				実績	3	5	
				達成率	75%	125%	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		949	2,642	5,540	
財源内訳	一般財源	466	378	1,440	
	国都支出金	483	2,264	4,100	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	479	459	462	
	所要人員(人)	0.06	0.06	0.06	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		1,428	3,101	6,002	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が残る中、東京都の子ども食堂支援策の充実もあり、堅調に子ども食堂の実施数が増加した。 また、令和4年度末時点において、既に数件の子ども食堂の開設相談を受けており、今後も実施数の増加が見込まれる。	現在は、東京都の子ども食堂支援策の充実もあり、本市においても子ども食堂に対して手厚い財政的な支援を実施することが可能となっているものの、今後の国や東京都の方針によっては流動的となるリスクもあり、国や東京都の施策を注視する必要がある。 なお、現在実施している子ども食堂は、開催日や開催場所のばらつきがあることから、市が調整し平準化を図ることも考える必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
令和4年度末時点において、既に数件の子ども食堂の開設相談を受けており、それらが全て開設することができた場合は、7か所程度の子ども食堂の実施となることから、運営団体に補助金を交付することにより財政的な支援を行う。 また、財政的な支援のみならず、運営面等についても社会福祉協議会と協働しながら、円滑な子ども食堂の開設に向けた支援を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	新・放課後子ども総合プラン事業			
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援			
	所管部署	教育 部	文化振興 課	生涯学習 係	内線 652
	根拠法令等	武蔵村山市放課後子供教室実施要綱			
目的	放課後の余裕教室等を活用し、地域住民の参加及び協力を得て、子供たちの安全で健やかな居場所づくりを推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	子供たちの安全で健やかな居場所づくりのため、学校給食のある日の放課後に余裕教室等を活用し、地域住民の参加及び協力を得て、午後5時まで放課後子供教室を運営している。併せて学校と学童クラブが隣接している小学校については、一体型事業の推進をしている。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	放課後子供教室の実施校数	校
			実績	7	9	
			達成率	78%	100%	
2	学童クラブと一体型の運営を行う放課後子供教室の設置校数	校	目標	6	6	6
			実績	5	6	
			達成率	83%	100%	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費(千円)	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	-		
財源内訳						
一般財源	15,447	14,448	28,905			
国都支出金	17,313	22,561	21,741			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,393	3,286	3,308			
所要人員(人)	0.30	0.43	0.43			
会計年度任用職員(千円)	403	501	499			
所要人員(人)	0.30	0.35	0.35			
合計(事業費+人件費)	35,556	40,796	54,453			

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	市民のニーズに適合しているか
	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響
	影響は大きい <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	民間委託等は可能か
	<input type="checkbox"/> 困難である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	


令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年9月から、未実施であった第三小学校及び第十小学校で放課後子供教室を開始したことにより、市内全小学校での実施となった。 放課後子供教室と学童クラブの一体型事業については、実施に向け調整を行ったが、新型コロナウイルス感染症の感染状況及び学童クラブ職員の意見等により、実施を見送った。	事業に従事するコーディネーターやサポーターを務める地域住民等の人材を十分に確保できていない学校があり、今後の安定的な事業運営及び推進に当たり、人材の確保が大きな課題となっている。 参加児童数が多い学校においては、余裕教室がなく、放課後子供教室の実施場所の確保も課題である。また、原則として、参加を希望する全ての児童を受け入れているが、コーディネーターやサポーターでは手に負えない児童もあり、児童及び保護者への対応に苦慮している。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
令和4年9月より、市内全小学校で放課後子供教室を実施することができたため、今後も継続していけるよう注力していく。 また、新型コロナウイルス感染症の予防等のため実施を見送っている放課後子供教室と学童クラブの一体型事業についても、実施できるよう検討、推進していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)



武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	老人福祉施設整備費助成事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉		
	所管部署	健康福祉部	高齢福祉課	管理係 内線 632
	根拠法令等	①武蔵村山市社会福祉法人に対する助成に関する条例、②武蔵村山市社会福祉法人に対する助成に関する条例施行規則、③武蔵村山市老人福祉施設等整備助成要綱、④令和5年度地域密着型サービス等整備助成事業補助金交付要綱、⑤令和5年度東京都介護施設等の施設開設準備経費等支援事業補助金交付要綱		
	目的	在宅での介護が困難な高齢者が、身近な施設を利用できるように民間活力を導入しながら、老人福祉施設の整備を促進する。また、社会的援護を必要とする高齢者の増加に伴い、地域の中で生活ができるよう地域密着型サービスの充実を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	社会福祉法人が設置する特別養護老人ホーム等の建設費の一部を補助するものである。定期巡回・随時対応型訪問介護看護を開始する事業者を公募により指定を行い、開設に係る経費を補助するもの。			11 住み続けられるまちづくりを 
対象（交付先）	社会福祉法人恭篤会特別養護老人ホームむさし村山苑、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を新規開設する事業者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	市内の特別養護老人ホーム3施設（伊奈平苑、サンシャインホーム、むさし村山苑）のうち助成を行う施設数	施設
2	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の新規開設	施設	実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
			目標	1	1	1
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
			目標	1	1	1

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
補助金	交付金額（千円）	9,553	9,553	26,219	-
	一般財源	9,553	9,553	26,219	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	459	462	他市等の状況 近隣市（東大和市、東村山市、溝瀬市、東久留米市）においても、社会福祉法人が設置する特別養護老人ホーム等の建設費の一部を市単独補助にて実施している。
	所要人員（人）	0.01	0.06	0.06	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（補助金+人件費）		9,633	10,012	26,681	

交付団体等の決算予算の状況	令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
	収入	総額（千円）	0	0	0	0	0	0	0
市補助金		-	-	-	-	-	-	-	-
会費		-	-	-	-	-	-	-	-
繰越金		-	-	-	-	-	-	-	-
事業収入		-	-	-	-	-	-	-	-
その他		-	-	-	-	-	-	-	-
支出	総額（千円）	0	0	0	0	0	0	0	
	交際費、飲食費	-	-	-	-	-	-	-	
	人件費	-	-	-	-	-	-	-	
	事業経費	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	-	

交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
交付金額（千円）	9,553
使途内訳	
割合（％）	
団体収入に占める補助金の割合	—
団体収入に占める繰越金の割合	—
交付金額に対する繰越金の割合	—


視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	
		補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない	
有効性					
効率性					
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度は、社会福祉法人恭篤会特別養護老人ホーム「むさし村山苑」施設整備費として9,553千円の補助金を交付した。なお、新規開設の公募に対する応募事業所はなかった。	-

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
社会福祉法人が設置する特別養護老人ホーム等の建設費の一部の補助や、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を新規開設する事業者に対する開設に係る経費の補助により、介護保険サービス基盤の充実を図り、もって高齢福祉の向上及び本市における入所待機高齢者の減少に寄与できることから現状を維持し対応していく必要がある。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉		
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	高齢者支援 係 内線 632
	根拠法令等	武蔵村山市在宅医療・介護連携支援センター事業実施要綱		
	目的	高齢者が住み慣れた地域での生活を持続していけるよう、市、地域包括支援センター、医療機関、介護サービス事業所、地域住民等の連携強化を図る。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	医療と介護の連携強化を図るため、在宅医療・介護連携推進協議会及び在宅医療・介護連携支援センターの運営を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	在宅医療・介護連携推進協議会の開催件数	件
			実績	2	3	
			達成率	67%	100%	
2	多職種連携研修会及び専門職勉強会の開催件数	件	目標	4	4	4
			実績	4	4	
			達成率	100%	100%	

事業経費				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
事業費(千円)				9,919			10,017			10,514		
財源内訳	一般財源	1,909			2,442			2,024				
	国都支出金	5,715			5,647			6,569				
	その他	2,295			1,928			1,921				
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)			2,792			2,675			2,693		
	所要人員(人)			0.35			0.35			0.35		
	会計年度任用職員(千円)			0			0			0		
	所要人員(人)			0.00			0.00			0.00		
合計(事業費+人件費)				12,711			12,692			13,207		

市民・議会等から寄せられた意見

—

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<p>令和4年度は、継続して、地域における医療・介護資源情報を活用し、市内関係機関に情報提供を行った。</p> <p>在宅医療・介護連携に関する関係機関への相談支援では、多職種が集う研修会で事業マネジメントの基本を共有した。</p> <p>また、医療・介護関係者向けの研修会では、関係者が精神疾患が疑われる方へ不安なく対応できるよう精神疾患関連の医療知識や、身寄りのない方への支援について学ぶ機会を設けた。その他、前年度に引き続き、地域住民へ正しい知識を身につけてもらうため、在宅療養をテーマとした映画のオンライン上映を行い、普及啓発を実施した。</p>	<p>以前は、地域住民向けの施策として講演会を開催していたが、コロナ禍以降はオンライン上映による普及活動に留まっている。上映についても専門職の視聴割合が多く、住民参加型の企画等により、地域住民の理解促進を向上させる必要があると考えている。</p>


今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
引き続き、本市の実情に沿って、専門職が互いの専門性を理解し、市民が安心して暮らせるまちづくりに向けた事業を検討する。			
在宅医療・介護連携支援センターの相談支援対応や多職種連携研修会を通じて、専門職が本事業について十分に理解するよう取り組む。また、新たに市内専門職へのアンケート調査等を通じ、多職種で捉えている課題の抽出、整理を行う。前述の多職種研修会やアンケート調査の実施に向けて、協議会での協議及び下部組織の推進部会での調整が重要であり、予定回数の開催に臨む。			
また、令和4年度の行政評価委員会による外部評価において、市民からの相談に対して積極的に対応するよう意見されたことについては、住民参加型の講演会を開催する等、より一層の普及啓発によって理解促進を図る。なお、個別具体的な相談は、医療ソーシャルワーカー、地域包括支援センター又は本人等と契約した居宅介護支援事業所に対して行うことが適切であるため、当連携支援センターでの実施は見込んでいない。			

今後の方針

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	生活支援体制整備事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉		
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	地域包括ケア 係 内線 632
	根拠法令等	武蔵村山市機能強化型地域包括支援センター管理運営に関する要綱		
目的	各地域包括支援センターの圏域における生活支援体制整備を推進し、センター全体の機能強化を図ることを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 		
内容	機能強化型地域包括支援センター管理運営委託により実施している。機能強化型地域包括支援センターを設置し、市内の地域包括支援センターの適正な運営の確保、生活支援体制整備業務に関する支援、市と各地域包括支援センターとの連携強化を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	生活支援コーディネーターの設置人数	人
			実績	5	5	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—			
事業費（千円）	5,500	5,500	5,500				
財源内訳	一般財源	2,750	2,750				
	国都支出金	2,750	2,750				
	その他	0	0				
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,596	1,529				1,539
	所要人員（人）	0.20	0.20				0.20
	会計年度任用職員（千円）	0	0				0
	所要人員（人）	0.00	0.00				0.00
合計（事業費+人件費）	7,096	7,029	7,039				

視点別の分析	内容	評価		
		必要である	見直しの余地がある	非該当
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>市内の地域包括支援センターを統括し、総合的に支援する機能強化型地域包括支援センターを設置することで、市内の地域包括支援センターの適正な運営を確保し、機能強化を推進した。</p> <p>主な活動実績は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ネットワークの構築（169.2/人日） 小地域ケア会議・ワーキングチームの開催等</li> <li>●管内の統括・調整（47.2/人日） 助け合い部会の開催、生活支援等検討会の開催等</li> <li>●人材育成（12.7/人日） お互いさまリーダー交流会、サロン交流会、リーダー養成講座の実施等</li> </ul>	高齢化の進展に伴う適切な人員体制の確保が課題である。

今後の方針																									
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																									
各地域包括支援センターに設置した生活支援コーディネーターを中心とし、高齢者の生活支援・介護予防サービスの提供体制の充実を図り、住民主体の生活支援、移動支援等の体制整備を行っており、ケアマネジメントの質の向上、地域課題の発見を進めるため、引き続き、市内の地域包括支援センターの適正な運営を確保し、機能強化を推進する。																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		今後の方針			成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
今後の方針																									
成果	コスト																								
	削減	維持	増加																						
向上																									
維持		○																							
低下																									
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																									

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	高齢者見守り相談室運営事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉		
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	地域包括ケア 係 内線 632
	根拠法令等	武蔵村山市高齢者見守り相談室事業実施要綱		
	目的	一人暮らし高齢者など孤立しがちな高齢者の不安や問題を解決し、在宅生活の安心と安全を確保することを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	都営村山団地45号棟で実施している高齢者見守り相談室の運営を委託し、主に以下の手段により事業を行う。 ①主に訪問により高齢者の生活実態の把握を行うこと。 ②関係機関と連携し高齢者に対する見守りを行うこと。 ③高齢者から相談を受けること。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	見守り対象者名簿に登録された者に対し実際に見守りを行った件数の割合	%	目標	90.0	90.0	90.0
				実績	88.0	91.2	
				達成率	98%	101%	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
事業費(千円)	17,453	17,453	17,453	—		
財源内訳						
一般財源	11,467	11,467	11,467			
国都支出金	5,986	5,986	5,986			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員(千円)	479	459	462			
所要人員(人)	0.06	0.06	0.06			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	17,932	17,912	17,915			


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある			
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●相談受付件数：延べ3,016件 ●見守り活用実施件数：見守り対象者名簿に登録されている高齢者3,310人のうち3,019人(91.2%)	緑が丘地区の高齢化率は既に50%を超えており、今後ますます進行していくことが予想されることから、事業実施体制の安定的な確保が課題となる。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																				
高齢者福祉の質の確保のために本事業を継続し、今後の更なる高齢化の進展に備えて、引き続き事業実施体制の安定的な確保について、受託者と調整しながら検討していく。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>						今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
		今後の方針																						
		コスト																						
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	認知症施策推進事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉		
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	地域包括ケア 係 内線 632
	根拠法令等	介護保険法、認知症施策推進総合戦略		
	目的	認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域での支え合いの体制づくりを推進することを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	●認知症初期集中支援チームの運営 ●認知症カフェの運営支援 ●認知症サポート医研修の受講支援 ●認知症ケアパスの作成（令和4年度のみ）			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	認知症初期集中支援チームの支援件数 ※目標値は設定していない。	%	目標	—	—	—
				実績	—	2	7
達成率				—	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—	—	
			達成率	—	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		306	748	936
財源内訳	一般財源	59	144	180
	国都支出金	177	432	541
	その他	70	172	215
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,197	1,147	1,154
人件費	所要人員（人）	0.15	0.15	0.15
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		1,503	1,895	2,090

市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効果性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●認知症初期集中支援チームの支援件数 7件 ●認知症市民講演会の実施 4回	●認知症初期集中支援チームの運営及び医師や専門職の活動支援の強化 ●認知症カフェ運営に係る財政的支援の強化 ●市内の認知症医療体制の充実のため、認知症サポート医の養成の支援 ●認知症ステップアップ講座を修了した市民との認知症事業の協働


今後の方針																			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 引き続き、認知症に対する正しい知識の普及啓発を行い、支援を必要とする方（支援対象者）の掘り起こしや、相談者にとっても利用しやすい制度となるよう改善を図りつつ、地域での支え合いの体制づくりを推進する。																			
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト			削減	維持	増加	向上	○		維持			低下		
	今後の方針																		
	コスト																		
削減	維持	増加																	
向上	○																		
維持																			
低下																			
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																			

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		認知症施策推進事業	
所管部署		健康福祉部 高齢福祉課 地域包括ケア係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・市民との協働により事業を実施しているか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・受益者負担は適切か</li> <li>・施策への貢献度は適切か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託等は可能か</li> <li>・事業費の更なる削減は可能か</li> <li>・類似事業等との統合は可能か</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>本事業は、認知症の人やその家族を対象として地域での支え合いの体制づくりを推進することを目的としており、一定の意義が認められる。また、支援対象者を適切な医療・介護サービスにつなげている実績があり、認知症に対する理解を深めていく上で一定の効果が認められることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、本事業は、認知症サポート医研修の受講支援や認知症カフェの運営支援、認知症初期集中支援チームの運営、「チームオレンジ」の活動支援など多岐にわたるが、周知が不足しているものもあるため、支援を必要とする人が確実に利用できるよう、周知方法について工夫改善することを求めたい。</p> <p>また、高齢化の進展に伴い認知症患者等の支援対象者の増加が見込まれることから、本事業の利用ニーズが更に高まることを念頭に置き、適正な支援体制を維持しながら継続していくことが肝要である。</p>		



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	地域生活支援拠点整備事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 4 障害者福祉		
	所管部署	健康福祉 部	障害福祉 課	認定審査 係 内線 642
	根拠法令等	障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保するための基本的な指針		
	目的	障害者の重度化・高齢化や親亡き後を見据えた、居住支援のための機能を持つ場所や体制を整備し、障害者が地域で生活できるように支援する。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	居住支援のための機能（①相談、②緊急時の受入れ・対応、③体験の機会や場、④専門的人材の確保・養成、⑤地域の体制づくり）を、地域の実情に応じ創意工夫により整備する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	地域生活支援拠点の整備	—	目標	検討	検討	検討
				実績	検討	検討	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
会計年度任用職員以外の職員（千円）		80	77	77
人件費	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		80	77	77


市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
事業実施に向けて緊急時の受入れ・対応について社会福祉法人あすはの会と協議を実施するとともに、他自治体の取組等を確認した。	地域生活支援のための五つの機能について、市内の事業所の協力を得て実施する必要があり、今まで以上に各事業所と連絡調整が必要となる。

今後の方針																							
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
地域生活支援拠点とは、障害者の重度化・高齢化や親亡き後を見据え、居住支援のための機能を持つ場所のことであり、その機能を地域の実情に応じ創意工夫により整備し、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築することとしている。この機能には主に五つの柱があり、相談については基幹相談支援センターが対応し、他の4つを本事業で実施することとしている。 このうち、緊急時の受入れ・対応について令和5年度中に市内事業所と協定を締結する予定である。																							
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針				コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
	今後の方針																						
		コスト																					
削減		維持	増加																				
向上																							
維持		○																					
低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	基幹相談支援センター運営事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 4 障害者福祉		
	所管部署	健康福祉 部	障害福祉 課	認定審査 係 内線 642
	根拠法令等	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律		
	目的	地域において障害者が障害福祉サービスを利用し、自立した日常生活又は社会生活ができるように相談等の業務を総合的に行うため、基幹相談支援センターを設置する。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	障害者の相談等の業務を総合的に行うため、障害者地域自立支援センター（社会福祉協議会）、精神障害者地域活動センターお伊勢の森（医療法人社団円祐会）及び福生第二学園（社会福祉法人あすはの会）の3事業所の設置を予定している。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	基幹相談支援センターの運営	—
				実績	検討	
				達成率	—	
2		—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	0	0	0			
国都支出金	-	-	-			
その他	-	-	-			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	240	230	231			
所要人員（人）	0.03	0.03	0.03			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	240	230	231			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
有効性 <td rowspan="2">市民のニーズに適合しているか</td> <td><input type="checkbox"/> 適合している</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 非該当</td>	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性 <td rowspan="2">廃止・休止した場合の市民への影響</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は大きい</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は少ない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 非該当</td>	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効果性 <td rowspan="3">民間委託等は可能か</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切である</td> <td><input type="checkbox"/> 不適切な部分がある</td> <td></td>	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
社会福祉協議会、医療法人社団円祐会及び社会福祉法人あすはの会とそれぞれ個別に事業内容を説明して意見交換等を行った。	相談業務に対応する職員の確保が困難な状況にあり、今後もこの状況は継続すると考えられる。

今後の方針			
成果	コスト		
	削減	維持	増加
	向上		
維持		○	
低下			

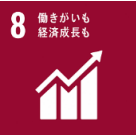
【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

基幹相談支援センターは、地域の相談支援の中核的な役割を担う機関として、身体障害者、知的障害者及び精神障害者への相談支援業務を総合的に実施するとともに、地域の実情に応じて権利擁護・虐待防止、地域移行・地域定着などの業務を行うものである。

本市ではそれぞれの障害に応じて三つの事業所の設置を予定しており、次期障害福祉計画の計画期間において、センターの設置に向けて各事業所と継続的に協議を実施する予定である。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	障害者就労支援センター運営事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 4 障害者福祉		
	所管部署	健康福祉 部	障害福祉 課	手当助成 係 内線 642
	根拠法令等	東京都区市町村障害者就労支援事業実施要領 武蔵村山市障害者就労支援センター事業実施要綱		
	目的	障害者の一般就労の機会の拡大を図るとともに、障害者が安心して働き続けられるよう、身近な地域において就労面と生活面の支援を一体的に提供することにより、障害者の一般就労を促進し、もって障害者の自立と社会参加の一層の促進に資する。		SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も 
内容	就労面の支援として、職業相談、就職準備支援、職場開拓、職場実習支援、職場定着支援、離職後の支援を、生活面の支援として、日常生活支援、職業生活を続けるための支援等を、地域開拓面の支援として、就労希望者の掘り起こしや意識改革、障害者雇用に取り組む企業等への支援等を実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	新規就職者数	人	目標	40	40	40
							実績	36	36	
達成率	90%	90%								
2	就労支援・生活支援件数	件	目標	—	—	—				
			実績	10,932	10,757					
			達成率	—	—					

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見					
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算						
事業費(千円)	18,650	21,630	21,770	—					
財源内訳	一般財源	10,345	10,815				10,644		
	国都支出金	8,305	10,815				11,126		
	その他	0	0				0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0				0		
	所要人員(人)	0.00	0.00				0.00		
	会計年度任用職員(千円)	0	0				0		
	所要人員(人)	0.00	0.00				0.00		
合計(事業費+人件費)	18,650	21,630	21,770						

視点別の分析	内容	評価		
		必要である	見直しの余地がある	非該当
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
地域開拓促進コーディネーターが働きかけ、住み慣れた地域で就労することにより離職者を抑制するとともに、定着支援で実績を上げた。 ●登録者延べ453人 ●就労支援7,595件 ●生活支援3,162件 ●新規就職者36人(一般就労29人) ●地元企業や新規開拓企業へ就労が繋がったケース13件	就労支援センターの運営に当たっては、障害者一人一人に寄り添った伴走型支援により対応するため常勤職員3人(就労支援コーディネーター2人、生活支援コーディネーター1人)、非常勤職員1人(地域開拓促進コーディネーター)を配置する必要があるため、社会保険料を含めた人件費の削減が困難であることが課題である。

今後の方針			
成果	方向性	コスト	
		削減	維持
		増加	
向上	維持		○
	削減		
	増加		

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

「武蔵村山市第五次障害者計画」の基本目標の一つに「障害のある人がいきいきと参加しているまちづくり」を掲げ、障害者の就労、経済的自立の支援・促進を目指していることから、就労支援の取組、経験を積み重ね、関係機関や各種事業所等とのネットワークを構築した就労支援センターを基盤として、支援体制を充実させることが重要である。併せて、一般企業による雇用の促進や福祉的就労の推進に向け、障害への理解や就労環境の改善に積極的に取り組むことが必要であるため、今後も本事業を継続すべきと考える。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)




### 第3章 安全で快適なまちづくり

- 安全・安心
- 都市基盤
- 地域交通





武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	非常用可搬型外部給電器配備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	総務部	防災安全課	災害対策係 内線 333
	根拠法令等	武蔵村山市地域防災計画		
	目的	大規模災害時における避難所の停電対策の充実を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	災害時に停電が発生した場合における避難所の電力確保のため、電気自動車から電力供給を行えるように非常用可搬型外部給電器を配備する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	配備台数	台	目標	2	2	1
				実績	2	2	
達成率				100%	100%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)	1,320	1,229	660	
財源内訳				
一般財源	1,320	857	660	
国都支出金	0	0	0	
その他	0	372	0	
人件費				
会計年度任用職員以外の職員(千円)	80	77	77	
所要人員(人)	0.01	0.01	0.01	
会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)	1,400	1,306	737	


視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	廃止・休止した場合の市民への影響
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和4年度からクリーンエネルギー自動車導入促進補助金(186千円/1台)を活用し、2台購入した。	—

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
本事業は、災害時の避難所における電力確保のため、給電器を配備するものであり、市で所有している庁用車(電気自動車)の台数(8台)を上限に購入することとしている。			
令和5年度は1台購し、上限の8台が配備される予定であるため、今後は、庁用車(電気自動車)の台数を注視しながら、縮小・見直しを検討する。			
成果	向上		
	維持	○	
	低下		

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	避難誘導標識建替事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策				
	所管部署	総務部	防災安全課	災害対策係	内線	335
	根拠法令等	武蔵村山市第五次長期総合計画				
目的	市内22箇所に設置されている避難誘導標識のうち、さび等の劣化がみられる20箇所の建替工事を実施する。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
内容	劣化がみられる20箇所の避難誘導標識について建替工事を実施した。なお、建て替えに伴いL型道路標識からF型標識への意匠変更を行ったほか、表示内容にピクトグラムを追加した。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	避難誘導標識建替箇所	箇所	目標	—	20	—
				実績	—	20	—
達成率				—	100%	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—	—	
			達成率	—	—	—	


事業経費	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）	0	924	0		
財源内訳	一般財源	-	924		-
	国都支出金	-	0		-
	その他	-	0		-
会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	918	0		
人件費	所要人員（人）	0.00	0.12		0.00
	会計年度任用職員（千円）	0	0		0
	所要人員（人）	0.00	0.00		0.00
合計（事業費+人件費）	0	1,842	0		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
20箇所の避難誘導標識の建て替えを実施した。	—

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
令和4年度に、道路上に設置されている避難所への避難誘導標識のうち、経年劣化に伴い建替工事が必要となった20箇所について、維持管理及び追加設置の可能性を考慮し、L型道路標識からF型標識へ仕様の変更を行うとともに、より分かりやすくなるようピクトグラムを標記した標識に更新した。経年劣化による危険な標識の更新作業が完了したため、事業を終了する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
（廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要）																						

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	ブロック塀撤去工事等助成金交付事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	総務部	防災安全課	災害対策係 内線 335
	根拠法令等	令和4年度武蔵村山市ブロック塀等安全対策費用助成金交付要綱		
	目的	地震発生時における市民の安全の確保及び災害に強いまちづくりを推進する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	避難路に面している危険なブロック塀等を安全な状態にするために行うブロック塀等の撤去、建替工事に係る費用の一部を助成する。			
対象(交付先)	市民			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	助成件数	件
			実績	2	4	
			達成率	20%	40%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
補助金	交付金額(千円)	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	-	
	一般財源	586	1,763	8,283		
	国都支出金	147	443	1,334		
	その他	439	1,320	6,949		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	958	918	924	他市等の状況 多摩地域26市中20市が同様の助成事業を実施している。除却のみを対象としている市もある。	
	所要人員(人)	0.12	0.12	0.12		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
	合計(補助金+人件費)	1,544	2,681	9,207		

交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途		
収入	総額(千円)	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	交付金額(千円)	1,763
	市補助金	-	-	-	使途内訳	
	会費	-	-	-		
	繰越金	-	-	-		
	事業収入	-	-	-		
その他	-	-	-			
支出	総額(千円)	0	0	0	割合(%)	
	交際費、飲食費	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	-
	人件費	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	-
	事業経費	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	-
	その他	-	-	-		

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か					
				市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
				一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	受益がある	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	明確である	<input type="checkbox"/>	不明確な部分がある	
				補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	効果がある	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	設定している	<input type="checkbox"/>	設定していない					
						<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
交付件数	4件	本助成金の対象となるブロック塀の撤去、建替工事の実施は、あくまで所有者である市民の判断で実施することとなる。また、工事に際しては、自己負担も生じるため、申請者をどのようにして増やしていくかが課題である。	
交付額	1,763千円		


【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

今後の方向性			
成果	コスト		
	削減	維持	増加
	向上		
維持		○	
低下			

【本事業は、武蔵村山市地域防災計画に基づき、避難路に面しているブロック塀等の倒壊防止対策を図るために行うものであり、地震発生時における市民の安全確保につながるため、令和5年度も継続して実施する。  
また、補助金額等の見直しについては、国庫補助、都補助の状況を注視し検討していく。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	道路雨水吸込槽浚渫事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
	目的	浸透槽の設置により雨水を処理しており、その浸透施設に溜まる汚泥や落ち葉などを定期的に清掃することにより雨水排水の改良を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	浚渫を必要とする浸透施設は125施設あり、そのうち主要施設は49施設で、毎年2回実施している。また、新設及び開発行為に伴う移管施設は76施設あり、3年に1回のローリングで実施している。			

事務事業の実施状況	評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		1	浚渫工及び汚泥処分（一式）	件	目標	1	1	1
					実績	1	1	
					達成率	100%	100%	
		2	—	—	目標	—	—	—
					実績	—	—	
	達成率				—	—		
	事業経費				令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 中小の浸透施設は必要に応じて浚渫を実施しており、浚渫要望（冠水による苦情）は市民や議員より適宜受け付けている。
	事業費（千円）				13,996	14,045	15,454	
	財源内訳	一般財源				13,996	14,045	
国都支出金				0	0	0		
その他				0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				798	765	770	
	所要人員（人）				0.10	0.10	0.10	
	会計年度任用職員（千円）				0	0	0	
所要人員（人）				0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）				14,794	14,810	16,224		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	民間委託等は可能か	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主要施設49箇所（年2回）</li> <li>●新規・移管施設21箇所（年1回）</li> </ul>	住宅開発に伴い、施工主による施設の設置後、その施設が市へ移管されるため、市の管理件数は毎年増加している。このため必要経費は増加し続ける。
	今後の方針	

【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
	道路より地盤が低く冠水の発生しやすい箇所が多数存在するため、浚渫により排水施設を十分に保守する必要性は高い。																										
	一方、道路に設置した浸透施設の作業状況を確認する限り、年2回の浚渫を実施するほどの汚泥やゴミが認められない箇所もあり、作業頻度の見直しを図る。																										
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">今後の方針</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
	今後の方針		コスト																								
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持	○																									
	低下																										
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																											



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	雨水対策事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
	目的	近年の集中豪雨に伴い発生する道路冠水や住宅浸水の被害を軽減することを目的としている。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	道路冠水箇所に貯留型雨水浸透槽や浸透柵等を設置することにより、小規模な街区単位での浸水被害の軽減を図っている。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	冠水又は浸水等の被害が発生する道路等の改修件数	件	目標	2	2	5
				実績	2	12	
				達成率	100%	600%	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		7,655	8,111	8,000
財源内訳	一般財源	455	911	800
	国都支出金	7,200	7,200	7,200
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	798	765	770
	所要人員(人)	0.10	0.10	0.10
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		8,453	8,876	8,770

**市民・議会等から寄せられた意見**


例年、数十件もの要望等を受け付けている。このうち、被害状況や作業範囲等を勘案して、直営や年間契約を締結する土木業者による作業で対応可能なものは速やかに解消している。一方、時間や費用を要する複数の案件があり、早期の対応を繰り返し求められている。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●雨水集水柵浸透化工9箇所14基設置(3,344,000円)</li> <li>●側溝改修工3箇所(3,523,129円)</li> <li>●水路蓋掛替工1箇所1枚(1,093,092円)</li> <li>●水中ポンプ購入費(150,260円)</li> </ul>	<p>公共雨水管が未整備の道路においては、原則、道路用地内に設置する浸透施設で雨水を処理する。</p> <p>しかし、狭い道路は整備に必要な場所を確保できないことや、そもそも雨水量が多く、浸透施設による雨水流出への対処に苦慮する地域もあるため、時間と費用を要する。</p>

今後の方針																						
<p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>本事業は、道路冠水等の被害の軽減を図る重要な取組であることから、今後も継続していく。</p> <p>排水施設等の設置に当たっては、冠水等の被害状況等を勘案しながらその周辺状況や地形等を考慮し、最大の効果が発揮されるよう、整備すべき道路の施工箇所を決定して解消を図る。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 84号線雨水対策事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	-		
	目的	当該路線には排水施設が未整備であることから、本事業により大雨時に発生する道路冠水の解消を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	区間：大南四丁目45番地先から同56番地先まで 延長90.0m、幅員4.0mに排水及び浸透施設を設置するもの。			

事務事業の実施状況	評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		1	排水施設設置工事（一式）	件	目標	1	1	1
					実績	0	0	
					達成率	0%	0%	
		2	-	-	目標	-	-	-
					実績	-	-	
	達成率				-	-		
	事業経費				令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 令和3年度及び令和4年度に、それぞれ1件の市民要望を受け付けている。
	事業費（千円）				0	0	0	
	財源内訳	一般財源			-	-	-	
国都支出金			-	-	-			
その他			-	-	-			
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			80	77	77		
	所要人員（人）			0.01	0.01	0.01		
	会計年度任用職員（千円）			0	0	0		
	所要人員（人）			0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）				80	77	77		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当


所管課の評価	令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
	実施計画には「検討」として位置付けられているため、事業の実績なし。	当該路線は、公共雨水管が未整備であるため、浸透施設を設置して冠水の解消を図るものである。 浸透の能力は地盤に左右されるが、付近一帯の地下の地盤は浸透能力が不足すると思われることから、通常の施設規模による対応では目的の達成は困難である可能性がある。

所管課の評価	今後の方針			
	【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
	本事業は、道路冠水の解消を図る重要な取組であることから、引き続き実施計画事業として要求し、「実施」として採択され次第、本事業の実施により道路冠水の解消を図る。			
	成果	今後の方針		
		コスト		
削減		維持	増加	
向上				
維持		○		
低下				

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(仮称) 防災食育センター整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	教育 部	学校給食 課	学校給食センター 560-2597
	根拠法令等	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律		
目的	災害時には応急給食の調理や救援物資(食料関係)の集配などを行う防災拠点として機能し、平常時には小学校給食の調理や食育推進のための事業などを行う(仮称)防災食育センターを整備する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	整備予定地内の既存施設を解体し、建築工事に着手する。また、備品整備基金の積立てを行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	施設整備工事の執行率 (工事総額に対する当該年度実績額の割合)	%	目標	—	6.5	13.2
							実績	—	7.3	
達成率	—	112%								
2	防災食育センター備品整備基金の積立額 (年度末積立総額)	千円	目標	137,000	160,000	180,000				
			実績	137,000	160,000					
			達成率	100%	100%					

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		106,420	323,186	651,327
財源内訳	一般財源	20	186	32
	国都支出金	62,900	248,000	493,495
	その他	43,500	75,000	157,800
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	7,976	7,642	7,692
	所要人員(人)	1.00	1.00	1.00
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		114,396	330,828	659,019


市民・議会等から寄せられた意見	
市議会定例会や教育委員会定例会において、各議員等から当該整備事業に期待を寄せている旨の発言があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>建設予定地(第二学校給食センター跡地)内の低濃度PCB廃棄物処分を6月までに完了させた。</p> <p>建築・昇降機・解体工事、電気設備工事、機械設備工事について、工事請負契約を12月に締結した。</p> <p>その後、住民に対する工事説明会を1月25日及び29日に実施した後、解体工事に着手した。</p> <p>また、3月に防災食育センター備品整備基金への積立てを行った。なお、当該基金積立ては、令和元年度に開始し、令和5年度まで実施する予定である。</p>	<p>主な財源となる防衛補助を所管する北関東防衛局との調整はもとより、令和4年度から令和6年度までの継続費で計上している工事請負費等の予算執行について、関係課と随時協議しながら慎重に対応していく必要がある。</p> <p>また、施設整備用備品の購入に当たり、適切な仕様書を調製し、適切な時期に物品購入の契約を締結できるよう事務を進めていく必要がある。</p>

今後の方針																			
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																			
施設整備工事については、防衛補助事業として実施していることから、工事の各工程については実施設計に基づき実施し、突発事項等については関係機関及び関係課と必要な調整を図りながら対応していくとともに、竣工後の準備期間も含めた運営業務を支障なく開始するため、整備用物品が迅速かつ適切な時期に納品できるよう調整を図っていく。																			
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト			削減	維持	増加	向上		○	維持			低下		
	今後の方針																		
	コスト																		
削減	維持	増加																	
向上		○																	
維持																			
低下																			
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																			

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	防災士資格取得支援事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	総務部	防災安全課	災害対策係 内線 333
	根拠法令等	武蔵村山市防災士資格取得支援事業助成金交付要綱		
	目的	地域防災力の向上を目的に、防災に関する一定の知識、技術を有する防災士の資格取得を支援する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	市内の自主防災組織に所属し、該当団体の長から推薦を受けた者又は消防団において分団長以上の階級を務めた経験を有するものを対象に、防災士資格の取得費用を助成する。			
対象（交付先）	市民			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	資格取得者数	人
			実績	1	10	
			達成率	20%	200%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
補助金	交付金額（千円）	9	85	345
	一般財源	9	85	345
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	479	459	462
	所要人員（人）	0.06	0.06	0.06
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
	合計（補助金+人件費）	488	544	807

**市民・議会等から寄せられた意見**  
議会から、助成対象範囲の拡大の検討について意見があった。

**他市等の状況**  
多摩地域では、青梅市、稲城市、立川市等で防災士資格取得の助成実績がある。

交付団体等の決算予算の状況		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
収入	総額（千円）	0	0	0
	市補助金	-	-	-
	会費	-	-	-
	繰越金	-	-	-
	事業収入 その他	-	-	-
支出	総額（千円）	0	0	0
	交際費、飲食費	-	-	-
	人件費	-	-	-
	事業経費 その他	-	-	-

**交付団体等の令和4年度の市補助金の使途**

交付金額（千円）	85
使途内訳	
割合（％）	
団体収入に占める補助金の割合	—
団体収入に占める繰越金の割合	—
交付金額に対する繰越金の割合	—

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	持続性	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
助成金交付者：10人 助成額：85,000円（1人8,500円）	本助成制度等について周知しているが、自主防災組織等からの資格取得希望者は少なく、希望者の増加が課題である。


【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

地域防災力向上のため、令和5年度も令和4年度と同内容で事業を継続していく。また、令和4年度同様、本助成制度の周知徹底に努め、資格取得希望者の増加を図るとともに、資格取得希望者数の実績を考慮し、助成対象範囲の拡大等、事業の見直しを図る必要がある。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	谷戸川改修整備事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係	内線	263
	根拠法令等	-				
目的	護岸に樹木が繁茂し、幹や根の成長により護岸の崩壊が懸念されるため、樹木を伐採して護岸の保全を図るもの。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
内容	場所：中藤四丁目12番地先 工種：樹木伐採工、延長約70m					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	樹木伐採委託（一式）	件
			実績	-	-	
			達成率	-	-	
2	-	-	目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	0	1,232	
財源内訳	一般財源	-	-	1,232	
	国都支出金	-	-	0	
	その他	-	-	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77	
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		80	77	1,309	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か			
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある		
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
実施計画には「検討」として位置付けられているため、事業の実績なし。	当初の要望に対しては、護岸の保全と谷戸川の暗きよ化による生活道路の拡幅整備を検討していたが、拡幅事業は費用対効果を精査する必要があるため護岸の保全のみとし、当面の間は樹木伐採後の護岸の状況を観察する。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は、護岸の保全を図る重要な取組であり、実施計画事業として要求してきた経過がある。令和5年度に「実施」として採択されたため樹木伐採費用を計上しており、本事業の実施により谷戸川の護岸を延命することが可能になる。 なお、樹木の伐採により護岸の劣化はほぼ停止すると考えられるため本事業は終了するが、引き続き護岸の状況を点検していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「O」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	一般河川整備事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係	内線	263
	根拠法令等	河川法				
	目的	市で管理する小河川及び水路について、河床や護岸が未整備である箇所や河川敷から民家へ水が流出する箇所があることから、溢水防止を図るため計画的に整備を実施する。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	河床や護岸の打設及び老朽化した部分の改修等を行う。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	河床及び護岸設置工等（一式）	件
			実績	1	6	
			達成率	100%	600%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		1,238	1,428	2,700	
財源内訳	一般財源	138	228	300	
	国都支出金	1,100	1,200	2,400	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	798	765	770	
	所要人員（人）	0.10	0.10	0.10	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		2,036	2,193	3,470	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●残堀川遊歩道車止め更新工事（5箇所10基、計946,000円）</li> <li>●谷戸川大橋交差点フェンス更新工事（撤去新設5.0m、481,800円）</li> </ul>	市で管理する小河川及び水路には、未改修のため溢水により住民に被害を与えた箇所があり対応を要する。また、護岸の劣化が進行している箇所も散見される。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 小河川及び水路の河床や護岸など既設物件の劣化状況や溢水による被害等を勘案しながら施工箇所を選定して整備を図り、解消する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><small>（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）</small></p>			今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持			○		低下				
				今後の方針																				
		コスト																						
成果	向上	削減	維持	増加																				
	維持			○																				
	低下																							



武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	消防団準中型・中型免許取得補助事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 2 消防体制			
	所管部署	総務部	防災安全課	消防係	内線 333
	根拠法令等	武蔵村山市消防団員準中型自動車及び中型自動車運転免許取得費補助金交付要綱			
	目的	消防団員に対し、その所属する分団に配備されている準中型自動車及び中型自動車の運転資格の取得費用を補助することにより、消防団員の確保を図り、もって消防団活動を安定的に実施する。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	所属する分団に配備されている車両の運転資格の取得費用を補助する。				
対象(交付先)	武蔵村山市消防団員				



評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	補助実績	件
			実績	0	3	
			達成率	0%	75%	
2	-	-	目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
補助金	交付金額(千円)	0	292	901	市民・議会等から寄せられた意見							
	一般財源	-	292	451	-							
	国都支出金	-	0	0								
	その他	-	0	450								
合計	0	292	901									
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	153	154	他市等の状況							
	所要人員(人)	0.00	0.02	0.02	多摩地区26市中8市が同様の補助事業を行っている。							
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0								
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00								
合計(補助金+人件費)	0	445	1,055									

交付団体等の決算予算の状況				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
収入	総額(千円)	0	0	0	交付団体等の令和4年度の市補助金の使途							
	市補助金	-	-	-	交付金額(千円)							
	会費	-	-	-	292							
	繰越金	-	-	-	使途内訳							
	事業収入	-	-	-								
支出	総額(千円)	0	0	0	割合(%)							
	交際費、飲食費	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合							
	人件費	-	-	-	-							
	事業経費	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合							
	その他	-	-	-	-							

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か						
				市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある		
				一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/>	適合している	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	受益がある	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
				補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
				補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	明確である	<input type="checkbox"/>	不明確な部分がある		
				補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	効果がある	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	設定している	<input type="checkbox"/>	設定していない						

令和4年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
準中型免許(5t) 限定解除 3件		免許取得に係る費用が一旦消防団員の自己負担となってしまうことから、資格取得希望者をいかに増やすかが課題である。	

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了


本事業は、道路交通法の一部改正に伴い、新たに創設された「準中型自動車免許」を含む、消防団で所有する車両に対する運転資格の取得費用を補助し、消防団活動を安定的に実施するよう図るものであり、今後も継続していく。また、新型コロナウイルス感染症については、感染対策の緩和や感染症法上の5類への移行などにより、影響が弱まっていることから、対象となる消防団員に積極的に周知していく。

今後の方針			
成果	向上	コスト	
		削減	維持
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	防火水槽整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 2 消防体制		
	所管部署	総務部	防災安全課	消防係 内線 333
	根拠法令等	震災時の消防水利整備基準		
	目的	水利不足地域への防火水槽の設置を実施し震災対策を行う。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	災害時には消火栓等の水道管を経由する水利の使用不能が見込まれることから防火水槽を整備し震災時の不足メッシュを解消する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	防火水槽の設置件数	件	目標	1	1	1
							実績	1	1	
達成率	100%	100%								
2	-	-	目標	-	-	-				
			実績	-	-					
			達成率	-	-					

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	-			
事業費(千円)	26,040	23,727	25,941				
財源内訳	一般財源	5,040	4,627				1,641
	国都支出金	0	0				0
	その他	21,000	19,100				24,300
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,393	2,293				2,308
	所要人員(人)	0.30	0.30				0.30
	会計年度任用職員(千円)	0	0				0
	所要人員(人)	0.00	0.00				0.00
合計(事業費+人件費)	28,433	26,020	28,249				


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある			
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
プリンスの丘公園に40t級の防火水槽を設置した。	-

今後の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
災害時に水道施設の破損等が生じた場合など、断水時の消防水利確保のため、公園等に防火水槽等消防水利を整備するものである。設置に当たっては、民地は土地所有者の事情で撤去の可能性が想定されるため、公共施設用地を想定し、令和5年度までは設置候補地が決まっている。令和6年度以降は設置場所の検討を進めていく。				
成果	今後の方針			
	コスト			
	削減	維持	増加	
向上				
維持		○		
低下				

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	消火栓改修事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 2 消防体制		
	所管部署	総務部	防災安全課	消防係 内線 333
	根拠法令等	上水道における消火栓の設置、維持補修等に関する協定書 上水道における消火栓補償費に関する覚書		
	目的	消火栓の増設及び維持管理により消防施設の整備、充実を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	東京都水道局による上水道への消火栓の設置、維持管理等に関する費用について補償する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	消火栓の設置等の実績	件	目標	—	—	—
				実績	8	9	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
事業費(千円)	15,050	28,533	33,264	—		
財源内訳						
一般財源	15,050	28,533	33,264			
国都支出金	0	0	0			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,393	2,293	2,308			
所要人員(人)	0.30	0.30	0.30			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	17,443	30,826	35,572			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある			
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
消火栓の移設2件、補修6件、撤去1件となった。	東京都水道局が行う水道工事に係る消火栓管理費補償金及び消火栓設置費補償金を負担するものであり、毎年度、水道局から事業計画に基づき消火栓補償費が提示される。しかし、工事費の上昇等により補償費が増加傾向にあるため、予算額との調整が課題である。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
消火栓の増設及び維持管理により消防施設の整備、充実を図るものであり、老朽の激しいものから順次補修を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	交通安全対策事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 3 交通安全		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
	目的	小学校の通学路について、毎年関係機関等（警視庁・学校・PTA・教育委員会、防災安全課及び当課）による合同点検を実施し、その改善要望を勘案して交通安全施設を整備することにより道路環境の改善を図る。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	通学路合同点検等によって抽出された危険性のある交差点等に①カラー舗装、②道路反射鏡、③自発光鈺、④外側線、⑤段差等解消等の工事を施工する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	道路反射鏡設置工	箇所
			実績	16	3	
			達成率	80%	30%	
2	交差点改良工事等	箇所	目標	12	10	5
			実績	3	10	
			達成率	25%	100%	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		4,473	16,013	12,568
財源内訳	一般財源	4,473	16,013	12,568
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	3,988	3,821	3,846
	所要人員（人）	0.50	0.50	0.50
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		8,461	19,834	16,414


市民・議会等から寄せられた意見	
●	市民及び議員から、毎年10件程度の道路反射鏡の新設要望が寄せられている。
●	重大交通事故の発生等に伴い、警察（警視庁及び東大和警察署）から対策協議が寄せられ、令和3年度及び令和4年度に1件ずつ対応している。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か					
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある		
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効果性	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●交通安全施設整備工事                     <ul style="list-style-type: none"> <li>中原二丁目26番地先から27番地先までほか6箇所 3,410,000円</li> <li>学園三丁目83番地先ほか1箇所 1,234,860円</li> <li>中央二丁目13番地先 170,500円</li> <li>学園一丁目50番地先から11番地先までほか2箇所 3,619,000円</li> <li>伊奈平四丁目49番地先 187,000円</li> </ul> </li> <li>●中原休息所ベンチ改修工事（中原二丁目38番地内 300,300円）</li> <li>●中原休息所トイレ照明改修工事（中原二丁目38番地 49,500円）</li> <li>●（主）63号線白線補修工事（大南二丁目163番地先から96番地先まで 499,565円）</li> <li>●大南街路灯照明「建替え等工事（大南二丁目45番地先から47番地先まで7基 6,083,000円）</li> <li>●道路反射鏡設置工事（3基 458,700円）</li> </ul>	全国的に通学路や幼稚園及び保育園付近で発生する重大交通事故が後を絶たないことから、市民及び議員からの要望は多い。また、対策費を要する案件も少なくない。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
安全で円滑な交通環境を確保するため、各種交通安全施設の計画的な整備が求められており、通学路合同点検等によって抽出された危険箇所に対する対策を講ずることから、今後も継続する必要がある。																								
令和5年度は、令和4年度に実施した通学路合同点検の結果に基づく改修工事（主要市道第30号線及び主要市道第58号線交差点カラー舗装工ほか4箇所）を施行する。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持			○		低下				
				今後の方針																				
		コスト																						
成果	向上	削減	維持	増加																				
	維持			○																				
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	防犯灯設置事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 4 防犯対策		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
	目的	照度が低い路線（箇所）にLED防犯灯を設置することにより、夜間に市民が安心して通行できる安全・安心のまちづくりを推進する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	令和4年度末現在で5,011基の防犯灯が設置されているが、一部の生活道路等は未設置である。 防犯灯の設置に当たっては、市民からの依頼を受けた議員要望も多く、順次新設している。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	防犯灯設置工	箇所
			実績	15	6	
			達成率	150%	60%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		695	198	945		市民及び議員から、毎年10件程度防犯灯の新設に関する要望が寄せられている。
財源内訳	一般財源	695	198	945		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	798	765	770		
	所要人員（人）	0.10	0.10	0.10		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		1,493	963	1,715		


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性 <td rowspan="2">市民のニーズに適合しているか</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適合している</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当</td>	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性 <td>廃止・休止した場合の市民への影響</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当</td>	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性 <td>民間委託等は可能か</td> <td><input type="checkbox"/> 困難である</td> <td><input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当</td>	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度においては、防犯灯の設置について要望が少なかったため市で新設した防犯灯は6基となった。このほか、宅地開発等により市民が設置したもので市へ移管されたものが23基、撤去したものが2基となった。	東京都が管理する空堀川の管理通路に対する設置要望については、区間が長距離に及ぶため多額の費用を必要とする。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
市民及び議員からの要望に基づき、道路、住宅地、公園等に順次LED防犯灯を設置し、防犯設備の整備及び維持管理に取り組むことにより、市民が安全・安心に暮らせるまちづくりを推進する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	登下校路防犯カメラ設置事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 4 防犯対策		
	所管部署	教育 部	教育総務 課	学事 係 内線 422
	根拠法令等	武蔵村山市立小学校の通学路における防犯カメラの管理及び運用に関する要綱		
目的	学校、地域等が連携して行う登下校時の通学路における児童の見守り活動を補完するため、防犯カメラを設置し、安全確保の強化を図るものである。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 		
内容	各地域において、学校、PTA又は地域により取り組まれている子ども見守り活動（登下校時の見守りやパトロール等）の補完を目的として通学路に防犯カメラを設置する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	防犯カメラの新規設置台数	台
			実績	1	2	
			達成率	100%	67%	
2	通学路上の不審者情報件数	件	目標	0	0	0
			実績	15	19	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		12,730	1,276	951		議会で、防犯カメラを増設してほしいとの要望があった。
財源内訳	一般財源	404	176	951		
	国都支出金	12,326	1,100	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,596	688	693		
	所要人員（人）	0.20	0.09	0.09		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		14,326	1,964	1,644		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●二小 1台</li> <li>●七小 1台</li> </ul>	防犯カメラの耐用年数は5、6年であり、屋外に設置してあることから故障しやすいため、今後、計画的に更新していくことが重要である。


今後の方針																			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																		
通学路における児童の安全確保のため、引き続き、学校や各機関と連携するとともに、通学路合同点検等の情報を踏まえ、必要に応じて防犯カメラの増設について検討を行う。																			
なお、令和5年度は、1台新規に設置する予定（設置場所は未定）。																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上	削減	維持	増加															
	維持		○																
	低下																		
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																			



外部評価調書（事務事業）

事務事業名		登下校路防犯カメラ設置事業	
所管部署		教育部 教育総務課 学事係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・市民との協働により事業を実施しているか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・受益者負担は適切か</li> <li>・施策への貢献度は適切か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託等は可能か</li> <li>・事業費の更なる削減は可能か</li> <li>・類似事業等との統合は可能か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>本事業は、通学路に防犯カメラを設置することにより、学校や地域等が行う児童の見守り活動を補完し、安全確保を強化するものであり、一定の意義が認められる。また、学校や保護者、警察等が連携して実施する通学路合同点検により把握した危険箇所に防犯カメラを適切に設置している点は評価できる。</p> <p>ただし、防犯カメラの維持管理に係る費用負担の軽減を図る観点からは、耐用年数による一律での更新を前提としないことや、技術的な動向を常に注視し安価な保守方法を検討しながら管理に当たることが肝要である。</p> <p>また、防犯効果や児童及びその保護者の安心感を更に高めるため、防犯カメラの設置状況等に係る周知の在り方について検討することを求めたい。</p>		

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	用途地域等の見直しに伴う都市計画変更事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり			
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係	内線 272
	根拠法令等	都市計画法			
目的	前回の区域区分の変更から18年が経過し、区域区分及び用途地域の境界根拠としている地形地物の変化が生じている。これに伴い東京都で一括して実施する区域区分等の変更に合わせて、市決定の用途地域に関する都市計画変更を行うものである。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
内容	以下の予定で業務を行う。 令和4年度：都市計画素案説明会資料作成及び説明会開催 令和5年度：都市計画原案の作成及び説明会資料作成 令和6年度：都市計画変更告示				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	年度業務の計画的な推進	—	目標	素案作成	説明会等実施	原案作成
				実績	素案作成	説明会等実施	
				達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		5,027	5,104	4,059
財源内訳	一般財源	5,027	5,104	4,059
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	2,393	2,293	2,308
	所要人員（人）	0.30	0.30	0.30
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		7,420	7,397	6,367


市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度に一般競争入札により3か年の業務委託契約を締結し、都市計画素案を作成した。 令和4年度は、その都市計画素案に基づき説明会資料を作成し、令和5年1月に都市計画素案に係る住民説明会を開催した。	—

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
本事業は、東京都が一括して実施する区域区分等の変更に合わせて、令和6年度を目途に市決定の用途地域に関する都市計画変更を行うものである。引き続き、令和5年度の業務計画に基づき、受託業者と連携し、都市計画変更に向けた手続資料等の作成を行う。																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>				今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																						

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	都市核地区土地区画整理事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり			
	所管部署	都市整備 部	区画整理 課	区画整理 係	内線 282
	根拠法令等	土地区画整理法			
	目的	市の都市核にふさわしいまちづくりを行うために、将来の商業核形成を誘導するべく、住工の混在をできるだけ解消し、良好な住宅地の形成と魅力あるまちの実現を目指す。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	行政機関等が立地している中心部に位置しながら、市街地の進展や商業集積が立ち遅れた状態にあり、狭い道路に沿って住宅地が立ち並ぶため、土地区画整理事業の実現により都市基盤整備を行う。 (区域：本町一丁目及び榎三丁目の各一部、面積：30.9ha)				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	移転補償件数 (建物移転補償案件及び工作物移転補償案件)	件	目標	73	44
			実績	51	24	
			達成率	70%	55%	
2	仮換地指定率 ※道路等の公共施設工事により、土地の区画を変更し、従前の土地(現在の土地)に代わり、新たに使用可能とする土地(仮換地)を指定した割合	%	目標	80	85	85
			実績	76	83	
			達成率	95%	98%	

事業経費	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)	1,522,493	1,059,252	1,639,540		
財源内訳	一般財源	621,705	781,654		1,342,295
	国都支出金	482,350	107,350		126,150
	その他	418,438	170,248		171,095
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0		0
	所要人員(人)	0.00	0.00		0.00
	会計年度任用職員(千円)	0	0		0
	所要人員(人)	0.00	0.00		0.00
合計(事業費+人件費)	1,522,493	1,059,252	1,639,540		


視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度に国や都の補助を受けて実施したものは、建物等の移転補償5件及び道路や公園等の工事3件であり、工程のとおりに進捗することができた。 なお、正規職員人件費及び会計年度任用職員人件費は、事業費に含む。	多摩都市モノレールの延伸(都市計画決定)に向け、早期に事業を完了させる必要がある。 また、ウクライナ情勢等の影響を受け、工事費や建物の建築費等が高騰しており、これに伴い、補償金等の算定に用いる東京都の工事積算基準や損失補償基準も改訂され、単価が上昇していることから、今後、事業費が増大する見込みである。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
本町・榎地区については、本市の都市核として、市の拠点にふさわしい都市機能を集積し、道路、公園などの都市基盤の整備を進めている。モノレール延伸後を見据え、引き続き、今まで以上に親切かつ丁寧な事業説明を行うとともに、数多くの権利者と対話を重ねることで、事業推進を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	村山工場跡地関連事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり				
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	事業 係	内線	277
	根拠法令等	都市計画法				
目的	村山工場跡地利用協議会により取りまとめられたまちづくり方針に基づき、土地利用計画の熟度に合わせ、公共施設等の整備を推進し土地利用を進める。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
内容	道路整備計画に関する関係機関協議や土地利用計画の具体化に合わせた都市計画変更の検討などを行う。					

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	道路整備計画等に関する関係機関協議の推進	—	目標	推進	推進	推進
				実績	推進	推進	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,037	1,452	2,462
人件費	所要人員(人)	0.13	0.19	0.32
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		1,037	1,452	2,462

市民・議会等から寄せられた意見	
—	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
地区計画に位置付けられた地区施設の道路整備方針等に関し関係権利者及び関係機関との協議調整を行った。	計画道路の協議に当たっては、東京都の第四次優先整備路線に選定されている立川都市計画道路3・4・39号武蔵砂川駅複線(区間:立川都市計画道路3・3・3新五日市街道線~武蔵村山市大南一丁目)との接続協議に時間を要する。

今後の方針				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
村山工場跡地は、地区計画制度により都市基盤施設の整備を図るとともに、地域の活力やにぎわい創出に資する土地利用を誘導し、多様な機能が集積する市の中心市街地としてふさわしいまちづくりを進める必要がある。 引き続き、関係機関との連絡調整を適宜行い、関係者協議を進め、道路整備に関する協議調整を行うとともに、都市計画変更に関する検討を行う。				
成果	今後の方針	コスト		
		削減	維持	増加
	向上			
維持		○		
低下				

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	都営村山団地再生計画関連事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	事業 係 内線 277
	根拠法令等	都市計画法、公営住宅法		
目的	都営村山団地の地域再生及び活性化を図るため、東京都との協定に基づき団地再生計画事業を推進する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	都営村山団地後期計画事業に伴う東京都との協議調整を行い、円滑な建替事業を進める。 後期計画事業：平成27年度～令和12年度（予定）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	団地後期計画事業、第2期計画、第3期計画、第4期計画に関する協議調整	—	目標	推進	推進	推進
				実績	推進	推進	
達成率				—	—		
2	団地敷地内に存する旧赤道の財産処理に関する協議調整の推進	—	目標	推進	推進	推進	
			実績	推進	推進		
			達成率	—	—		

事業経費	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）	0	0	0		
財源内訳	一般財源	-	-		-
	国都支出金	-	-		-
	その他	-	-		-
会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,277	994	1,462		
人件費	所要人員（人）	0.16	0.13		0.19
	会計年度任用職員（千円）	0	0		0
	所要人員（人）	0.00	0.00		0.00
合計（事業費+人件費）	1,277	994	1,462		

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	市民とのニーズに適合しているか
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当		


令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
後期計画事業内の第2期計画及び第3期計画に関する協議調整を進めた。	団地創出用地の将来土地利用に関し、多摩都市モノレールの延伸を見据え、にぎわい創出に資する土地利用を誘導するよう東京都と協議調整を行っていく必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
都営村山団地後期計画事業の計画的な実施を東京都に要請するとともに、多摩都市モノレールの延伸を見据え、市民生活を支援する商業・サービス機能などの誘導について検討を進めていく。引き続き、関係機関との連絡調整を適宜行い、関係者協議を進め、建替事業の円滑な推進を図っていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	横田基地軍民共同使用推進事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり			
	所管部署	企画財政 部	企画政策 課	企画政策 係	内線 372
	根拠法令等	—			
目的	横田基地の整理・縮小・全面返還に向けた過程の一つとして横田基地の軍民共同使用を推進し、人の交流や物流の拡大により基地周辺地域の活性化を図る。			SDGsの取組 17 パートナーシップで目標を達成しよう	
内容	横田基地の軍民共同使用に関する情報収集を行う。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	情報収集の実施	—
				実績	実施	
				達成率	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		0	0	49		令和4年3月予算特別委員会等で「軍民共用の実現は難しいのではないか」、「軍民共用化を推進していくべきである」との意見があった。
財源内訳	一般財源	-	-	49		
	国都支出金	-	-	0		
	その他	-	-	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	206	198	199		
	所要人員(人)	0.03	0.03	0.03		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		206	198	248		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度は、東京都と本市を含め5市1町から構成される横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会において、情報交換を行った。	東京都及び横田基地周辺自治体で、立場の相違がある。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
横田基地の民間航空利用について、東京都は継続して取り組む姿勢であることから、「国と東京都の実務者協議会」における動向を注視し、引き続き東京都と連携しながら横田基地の軍民共同使用に関する情報収集を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	地籍調査事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	管理 係 内線 266
	根拠法令等	国土調査法 国土調査促進特別措置法		
	目的	地積の明確化により、被災後の復旧、復興事業の迅速化を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	予定年度：平成27年度より 調査箇所：大規模国有地、区画整理事業区域、日産工場跡地及び都市計画公園を除く市内全域 調査面積：10.70Km <sup>2</sup> 、調査手法 都市再生地積調査事業、官民境界石埋設、図面等作成			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	地籍測量実施面積 (調査、測量工程/閲覧工程)	Km <sup>2</sup>	目標	0/0.15	0.13/0	0.11/0.13
				実績	0/0.15	0.13/0	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)	3,289	31,592	28,313		
財源内訳	一般財源	3,289	9,738		8,279
	国都支出金	0	21,854		20,034
	その他	0	0		0
会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,872	2,752	2,770		
人件費	所要人員(人)	0.36	0.36		0.36
	会計年度任用職員(千円)	0	0		0
	所要人員(人)	0.00	0.00		0.00
合計(事業費+人件費)	6,161	34,344	31,083		


視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か <input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 市民のニーズに適合しているか <input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 市民との協働により事業を実施しているか <input type="checkbox"/> 実施している <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当 受益者負担は適切か <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 施策への貢献度は適切か <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	民間委託等は可能か <input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 事業費の更なる削減は可能か <input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 類似事業等との統合は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度は調査、測量及び地籍簿案の作成を実施した。 令和4年度時点で、事業対象面積(10.7Km <sup>2</sup> )に対する実施済面積は0.49Km <sup>2</sup> であり、進捗率は5%となっている。	令和3年度に、補助金の交付展開に向けた国との協議を実施しており、その結果、継続して協議していく必要があるため、今後の事業が変更となる可能性がある。

今後の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
本事業は、平成27年度から、調査から認証までの各工程を2か年に分けて実施しており、主な工程として①調査、測量、地籍簿案の作成及び②閲覧、認証があり、初年度に調査から地籍簿案の作成までを行い、次年度に地籍簿案の閲覧及び認証を行っている。 地籍調査によって土地の境界や面積などを正確にし、被災後の復旧や復興作業の迅速化を図るものであることから、今後も継続する必要がある。	今後の方針 コスト 削減 維持 増加			
	向上			○
	維持			
低下				

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	むさしの住宅跡地規制・活用検討事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	沿線まちづくり 係 内線 279
	根拠法令等	都市計画法		
	目的	むさしの住宅跡地の土地利用転換に合わせて地区計画の変更を行うことにより、活力と秩序ある土地利用を誘導する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	むさしの住宅跡地の土地利用転換に合わせて、多摩都市モノレールの延伸を見据えた新たな土地活用を検討し、地区計画等を活用した活力と秩序ある土地利用を誘導するため、学園二丁目地区の地区計画の変更を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	地区計画の変更	—	目標	—	検討	地区計画変更
								実績	—	検討
達成率	—	—								
2	—	—	目標	—	—	—				
				実績	—	—				
				達成率	—	—				

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		0	4,818	2,112
財源内訳	一般財源	-	4,818	2,112
	国都支出金	-	0	0
	その他	-	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	1,529	1,539
人件費	所要人員(人)	0.00	0.20	0.20
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		0	6,347	3,651

市民・議会等から寄せられた意見	
令和5年第1回定例会において、むさしの住宅跡地の土地利用に関する検討の進捗状況や、予定している変更内容について質問があった。	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
むさしの住宅跡地の新たな土地利用の検討及び関係機関との協議を行った。	地区計画の変更には、地権者である財務省の理解を得ながら進める必要がある。

今後の方針				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
本事業は、第五次長期総合計画及びモノレール沿線まちづくり構想に基づき、公有地であり一定規模のまとまった土地の利用転換が行われることが想定されるむさしの住宅跡地の新たな土地活用を検討し、学園二丁目地区の地区計画の変更を行うものである。				
今後は、地権者である財務省との協議を重ね、令和5年度末に地区計画を変更し、事業完了となる予定である。				
成果	今後の方針	コスト		
	向上 維持 低下	削減	維持	増加

(廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	立川都市計画道路3・4・39号線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272
	根拠法令等	都市計画法、道路法		
目的	第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業を活用し、立川都市計画道路3・4・39号武蔵砂川駅複線（区間：学園一丁目25番地先～複三丁目22番地先、幅員16m、延長約400m）を整備する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 		
内容	立3・4・39号（学園一丁目25番地先～学園一丁目48番地先）までの約400mの区間を整備するもの。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	年度業務の計画的な推進	—	目標	認可取得	認可取得
			実績	未取得	認可取得	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	0	47,154	0			
国都支出金	12,315	131,406	146,553			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	6,142	5,885	5,923			
所要人員（人）	0.77	0.77	0.77			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	18,457	184,445	152,476			


視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	廃止・休止した場合の市民への影響
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度における交通管理者協議、事業認可の取得に向けた事前協議を経て、令和4年6月30日付けで事業認可を取得し、同年8月20日に市民に対して用地説明会を開催した。また、事業認可取得に伴い、以下のとおり業務委託を行った。 ●事業認可掲示板設置委託 ●不動産鑑定評価委託 ●物件補償及び算定業務委託 ●区域変更公示用図書等作成委託 ●電線共同溝整備に伴う既存ストック等の活用検討委託 ●マンション敷地及び共有私道等用地取得に伴う支援業務委託	事業期間は平成29年度から令和8年度までの10年間としている。 しかし、事業認可取得の遅延のほか、用地取得を進めるに当たり、地権者との折衝においても、区分所有マンションの敷地は所有者全員の承諾が必要なこと、共有私道等の権利者把握が困難なこと、相続放棄による所有者不明の土地の相続財産管理人申立てが必要なことなどの課題がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
本事業は、令和4年6月30日付けで東京都知事の事業認可を取得しており、第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業を活用し、東京都と連携協力して道路整備を進めていく。 事業の実施に当たっては、事業の効果的かつ効率的な実施に配慮しつつ、当該路線の早期整備に向けて引き続き関係機関との連絡調整を適宜行い、用地取得等を進めていく。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
		今後の方針																						
		コスト																						
成果	向上	削減	維持	増加																				
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	立川都市計画道路3・5・20号線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272
	根拠法令等	都市計画法、道路法		
目的	東京都における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）において優先整備路線に選定された立川都市計画道路3・5・20号東大和武蔵村山線を整備する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを		
内容	主要市道第17号線～立川都市計画道路3・4・40号松中残堀線まで（幅員12m、延長約680m）について、令和7年度までに優先的に整備すべき路線として位置付けられていることから整備事業の着手に向けた検討を進める。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	現況測量、交通量調査等業務の実施	—	目標	調査検討	調査検討	調査検討
				実績	未実施	未実施	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	0	0	0			
国都支出金	-	-	-			
その他	-	-	-			
会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77			
人件費						
所要人員（人）	0.01	0.01	0.01			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	80	77	77			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある			
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	


令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
調査検討未実施	当該路線の整備に当たっては、接続路線である立3・4・40号線と合わせた整備が必要である。 事業予定区間は、計画から時間が経過し、周辺環境が大きく変化するとともに、近年は開発による戸建住宅の建築が散見されるため、実施に当たっては地権者との合意形成や物件補償費の増大が課題である。

今後の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
第四次事業化計画において令和7年度までに優先的に整備すべき路線として選定されていることから、事業の効果的かつ効率的な実施に配慮しながら、整備事業の着手について調査検討を行う必要がある。				
		今後の方針		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	立川都市計画道路3・4・40号線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	用地 係 内線 275
	根拠法令等	都市計画法、道路法		
目的	東京都における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）において優先整備路線として位置付けられている立川都市計画道路3・5・20号東大和武蔵村山線へ接続する路線であり、当該路線の整備により総合体育館等へのアクセス向上及び沿線の防災安全面などの環境改善を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	青梅街道峰交差点から立3・5・20号線まで（幅員16m、延長約133m）において当該路線を整備する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	当該地の維持管理	—	目標	維持管理	維持管理	維持管理
				実績	維持管理	維持管理	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		562	666	846	
財源内訳	一般財源	562	666	846	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77	
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		642	743	923	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>
効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
事業に係る用地取得は完了しているが、工事着手までの期間において、当該用地の維持管理として年5回の除草作業を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●青梅街道以南の都市計画道路（都道）の整備が未着手であることから、交差点の線形を確定するため、関係機関との調整が必要である。</li> <li>●整備効果の発揮には、第四次事業化計画の優先整備路線として選定された立3・5・20号線の整備が必要である。</li> <li>●事業を休止したため、補助金の導入、事業認可の再取得の可否については現時点では不明である（平成17年度をもって事業認可期間が切れている。）。</li> </ul>

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
本事業の整備効果の発揮には、第四次事業化計画の優先整備路線として選定された立3・5・20号線の整備が必要であり、それが進行するまでは適宜当該用地の除草作業を行い現状維持を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	榎地区まちづくり事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	事業 係 内線 277
	根拠法令等	都市計画法、道路法		
	目的	榎二丁目地区のまちづくりの整備手法等を検討し、地域住民等の意見も踏まえて整備計画を策定し、秩序ある市街地の整備を行う。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	東西道路のネットワークの構築をはじめ、地域住民の意見を踏まえ地区の課題の洗い出しを行い、榎地区のまちづくりについて検討を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	年度業務の計画的な推進	—
				実績	推進	
				達成率	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		14,102	13,420	97,570	
財源内訳	一般財源	14,102	13,420	97,570	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	3,590	3,439	4,923	
	所要人員(人)	0.45	0.45	0.64	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		17,692	16,859	102,493	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か					
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある		
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
効果率	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効果率	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効果率	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当


令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和3年度において立川都市計画道路3・4・17号桜街道線の都市計画道路の変更を行っており、令和4年度は都市計画道路にかかる土地を所有するなど影響を受ける地権者に対し戸別訪問を実施し、意向の確認を行った。また、まちづくりについて、有識者を招き、まちづくり懇談会を実施した。	都市計画道路の整備の推進だけでなく、榎地区全体のまちづくりについて市民と協働で調査検討を行っていく必要がある。 また、都市計画道路の築造には地権者の同意が必要であるため、反対の意見もある中、いかに同意を得ていくかが課題である。

今後の方針	
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
榎地区（榎一丁目の一部及び榎二丁目の全域）は、市の基本構想など上位計画に位置付けられた「都市核地区」に隣接し、市民生活の利便性や良好な住環境の向上を図るため、幹線道路の整備を推進する必要がある。今後も本事業を継続し、市民と協働しよりよいまちづくりを目指していく。	
立川都市計画道路3・4・17号桜街道線の整備について、令和5年度から工事以外のコンサルタント業務を11年の業務包括委託により委託し、令和14年度の供用開始を目指す。	
【今後の予定】	
●令和5年度：事業認可取得、補償調査等	
●令和6年度：用地交渉等	
●令和7年度～令和9年度：用地取得、物件補償等	
●令和9年度～令和13年度：道路築造工事等	

		今後の方針		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			○
	維持			
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 2号線交差点整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272
	根拠法令等	都市計画法、道路法		
目的	都市核地区土地区画整理事業の進捗、大規模商業施設の増床計画、多摩都市モノレールの延伸による歩行者量の増加を見据え、快適な歩行者空間の確保を図る。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 		
内容	主要市道第2号線（江戸街道）と都道59号八王子武蔵村山線（多摩大橋通り）の交差点東側の歩道拡幅（延長：約150m、幅員：13.0m～16.0m）のため、榎一丁目6番地先において用地取得及び歩道拡幅を行い、ゆとりある歩行者空間を整備する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	整備時期等に関する調査検討	—
				実績	調査検討	
				達成率	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	0	0	
財源内訳	一般財源	-	-	-	
	国都支出金	-	-	-	
	その他	-	-	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77	
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
	合計（事業費+人件費）	80	77	77	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
周辺の土地開発等の動向把握を行った。	周辺の土地利用動向を踏まえつつ、整備時期等を検討する必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
都道59号線との交差点東側の歩道拡幅について整備検討を行うものであり、当該路線の北側については、区画整理課が所管する「都市核地区土地区画整理事業」により用地を確保し、南側を本事業において進めることとしている。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果		向上																						
	維持		○																					
	低下																							
市民の安全で快適な交通を確保するため、幹線道路との有機的な結び付きに配慮しながら、土地区画整理事業を始めとした周辺の土地利用の動向を見極め、歩行者空間の確保に関する調査検討を行った上で用地取得等に着手していく。																								
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 12号線拡幅整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	道路法		
	目的	地域防災計画で指定されている災害時の緊急活動重要路線として整備するとともに、都市計画マスタープランで示されている、補助幹線道路としての道路ネットワークの整備を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	延長約370m、現況幅員5.46mから10.57mの道路を12mに拡幅（交差点部14m）する。用地買収面積は約2,820㎡（公社先行取得分含む。）。平成28年度から令和6年度までは用地取得、令和7年度から一部道路工事を予定している。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	用地取得進捗率	%	目標	64.9	69.0	74.1
							実績	54.5	70.9	
達成率	84%	103%								
2	道路築造進捗率	%	目標	—	—	—				
			実績	—	—					
			達成率	—	—					

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—			
事業費（千円）	134,386	115,449	86,485				
財源内訳	一般財源	55,415	63,272				13,715
	国都支出金	63,571	52,177				37,470
	その他	15,400	0				35,300
会計年度任用職員以外の職員（千円）	479	1,452	1,241				
人件費	所要人員（人）	0.06	0.19				0.16
	会計年度任用職員（千円）	0	0				0
	所要人員（人）	0.00	0.00				0.00
合計（事業費+人件費）	134,865	116,901	87,726				


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性 <td rowspan="2">市民との協働により事業を実施しているか</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適合している</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当</td>	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性 <td>廃止・休止した場合の市民への影響</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当</td>	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性 <td>民間委託等は可能か</td> <td><input type="checkbox"/> 困難である</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当</td>	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度は、当初2件の用地取得を目指していたが、予定にはなかった地権者について急遽契約がまとまり2件増え、合計4件の取得へとつながった。 また、今後の用地取得へ向け地権者に対し複数回折衝を行った。 さらに、当該路線の無電柱化の予備設計を行った。	用地取得については、地権者の事業への理解が必要であり、用地取得が進むにつれて計画的な用地取得の見通しを立てることが難しくなるが、引き続き丁寧な説明に努めていく。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
道路の供用開始へ向け進捗するほど用地取得は難航してくると予想しているが、引き続き丁寧な説明をして用地取得に努める方針である。 また、道路築造については、東京都が推進している無電柱化の状況を勘案し、当該路線に無電柱化を導入することとしており、令和5年度には、無電柱化について詳細設計を行う。 今後、用地取得の進捗に合わせて一部道路の先行整備について検討を始め、早期の供用開始に努める。																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>				今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
		今後の方針																						
		コスト																						
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 4号線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	道路法		
目的	主要な市道である当該路線は工業地域内の道路であり、大型車両の通行によって路面の損傷が激しいため、安全で快適な状態に改修する。		SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	
内容	主要市道第4号線（伊奈平南通り）のうち都道162号三ツ木八王子線（残堀街道）から都道59号八王子武蔵村山線（多摩大橋通り）までの東区間において、舗装打換を実施した（幅員10m、工事延長=544.9m、舗装工=3,438㎡）。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	舗装工	一式
			実績	—	1	
			達成率	—	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	毎年、沿道に居住する住民から振動や騒音に関する苦情が寄せられており、対応に苦慮していた。		
財源内訳						
一般財源	0	54,283	0			
国都支出金	-	39,883	-			
その他	-	14,400	-			
会計年度任用職員以外の職員（千円）	-	0	-			
人件費	798	1,529	0			
所要人員（人）	0.10	0.20	0.00			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	798	55,812	0			


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある			
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
当該路線は、平成5年度に同区間の改修工事を実施しており、今回の改修工事は30年ぶりとなる。	今回の改修は、車道部分を対象とし歩道部分は含まれていない。 また、当該路線のうち残堀街道から主要市道第3号線（平和通り）までの西側（伊奈平五丁目61番地付近～伊奈平五丁目82番地付近）は未改修であることから、当該区間の損傷箇所については別途補修工事が必要となる。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 当該路線の改修区間については、工業地域内のため大型車両の通行が多く路面の損傷が激しいことから、安全で快適な状態するため令和4年度に舗装改修工事を実施したため本事業は終了となる。 今後は、今回の舗装改修に含まれていない当該路線の西区間（伊奈平五丁目61番地付近～伊奈平五丁目82番地付近）についても、路面の状況を確認しながら、必要に応じて損傷箇所の補修工事を行っていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	国立感染症研究所周辺道路整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	道路法 国立感染症研究所施設周辺安全対策等事業費補助金補助要綱		
	目的	国立感染症研究所の周辺道路のうち、損傷等による道路環境の悪い路線について、国立感染症研究所施設周辺安全対策等事業費補助金を活用して順次改修し、道路環境の改善を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	国立村山医療センター北側道路（主）21号線、区間：学園二丁目37番地先～神明一丁目50番地先、幅員5.5m～8.0m）や江戸街道（主）1号線、区間：学園通り交差点～団地西通り交差点、幅員12m、延長約630m）などの幹線道路及び生活道路の劣化が認められる箇所について補助金を活用し舗装等の改修工事を実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	舗装等改修工事	路線
			実績	3	—	
			達成率	100%	—	
2	国立感染症研究所周辺道路舗装構造評価委託	一式	目標	—	1	—
			実績	—	1	
			達成率	—	100%	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	毎年、沿道に居住する住民から振動や騒音被害に関する苦情が寄せられており、対応に苦慮している。		
財源内訳						
一般財源	0	0	0			
国都支出金	23,840	737	127,344			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	798	1,529	1,539			
所要人員（人）	0.10	0.20	0.20			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	24,638	2,266	128,883			


視点別の分析	妥当性		有効性		効率性	
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和5年度に市道のうち最も重要な主要市道第1号線（江戸街道）の改修を行うことから、改修に備えて道路の劣化度を測定した。 ●国立感染症研究所周辺道路舗装構造評価委託 区間：学園四丁目12番地先から大南五丁目68番地先まで 委託料：605,000円 ●路上路盤再生工配合設計委託 区間：学園三丁目96番地先から大南五丁目68番地先まで 委託料：132,000円	本事業の主な財源である「国立感染症研究所施設周辺安全対策等事業費補助金」は、他の公共事業にも充当されているため、単年度では江戸街道の全面改修工事を施工できず2か年にわたるため時間を要する。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
本事業は、国立感染症研究所村山庁舎周辺の安全対策や災害・事故対応及び避難対応の更なる強化、周辺住民の生活環境に配慮した環境整備を図ることを目的として国から交付される「国立感染症研究所施設周辺安全対策等事業費補助金」を活用して、同研究所施設周辺の道路整備を行うものである。 令和5年度は主要市道第1号線（江戸街道）を改修することとしており、今後も補助金を活用し、住民の避難路となるような路線の整備に努めていく。			
		今後の方針	
		コスト	
		削減	維持
成果	向上		
	維持		○
	低下		

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 66号線拡幅整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	道路法		
目的	(主) 66号線の施工箇所は新青梅街道との交差点部であり、当該路線の拡幅により現在発生している新青梅街道からの左折車の一時停止や(主) 66号線上での譲り合いをなくし、円滑な通行を可能とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	(主) 66号線(区間: 神明四丁目75番地先から新青梅街道までの幅員6m・延長約54m)の拡幅部分については、既に土地開発公社が道路用地として先行取得しており、当該用地を市が買い戻して道路を築造する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				目標	実績	達成率
1	用地取得件数	箇所	目標	1	1	1
				実績	0	0
				達成率	0%	0%
2	拡幅工事件数	件	目標	1	1	1
				実績	0	0
				達成率	0%	0%

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		1	1	1
財源内訳	一般財源	1	1	1
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
会計年度任用職員以外の職員(千円)		80	77	77
人件費	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		81	78	78

**市民・議会等から寄せられた意見**


当該路線の沿道に居住する住民からは、早期の施工を求める問合せが定期的に届いている。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
民間委託等は可能か	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
平成26年度から土地開発公社の借入金に対する利子補給を実施しており、令和4年度は247円であった。	—

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	成果	今後の方針			コスト				削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
成果	今後の方針																							
	コスト																							
	削減	維持	増加																					
向上																								
維持		○																						
低下																								
東京都が実施する新青梅街道の拡幅事業の進捗と合わせ、実施計画事業として要求する。	(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	市道隅切等整備事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	管理 係	内線	266
	根拠法令等	道路法				
目的	見通しの悪い交差点等における視認性の向上を目的とし、隅切りを設置するために必要な用地を買収する事業。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	昭和48年度から事業開始し、令和4年度末までの実績は341箇所である。毎年1、2箇所程度準備していく計画である。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	隅切等事業整備箇所数	箇所
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		707	164	2,250
財源内訳	一般財源	707	164	2,250
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	80	383	385
	所要人員(人)	0.01	0.05	0.05
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		787	547	2,635

**市民・議会等から寄せられた意見**

警察から、道路交差点の視通不良による事故のおそれがあるため、道路管理者として対策するように要望があった。


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度実績は用地取得費164千円となった。 【昭和48年度から令和4年度末までの累計(実績)】 整備等実施箇所：341箇所 用地取得費：148,464千円 物件補償費：15,054千円 測量調査委託料：8,299千円 不動産鑑定評価委託料：7,152千円 合計：178,969千円	隅切り等用地取得に当たって、用地の交渉や用地引渡しまでの更地化に時間を要することから、年度をまたぐことも想定される。

今後の方針	
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 引き続き実施計画事業として要求し、市民要望等に応じていく。	
成果	今後の方針 コスト
	削減 維持 増加
	向上 維持 低下
	○

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	境界確認委託事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	管理 係	内線	266
	根拠法令等	道路法				
	目的	道路境界確定業務において、有資格者（土地家屋調査士）に道路境界線の検討及び調整業務を委託することで、一部事務の負担軽減を図るとともに、申請に対し正確かつ迅速に対応することを目的とする。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	職員が行っている境界確定事務の一部を委託する。（令和4年度から実施）					

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	境界確認委託箇所数	箇所	目標	—	10	10
				実績	—	2	
達成率				—	20%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	393	1,590	
財源内訳	一般財源	-	393	1,590	
	国都支出金	-	0	0	
	その他	-	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	383	385	
	所要人員（人）	0.00	0.05	0.05	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		0	776	1,975	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
2箇所（本町及び中原）において、委託を実施した。	道路の境界確定に係る最終的な判断は市が行うが、委託することで境界確定事務における職員の技術力の低下が懸念される。

所管課の評価	今後の方針																												
	【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																												
	近年、地籍調査事業や不要市道の廃道検討などの新規事業の実施に伴い、職員一人当たりの事務量が増加傾向にあるため、境界確定に係る一部業務の委託化により職員の負担軽減を図るものである。																												
	引き続き本事業を継続し、業務を正確かつ迅速に対応できるよう委託先と業務精度の向上や効率化を進め、事務の負担軽減を行う。																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" style="text-align: right;">（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）</td> </tr> </tbody> </table>						今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下				（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）			
		今後の方針																											
		コスト																											
成果	向上																												
	維持		○																										
	低下																												
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																													



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	道路等ストック総点検事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	道路法		
目的	経年劣化に起因する事故防止を目的として平成25年度から全ての道路管理者に義務付けられたものであり、舗装・橋りょう・トンネル・道路付属物（街路灯や道路反射鏡等）を5年に1度のサイクルで点検するもの。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	本市では次に掲げるものを5年に一度点検している。 道路反射鏡（1,778基）、トンネル（4本）、橋梁（59鏡）、防犯灯（5,011灯）、道路舗装（幅員4.5m以上で延長108,228m）及び街路灯（2,194灯）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	道路反射鏡点検委託	一式
			実績	—	1	
			達成率	—	100%	
2	道路ストック（トンネル）総点検委託	一式	目標	—	1	—
			実績	—	1	
			達成率	—	100%	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	0	5,357	19,805			
国都支出金	—	0	0			
その他	—	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	1,529	1,539			
所要人員（人）	0.01	0.20	0.20			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	80	6,886	21,344			


視点別の分析	妥当性		有効性		効率性	
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●道路反射鏡点検委託（3,223,000円）</li> <li>●トンネル点検委託（2,134,000円）</li> </ul>	法定化された橋りょう及びトンネルの点検においては、専門的な技術を要するため委託料が高額となる。 また、道路舗装については、国への報告は行わないものの、調査対象の延長が長い上、ひび割れやわだち量を測定する必要があり、同様に高額となる。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
本事業は、トンネル天井板の安全管理が不十分で劣化を見逃した結果、天井板の崩落に巻き込まれて9人が死亡した重大事故の発生を契機として、落下、倒壊による第三者被害の防止（重大事故防止を含む。）の観点から道路ストック総点検が全道路管理者に義務付けられたため実施するものである。 国や他の自治体と同様、本市においてもトンネルや橋を複数箇所管理していることから、今後も、適切な維持管理を行いながらより安全に施設を供用するために本事業を継続していく必要がある。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>						今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
		今後の方針																						
		コスト																						
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	既設道路整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	道路法		
	目的	市が管理する道路における小規模な舗装及び街きよ等の補修を実施するための工事請負費であり、危険性や重大性の高いものから順位をつけて道路を整備し、道路環境の改善を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	本事業の内訳は、100～300万円程度の舗装改修工事が中心である。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	舗装等改修工事	箇所
			実績	29	26	
			達成率	145%	130%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費(千円)	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	本事業では、生活道路を中心とした比較的に小規模な道路補修工事を実施している。 市民及び市議会議員を通じた要望件数は多く、限りある予算の関係上、受付年度に全てを対応できていないものの、工事の施工に対しては要望者から喜びの声がある。		
財源内訳						
一般財源	4,617	6,583	45,000			
国都支出金	41,400	45,600	0			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員(千円)	19,940	19,105	19,230			
所要人員(人)	2.50	2.50	2.50			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	65,957	71,288	64,230			


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●その1工事(14箇所)：23,358,756円 ●その2工事(12箇所)：28,607,152円 ●中原休憩所トイレ改修工事：216,700円	直営以外の補修工事は、その大部分を本事業により実施している。既設道路は経年劣化が進行し、現在の予算規模では将来的に多額の費用を要する。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
安全で円滑な交通環境を確保するため、一般市道等における道路破損箇所の補修等を実施するものであり、施工箇所と工法を精査しながら事業を執行する。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上	○		
維持			
低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	私道整備補助事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	私有道路整備事業費補助金交付要綱		
	目的	私有道路の整備工事等に要する費用に対して補助金を交付することにより、私有道路における交通安全の確保と利用者の生活環境の向上を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	補助率は、路面舗装、雨水排水施設及び街きよ整備の各工事は8割、雨水排水施設浚渫作業は5割としている（いずれも見積額と基準額を比較し、少ない額を補助する）。			
対象（交付先）	私有道路の整備工事等を行う者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	整備工事等	箇所
			実績	1	2	
			達成率	50%	100%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

事業経費				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
補助金	交付金額（千円）	635	1,157	1,000	市民・議会等から寄せられた意見 市民や議員からは、それぞれ例年1、2件程度の相談が寄せられる。							
	一般財源	635	1,157	1,000	他市等の状況 【令和4年6月1日現在の26市の状況】 ●全額市費対応：立川市ほか14市 ●補助金制度：八王子市ほか8市 ●市役所非関与：青梅市、清瀬市							
	国都支出金	0	0	0								
	その他	0	0	0								
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,197	1,147	1,154								
	所要人員（人）	0.15	0.15	0.15								
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0								
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00								
合計（補助金+人件費）				1,832	2,304	2,154						

交付団体等の決算予算の状況				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算																				
収入	総額（千円）	0	0	0	交付団体等の令和4年度の市補助金の使途 交付金額（千円） 1,157																									
	市補助金	-	-	-	<table border="1"> <tr> <td>使途内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						使途内訳																			
	使途内訳																													
会費	-	-	-																											
繰越金	-	-	-																											
事業収入	-	-	-																											
その他	-	-	-																											
支出	総額（千円）	0	0	0	割合（%）																									
	交際費、飲食費	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合																									
	人件費	-	-	-	—																									
	事業経費	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合																									
	その他	-	-	-	—																									
				交付金額に対する繰越金の割合																										
				—																										

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度の実績は以下のとおり。 【実施箇所】①残堀4-76-11、②伊奈平6-59-9 【工事内容】①雨水集水樹浸透化工（1基） ②雨水浸透施設埋設工（1基） 【工事代金】①467,500円、②1,344,420円 【補助金額】①80,820円、②1,075,536円	補助率を下げると、私有道路の所有者による維持管理はおろそかとなる可能性が高い。 令和4年度に多摩26市の運用状況を調査した結果、事業未実施は2市、全額市費負担は15市、補助金制度は9市（補助率内訳：9割2市、8割5市、7割1市、5割1市）であり、一般交通に私有道路が供されている実態からも、負担割合を変更することは難しい。


今後の方針  
 拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

【今後の方向性】  
 本事業は、平成23年度まで申請に基づき市が改修工事を実施していたが、平成24年度から現在の補助金制度へ移行した。  
 私有道路における交通安全の確保や市民の生活環境を整備する上で必要であることから、引き続き実施計画事業として要求し、市民等の要望に応じていく。

今後の方針			
成果	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	空家等対策計画策定事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 3 住宅・宅地		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	開発・住宅 係 内線 278
	根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法		
	目的	空家等対策について効率的かつ効果的に実施するため、市内における空き家の利活用や適正管理、除去を含めた空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するための計画（以下「空家等対策計画」という。）を策定する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	空家等対策を推進するための具体的施策を定めるとともに、具体的施策を推進するための体制を計画に定めるもの。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				1	空家等対策計画の策定	—	目標
				実績	検討	空家等実態調査	
				達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—	—	
			達成率	—	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		0	12,100	8,250
財源内訳	一般財源	-	3,025	4,326
	国都支出金	-	9,075	3,924
	その他	-	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	479	994	1,000
	所要人員（人）	0.06	0.13	0.13
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		479	13,094	9,250

**市民・議会等から寄せられた意見**


空き家問題は、市議会一般質問において、ほぼ毎回取り上げられており、その中で空き家対策については空家等対策計画の中で検討するとの答弁を行っている。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
市内の空家等の実態を把握するため、市内全域の建物及びその敷地を対象として空家等実態調査（実施期間：令和4年5月19日～令和5年3月15日）を実施し、空家等の件数及び空き家率、町丁目別の空家等の集計、不良度などを調査した。 調査結果の分析、課題の抽出等を行い令和5年3月に「武蔵村山市空家等実態調査報告書」として取りまとめた。	—

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
<p>今後は、令和4年度に作成した「武蔵村山市空家等実態調査報告書」を基礎資料として、空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するための空家等対策計画を策定する。また、実効性のある空家等対策計画とするため、外部委員会及び庁内検討委員会の意見を伺いながら、検討を進めていく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><small>（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）</small></p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	公共汚水柵設置事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	公共汚水柵設置に関する取扱基準		
	目的	住宅等の新設等に伴い必要となる公共汚水柵の整備を行う。		SDGsの取組 6 安全な水とトイレを世界中に 
内容	公共汚水柵の整備を毎年度適宜実施する（平均15箇所）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	※市民からの設置要望に対し、市が設置する事業であるため、評価指標を設定することが困難。	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
達成率				—	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—	—	
			達成率	—	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
事業費（千円）	11,623	8,586	9,000			
財源内訳	一般財源	0	0			
	国都支出金	0	0			
	その他	11,623	8,586			
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	639	612			
	所要人員（人）	0.08	0.08			
	会計年度任用職員（千円）	27	29			
	所要人員（人）	0.02	0.02			
合計（事業費+人件費）	12,289	9,227	9,645			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	


令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和4年度は、11件の公共汚水柵の設置申請があり、全てに対し設置を行った。	—

今後の方針			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了		
今後も引き続き、公共汚水柵の設置要望に対し設置を行っていく。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	下水道ストックマネジメント事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	下水道法		
目的	武蔵村山市下水道ストックマネジメント計画及び武蔵村山市下水道ストックマネジメント実施方針に基づき、計画的に点検、調査、施設の改築等を実施する。		SDGsの取組 6 安全な水とトイレを世界中に	
内容	1期当たり7年（点検調査（2年）、計画策定（1年）、実施設計及び工事（4年））かけて実施し、第1期から第7期（令和2年度から令和26年度）の7つの工期に分けて実施する。※各期を一部重複して進めていくため最終年度は令和26年度の予定となっている。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	事業完了までに要する全ての作業工程（7作業×7工期=49工程）に対する事業進捗率	%
			実績	4	6.1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		44,325	19,710	111,840		—
財源内訳	一般財源	0	0	0		
	国都支出金	8,925	5,775	11,865		
	その他	35,400	13,935	99,975		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	240	230	231		
	所要人員（人）	0.03	0.03	0.03		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		44,565	19,940	112,071		


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性 <td rowspan="2">市民との協働により事業を実施しているか</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適合している</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当</td>	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性 <td>廃止・休止した場合の市民への影響</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当</td>	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性 <td>民間委託等は可能か</td> <td><input type="checkbox"/> 困難である</td> <td><input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当</td>	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度は、第1期で実施した2年間分の調査結果（マンホールふた箇所=1,145箇所、管きょ延長=27,480m）を受け、改築に必要なポリウムを精査し、工事の計画を策定した。 事業完了までに要する全49工程のうち、3工程まで終了し事業進捗率は6.1%となった。	公共下水道管のストックを継続して適正に維持管理していく上で本事業は必要不可欠であるが、市内全域の管きょ延長約273Kmを対象に1期7年、7期にわたる長期の事業となり、事業費が膨大である。 また、第7期が完了した時点で、また第1期に戻り永続的に事業を進めていくことが予想される。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
令和5年度については、令和4年度に策定した第1期の計画に基づき令和6年度以降に実施する工事の基本設計及び令和6年度工事の詳細設計を実施する。 今後も継続してスケジュールに沿って事業実施を進めていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	管渠改良事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係	内線	267
	根拠法令等	下水道法				
	目的	交差点拡幅等の道路改良の際に、道路下に埋設している下水道管について移設する必要が生じるため、管きよ及び取付管の改良工事等を実施する。			SDGsの取組 6 安全な水とトイレを世界中に	
内容	管きよ及び取付管の敷設替えを実施する。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	※交差点拡幅等の道路改良事業に伴い発生する事業のため、評価指標を設定することが困難。	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
達成率				—	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—	—	
			達成率	—	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		72,473	40,206	108,425	
財源内訳	一般財源	0	0	0	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	72,473	40,206	108,425	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	479	1,452	4,591	
	所要人員(人)	0.06	0.19	0.60	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		72,952	41,658	113,016	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	効果率	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
		民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	性	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度は、都道交差点改良工事に伴う管きよ改良工事を1件実施した。	すいすいプラン(交差点改良事業)等の東京都の事業に伴う管きよ敷設替えについては、都の事業進捗状況に左右されるため、敷設替えを行う時期が変更となる可能性がある。 また、今後実施が想定される新青梅街道の拡幅事業が開始された際には、下水道管の移設工事を全線行う必要があり、事業費が数十億円必要となる試算である。令和6年度より工事実施予定である。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和5年度については、交差点改良に伴う改良工事2件、空堀川河川改修工事に伴う管きよ改良工事1件、新青梅街道拡幅に伴う污水管移設の基本設計等を予定している。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果		向上			○																			
	維持																							
	低下																							
事務事業の推進に当たっての課題に記載したとおり、今後実施が想定される新青梅街道の拡幅事業が開始された際には、下水道管の移設工事を全線行う必要があり、工事費等の事業費及び従事するための業務量が膨れ上がると想定している。																								

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	雨水管理総合計画策定事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	下水道法等		
	目的	下水道法改正により浸水被害を防ぐべき目標降雨を下水道事業計画に位置付けることが規定され、雨水対策に関する各事業を計画的に進めていく必要があるため、当該計画を策定する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	現在進めている各浸水被害対策事業の連携を図りつつ計画的に進めていくために、基本的な事項を定める。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	雨水管理総合計画策定	—	目標	—	素案作成	計画策定
				実績	—	素案作成	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	6,844	1,100	
財源内訳	一般財源	-	6,844	1,100	
	国都支出金	-	0	0	
	その他	-	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	994	1,000	
	所要人員（人）	0.00	0.13	0.13	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		0	7,838	2,100	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度は、委託により雨水管理総合計画の素案を作成した。	治水に関わる部署が多岐に渡るため、関係者協議（協議先は計画に定める内容による。）に係る業務量が多い。 特に河川への雨水放流量に関する河川管理者との協議は期間と労力を要することが想定される。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
令和5年度については、令和4年度に作成した計画の素案に基づき、河川部局と協議を進めていく予定である。 また、計画の策定後は、計画に基づいて市内各所の雨水管の整備を進めていく予定である。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	空堀川上流雨水幹線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道		
	所管部署	都市整備部	道路下水道課	下水道係 内線 255
	根拠法令等	下水道法		
	目的	本市南東部の大南地区は雨水の排出先である空堀川より地盤が低く、本市単独で河川に排出することが困難であるため、立川市、東大和市及び本市の雨水をまとめて排出する「流域雨水幹線」を、東京都下水道局流域下水道本部において施設整備することが決定し整備を進めた。関係市町は、その建設に係る費用の一部を負担する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	平成30年度：空堀川流域広域雨水整備検討協議会及び幹事会の開催 整備手法の検討・方針決定 令和元年度～令和4年度：設計及び建設局河川部との協議等 令和4年度～令和12年度：工事			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	設計及び建設局河川部との協議等	—
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
			達成率	—	—	—

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	2,218	3,556	138,295			
国都支出金	0	0	0			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	2,218	3,556	138,295			


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
空堀川雨水幹線実施設計委託、支障物件の移設等を実施した。	雨水に関する費用であることから、一般会計の負担となるが、財源は一般会計からの繰出金となるので、工事の内容によっては、年度ごとの負担にばらつきがある。

今後の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
	東京都が整備する立川市、東大和市及び本市の雨水をまとめて排出する流域雨水幹線の整備費を負担するものであり、抜本的な雨水対策を図るため、東京都及び関係市との連携による整備の促進が求められることから、今後も継続する必要がある。			
	今後の方針			コスト
	成果	向上	維持	増加
	向上	○		
	維持			
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	家庭ごみ有料化及び戸別収集導入事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 5 廃棄物処理とリサイクル				
	所管部署	環境 部	ごみ対策 課	減量推進 係	内線	292
	根拠法令等	武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画				
目的	良好な環境の次世代への継承、ごみの減量及び資源化の推進、排出量に 応じた負担の公平性の確保及びごみに対する意識の向上を目的とし、家庭 ごみ有料化及び戸別収集の導入を推進する。				SDGsの取組 12 作る責任 使う責任 	
内容	家庭ごみ有料化及び戸別収集の導入に当たり、実施計画の策定など、具 体的事項の検討を進めるとともに、ごみに関する意識啓発を目的としたごみ 情報誌の発行等、市民への周知を行う。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	ごみ情報誌の発行回数	回
			実績	4	4	
			達成率	100%	100%	
2	排出物原単位（市民1人1日当たりのごみ、資 源の排出量）	g/人日	目標	740	683	674
			実績	772.4	741.7	
			達成率	96%	92%	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 廃棄物減量等推進審議会からの「家庭ご み有料化及び戸別収集への移行に係る実施 方法について」の答申において、「導入後 においても効果が持続するよう、減量効 果、収支などの成果及びごみ処理に係る経 費について分かりやすく公表し、更なる理 解を醸成するよう努められたい」との意見 をいただいている。
事業費（千円）		2,675	543,207	0	
財源内訳	一般財源	2,675	144,321	-	
	国都支出金	0	127,819	-	
	その他	0	271,067	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	14,437	41,037	0	
	所要人員（人）	1.81	5.37	0.00	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		17,112	584,244	0	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>家庭ごみ有料化及び戸別収集の導入に向けた取組として、令和4年4月から同年9月までにかけて戸別収集導入後の排出場所調査を実施した。</p> <p>また、同年6月に市民説明会を開催するとともに、有料化・戸別収集導入後のごみの出し方等を要約した説明動画を配信した。</p> <p>さらに、同年9月には、有料化・戸別収集に関する問合せに迅速に回答するため、コールセンターを開設するとともに、指定収集袋の流通を開始した。</p> <p>上記の取組を経て、同年10月から家庭ごみ有料化及び戸別収集を開始した。</p>	<p>ごみの減量及び資源化の推進に対して、市民の意識醸成を図り、より一層の意欲が得られるように、家庭ごみ有料化及び戸別収集の導入による成果を示していく必要がある。</p>

今後の方針																						
<p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>家庭ごみ有料化及び戸別収集については、令和4年10月に導入を完了した。しかしながら、家庭ごみ有料化及び戸別収集による減量効果等については、引き続き検証を行い、更なる理解を醸成するため、市民への周知を図っていく。</p> <p>また、より一層のごみの減量を推進するため、新たなごみ減量施策について検討を進めていく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「O」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					



武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	ごみ集積所管理充実支援事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 5 廃棄物処理とリサイクル		
	所管部署	環境部	ごみ対策課	減量推進係 内線 292
	根拠法令等	武蔵村山市ごみ集積所管理充実支援補助金交付要綱		
	目的	集合住宅におけるごみ集積所の適正な管理を図るため、ごみ集積所の管理の充実に資する事業を行う団体等に対して補助金を交付する。	SDGsの取組 12 作る責任 使う責任	
内容	集合住宅のごみ集積所を清潔に管理するために必要な啓発活動又は管理活動（ごみ集積設備の購入、周知啓発用チラシの作成、管理カメラの購入及び設置等）に係る経費の一部を補助する。			
対象（交付先）	集合住宅を管理する市内の自治会及び管理会社等			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	補助件数	件
			実績	—	57	
			達成率	—	25%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
補助金	交付金額（千円）	0	3,694	0	
	一般財源	—	3,694	—	
	国都支出金	—	0	—	他市等の状況
	その他	—	0	—	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	994	0	家庭ごみ有料化の導入を機に同様の補助事業を実施した自治体は、26市のうち本市のみである。
	所要人員（人）	0.00	0.13	0.00	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（補助金+人件費）		0	4,688	0	

交付団体等の決算予算の状況		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	交付団体等の令和4年度の市補助金の使途																														
収入	総額（千円）	0	0	0		<table border="1"> <tr> <td>交付金額（千円）</td> <td>3,694</td> </tr> <tr> <td>使途内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">割合（％）</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">団体収入に占める補助金の割合</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">団体収入に占める繰越金の割合</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">交付金額に対する繰越金の割合</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	交付金額（千円）	3,694	使途内訳								割合（％）					団体収入に占める補助金の割合		—			団体収入に占める繰越金の割合		—			交付金額に対する繰越金の割合		—	
	交付金額（千円）	3,694																																	
	使途内訳																																		
割合（％）																																			
団体収入に占める補助金の割合		—																																	
団体収入に占める繰越金の割合		—																																	
交付金額に対する繰越金の割合		—																																	
	市補助金	—	—	—																															
	会費	—	—	—																															
	繰越金	—	—	—																															
	事業収入	—	—	—																															
	その他	—	—	—																															
支出	総額（千円）	0	0	0																															
	交際費、飲食費	—	—	—																															
	人件費	—	—	—																															
	事業経費	—	—	—																															
	その他	—	—	—																															

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	


令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年4月から申請の受付を開始するとともに、市報や市ホームページへの掲載、関係団体等への通知等により本補助金を周知し、57件の補助を行った。	当初想定していたよりも自治会からの申請件数が少なかったため、自治会が抱えるごみ集積所の管理における問題に対する本補助金を活用した改善策等を併せて周知すべきであった。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
本補助金は、戸別収集の導入により、戸建住宅に住む市民に対しては、集積所の管理に係る負担の軽減が期待される一方、集合住宅に住む市民に対しては、排出方法に変更がなく、戸別収集により期待される効果が十分に発揮されないことが懸念されたことから、実施したものである。	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
本補助金の活用により、ごみの散乱防止など、集合住宅におけるごみ集積所の管理の充実に一定の効果が得られたところであるが、補助金の交付期間は、当初から戸別収集を導入する令和4年度限りとしていたため、本事業を終了する。																								

（廃止・休止・終了の場合は「O」の記入不要）



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	廃棄物資源分別事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 5 廃棄物処理とリサイクル		
	所管部署	環境 部	ごみ対策 課	ごみ対策 係 内線 292
	根拠法令等	武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画		
目的	市民の家庭等から収集等をした資源ごみの中から資源になるものを市内のリサイクルセンターに搬入、選別し、資源化処理を行う。 回収品目は、金属類、びん類、ペットボトル、紙類、布類、プラスチック、剪定枝、有害物（乾電池、蛍光管など）である。		SDGsの取組 12 作る責任 使う責任 	
内容	回収した資源物（金属類、びん類、紙類、布類）は資源化業者に売却し、ペットボトル、プラスチック、剪定枝、有害物（乾電池、蛍光管など）は資源化業者に資源化処理を委託する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	目標指標 資源化率（エコセメントを含む。）	%
			実績	34.7	35.4	
			達成率	99%	96%	
2	モニター指標 資源化率（エコセメントを除く。）	%	目標	26.4	28.3	28.5
			実績	27.1	27.9	
			達成率	103%	99%	


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		127,662	105,015	83,270		令和元年度第4回廃棄物減量等推進審議会において、委員より家庭ごみの有料化及び戸別収集の導入に当たり、市民に対してごみの分別及び資源化について、わかりやすく周知すべきであるとの意見があった。
財源内訳	一般財源	78,723	57,522	28,743		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	48,939	47,493	54,527		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,994	2,064	1,923		
	所要人員（人）	0.25	0.27	0.25		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		129,656	107,079	85,193		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
効果率	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効率性	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度の資源物回収実績として、回収量は約3,724 t、資源化率は35.4%であった。 また、市民のごみに対する意識の向上を目的としたごみ情報誌を年4回（6月、8月、9月、3月）発行し、以下の内容を掲載して市民への周知及び情報提供を図った。 ●6月号：資源物の排出方法、資源化の推進 ●8・9月号：有料化及び戸別収集の導入に伴うごみの分別やごみの出し方 ●3月号：令和3年度と比較したごみの収集量の減少状況	市報、市ホームページ、ごみ情報誌等を使用し、資源物の分別について周知を図っているが、令和3年度の家ごみ組成分析調査において、資源物が可燃ごみに約22%、不燃ごみに約13%含まれていた。 このことから、家庭から排出されるごみの中には、一定量の資源物が含まれているため、市民に対し、更なるごみの資源化及び減量化に対する意識の向上を図るとともに、分別の徹底を促すことが重要である。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
令和4年10月から導入した家庭ごみの有料化及び戸別収集により、これまで一括回収していた容器包装プラスチックとペットボトルを分別収集し、直接、資源物中間処理施設に搬入している。 なお、分別の徹底については、市報、市ホームページ等を通じて周知することにより市民意識の向上を図るとともに、資源物の排出について、拡大生産者責任の観点から、店頭回収の利用を促していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上		○		維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	多摩都市モノレール延伸促進事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 1 モノレール推進		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	—		
目的	多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の早期実現に向けて、市内の機運醸成や促進活動の活性化を目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	モノレール早期延伸をPRする物品の作製及び販売や市民組織と連携した促進活動を実施する。また、東京都等の関係機関への要望活動を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	情報誌モノレールの発行回数	回	目標	6	6
			実績	7	7	
			達成率	117%	117%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)	1,515	438	760
財源内訳			
一般財源	261	438	760
国都支出金	0	0	0
その他	1,254	0	0
人件費			
会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,712	2,599	2,616
所要人員(人)	0.34	0.34	0.34
会計年度任用職員(千円)	0	0	0
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)	4,227	3,037	3,376


市民・議会等から寄せられた意見	
令和2年第1回定例会において、早期延伸を実現するため、市民と一体になった一層の促進活動が必要であるとの意見があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和4年度は、情報誌モノレールを発行(7回)したほか、PR用カレンダー及びエコバッグを作製し、市役所1階市政情報コーナー等で販売を行った。 また、デエダラまつりにブースを出展し、モノレール早期延伸に関するPR活動を行った。	令和4年12月東京都議会において、都知事からモノレール開業時期に関して「2030年代半ばの開業を目指す」との発言があったところであり、延伸に向けてモノレールの利用需要の創出につながるまちづくりのより一層の推進が必要となる。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
東京都等の関係機関と連携を取りながら、引き続き、モノレール早期延伸の機運醸成のための取組を行っていくとともに、モノレール延伸を見据えたまちづくりを検討していく。																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上		○		維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	「モノレールを呼ぼう！市民の会」交付金交付事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 1 モノレール推進		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	武蔵村山市モノレールを呼ぼう！市民の会交付金交付要綱		
目的	市民等が主体となって行うモノレール促進活動の充実を図り、もって多摩都市モノレールの市内延伸の早期実現に資することを目的とする。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを		
内容	市民の会が行うモノレール促進活動に必要な経費のうち、補助対象経費（謝礼金、打合せ経費、消耗品費、備品費、印刷経費、役員費、委託料、レンタル・リース経費、工事費、その他経費）に対し交付するものであり、上限額は120万円である。			
対象（交付先）	モノレールを呼ぼう！市民の会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	市民の会会員数（個人会員、サポート会員）	人
			実績	1,715	2,030	
			達成率	-	-	
2	市民の会会員数（団体会員、賛助団体）	団体	目標	-	-	-
			実績	54	58	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	1,500	949	1,200		令和2年第1回定例会において、市民の会との協働体制を充実させ、1日も早い延伸の実現をお願いしたいとの意見があった。
一般財源	337	0	1,200		
国都支出金	1,163	0	0		
その他	0	949	0		
人件費	80	77	77		他市等の状況 近隣市町では、瑞穂町に「モノレールを呼ぼう瑞穂の会」、あきる野市に「モノレールを呼ぼうあきる野の会」があるが、補助を実施する自治体はない。
会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77		
所要人員（人）	0.01	0.01	0.01		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）					
合計（補助金+人件費）	1,580	1,026	1,277		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
総額（千円）	3,523	2,930	3,123		交付金額（千円） 949
市補助金	1,500	949	1,200		事業経費 503
会費	449	411	500		印刷費 121
繰越金	1,574	1,516	1,372		役員費 185
事業収入	0	54	51		会議費 43
その他	0	0	0		広報費 87
総額（千円）	3,523	2,930	3,123		消耗品費 10
支出					割合（％）
交際費、飲食費	0	70	150		団体収入に占める補助金の割合 32%
人件費	0	0	0		団体収入に占める繰越金の割合 52%
事業経費	1,328	503	1,500		交付金額に対する繰越金の割合 160%
その他	2,195	2,357	1,473		

視点別の分析	内容	評価	
		○	□
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
効果性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
透明性	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない
	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●多摩都市モノレール延伸計画に関する都市計画素案説明会の周知活動（全会員への説明会案内の送付）</li> <li>●テエダラまつりに出店し、活動PRを行った。（ハルーンアート・グッズ配布）</li> </ul>	令和3年度の決算において、翌年度への繰越金が増え、補助上限額の150万円を上回る状況であったことから、令和4年度の上限額を120万円と引き下げたが、令和4年度の交付額は94万9千円となっており今後も引下げを検討することとする。

今後の方針																									
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
令和4年10月には多摩都市モノレール延伸計画に関する都市計画素案説明会が開催されるなど、東京都は、都市計画等の手続きに着手していることから、今後、早期延伸の実現に向けて、交付金の活用内容について、「まちづくりを市民に伝える役割」や、「市民が期待する武蔵村山市のまちづくりを検討するような活動」に充てることを検討していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">方向性</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト			成果	方向性	削減	維持	増加	向上	○			維持					低下				
今後の方針		コスト																							
成果	方向性	削減	維持	増加																					
		向上	○																						
維持																									
低下																									


（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		「モノレールを呼ぼう！市民の会」交付金交付事業	
所管部署		都市整備部 交通企画・モノレール推進課 交通企画・モノレール推進係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・一般市民にも間接的な受益があるか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・補助基準は明確か</li> <li>・補助金の交付により期待された効果が得られたか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助内容や補助額の見直しは可能か</li> <li>・補助期間を設定しているか</li> <li>・類似の補助金との統合は可能か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>「モノレールを呼ぼう！市民の会」は、多摩都市モノレールの市内延伸の早期実現に向けたPR活動等を通じて市民の機運を高める重要な役割を果たしてきた。</p> <p>現状における活動についても、モノレールの延伸が着実に前進している状況を踏まえ、これまで培ってきた知見や組織力をいかして将来世代を含めた全市民でまちづくりを考えていくものに転換しており、その存在意義は大きいことから、今後も補助を継続することが適当である。</p> <p>ただし、補助上限額を上回る繰越金が発生していることから、補助額の見直しについては検討することを求めたい。</p>		



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	多摩都市モノレール関連調査事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 1 モノレール推進		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	—		
	目的	多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸に向けて、「モノレール沿線まちづくり構想」に掲げた施策について調査検討等を行う。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	多摩都市モノレール延伸後を見据えたまちづくりの参考とするため、市民意向調査を行い、報告書を作成する。 また、意向調査の結果を踏まえ、過年度検討成果の修正等を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	※まちづくりの具体化に向けた調査になるため、指標の設定が困難	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
達成率				—	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—	—	
			達成率	—	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		5,247	6,556	9,717
財源内訳	一般財源	0	6,556	9,717
	国都支出金	0	0	0
	その他	5,247	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,633	2,522	2,539
	所要人員(人)	0.33	0.33	0.33
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		7,880	9,078	12,256

市民・議会等から寄せられた意見	
令和4年度第4回定例会において、市民の意見をたくさんいただき、みんなで未来を描いていく形でまちづくりを進め、一日も早い開業に向けて取り組んでいくよう要望があった。	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	廃止・休止した場合の市民への影響
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当		


令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
多摩都市モノレール延伸後を見据えたまちづくりの参考とするため、市民意向調査を行った。また、意向調査の結果を踏まえ、過年度検討成果の修正等を行った。 ●調査期間 令和4年11月12日～令和5年1月10日 ●回答数 郵送 636人 ホームページ 100人 イベント等 449人(テエダラまつり等) 合計 1,185人	東京都及び関係市町と連携しながら、多摩都市モノレール利用者の創出につながる沿線のまちづくりに取り組む必要があり、関係機関との調整が重要となる。 また、令和4年10月に多摩都市モノレール延伸計画が公表されたため、今後は市民、事業者の意見を取り入れながらまちづくりの検討を進める必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
令和4年10月に多摩都市モノレール延伸計画が公表されたことを受け、今後は、まちの将来像を市民及び事業者の意見を聴きながら定めて共有し、協働でまちづくりを進めていく必要がある。 また、モノレールのもたらす利便性や賑わいを最大限にいかすまちづくりを進め、持続可能なまちの形成に向けて、計画的に取り組んでいく必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	新青梅街道沿道交通施設等調査検討事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 1 モノレール推進		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	沿線まちづくり 係 内線 279
	根拠法令等	都市計画法		
目的	多摩都市モノレール延伸に係る検討業務の進行に伴い、今後モノレール新駅に必要とされる各種交通施設について調査検討する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	多摩都市モノレール新駅の駅前広場の整備について検討し、関係機関との協議を行う。また、都市計画の変更図書を作成し、変更に係る手続を行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	業務の円滑な推進	—	目標	推進	推進	推進
				実績	推進	推進	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		6,985	5,104	0
財源内訳	一般財源	6,985	5,104	-
	国都支出金	0	0	-
	その他	0	0	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,037	2,293	770
	所要人員(人)	0.13	0.30	0.10
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		8,022	7,397	770


市民・議会等から寄せられた意見	
令和4年第4回定例会において、駐輪場等の整備について時宜を逸することがないように、計画的に整備を進めていくよう要望があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
モノレール新駅に係る駅前広場と駐輪場について、調査検討を行うとともに、関係機関協議を行った。 また、駅前広場の整備に係る都市計画変更図書を作成し、令和4年10月18日から同年10月25日までにかけて素案説明会を行った。	多摩都市モノレールの延伸事業の進捗に合わせて、適切な時機に事業を進めていく必要がある。

今後の方針																			
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																			
<p>本事業は、今後モノレール新駅に必要とされる各種交通施設について、駅勢の圏拡大による来訪者の利便性、快適性の向上を図るため、モノレール新駅に係る駅前広場や駐輪場の整備について調査検討するものである。</p> <p>今後も、モノレール延伸事業等の進捗に合わせて、適切な時機に駅前広場の整備に係る都市計画の変更及び駅前広場の基本設計・詳細設計を行っていく。</p>																			
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト			削減	維持	増加	向上		○	維持			低下		
	今後の方針																		
	コスト																		
削減	維持	増加																	
向上		○																	
維持																			
低下																			
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																			

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	市内循環バス運行経費補助事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 2 地域交通		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	武蔵村山市内循環バス運行経費補助金交付要綱		
	目的	市内循環バス「MMシャトル」の運行を確保し、もって 武蔵村山市民の日常生活の利便の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	本市と市内循環バス「MMシャトル」の運行に関し協定を締結した事業者について、市内循環バスの運行に要する経費（人件費、燃料油脂費、車両修繕費等）に対し補助金を交付する。			
対象（交付先）	立川バス株式会社			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	市内循環バス1便当たりの年平均輸送人員	人
			実績	3.97	5.35	
			達成率	65%	88%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	110,000	96,320	103,547		令和4年4月から武蔵砂川ルート及び西ルートを廃止しているが、対象地域の市民からは不便になったとの声がある。
一般財源	74,000	63,999	67,547		
国都支出金	36,000	32,321	36,000		
その他	0	0	0		
人件費	320	306	308		他市等の状況 立川バス株式会社がコミュニティバスを運行している他の自治体（立川市、昭島、国分寺市、国立市、瑞穂町）においても同様の補助がある。
所要人員（人）	0.04	0.04	0.04		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	110,320	96,626	103,855		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
総額（千円）	141,438	131,043	134,457		交付金額（千円） 96,320
市補助金	110,000	96,320	103,547		事業経費 22,859
会費	0	0	0		人件費 73,461
繰越金	0	0	0		
事業収入	31,438	34,723	30,910		
その他	0	0	0		
支出	177,008	131,043	139,161		割合（％）
交際費、飲食費	0	0	0		団体収入に占める補助金の割合 74%
人件費	132,835	98,217	98,568		団体収入に占める繰越金の割合 0%
事業経費	28,944	22,859	28,025		交付金額に対する繰越金の割合 0%
その他	15,229	9,967	12,568		

視点別の分析	内容	評価	
		○	□
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
率	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない
性	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
市内循環バス「MMシャトル」の利用者数について、評価指標の目標値には至らなかったものの、新型コロナウイルス感染症の影響による減少からの回復傾向は見られた。 また、令和4年4月のルート再編に伴い、運行車両の売却益による収入額の増加に加え、人件費等の支出が減少したこと等により市補助金額は減少した。	適正な補助額となるよう、市内循環バス「MMシャトル」の利用促進を図るなどの必要がある。

今後の方針


【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上		○	
維持			
低下			

低迷する利用者数の改善を図るため、運行計画の見直しを実施し、令和4年4月1日から武蔵砂川及び西ルート廃止、上北台及び玉川上水ルートの2ルートで運行を行っている。今後については、モノレール延伸に伴うバス路線再編に関する基本方針の策定を経て、地域公共交通計画を策定し、より効率的なルートに再編していく。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	市内循環バス車両購入経費補助事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 2 地域交通		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	武蔵村山市内循環バス車両購入経費補助金交付要綱		
	目的	市内循環バスの運行を確保し、もって武蔵村山市民の日常生活の利便の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	市内循環バスの運行に関し協定を締結した事業者が購入した車両に係る経費を補助する。			
対象（交付先）	立川バス株式会社			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	補助対象となる車両台数	台
			実績	6	4	
			達成率	100%	100%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	24,830	15,504	10,102		令和3年3月の予算特別委員会において、市民の声を吸い上げた形で、市内循環バスの運行をよりよいものに向けていってほしいとの意見があった。
一般財源	16,830	15,504	10,102		
国都支出金	8,000	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 立川バス株式会社がコミュニティバスを運行している他の自治体において、本市と同様に車両に対する単独の補助事業を実施するところはない。（運行経費補助金を含む）
所要人員（人）	0.04	0.04	0.04		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	25,150	15,810	10,410		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
総額（千円）	24,830	15,504	10,102		交付金額（千円） 15,504
市補助金	24,830	15,504	10,102		車両償却費 15,504
会費	0	0	0		
繰越金	0	0	0		
事業収入	0	0	0		
その他	0	0	0		
支出	総額（千円）	24,830	15,504	10,102	使途内訳
交際費、飲食費	0	0	0		
人件費	0	0	0		
事業経費	24,830	15,504	10,102		
その他	0	0	0		
割合（％）					
				団体収入に占める補助金の割合	100%
				団体収入に占める繰越金の割合	0%
				交付金額に対する繰越金の割合	0%

視点別の分析	内容	評価	
		○	□
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
補助金	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
効果	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない
	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度は、新規の車両購入はなく、平成30年度購入の2台、令和元年度購入の1台、令和2年度購入の1台、計4台の車両償却費について補助を行った。	現在の車両は走行距離約80万キロを買替えの目安としている。そのため、年度末時点で各車両の走行距離を確認して新規車両の購入時期を想定し、予算計上を行う必要がある。

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

新規車両購入の予定は無く、令和5年度には、平成30年度に購入した車両の償却が完了することから、令和6年度は、令和元年度購入の1台、令和2年度購入の1台、計2台の車両償却費について補助を行う予定である。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持	○		
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	乗合タクシー運行事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 2 地域交通		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	武蔵村山市乗合タクシー運行事業実施要綱 武蔵村山市乗合タクシーの同乗者利用の試行に関する要領		
	目的	市内循環バス「MMシャトル」の利用者数が低迷していた運行ルートを廃止する代替として、廃止沿線地域（市南西地域）を対象とした乗合型の交通システムを導入する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	利用対象者の自宅と指定した乗降場所（市内公共施設等）を結ぶ公共交通として、デマンド型の乗合タクシー「むらタク」を運行する。			



評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	利用者数	人
			実績	3,774	11,156	
			達成率	84%	124%	
2	利用登録率 ※令和4年度から利用登録対象地域が拡大し、対象人口が増加しているため、目標値が減少している。	%	目標	10.0	6.0	9.1
			実績	9.19	7.89	
			達成率	92%	132%	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		7,791	18,067	17,836
財源内訳	一般財源	7,141	15,941	15,835
	国都支出金	0	193	0
	その他	650	1,933	2,001
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	3,829	2,599	2,616
	所要人員（人）	0.48	0.34	0.34
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		11,620	20,666	20,452

市民・議会等から寄せられた意見	
平成30年3月の予算特別委員会において、確実に登録者数、利用者数が増えていると感じるので、要望、課題、市民に応えるむらタクにしていきたいとの意見があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
登録者数や利用者数の拡大のため、制度の周知を行った（市報等による広報、出張説明会及び利用者登録受付の実施）。 利用登録エリアの拡大に伴い利用者数は大幅に増加しており、利用登録率は、目標値を達成することができた。	登録者数や利用者数の拡大のため、制度のより一層の周知が課題となる。

今後の方針				
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
令和4年度は、市内循環バス「MMシャトル」の武蔵砂川及び西ルートの廃止に伴い、運行を廃止した地域（岸一丁目、中原、残堀及び三ツ藤）を対象として乗合タクシーの利用登録可能エリアを拡大するとともに、乗降場所を3か所（ダイエー武蔵村山店、ジョイフル本田瑞穂店及び武蔵砂川駅）増設した。 今後も引き続き、地区会館や集会所での出張説明会及び利用者登録受付を実施し、登録者数や利用者数の拡大を図る。				
成果	今後の方針	コスト		
		削減	維持	増加
	向上		○	
維持				
低下				

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）






## 第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり

- 人権
- 教育
- 生涯学習
- スポーツ・レクリエーション



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	男女共同参画推進事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第1節 人権 2 男女共同参画		
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係 内線 242
	根拠法令等	男女共同参画基本法		
	目的	男女共同参画社会の実現に向け、関連する施策を推進する。		SDGsの取組 5 ジェンダー平等を実現しよう
内容	男女共同参画センターを拠点として相談事業や各種施策を推進するとともに、各種審議会等への女性の積極的な参画を進める。 また、ジェンダー平等の実現と男性中心型の労働慣行の変革のために、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	審議会等への女性の参画率	%
			実績	33.1	33.9	
			達成率	83%	85%	
2	ワーク・ライフ・バランス推進事業所の認定件数	件	目標	—	—	—
			実績	7	4	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費(千円)	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	260	267	5,042			
国都支出金	0	0	0			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員(千円)	3,590	3,439	3,462			
所要人員(人)	0.45	0.45	0.45			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	3,850	3,706	8,504			

視点別の分析	内容	回答	
		Yes	No
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
ワーク・ライフ・バランス推進事業所を募集したところ、4社からの応募があり、審査の結果、4社全てを認定し、累計認定件数は11社となった。 また、ジェンダー平等やセクシュアル・マイノリティに関する意識醸成のため、市報でコラムを掲載するとともに、各種事業においてパネル展やアンケートを実施した。	セクシュアル・マイノリティの動向に留意し、継続して意識醸成を図る必要がある。


今後の方針	
成果	コスト
	削減 維持 増加
向上	
維持	○
低下	

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

引き続き、市民や事業所の意識醸成を図るための取組を推進し、時期を捉えて多様性を尊重する取組を行う。また、第五次男女共同参画計画の策定に向けた検討に当たり、現状を的確に分析することができるよう市民意識調査を実施し、その結果を踏まえた計画素案を立案する。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	ウィメンズチャレンジプロジェクト事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第1節 人権 2 男女共同参画			
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係	内線 242
	根拠法令等	—			
目的	女性の自立支援と働きやすい環境づくりの実現により、女性活躍推進の機運を高めるとともに、地域に眠る人材を掘り起こし、幅広い分野への女性の参画を促進して地域の活性化を図る。			SDGsの取組 5 ジェンダー平等を実現しよう	
内容	働く女性が結婚、出産、介護等を機に仕事を辞めざるを得ない状況の改善を目指すとともに、女性の就労機会を拡大するため、関係機関と連携を図り、各種相談や情報提供・支援等の充実に努める。男女共同参画センターにおいて、キャリアアップ講座や相談会、イベントを実施する。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	ウィメンズチャレンジプロジェクトキャリアアップ講座延べ参加者数	人	目標	—	—	—
				実績	346	752	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		37,408	37,922	38,797	
財源内訳	一般財源	37,408	37,922	38,797	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		37,408	37,922	38,797	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効果性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
男女共同参画センター（緑が丘ふれあいセンター）において、ウィメンズチャレンジプロジェクトを実施し、延べ752人の参加があった。	—

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
引き続き、ウィメンズチャレンジプロジェクトを推進し、女性の就労機会の創出やジェンダー平等の意識醸成を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	巡回相談員配置事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育指導 課	教育支援 係	内線 442
	根拠法令等	武蔵村山市特別支援教育巡回相談員設置要綱			
目的	市立学校に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童・生徒に対しての行動観察を行い、専門的な見地から助言又は援助を行うことで、個に応じた支援を行うとともに、市立学校の特別支援教育を推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	学識経験者、臨床心理士、特別支援教育コーディネーター、就学相談員等で構成され、市立学校への巡回相談を実施し、教員などに対して、特別な教育的支援が必要な児童・生徒の指導内容や方法及び個々に応じた支援体制の在り方等について、適切な助言を行う。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	巡回数	回
			実績	16	13	
			達成率	40%	33%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
事業費（千円）				95			119			284		
財源内訳	一般財源			95			119			284		
	国都支出金			0			0			0		
	その他			0			0			0		
会計年度任用職員以外の職員（千円）				399			383			385		
人件費	所要人員（人）			0.05			0.05			0.05		
	会計年度任用職員（千円）			14			15			15		
	所要人員（人）			0.01			0.01			0.01		
合計（事業費+人件費）				508			517			684		

市民・議会等から寄せられた意見

—

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある			
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	


令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度の巡回相談回数は13回である。巡回相談を実施した児童・生徒等については、特別支援教育専門委員会において報告し、指導上の留意点などについての意見交換を通じ、指導内容の充実を図っている。	近年、本市でも特別支援学級及び特別支援教室に通室する児童・生徒が増加傾向にあり、今後もその状況は続くと思われる。 巡回相談員制度は、教育上特別な支援を必要とする児童・生徒の教育環境の確保に向けて有効な制度である。 巡回相談の実施に当たっては、専門的知識のある学識経験者、臨床心理士等の確保が必要となる。

今後の方針				
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
引き続き、巡回相談員を派遣することで、児童・生徒一人一人に応じた支援を行うとともに、市立学校の特別支援教育を推進する。 なお、令和6年度から学校派遣依頼に基づく派遣のほか、教育委員会が学校を選定し派遣を行い、特別支援教育の充実を図る。				
		今後の方針		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	適応指導教室機能強化事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育指導 課	教育支援 係 内線 442
	根拠法令等	武蔵村山市適応指導教室機能強化補助事業実施要項		
	目的	適応指導教室の機能強化に向けた方策の確立を図るとともに、適応指導教室に通室していない児童・生徒に対しても、学習・登校支援員による家庭訪問を実施することにより、通室や登校ができるよう、状況に応じた環境を整備する。	SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	学習支援員、登校支援員による家庭等の訪問を行い、不登校児童・生徒の社会的自立に向け、一人一人の状況に応じた学習指導及び進路指導等生活相談を実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	家庭等訪問実施回数(延べ)	回
			実績	145	194	
			達成率	101%	135%	
2	適応指導教室に通う児童・生徒及び自宅に引きこもる児童・生徒の高校等進学率	率	目標	100	100	100
			実績	100	90	
			達成率	100%	90%	


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		844	791	2,547	
財源内訳	一般財源	422	396	1,297	
	国都支出金	422	395	1,250	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	958	918	924	
	所要人員(人)	0.12	0.12	0.12	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		1,802	1,709	3,471	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度の家等訪問実施回数は延べ194回である。年度末に不登校等支援対策連絡協議会において、事業の評価及び検証を実施した。	近年、本市においても不登校児童・生徒が増加傾向にあり、今後も状況は継続と思われる。 機能強化補助事業の実施に当たっては、教員免許保持者及び子どもの臨床心理に係る経験者の確保が必要となる。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
引き続き、家庭等に学習・登校支援員を派遣することで、児童・生徒や保護者の悩み等にきめ細かく対応し、児童・生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的自立を目指すことができるよう支援する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	ICT教育支援員派遣事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育政策 係	内線 423
	根拠法令等	学校教育の情報化の推進に関する法律 学校教育情報推進計画			
	目的	GIGAスクール構想を推進する中でICT教育の推進は必要不可欠であると考えられる。ICT教育支援員の派遣を行うことにより教員のICT活用指導力の向上に資することを目的とする。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	市内各小・中学校へICT教育支援員を派遣し、及び各校の教員に対しICT教育の進め方等について指導・助言を行うことによりGIGAスクール構想の一環としてICT教育推進のための支援を行う。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	ICT教育支援員が実施した研修に参加した教員の人数	人
			実績	264	206	
			達成率	100%	71%	
2	ICT教育支援員が授業支援を実施した回数	回	目標	784	940	1,075
			実績	761	846	
			達成率	97%	90%	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		24,352	22,361	28,600
財源内訳	一般財源	6,089	5,591	15,327
	国都支出金	18,263	16,770	13,273
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	10,050	9,629	9,692
	所要人員(人)	1.26	1.26	1.26
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		34,402	31,990	38,292

市民・議会等から寄せられた意見	
各学校の教員から、本事業を継続してほしいとの要望があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
市内各小・中学校に月4回ICT教育支援員を派遣し、教員に対してICT教育の進め方等の指導・助言を行った。基礎的な知識を基に共同編集機能を活用して、児童・生徒の考えを深めていく活用の支援を実施した。	令和4年度までは授業でICT機器を活用するための基礎知識の形成や、基礎的な知識を基にした活用の支援を行っていたが、今後の実施に当たっては、より充実したオンライン学習の推進やデジタル教科書の導入など、より高度で発展的な活用を行えるよう、これまでのICT教育支援員の活用方法の見直しを図る必要がある。


今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
ICT教育支援員の派遣については、今後ICT教育を進める上で大きな役割を担っていることから、継続的に教員等に対して支援を行う必要がある。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減 維持 増加		
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		ICT教育支援員派遣事業	
所管部署		教育部 教育総務課 教育政策係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・市民との協働により事業を実施しているか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・受益者負担は適切か</li> <li>・施策への貢献度は適切か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託等は可能か</li> <li>・事業費の更なる削減は可能か</li> <li>・類似事業等との統合は可能か</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>本事業は、市内各小・中学校にICT教育支援員を派遣し、及び各校の教員に対しICT教育に係る指導・助言等を行うことにより、教員のICT活用指導力の向上を図るものであり、GIGAスクール構想に沿ったICT教育を推進する上で意義が認められる。また、支援員による教員への研修等の実施により、授業における日常的なICTの活用に向けた端末の設定方法などの基礎知識の習得に寄与していることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、ICT教育を充実させていくためには、教員各自の自発的で継続的な創意工夫が求められており、支援内容を、これまで行われてきた基礎的な知識や技術の習得から、より発展的なニーズに応じたものに変えていく必要がある。その際、既存の教育や業務で多忙な状況により新しいことに創意をもって取り組む意欲を阻害することや、教員のモチベーションの違いによりICT活用の格差が広がることが懸念される。</p> <p>よって、今後は、教員のモチベーションの違いや個別教育ニーズに対応した支援、さらには、働き方改革に結び付く支援に重点を移し、教員のICT活用指導力が更に向上することを期待したい。</p> <p>また、ICT活用は、個別学習の充実、探究的な学び、協働学習、オンライン学習、プログラミング教育など多岐にわたるため、教育目的ごとにどのような成果があったのかを明確にすることを求めたい。</p>		

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	英語検定事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係	内線 434
	根拠法令等	—			
	目的	学力の向上を図り、高等学校の受験に役立てること等を目的に英語検定の技能試験を取り入れることにより、生徒が目標をもって努力する態度を身に付けられるようにするとともに、学力の向上及び高校受験対策を図る。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに
内容	中学校第3学年生徒の希望者を対象に英語検定を実施する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	英語検定の受検率	%
			実績	37.9	31.3	
			達成率	63%	52%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費 (千円)		1,254	1,087	1,976
財源内訳	一般財源	1,254	1,087	1,976
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員 (千円)	240	230	231
	所要人員 (人)	0.03	0.03	0.03
	会計年度任用職員 (千円)	0	0	0
	所要人員 (人)	0.00	0.00	0.00
合計 (事業費+人件費)		1,494	1,317	2,207

**市民・議会等から寄せられた意見**

令和3年3月予算特別委員会において、「なぜ希望制にしたのか、複数回受験できるようにしないのか」という意見があった。


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
受検者数 235人 合格者数 114人 合格率 48.5%  ●級別の受検者数、合格者数及び合格率 (受検者数) (合格者数) (合格率) 2級: 6人 2人 33.3% 準2級: 69人 23人 33.3% 3級: 145人 78人 53.8% 4級: 12人 9人 75.0% 5級: 3人 2人 66.7%	受検率及び合格率を向上させるため、周知強化の徹底等の対策を図っていく必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は平成29年度までは中学校第3学年生徒全員を対象としていたが、平成30年度より中学校第3学年生徒のうち希望者のみを対象として実施してきた。本市の合格率は、平成30年度の33.1%から令和3年度までにかけて毎年上昇してきたが、令和4年度は令和3年度並みの48.5%となった。また、準2級、2級の受検者数も増加しており、令和4年度は75人であった。中学校第3学年の英語の学習内容が英語検定3級と同程度であることから、このことは、生徒の意欲の表れであるとともに、長年本市で継続させてきた外国語指導に関する各種事業の成果であると捉えている。生徒が自主的に自分なりの目標を立て、全国的な検定試験に挑戦できる機会を継続して創出し、周知強化の徹底により目標とする受検率60%の達成を目指す。今後もより高い目標を目指して努力する生徒を応援する事業として英語検定事業を継続させたいと考える。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	補助教員派遣事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係	内線 434
	根拠法令等	—			
目的	特色ある学校づくりを推進するとともに、児童一人一人に目の行き届いた教育を実現し、地域で学校を支える体制づくりを実現する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	市内全小学校（9校）に教員免許を有する補助教員を派遣し、教育内容の充実を図るものであり、各校に1名ずつ配置する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	補助教員の配置校数	校	目標	9	9	9
							実績	9	9	
達成率	100%	100%								
2	—	—	目標	—	—	—				
			実績	—	—					
			達成率	—	—					

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		8,403	7,775	8,540	
財源内訳	一般財源	8,403	7,775	8,540	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77	
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		8,483	7,852	8,617	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効果性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
配置人数 9人 報酬 7,775,023円 補助教員を配置し学級担任の学習指導の補助を行うことにより、個に応じた指導の充実を図ることができた。また、生活指導面においても、担任と連携し児童への理解を深めることに貢献した。	補助教員の確保に当たっては、教員免許の保有を条件としているため、地域から人材を発掘する必要がある。教育への関心を高め人材確保につなげるため、学校の教育内容を継続的に地域に発信し、周知を図っていく。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 引き続き、全小学校に補助教員を配置し、各校の特色ある学校づくりを推進するとともに、児童一人一人に目の行き届いた教育を推進していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	学校司書配置事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係 内線 434
	根拠法令等	学校図書館法		
	目的	市立学校における読書活動を推進し、児童・生徒の健全な育成に資するとともに、子供たちの成長のため、よりよい読書環境を整備する。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	市内全小・中学校に、学校司書を配置する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	児童・生徒一人当たり貸出冊数	冊
			実績	38.19	32.24	
			達成率	95%	81%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		14,452	14,392	14,359
財源内訳	一般財源	3,885	14,392	14,359
	国都支出金	10,567	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	80	77	77
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		14,532	14,469	14,436

**市民・議会等から寄せられた意見**


学校、議会等から学校司書の予算について、1日6時間、週4日分を確保するよう要望があった。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
配置人数 14人 報酬 14,392,634円	学校司書が専門知識を十分に発揮して活躍できるよう組織・体制づくりを検討するとともに、各校の学校司書が連携し、自らのスキルアップを図る必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
学校、議会、市民等からの強い要望もあり、特に学校側から学校司書に期待する役割は大きいことから、読書環境等の整備のため引き続き本事業の充実を図っていく必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	地域未来塾事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	文化振興 課	生涯学習 係	内線 652
	根拠法令等	武蔵村山市地域未来塾実施要綱			
目的	経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難である等、学習習慣が十分に身につけていない児童・生徒を対象に、地域住民等の協力を得て学習支援を実施し、学習習慣の確立や基礎学力の定着等を図る。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	放課後や夏休み等、通常授業でない時間帯に学校の空き教室を利用して実施している。実施に当たっては、各学校に登録している学習支援員が知識や経験をいかし、学習支援に従事する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	地域未来塾の実施校数	—
			実績	11	14	
			達成率	79%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		3,644	4,312	9,003		実施校からは、「生徒の学ぶ意欲が高まった」、「参加児童の学力向上が見られた」等の声がある。
財源内訳	一般財源	1,216	1,438	2,969		
	国都支出金	2,428	2,874	6,034		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,393	2,293	2,308		
	所要人員(人)	0.30	0.30	0.30		
	会計年度任用職員(千円)	41	43	43		
	所要人員(人)	0.03	0.03	0.03		
合計(事業費+人件費)		6,078	6,648	11,354		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
市内の全小・中学校での地域未来塾事業を実施した。	学習支援員の確保が難しいという学校があり、放課後子供教室と同様、人材の確保が課題となっている。 また、実施内容は各学校の主体性に任せているため、学校間で実施回数や実施時間、対象学年などに大きな差がある。このため、各学校における取組について情報共有を図っており、今後はそれも参考にしながらより効果的な実施方法を研究、検討するよう促していく。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
本事業の実施に当たっては、学習支援員の人材確保が一番の課題であることから、文化振興課を窓口とした人材の確保、学校間の人材を共有する等の方法により、各学校において学習支援員の確保が図れるよう、事業の実施を推進していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	民間プール試行利用事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係	内線 434
	根拠法令等	—			
	目的	体育授業において、水泳・プールの決まりや水泳の心得を守り、安全面を含めた子どもたちの体力の向上を目的として、派遣委託したインストラクターが民間プールにおいて水泳の指導を実施する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	小・中学校の体育授業（水泳指導）において、民間プールでの試行利用を行う。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	民間プール試行利用の実施	—
			実績	—	実施	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	9,108	0	
財源内訳	一般財源	-	9,108	-	
	国都支出金	-	0	-	
	その他	-	0	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	4,968	0	
	所要人員（人）	0.00	0.65	0.00	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		0	14,076	0	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 適合している
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当	
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	施策への貢献度は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input checked="" type="checkbox"/> 不適切な部分がある		
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度は、2校が以下の2か所の民間プールにて試行利用を実施した。 ●村山いずみ幼稚園（二小） ●スポーツイントライ（七小）  委託料（水泳インストラクター派遣業務委託） 8,191,040円 借上料（プール借上料） 917,400円	民間プールの利用に当たり、対象施設まで随行する職員の確保や、民間プールにおける児童の安全確保が課題である。

今後の方針																					
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																				
<p>本事業は、民間プールを活用して児童・生徒に水泳指導を行うものであり、将来的な学校プールの在り方について、児童・生徒への技能面の指導や、施設の維持管理等の観点から検証を行った。</p> <p>インストラクターの指導に対しては高い評価を得ていたが、対象施設までの引率時等の課題が明らかになったことや費用対効果を考慮した結果、令和5年度以降の実施は難しいと判断した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持					低下				
	今後の方針		コスト																		
	成果	向上	削減	維持	増加																
		維持																			
低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「O」の記入不要)																					

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	部活動支援事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係 内線 434
	根拠法令等	学校教育法施行規則		
	目的	【部活動外部支援員】少子化に伴う教員数の減少や専門的な指導を行うことができる運動・部活動等の指導者不足を補い、体育・運動部活動における外部指導者の充実を図る。 【部活動指導員】教員の部活動に係る時間を軽減することを目的とする。	SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	【部活動外部支援員】中学校の部活動顧問教諭等と連携・協力しながら部活動のコーチ等として技術的な指導を行う。 【部活動指導員】平日に加え、週休日や長期休業中に配置することが可能となり、対外試合の引率についても可能となる。			



評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	部活動外部支援員及び部活動指導員の配置校数	校
			実績	5	5	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		8,890	9,476	11,879	
財源内訳	一般財源	7,322	4,033	10,215	
	国都支出金	1,568	5,443	1,664	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,277	1,223	1,231	
	所要人員(人)	0.16	0.16	0.16	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		10,167	10,699	13,110	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●部活動外部支援員 支援員数 44人 謝礼 7,101,250円</li> <li>●部活動指導員 配置人数 5人 報酬 2,375,120円</li> </ul>	技能面の指導、大会等への引率を任せることができる人材を地域から発掘しなければならない。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
引き続き、部活動外部支援員及び部活動指導員を配置することにより、生徒に対して技術的な向上を図るとともに、教員の部活動指導に係る負担軽減を図っていく。また、今後の部活動の地域移行の取組に併せ、指導員の拡充等、人材を確保していくことが必要と考えられる。																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上		○		維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	オンライン学習推進事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育政策 係	内線 423
	根拠法令等	学校教育の情報化の推進に関する法律			
	目的	新型コロナウイルス感染症による学校の臨時休業や個別の理由により登校できない児童・生徒に対し、タブレット端末を使用したオンライン学習の支援を行うことを目的とする。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	GIGAスクール構想の実現に向けて整備したタブレット端末をオンライン学習に活用するため、Wi-Fi環境のない家庭に対しモバイルルーターの貸出しを行う。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	Wi-Fi環境のない家庭に対するモバイルルーター貸出件数	件	目標	116	128	140
				実績	38	48	
達成率				33%	38%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—			
事業費(千円)	4,736	6,935	2,313				
財源内訳	一般財源	0	0				
	国都支出金	4,736	6,935				
	その他	0	0				
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	10,050	9,629				9,692
	所要人員(人)	1.26	1.26				1.26
	会計年度任用職員(千円)	0	0				0
	所要人員(人)	0.00	0.00				0.00
合計(事業費+人件費)	14,786	16,564	12,005				


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/>	適合している	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input checked="" type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
タブレット端末の活用に当たり、Wi-Fi環境の整っていない家庭に対し、モバイルルーターの貸出を実施した。	GIGAスクール構想の実現に向けて全児童・生徒に整備した一人一台のタブレット端末について、宿題や夏休み期間の自由研究等に活用するなど、タブレット端末の持ち帰り学習の充実が必要である。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
本事業は、令和5年7月末をもって終了する。 今後は、就学援助費の新たな支援としてオンライン学習通信費を支給し、家庭におけるオンライン学習環境の整備を図ることにより、児童・生徒の快適な教育環境の提供に資することとする。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> (廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)			今後の方針			コスト			成果	向上				維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	消火設備改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	消火栓設備の老朽化した地中埋設管を撤去し、露出配管に改修することにより、火災時の安全性及びメンテナンス性の向上を図る。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	事業完了学校数	校	目標	—	1	—
				実績	—	1	
達成率				—	100%		
2	—	—	目標	—	—		
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	11,539	17,600	
財源内訳	一般財源	-	304	3,843	
	国都支出金	-	5,735	8,857	
	その他	-	5,500	4,900	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	956	962	
	所要人員（人）	0.00	0.13	0.13	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		0	12,495	18,562	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
第二小学校消火栓設備配管等改修工事 11,539,000円	消火栓設備については、校舎建設時から配管改修が行われていないため、火災時に備えて速やかな改修が必要である。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
校舎建設以降に漏水が発生した学校施設の配管については改修工事が完了し、緊急性が低下したため事業内容の縮小又は見直しを行う。																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>				今後の方針			コスト			成果	向上				維持				低下	○		
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持																					
	低下	○																				
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	消防設備器具改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	老朽化した消防設備（自動火災報知設備、避難器具、防火設備、誘導灯等）を改修することにより、火災発生時の安全性を確保する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	事業完了学校数	校
			実績	10	7	
			達成率	100%	88%	
2	—	—	目標	—	—	
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
事業費（千円）	3,402	5,874	3,285			
財源内訳						
一般財源	1,702	5,874	3,285			
国都支出金	1,700	0	0			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	3,669	3,821	1,600			
所要人員（人）	0.46	0.50	0.21			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	7,071	9,695	4,885			

視点別の分析	妥当性		有効性		効率性	
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●第二小学校消防設備器具改修工事 455,400円</li> <li>●第三小学校消防設備器具改修工事 797,500円</li> <li>●第九小学校消防設備器具改修工事 396,000円</li> <li>●第三中学校消防設備器具改修工事 331,100円</li> <li>●村山学園第四小学救助袋更新工事 955,900円</li> <li>●大南学園第七小学救助袋更新工事 1,838,100円</li> <li>●大南学園第四中学救助袋更新工事 1,100,000円</li> </ul>	本事業では、消火設備全体ではなく部分改修を実施しているが、設備の老朽化が進んでいるため、学校によっては全体の改修が必要である。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
令和5年度は、令和4年度からの繰越しである第五中学校消防設備器具改修工事を行う。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>						今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
		今後の方針																						
		コスト																						
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校舎屋上防水改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 	
内容	老朽化した校舎屋上の防水改修及びフェンスの改修をすることにより、校舎の健全性を確保する。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	事業完了学校数	校	目標	1	2	1
				実績	1	2	
				達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—		
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		29,964	24,691	39,813	
財源内訳	一般財源	448	15,084	1,929	
	国都支出金	29,516	9,607	8,084	
	その他	0	0	29,800	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	997	1,911	962	
	所要人員(人)	0.13	0.25	0.13	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		30,961	26,602	40,775	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●第三小学校校舎屋上防水改修工事 13,200,000円 ●第五中学校校舎屋上防水改修工事(第二期工事) 11,491,000円 ※五中の財源内訳は、校舎窓枠等建具改修工事と案分している。	防水層が劣化し、雨漏りが発生すると躯体に悪影響を及ぼす恐れがあるため、予防保全が必要である。

今後の方針																							
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 令和5年度は、第十小学校屋上防水改修工事(第一期工事)を行う。																						
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト				削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
	今後の方針																						
	コスト																						
		削減	維持	増加																			
向上																							
維持		○																					
低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校舎窓枠等建具改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	老朽化した校舎外部の窓や扉を改修することにより、窓の開閉を容易にし、気密性も向上させ、教育環境を改善する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	事業完了学校数	校	目標	1	1	1
							実績	1	1	
達成率	100%	100%								
2	—	—	目標	—	—					
			実績	—	—					
			達成率	—	—					


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		151,019	111,396	271,498	
財源内訳	一般財源	2,259	28,601	82,304	
	国都支出金	148,760	82,795	49,294	
	その他	0	0	139,900	
会計年度任用職員以外の職員(千円)		2,991	3,722	3,746	
人件費	所要人員(人)	0.38	0.49	0.49	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		154,010	115,118	275,244	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●第三小学校費東校舎窓枠等建具改修工事に伴う実施設計委託 3,377,000円</li> <li>●第五中学校校舎窓枠等建具及び外壁改修工事(第二期工事) 96,639,000円</li> <li>●第五中学校校舎窓枠等建具・外壁及び防水改修工事(第二期工事)に伴う工事監理委託 6,649,500円</li> <li>●第五中学校外壁下地調整等工事(第二期工事) 4,730,000円</li> </ul> ※五中の財源内訳は、校舎屋上防水改修工事と案分している。	窓サッシ等の撤去工事であり、学校運営に支障が少ない夏期休業期間の工事となることから、工期の調整が必要である。 校舎全体に仮設足場を設置し、養生シート張り工事を行うため、工事中は窓の開閉ができない状態となる。また、工事に伴い、資材置場、工事車両の駐車場等の仮設が必要となるため、校庭等に使用制限がかかる。

今後の方針																										
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和5年度は、以下の校舎について実施設計及び改修を行う。																										
<ul style="list-style-type: none"> <li>●第二小学校窓枠等建具及び外装改修工事に伴う実施設計委託</li> <li>●第十小学校窓枠等建具及び外装改修工事(第一期工事)</li> <li>●第十小学校窓枠等建具及び外装改修工事(第一期工事)に伴う工事監理委託</li> <li>●第十小学校校舎外壁下地調整等工事</li> </ul>																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			今後の方針				成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
今後の方針																										
成果	コスト																									
	削減	維持	増加																							
向上																										
維持		○																								
低下																										
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																										

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	電話設備改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに
内容	電話設備を更新する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	事業の検討	—
			実績	—	—	—
			達成率	—	—	—
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
			達成率	—	—	—

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費(千円)	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	0	0	0			
国都支出金	—	—	—			
その他	—	—	—			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	0	0	0			

視点別の分析	妥当性		有効性		効率性	
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある				
	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある				


令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
実施計画には「検討」として位置付けられているため事業の実績なし。	現在の電話機が故障しても、廃番のため修繕が困難である。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
検討の結果、工事ではなくリースにより対応することとなった。			
成果	向上		
	維持		
	低下		

(廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要)



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校舎内部改修事業（トイレ改修）			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	校舎トイレの内装、便器、給排水配管、換気設備及び照明器具等の全面改修をすることにより、トイレ環境の改善を図る。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	事業完了学校数	校	目標	1	1	0
							実績	1	1	
達成率	100%	100%								
2	—	—	目標	—	—					
			実績	—	—					
			達成率	—	—					

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		61,820	18,606	10,267	
財源内訳	一般財源	633	17,063	10,267	
	国都支出金	39,587	1,543	0	
	その他	21,600	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,596	2,736	1,277	
	所要人員（人）	0.20	0.36	0.17	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		63,416	21,342	11,544	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効果性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●第二小学校トイレ改修工事に伴う実施設計委託 2,504,700円</li> <li>●第三小学校トイレ改修工事に伴う実施設計委託 2,578,400円</li> <li>●雷塚小学校トイレ改修工事に伴う実施設計委託 2,082,300円</li> <li>●第九小学校トイレ改修工事 10,087,000円</li> <li>●第九小学校トイレ改修工事に伴う工事監理委託 1,353,000円</li> </ul>	工事中はトイレの使用制限がかかる。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
令和5年度は、以下の実施設計を行う。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●大南公園第七小学校校舎トイレ改修工事に伴う実施設計委託</li> <li>●第一中学校校舎トイレ改修工事に伴う実施設計委託</li> </ul>			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校舎外装改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	老朽化した校舎の外壁を改修することにより、校舎の健全性を確保する。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	事業完了学校数	校	目標	—	1	1
				実績	—	1	
達成率				—	100%		
2	—	—	目標	—	—		
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		3,123	52,800	51,572	
財源内訳	一般財源	187	6,380	14,786	
	国都支出金	2,936	46,420	8,586	
	その他	0	0	28,200	
会計年度任用職員以外の職員(千円)		1,662	3,179	6,085	
人件費	所要人員(人)	0.21	0.42	0.79	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		4,785	55,979	57,657	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●大南学園第七小学校校舎外装改修工事 46,420,000円</li> <li>●第二小学校校舎外装改修工事に伴う実施設計委託 1,485,000円</li> <li>●大南学園第七小学校外壁下地調整等工事 4,895,000円</li> </ul>	校舎全体に仮設足場を設置し、養生シートを張って施工するため、工事期間中は窓の開閉が不可能となる。また、工事に伴い、資材置場、工事車両の駐車場等の仮設が必要となるため、校庭等に使用制限がかかる。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 令和5年度は、以下の実施設計及び改修を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●第一小学校校舎外装改修工事に伴う実施設計委託</li> <li>●村山学園第四小学校校舎外装改修工事に伴う実施設計委託</li> <li>●雷塚小学校校舎外装改修工事に伴う実施設計委託</li> <li>●村山学園第二中学校校舎該当改修工事に伴う実施設計委託</li> <li>●第三小学校校舎外装改修工事</li> <li>●第三小学校校舎外壁下地調整等工事</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table> (廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	小荷物運搬昇降機取替事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 	
内容	老朽化した給食用の小荷物専用昇降機を改修することにより、給食の配膳に支障が出ないようにする。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	事業完了学校数	校	目標	1	1	1
							実績	1	1	
達成率	100%	100%								
2	—	—	目標	—	—					
			実績	—	—					
			達成率	—	—					


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		2,145	2,365	3,000	
財源内訳	一般財源	245	2,365	3,000	
	国都支出金	1,900	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	997	2,224	2,239	
	所要人員（人）	0.13	0.29	0.29	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		3,142	4,589	5,239	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある			
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
大南学園第七小学校小荷物専用昇降機改修工事 2,365,000円	学校運営に支障が出ないように、学校給食を実施しない夏期休業期間に工事を実施する。

今後の方針																			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																		
令和5年度は、第八小学校小荷物専用昇降機改修工事を行う。																			
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト			削減	維持	増加	向上			維持	○		低下		
	今後の方針																		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
向上																			
維持	○																		
低下																			
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																			

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	放送設備改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	老朽化した非常用を含めた放送設備一式を改修し、教育環境の改善と災害時の避難誘導等の安全確保を図る。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	事業完了学校数	校
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		19,422	13,090	64,515	
財源内訳	一般財源	922	2,497	11,515	
	国都支出金	18,500	10,593	19,000	
	その他	0	0	34,000	
会計年度任用職員以外の職員（千円）		3,689	1,529	1,539	
人件費	所要人員（人）	0.46	0.20	0.20	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		23,111	14,619	66,054	

視点別の分析	内容	評価	
		必要である	見直しの余地がある
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第八小学校放送設備改修工事 11,770,000円</li> <li>● 第八小学校放送設備改修工事に伴う工事監理委託 1,320,000円</li> </ul>	設備が十数年経過すると、故障時に部材が生産終了していることが多く、修繕が困難であるため、計画的な改修が必要となる。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 令和5年度は、以下の改修を行う。 ● 村山学園第四小学校放送設備工事 ● 村山学園第四小学校放送設備工事に伴う工事監理委託 ● 村山学園第二中学校放送設備工事 ● 村山学園第二中学校放送設備工事に伴う工事監理委託	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	屋内運動場照明器具LED化事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	屋内運動場の老朽化した水銀灯をLED照明へ改修することにより、屋内運動場の健全性を確保し、及び教育環境を改善する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	事業完了学校数	校	目標	—	—	4
				実績	—	—	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—		
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見				
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—				
事業費（千円）	0	0	22,830					
財源内訳	一般財源	-	1,195					
	国都支出金	-	7,835					
	その他	-	13,800					
会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	2,562					
人件費	所要人員（人）	0.00	0.00					0.33
	会計年度任用職員（千円）	0	0					0
	所要人員（人）	0.00	0.00					0.00
合計（事業費+人件費）	0	0	25,392					

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当


令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
実施計画には令和4年度「検討」として位置付けられているため事業の実績なし。	屋内運動場で使用している水銀灯は、令和3年以降生産が禁止され、生産が順次終了しているため計画的なLED化への改修が必要となる。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
令和5年度は、以下の改修を行う。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●第一小学校屋内運動場照明器具LED化工事</li> <li>●第二小学校屋内運動場照明器具LED化工事</li> <li>●第三小学校屋内運動場照明器具LED化工事</li> <li>●大南学園第七小学校屋内運動場照明器具LED化工事</li> </ul>			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	屋内運動場トイレ改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	屋内運動場の老朽化したトイレの全面改修を行い、屋内運動場トイレ環境の改善を図る。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	事業の推進	—	目標	—	実施設計	実施設計
				実績	—	実施設計	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—		
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算				
事業費(千円)	0	1,250	6,935	—			
財源内訳	一般財源	-	1,250			6,935	
	国都支出金	-	0			0	
	その他	-	0			0	
会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	1,269	1,923				
人件費	所要人員(人)	0.00	0.17			0.25	
	会計年度任用職員(千円)	0	0			0	
	所要人員(人)	0.00	0.00			0.00	
合計(事業費+人件費)	0	2,519	8,858				


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある			
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●第一小学校屋内運動場トイレ改修工事に伴う実施設計委託 696,300円</li> <li>●第三小学校屋内運動場トイレ改修工事に伴う実施設計委託 553,300円</li> </ul>	工事中はトイレの使用制限がかかる。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
令和5年度は、以下の実施設計を行う			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●大南学園第七小学校屋内運動場トイレ改修工事に伴う実施設計委託</li> <li>●第八小学校屋内運動場トイレ改修工事に伴う実施設計委託</li> <li>●雷塚小学校屋内運動場トイレ改修工事に伴う実施設計委託</li> </ul>			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	屋内運動場床面改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	屋内運動場の老朽化した床の撤去、新設又は塗装改修を行い、ささくれ等による怪我の防止や屋内運動場の健全性を確保する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	事業完了学校数	校
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費(千円)	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	0	2,579	5,600			
国都支出金	25,300	0	10,000			
その他	0	0	16,500			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員(千円)	997	635	1,277			
所要人員(人)	0.13	0.08	0.17			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	26,297	3,214	33,377			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある			
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
第三小学校屋内運動場床塗装改修工事 2,578,400円	床の改修により、屋内運動場の使用制限がかかるため、学校運営に支障のないよう、夏期休業期間に工事を実施する。

今後の方針																										
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																										
令和5年度は、第八小学校屋内運動場床改修工事を行う。																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持			○		低下				
		今後の方針																								
		コスト																								
成果	向上	削減	維持	増加																						
	維持			○																						
	低下																									
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																										

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	屋内運動場屋根及び外装改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	老朽化した屋内運動場の屋根、外壁及び窓枠を改修することにより、屋内運動場の健全性を確保及び教育環境を改善する。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	事業完了学校数	校	目標	—	1	2
				実績	—	1	
達成率				—	100%		
2	—	—	目標	—	—		
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		1,872	53,538	215,651	
財源内訳	一般財源	1	53,538	30,251	
	国都支出金	1,871	0	95,000	
	その他	0	0	90,400	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	831	3,019	3,200	
	所要人員(人)	0.10	0.40	0.42	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		2,703	56,557	218,851	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●第八小学校屋内運動場屋根及び外装改修工事に伴う実施設計委託 2,860,000円 ●第三小学校屋内運動場屋根及び外装改修工事 50,673,700円	窓枠等建具改修により、屋内運動場の使用制限がかかるため、学校運営に支障のないよう、夏期休業期間に工事を実施する。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和5年度は以下の改修を行う。																								
●第二小学校屋内運動場外装改修工事																								
●大南学園第七小学校屋内運動場屋根及び外装改修工事																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持			○		低下				
				今後の方針																				
		コスト																						
成果	向上	削減	維持	増加																				
	維持			○																				
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	自家用電気工作物更新事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	老朽化した自家用電気工作物の本体及び付帯設備の改修を行うことにより、電気における事故を未然に防止する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	事業完了学校数	校	目標	—	1	2
							実績	—	0	
達成率	—	0%								
2	—	—	目標	—	—					
			実績	—	—					
			達成率	—	—					

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		0	6,100	54,058	
財源内訳	一般財源	-	6,100	16,487	
	国都支出金	-	0	0	
	その他	-	0	37,571	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	1,911	4,000	
	所要人員(人)	0.00	0.25	0.52	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		0	8,011	58,058	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
第一小学校自家用電気工作物更新工事 6,100,000円(前払金) ※令和4年度中に工事が完了しなかったため、令和5年度に繰越しとなり、前払金のみ支払った。	停電期間が数日に及ぶため、支障のないよう学校が完全休校している日程での工事となる。また、学童クラブ等の同敷地内の建物も停電となるため、他課との調整が必要となる。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
令和5年度は、以下の更新工事及び実施設計を行う。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●第一小学校自家用電気工作物更新工事</li> <li>●第九小学校自家用電気工作物更新工事</li> <li>●大南学園第七小学校自家用電気工作物更新工事に伴う実施設計委託</li> <li>●第五中学校自家用電気工作物更新工事に伴う実施設計委託</li> </ul>			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	児童・生徒等安全対策事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育部	教育総務課	教育政策係 内線 423
	根拠法令等	東京都帰宅困難者対策条例、東京都地域防災計画、東京都教育委員会学校危機管理マニュアル、武蔵村山市地域防災計画		
	目的	大規模災害発生時に備え、あらかじめ食料及び飲料水の備蓄を行うことにより、児童・生徒等の各小・中学校内における身の安全・安心の確保に寄与する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	大規模災害発生時、被災が想定される児童・生徒等に対して食料及び飲料水を支給するため災害対策用物資として備蓄を行う。また、使用せずに消費期限の到来する災害対策用備蓄物資については、防災啓発等の観点から各学校において効果的に活用し、又はフードバンクへの寄付を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	災害対策用食料（アルファ米）備蓄数	箱（50食入り）
			実績	463	538	
			達成率	100%	100%	
2	災害対策用飲料水（5年保存水）備蓄数	箱（206本入り）	目標	1,617	1,593	1,227
			実績	1,617	1,593	
			達成率	100%	100%	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	-		
財源内訳						
一般財源	3,112	3,439	326			
国都支出金	0	0	0			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	479	459	462			
所要人員（人）	0.06	0.06	0.06			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	3,591	3,898	788			


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
平成27年度から平成30年度までにかけて購入した災害対策用備蓄物資について、令和2年度から順次消費期限を迎えることから同物資の買い替えを行っている。令和4年度においては、アルファ米152箱（1箱50食入り）及び飲料水409箱（1箱206本入り）を購入するとともに、平成29年度に購入し未使用のまま消費期限が迫ったアルファ米44箱をフードバンクへ提供した。	これまでは備蓄用飲料水として5年保存水を購入していたが、経費や実用性の面から、従来と同様の安全性が保証された、より長期間の保存が可能な飲料水（10年保存水）を導入する等の工夫が必要である。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
本事業は、大規模災害発生時に被災が想定される児童・生徒等に対して学校施設内における安全確保や迅速かつ円滑な救援ができるよう、今後も継続する必要がある。																								
また、順次消費期限が到来する災害対策用備蓄物資の更新を効率的に行うことにより、各小・中学校に在籍する児童・生徒等が必要とする食糧数を常に備蓄しておくことにより、費用に見合う効果が得られていると考える。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>						今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
		今後の方針																						
		コスト																						
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	社会科副読本作成事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係 内線 434
	根拠法令等	—		
目的	小学校第3学年から学習する社会科において児童が手にする教科書は全国的な視点で作成をされており、身近な地域社会について学習するため副読本を作成するもの。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	市立小学校の第3・4学年で使用する社会科副読本「わたしたちの武蔵村山市」の作成、印刷及び製本を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				1	社会科副読本の作成	—	目標
				実績	検討	実施	
				達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
				実績	—	—	
				達成率	—	—	


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		0	2,552	0		学校からデジタル化を望む声がある。
財源内訳	一般財源	-	2,552	-		
	国都支出金	-	0	-		
	その他	-	0	-		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	240	230	0		
	所要人員(人)	0.03	0.03	0.00		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		240	2,782	0		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●副読本及び地図2,000部の印刷</li> <li>●タブレット版の展開</li> <li>●DVDの作成</li> </ul> 委託料(作成等委託料) 2,552,000円	副読本等を更に活用してもらえるよう効果的な教材の作成に努める。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
本事業は、社会科副読本「わたしたちの武蔵村山市」を作成し、児童がそれを利用してより身近な地域社会について学びを深めていく機会を創出するものであり、必要性は高いため今後も継続していく必要があると考える。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	電子図書導入事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 2 生涯学習		
	所管部署	教育 部	図書館	564-1284
	根拠法令等	—		
目的	市民の文化的教養の高揚を図るため、電子書籍の充実を図る。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 	
内容	パソコン、スマートフォン、タブレット端末等でインターネットを通じて利用できる「むさしむらやま電子図書館」（令和4年10月開設）の電子書籍タイトル数の充実を図る。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	電子書籍タイトル数	タイトル	目標	—	—	—
				実績	—	11,026	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	10,539	2,783	
財源内訳	一般財源	-	539	2,783	
	国都支出金	-	10,000	0	
	その他	-	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	7,642	7,692	
	所要人員（人）	0.00	1.00	1.00	
	会計年度任用職員（千円）	0	1,432	1,425	
	所要人員（人）	0.00	1.00	1.00	
合計（事業費+人件費）		0	19,613	11,900	


視点別の分析	妥当性	有効性	効率性	民間委託等は可能か	事業費の更なる削減は可能か	類似事業等との統合は可能か
	市の関与は必要か <input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 市民のニーズに適合しているか <input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 市民との協働により事業を実施しているか <input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当 受益者負担は適切か <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 施策への貢献度は適切か <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	民間委託等は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 事業費の更なる削減は可能か <input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 類似事業等との統合は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当			

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年10月に「むさしむらやま電子図書館」を開設し、当初、約1万1千タイトルを用意した。	市民の要望に応えるため、今後、各年度における電子書籍タイトル数の充実が求められる。

今後の方針																			
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																
パソコン、スマートフォン、タブレット端末等でインターネットを通じて電子書籍の貸出・閲覧・返却・予約などができるサービスとして、令和4年10月に「むさしむらやま電子図書館」を開設し、当初、約1万1千タイトルを用意した。令和5年度については、電子書籍の充実を図るため、新たに約280タイトル分の予算を計上し充実を図る。	今後の方針 コスト <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				削減	維持	増加	向上			○	維持				低下			
		削減	維持	増加															
	向上			○															
	維持																		
低下																			
	成果	向上	維持																
		低下																	

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	大南地区学習等供用施設空調設備等改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 2 生涯学習			
	所管部署	教育 部	文化振興 課	生涯学習 係	内線 652
	根拠法令等	武蔵村山市立学習等供用施設設置条例			
目的	大南地区学習等供用施設における利用者の安全確保と利便性向上のため、適切な施設管理を行う。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
内容	大南地区学習等供用施設における老朽化した空調設備等及びエレベーターの改修工事を行う。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	工事の実施	-	目標	-	実施	-
				実績	-	実施	-
達成率				-	-	-	
2	-	-	目標	-	-	-	
			実績	-	-	-	
			達成率	-	-	-	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		4,104	188,650	0
財源内訳	一般財源	0	12,484	-
	国都支出金	4,104	176,166	-
	その他	0	0	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,037	2,293	0
所要人員(人)		0.13	0.30	0.00
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
		0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		5,141	190,943	0

市民・議会等から寄せられた意見	
-	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効果性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
大南地区学習等供用施設の空調設備を撤去、新設し、照明器具のLED化の改修工事を併せて行った。	エレベーター改修工事については、施工事業者において受注過多のため、令和5年度は実施できない状況であることから、令和6年度以降を予定している。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
空調設備改修工事及び照明器具のLED化については令和4年度に完了したが、エレベーター改修工事については令和6年度以降を予定している。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減 維持 増加		
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(仮称)生涯学習センター整備事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 2 生涯学習			
	所管部署	教育 部	文化振興 課	生涯学習 係	内線 652
	根拠法令等	武蔵村山市第五次長期総合計画、武蔵村山市公共施設等総合管理計画			
目的	生涯学習の推進、市民の利便性向上のため、中央図書館及び中央公民館の機能を併せ持つ複合施設として、(仮称)生涯学習センターを整備する。			SDGsの取組	11 住み続けられるまちづくりを
内容	(仮称)生涯学習センターの設置場所及び機能について検討する。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	1	(仮称)生涯学習センター整備に関する検討			—	目標	検討	検討	報告書提出
						実績	検討	検討	
達成率			—	—					
2	—	—	目標	—	—	—			
			実績	—	—				
			達成率	—	—				

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
会計年度任用職員以外の職員(千円)		240	230	231
人件費	所要人員(人)	0.03	0.03	0.03
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		240	230	231

市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
武蔵村山市公共施設等整備・再編推進作業部会第二分科会を2回開催し、現在の公共施設の状況や基本とする機能等について検討した。	整備場所、施設機能、施設規模を検討するとともに、一方でコスト面を踏まえ、廃止する施設等も検討する。

今後の方針																			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																			
公民館、図書館、市民会館などこれらの生涯学習施設の機能分担等の在り方に配慮し、中央図書館及び中央公民館の機能を併せ持つ(仮称)生涯学習センターの設置について、引き続き、整備公共施設等整備・再編推進作業部会第二分科会において検討し、結果を報告書としてまとめる。																			
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト			削減	維持	増加	向上			維持	○		低下		
	今後の方針																		
	コスト																		
削減	維持	増加																	
向上																			
維持	○																		
低下																			
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																			

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	総合型地域スポーツクラブ支援事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 3 スポーツ・レクリエーション		
	所管部署	教育部	スポーツ振興課	スポーツ振興係 内線 654
	根拠法令等	武蔵村山市総合型地域スポーツクラブ設立・運営補助金交付要綱		
	目的	地域の総合型地域スポーツクラブの設立及びクラブ設立後のクラブ運営に係る活動に対し、補助金を交付することにより、クラブ設立の促進及びその運営の安定を図り、市におけるスポーツの振興及び地域社会の活性化に寄与する。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	交付対象となる団体が行う活動に対し、設立・運営補助金を交付する。			
対象（交付先）	武蔵村山市総合型地域スポーツクラブ「よってかっしょクラブ」ほか設立を予定する団体			



評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	総合型地域スポーツクラブ数	団体
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	クラブ会員数	人	目標	360	360	360
			実績	122	171	
			達成率	34%	48%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	570	600	600		-
一般財源	570	600	600		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.10	0.10	0.10		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	1,368	1,365	1,370		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
総額（千円）	2,311	2,990	2,982		交付金額（千円） 600
市補助金	570	600	600		会場費 126
会費	188	258	290		事業運営費 378
繰越金	37	21	71		備品購入費 96
事業収入	1,298	2,055	1,971		
その他	218	56	50		
支出	総額（千円）	2,311	2,990	2,982	
交際費、飲食費	0	0	0		割合（％）
人件費	932	1265	1376		団体収入に占める補助金の割合 20%
事業経費	1358	1554	1494		団体収入に占める繰越金の割合 1%
その他	21	171	112		交付金額に対する繰越金の割合 4%

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
総合型地域スポーツクラブ数 1団体 クラブ会員数 171人	クラブの安定的な運営のために、クラブの存在をアピールする広告宣伝に注力する必要があることから、市の継続的な財政支援が必要となる。

今後の方針	
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合型地域スポーツクラブは、地域のスポーツ、文化、社会的な活動により、地域コミュニティの場として一定の役割を担っており、今後その役割は更に大きくなっていくものと考えられる。	
市内では、平成25年2月に設立された「よってかっしょクラブ」が活動を行っている。当該クラブが各種イベントや人材育成、会員の確保等を継続的に実施していくためには、今後も継続的に本補助金の交付を行っていく必要があると考える。ただし、クラブは早期に自立する必要もあり、自立を促すべく助言を併せて行っていく。	
成果	今後の方針
	コスト
	削減 維持 増加
向上	○
維持	
低下	


（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）



外部評価調書（補助金等）

事務事業名		総合型地域スポーツクラブ支援事業	
所管部署		教育部 スポーツ振興課 スポーツ振興係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・一般市民にも間接的な受益があるか</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・補助基準は明確か</li> <li>・補助金の交付により期待された効果が得られたか</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助内容や補助額の見直しは可能か</li> <li>・補助期間を設定しているか</li> <li>・類似の補助金との統合は可能か</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>本事業は、地域コミュニティを基本とした誰もが自由に参加できる総合型地域スポーツクラブの育成を目的として、その設立や運営に係る費用を補助するものであり、一定の必要性が認められる。</p> <p>他方、本事業の趣旨を踏まえれば、現状ではクラブの設立が1団体となっていることや会員数が減少していることから、公平性及び有効性に疑問が残る。</p> <p>よって、新たなクラブの設立に向けて団体の育成に注力するとともに、会員数の増加を図るため、総合型クラブとしての魅力を明確にした上で、その特徴をいかした活動の充実等に向けた助言や支援を行うことを求めたい。</p> <p>なお、本事業は、コミュニティ支援の側面もあることから、他のコミュニティ支援との連携を視野に入れ、その観点から財政支援を行うことを検討することが望ましい。</p>		

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	スポーツ少年団支援事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 3 スポーツ・レクリエーション		
	所管部署	教育部	スポーツ振興課	スポーツ振興係 内線 654
	根拠法令等	武蔵村山市スポーツ少年団運営支援補助金交付要綱		
	目的	スポーツ少年団の運営の安定を図り、市におけるスポーツ振興及び青少年の心身の健全な育成に寄与する。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	スポーツ少年団の安定的な運営のため、団体が行う活動に要する経費の一部を補助する。			
対象（交付先）	武蔵村山市スポーツ少年団			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	武蔵村山市スポーツ少年団単位団数	団体	目標	6	6
			実績	2	4	
			達成率	33%	67%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

補助金	事業経費	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
	交付金額（千円）	183	198	650	
人件費	一般財源	183	198	650	-
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	会計年度任用職員以外の職員（千円）	798	765	770	
	所要人員（人）	0.10	0.10	0.10	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
	合計（補助金+人件費）	981	963	1,420	

収入	交付団体等の決算予算の状況	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	交付団体等の令和4年度の市補助金の使途		
	総額（千円）	221	224	675		交付金額（千円）	198
収入	市補助金	183	198	650	使途内訳	役務費	2
	会費	0	0	0		負担金及び交付金	196
	繰越金	0	0	0			
	事業収入	0	0	0			
	その他	38	26	25			
支出	総額（千円）	221	224	675	割合（%）		
	交際費、飲食費	0	0	0	団体収入に占める補助金の割合	88%	
	人件費	0	0	0	団体収入に占める繰越金の割合	0%	
	事業経費	202	224	675	交付金額に対する繰越金の割合	0%	
	その他	19	0	0			

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/> 受益がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	継続性	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない
類似の補助金との統合は可能か		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
スポーツ少年団単位団数 4団体（ミニバスケットボール2団体、合気道、バレーボール）	市内には青少年を対象として活動するスポーツ団体は多数存在するが、その多くがスポーツ少年団に加入して活動する意思はなく、市民のニーズを捉えた補助金であるとは言い難い。また、既存のスポーツ少年団本部、各単位団とも、事務処理に関する体制が整っておらず、主体的な運営がなされていないことから、市が介入しサポートせざるを得ない状況が続いているため、所管部署の負担が年々増加している。


今後の方針  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

【今後の方向性】 本事業は、令和4年度の行政評価委員会による外部評価において、今後の方向性は縮小・見直しとされ、存廃を含めた見直しの検討が必要であるとの評価結果が示されている。このことから、現在本補助金を活用して活動している団体への存廃等による影響を十分に精査した上で、今後の方針を早急に検討していく必要がある。

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持			
低下	○		

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	野山北公園プール改修事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 3 スポーツ・レクリエーション		
	所管部署	教育 部	スポーツ振興 課	スポーツ振興 係 内線 654
	根拠法令等	武蔵村山市体育施設設置条例		
	目的	野山北公園プールについては、施設全体の老朽化が著しく、令和元年度における管理棟屋根及び内部天井張替え工事に続き、更衣室棟の屋根の改修工事を行う。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	野山北公園プール改修工事			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	事業の実施	—	目標	—	検討	—
								実績	—	検討
達成率	—	—								
2	—	—	目標	—	—	—				
				実績	—	—				
				達成率	—	—				

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		0	0	0

市民・議会等から寄せられた意見	
市議会一般質問において、当該施設の早期改修についての意見が寄せられている。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
実施計画には「検討」と位置付けられているため、事業の実績なし。	施設の老朽化が著しく、建物部分だけでなく全ての設備の再整備が必要となるため、存廃も含めた市民プールの在り方について全庁的な検討が必要となる。


今後の方針				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

今後の方針			
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	総合体育館（第一体育室上部以外）屋上防水改修事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 3 スポーツ・レクリエーション		
	所管部署	教育 部	スポーツ振興 課	スポーツ振興 係 内線 654
	根拠法令等	武蔵村山市体育施設設置条例		
目的	総合体育館の屋上については、平成15年1月の開設以来、防水対策等を行っていないため、防水改修工事を行うもの。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	総合体育館屋上防水改修工事			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	総合体育館（第一体育室上部以外）屋上防水改修工事	件	目標	—	1	—
				実績	—	1	—
達成率				—	100%	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—	—	
			達成率	—	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		0	7,898	0
財源内訳	一般財源	-	898	-
	国都支出金	-	0	-
	その他	-	7,000	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	765	0
	所要人員（人）	0.00	0.10	0.00
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		0	8,663	0

市民・議会等から寄せられた意見	
<p>総合体育館の利用団体の多くが加盟する一般社団法人武蔵村山市体育協会から、施設の不具合箇所の改善に関する要望が寄せられている。</p> <p>本工事の施工により、施設利用者からは「雨漏り等の理由によりイベント等が予定どおり行えなくなることを危惧していたが、工事で不安が解消された。」との声が聞かれた。</p>	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か <input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 市民のニーズに適合しているか <input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 市民との協働により事業を実施しているか <input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当 受益者負担は適切か <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 施策への貢献度は適切か <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	民間委託等は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 事業費の更なる削減は可能か <input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 類似事業等との統合は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
総合体育館屋上防水改修工事を実施した。	総合体育館については、当該箇所のほかにも老朽化している箇所が多数存在するため、順次改修、修繕を行う必要がある。

今後の方針																							
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
総合体育館は、平成15年1月の開設からおよそ20年が経過し、屋上の塗膜防水に複数の劣化部分が確認されており、雨漏り等が生じた場合、イベント開催の中止等が懸念されることから、施設の安定的な利用のため令和4年度に工事を実施した。本事業は終了となるが、当該箇所のほかにも老朽化している箇所が多数存在するため、今後も施設を点検しながら順次改修、修繕を行う必要がある。																							
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針				コスト			削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	今後の方針																						
		コスト																					
削減		維持	増加																				
向上																							
維持																							
低下																							
（廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要）																							






## 第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり

- 産業
- 環境



武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	都市農地保全支援プロジェクト事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	農政 係 内線 226
	根拠法令等	東京都都市農地保全支援プロジェクト実施要綱、東京都都市農地保全支援プロジェクト補助金交付要綱、武蔵村山市都市農地保全支援プロジェクト事業補助要綱		
	目的	農地が持つ環境保全などの多面的機能をより発揮させるとともに、地域住民に配慮した基盤整備により、貴重な都市農地の保全を図る。		SDGsの取組 2 飢餓をゼロに 
内容	農地の多面的機能をより発揮させるために地域及び環境に配慮した基盤整備に要する経費の8分の7を補助するもの。補助対象は、土留、フェンス、農薬飛散防止施設、簡易直売所等の整備に係る経費。			
対象(交付先)	農業者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	補助金交付者 (平成30年度から令和9年度までで累計15人を目標とし、実績は当該年度までの累計を記載)	人
			実績	17	20	
			達成率	283%	250%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額(千円)	4,848	5,185	17,902		-
一般財源	692	745	2,557		
国都支出金	4,156	4,440	15,345		
その他	0	0	0		
人件費	1,596	1,529	1,539		他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員(千円)					
所要人員(人)	0.20	0.20	0.20		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	6,444	6,714	19,441		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額(千円)	0	0	0	0	交付金額(千円)	5,185
市補助金	-	-	-	-	使途内訳	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	0	0	0	0	割合(%)	
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	-
人件費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	-
事業経費	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	-
その他	-	-	-	-		


視点別の分析	内容	評価	
		○	□
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
率	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
交付件数 3件 (対象事業：擁壁実施設計、防風ネット、防薬シャッター 各1件)	-

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本補助金は、都市化が進む市内の農地について、都市農地保全の取組として実施するものであり、周辺の環境との調和を図りながら、農業者の生産活動を継続していくためには補助が必要である。 また、食の安全性に対する関心などから生産者の顔が見える安全で安心な農産物の需要は高く、住まいに近い地域の農業者が生産する新鮮な農産物を求める市民ニーズにも合致していることから、引き続き事業を実施していく。 なお、令和5年度以降については、東京都の事業名称が「未来に残す東京の農地プロジェクト補助金」に変更となっている。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	市街化調整区域内道路整備事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係	内線	263
	根拠法令等	—				
	目的	市南西部（中原及び残堀地区の一部）の市街化調整区域内農地（通称「多摩開墾」）内の市道（砂利道）を営農者からの要望に基づく農業委員会からの依頼により整備路線を決定し、都度補修するものであり、それにより営農者の利便性及び生産性の向上、農業振興等を図る。				SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
内容	多摩開墾内の市道は、耕作への配慮の観点からアスファルト舗装ではなく砂利敷のため、営農者が使用する車両の通行による損傷箇所が発生することから、年に一度補修工事を実施している。					

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	砂利舗装改修工事	件	目標	1	1	1
				実績	1	1	
達成率				100%	100%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		1,705	1,353	2,000
財源内訳	一般財源	205	153	2,000
	国都支出金	1,500	1,200	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,197	1,147	1,154
	所要人員（人）	0.15	0.15	0.15
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		2,902	2,500	3,154


市民・議会等から寄せられた意見	
アスファルト塗装は油分がにじみ出し農作物への悪影響が危惧されることから使用を控えていたが、使用するべきではないかとの声も聴くようになった。 しかし、当該地区内の市道は、営農者以外の通行者は想定されないため、道路環境が整備されることにより不法投棄を招く可能性が高く、所管課としては意見を取り入れることへの懸念がある。	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か <input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 市民のニーズに適合しているか <input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 市民との協働により事業を実施しているか <input type="checkbox"/> 実施している <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当 受益者負担は適切か <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 施策への貢献度は適切か <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	民間委託等は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 事業費の更なる削減は可能か <input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 類似事業等との統合は可能か <input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
【施工場所】 残堀四丁目区域内 【工事内容】 再生粒度調整砕石RM-30舗装の凹凸を25～28mmの厚さで整正 【工事面積】 186㎡ 【工事代金】 1,353,000円（消費税込み）	多摩開墾内道路は市道と位置付けられ、道路管理者による維持管理義務が生じている。しかし、道路の利用者が区域内の営農者に限られることから、地区内道路の認定を廃止し、農道として再認定するなど、予算管理を含め市内における農業施策の所管である農業委員会への移管等を検討する余地がある。 また、令和3年度に調査した結果、あきる野市で広域農地内の道路を農道として維持管理していることを把握した（旧五日市町内の山林内道路）。 さらに、長野県内の複数の自治体では、自治体が原材料を支給して住民が道路を適宜補修していることから、補修方法の見直しが可能と考える。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 当該地区内道路の利用者は営農者に限られるものの、現状は市道として認定しているため、引き続き農業委員会からの依頼に基づき、砂利道の補修を実施する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	新規就農者育成総合対策事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	農政 係 内線 226
	根拠法令等	新規就農者育成総合対策実施要綱（国）、新規就農者育成総合対策（経営開始資金）費補助金交付要綱（都）、武蔵村山市新規就農者育成総合対策（経営開始資金）費補助金交付要綱		
	目的	次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、補助金（経営開始資金）を交付することにより、農業経営開始直後の経営確立及び新規就農者の育成・確保を図ることを目的とする。		SDGsの取組 2 飢餓をゼロに 
内容	市内で新たに就農する50歳未満の者に対して、月額12万5千円の資金を交付することにより、就農時の経営の安定化を図る。なお、交付期間は3年間である。			
対象（交付先）	新規就農者（青年就農者）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	新規就農者数 （平成30年度から令和9年度までで累計6人を目標とし、実績は当該年度までの累計を記載）	人
			実績	2	3	
			達成率	100%	100%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費			市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	
交付金額（千円）	0	2,250	3,000	-
一般財源	-	0	0	
国都支出金	-	2,250	3,000	
その他	-	0	0	
人件費	0	2,293	2,308	他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	2,293	2,308	
所要人員（人）	0.00	0.30	0.30	
会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	-
合計（補助金+人件費）	0	4,543	5,308	

収入	交付団体等の決算予算の状況			交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	
総額（千円）	0	0	0	交付金額（千円） 2,250
市補助金	-	-	-	使途内訳
会費	-	-	-	
繰越金	-	-	-	
事業収入	-	-	-	
その他	-	-	-	
支出	0	0	0	割合（%）
交際費、飲食費	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合
人件費	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合
事業経費	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合
その他	-	-	-	-

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か				
				市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある		
				市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
				一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
				廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当	
				補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
				補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
				補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない						
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当					


所管課の評価	令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
	令和4年度は2人に支給した。 【内訳】 ●月額125千円×12月×1人＝1,500千円 ●月額125千円×6月×1人＝750千円 ※本補助には年齢及び交付期間に制限があるため、評価指標の新規就農者数とは一致しない。	-

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
令和4年度に開始された国の新規就農者支援策であるため、引き続き支援を行っていく。なお、補助期間は3年間であるが、補助期間終了後についても一定期間（5年間程度）営農状況の確認等が必要とされている。																								
市内の農地保全や担い手の確保、農業振興の側面からは、引き続き就農者の支援を行っていきたい。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>						今後の方針			コスト			成果	向上		○		維持				低下			
		今後の方針																						
		コスト																						
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）



武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	体験型市民農園事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	農政 係 内線 226
	根拠法令等	武蔵村山市第三次農業振興計画		
	目的	市民の農業体験の機会を確保するとともに、農業に対する理解の促進を図り、もって良好な農地の保全を推進することを目的とする。		SDGsの取組 2 飢餓をゼロに
内容	体験型市民農園の開設に当たり必要となる耕地の区画割りや通路の整備、運営当初に必要な施設（倉庫等）の整備費用の一部について、整備の主体となる農地所有者に補助するもの。			
対象（交付先）	農地所有者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	体験型市民農園の設置数	件
			実績	2	2	
			達成率	67%	67%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	0	0	0		-
一般財源	-	-	-		
国都支出金	-	-	-		
その他	-	-	-		
会計年度任用職員以外の職員（千円）	240	230	231		他市等の状況
所要人員（人）	0.03	0.03	0.03		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	240	230	231		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円）	-
市補助金	-	-	-		使途内訳	
会費	-	-	-			
繰越金	-	-	-			
事業収入	-	-	-			
その他	-	-	-			
支出	総額（千円）	0	0	0		
交際費、飲食費	-	-	-		割合（%）	
人件費	-	-	-		団体収入に占める補助金の割合	—
事業経費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合	—
その他	-	-	-		交付金額に対する繰越金の割合	—


視点別の分析	内容	評価	
		○	△
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
率	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
性	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
	実施計画では「検討」とされたが、適地を検討中であり、予算計上をしていない。	開設する農地により整備に係る費用が異なることから予算額については、開設予定地が決定してから整備費を積算する必要が生じる。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
<p>体験型市民農園は、都市部における農業と住民の交流を深める取組として、市民が農業に関わる契機となり、農に対するふれあいや農地保全を図るため設置しており、本補助金は、その開設に係る費用を補助するものであることから、今後も継続していく。</p> <p>また、第五次長期総合計画及び第三次農業振興計画において、体験型市民農園の設置数を成果指標としており、引き続き「ふれあう農業の推進」を図るため、体験型市民農園の開設に向けて農地所有者への交渉を行い、3箇所目の開設を目指していく。</p>			
成果	向上		
	維持	○	
	低下		

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	武蔵村山地域ブランド創造活動事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商・工業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係 内線 225
	根拠法令等	武蔵村山地域ブランド認証事業実施要綱、武蔵村山地域ブランド開発事業補助金交付要綱、武蔵村山地域ブランド普及促進事業補助金交付要綱		
	目的	市内の魅力ある商品等を認証し、広く他の地域に発信するとともに、本市の活性化と魅力の向上を図る。		SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
内容	市内産品を活用した商品等を武蔵村山地域ブランドとして認証し、市内外へ発信するとともに、認証商品の開発や普及促進に要した費用の一部を補助する。			
対象（交付先）	地域ブランド認証事業者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	地域ブランド認証商品数	品目	目標	15	15
			実績	10	10	
			達成率	67%	67%	
2	-	-	目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	200	200	900		-
一般財源	200	200	900		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.02	0.02	0.02		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	360	353	1,054		●立川市：輝く個店事業 商工会議所と連携し、地域のお店の中から「輝く個店」を選出し、専用ホームページ等で紹介している。

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円）	200
市補助金	-	-	-	-	使途内訳	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	総額（千円）				割合（%）	
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	-
人件費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	-
事業経費	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	-
その他	-	-	-	-		

視点別の分析	市の関与は必要か		見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>
一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
有効	<input checked="" type="checkbox"/>	受益がある	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
性	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は少ない
補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	明確である	<input type="checkbox"/>	不明確な部分がある
補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	効果がある	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある
効	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある
率	<input checked="" type="checkbox"/>	設定している	<input type="checkbox"/>	設定していない
性	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
●更新件数：4件 アイス工房ヴェルデ 「自家製アイスクリーム」 もりのこむぎ 「村山お茶食パン」 田舎家 「手作り村山ゆでまんじゅう」 村山うどんの会 「村山かてうどん」 ●補助金交付件数：1件 交付金額200,000円 村山かてうどんガイドマップを6万部作成した。	認証商品の増加に向けたPR方法の検討が必要である。

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上		○	
維持			
低下			


市内産業の活性化のためには、市内の魅力ある商品等を地域ブランドとして認証し、広く市内外に情報発信する取組が重要である。  
本事業は、市内事業者に対して、新たな認証商品等の開発及びその広告宣伝の促進のため活用してもらったものであり、今後も継続していく必要がある。  
しかし、近年では活用実績が伸び悩んでおり、本事業についての効果的な周知方法の検討が課題となっている。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		武蔵村山地域ブランド創造活動事業	
所管部署		協働推進部 産業観光課 商工係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・一般市民にも間接的な受益があるか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・補助基準は明確か</li> <li>・補助金の交付により期待された効果が得られたか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助内容や補助額の見直しは可能か</li> <li>・補助期間を設定しているか</li> <li>・類似の補助金との統合は可能か</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、市内の魅力ある商品等を認証し、市内外へ広く発信するものであり、認証商品の普及促進により集客力や知名度の向上に寄与していることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>しかし、近年新たな認証商品の開発がなく、新規商品の開発の観点からは有効性に疑問が残る。</p> <p>よって、今後は、認証商品の普及促進と新規商品の開発支援に分け、後者については他の創業支援を目的とした事業等との連携を検討する必要があると思料する。また、その際には、既存の認証商品の分析により、それが本市の地域らしさにどのように結び付いているかの知見を確認し、新規商品の開発に役立てることを期待したい。</p> <p>また、地域に根差した効果的な周知方法を検討するなどの工夫改善により、より魅力的な事業へと発展させていくことを求めたい。</p>		

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	創業支援事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商・工業				
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係	内線	225
	根拠法令等	創業支援等事業計画、産業競争力強化法				
目的	創業希望者等の支援を行うことにより、市内での新たな産業の育成と雇用を生み出すとともに、地域経済の活性化を図る。				SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	
内容	創業を志す者のために、創業塾、創業セミナー、創業者交流会、創業個別相談を実施する。 事業実施は金融機関に委託する。					

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	創業支援制度を利用した創業者数	人	目標	21	21	21
				実績	5	13	
達成率				24%	62%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		1,460	1,980	1,288
財源内訳	一般財源	1,435	1,965	1,238
	国都支出金	0	0	0
	その他	25	15	50
	会計年度任用職員以外の職員（千円）	479	459	462
人件費	所要人員（人）	0.06	0.06	0.06
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		1,939	2,439	1,750

**市民・議会等から寄せられた意見**

令和4年9月第3回市議会定例会で「講師は公平性を保つよう中小企業診断士を始めとする土業、起業家など様々な講師に依頼していただきたい。」との意見が寄せられている。


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
従来の取組のほか、新たに市内創業者を対象とした補助金を創設した。 ●むらやま創業塾「ゆめ」：参加者3人（全5回、定員10人） ●むらやま創業セミナー「みらい」：参加者延べ11人（全1回、定員20人） ●個別相談（随時）：参加者延べ24人（開催日数24日） ●市内創業者を対象とした補助金：利用者10人（合計992千円）	市内の創業希望者や創業に興味のある者の更なる発掘が課題である。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 国の認定を受けた「創業支援等事業計画」に基づき、これから創業する方や創業しておおむね5年未満の方を対象として各種支援を実施するものであり、地域の雇用機会の確保や地域経済の活性化を図るため、今後も継続して実施していく。 また、塾やセミナーの内容を再検討するほか、開催曜日を平日から土曜日へ変更するなどの見直しにより、まだ参加していない層の参加者の掘り起こしを行いたい。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							



武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	安心安全・エコ住宅等改修助成事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商・工業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係 内線 225
	根拠法令等	武蔵村山市安心安全・エコ住宅等改修助成事業補助金交付要綱		
	目的	市民の住環境における防災対策を推進し、及び環境負荷を軽減して安心安全なまちづくりを推進するとともに、地域経済の活性化に資することを目的とする。		SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
内容	①木造住宅に対する耐震診断・耐震改修等助成事業、②新エネルギー利用機器等設置費補助事業、③エコ住宅化助成事業、④バリアフリー住宅化助成事業 ※②～④については市内事業者が施工した工事が対象			
対象(交付先)	市民			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	補助金交付件数 ※右記目標値は、当初予算の見積値	件
			実績	130	92	
			達成率	265%	131%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額(千円)	12,363	4,576	2,000		市民からは、「市外の事業者が施工した工事も対象にしてほしい」といった意見が寄せられている。
一般財源	12,363	4,576	2,000		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	878	841	847	他市においては、市外の事業者が施工した工事を対象としている場合が多く、事業者支援施策ではなく、環境施策として実施している。
	所要人員(人)	0.11	0.11	0.11	
	会計年度任用職員(千円)	604	645	641	
	所要人員(人)	0.45	0.45	0.45	
合計(補助金+人件費)	13,845	6,062	3,488		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額(千円)	0	0	0	0	交付金額(千円)	4,576
市補助金	-	-	-	-	使途内訳	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	総額(千円)	0	0	0	割合(%)	
	交際費、飲食費	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	-
	人件費	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	-
	事業経費	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	-
	その他	-	-	-		

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない		
類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		


令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●新エネルギー利用機器等設置費補助金 補助件数：6件（補助額：300,000円）</li> <li>●エコ住宅化助成事業補助金 補助件数：71件（補助額：3,550,000円）</li> <li>●バリアフリー住宅化助成事業補助金 補助件数：15件（補助額：726,000円）</li> </ul>	-

今後の方針																			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																		
<p>本事業は令和4年度をもって廃止し、令和5年度から新たに、バリアフリー住宅化補助金（産業観光課）、木造住宅耐震改修等補助金（防災安全課）、ゼロカーボンシティ住宅普及促進事業補助金（環境課）として各所管において実施することとした。</p> <p>なお、バリアフリー住宅化補助金については、高齢者福祉課が所管する高齢者向け支援住宅改修事業と事業対象が重複することから見直しを行いたい。</p>																			
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト			削減	維持	増加	向上			維持			低下		
	今後の方針																		
	コスト																		
削減	維持	増加																	
向上																			
維持																			
低下																			

(廃止・休止・終了の場合は「O」の記入不要)



武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	商店街振興事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商・工業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係 内線 225
	根拠法令等	①武蔵村山市商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金交付要綱 ②商工業振興奨励補助金交付要綱		
	目的	中小商業の振興を図り、もって地域経済の活性化に寄与する。		SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
内容	①商店会等が実施するイベント事業に対し補助金を交付する。 ②商工会が行う商業振興事業（まいど～宅配事業）に対し補助金を交付する。			
対象（交付先）	①市内商店会等 ②武蔵村山市商工会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	補助金交付件数（イベント数） ※右記目標値は、当初予算の見積値	件
			実績	5	6	
			達成率	63%	75%	
2	まいど～宅配事業利用者数	人	目標	2,200	2,200	2,200
			実績	1,951	2,115	
			達成率	89%	96%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	6,210	6,099	7,070		-
一般財源	3,971	4,250	4,195		
国都支出金	2,239	1,849	2,875		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 ①他市でも同様の取組を行っている。 ②他市では同様の取組は見られない。
所要人員（人）	0.10	0.10	0.10		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	7,008	6,864	7,840		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円）	6,099
市補助金	-	-	-	-	使途内訳	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	総額（千円）				割合（%）	
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	—
人件費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	—
事業経費	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	—
その他	-	-	-	-		

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
<b>【補助実績】</b> ①商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金 ●村山中央ショッピングセンター商店会（2イベント、1,705千円） ●村山団地中央商店会（2イベント、1,557千円） ●横中商店会（2イベント、837千円） ②商工業振興奨励補助金 ●武蔵村山市商工会（2,000千円）	地元商店街の活性化のため、各事業について市民への周知を進めることにより、イベントへの来場者又はまいど～宅配事業利用者の増加につなげる。


今後の方針  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了  
 地域経済の振興や地域コミュニティの活性化を図るため、引き続き市内商店会等への補助を行うとともに、都補助金を活用した新たな事業実施要望の有無について、連絡会等を通じて意見を求めていく。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	空き店舗活用事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商・工業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係 内線 225
	根拠法令等	産業振興ビジョン		
	目的	地域経済の活性化を図るため、市内の空き店舗や空きオフィスの利活用を促進する。	SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	
内容	市内の事業用に供する不動産情報の収集・情報発信を行い、利活用を希望する事業者、創業を希望する起業家につなげる支援を行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	空き店舗を活用した事業者数	事業者	目標	2	2	2
				実績	0	0	
達成率				0%	0%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見								
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算								
事業費 (千円)	一般財源	0	0	0	—							
	財源内訳											
	国都支出金	0	0	0								
	その他	0	0	0								
人件費	会計年度任用職員以外の職員 (千円)	0	994	1,000								
	所要人員 (人)	0.00	0.13	0.13								
	会計年度任用職員 (千円)	0	0	0								
	所要人員 (人)	0.00	0.00	0.00								
合計 (事業費+人件費)		0	994	1,000								

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/>	適合している	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
商店会に対して、空き店舗を活用した東京都の補助制度を案内した。	都補助事業については、期限付きであることから、利用する商店会はない。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
商店会との情報交換会を開催し、空き店舗等を活用した事業内容を検討する。空き店舗に関する状況や意向の把握を行い適切な補助制度を案内する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	企業誘致促進事業			
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商・工業			
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係	内線 225
	根拠法令等	武蔵村山市企業誘致条例 武蔵村山市企業誘致条例施行規則			
	目的	市への企業の立地を促進するために必要な措置を講ずることにより、地域産業の振興及び市民の雇用機会の拡大を図り、もって地域経済の活性化及び市民生活の向上に資することを目的とする。			SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
内容	市内工業地域に工場等を新設又は増設した企業を指定企業として認定し、奨励金を交付する。				
対象（交付先）	指定企業				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	企業誘致による新規就業者数	人
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	1,790	0	20,000		-
一般財源	1,790	-	20,000		
国都支出金	0	-	0		
その他	0	-	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 30市町村中12市町村（本市含む）が企業誘致に関する事業を実施している。
所要人員（人）	160	1,987	539		
所要人員（人）	0.02	0.26	0.07		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	1,950	1,987	20,539		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円）	-
市補助金	-	-	-		使途内訳	
会費	-	-	-			
繰越金	-	-	-			
事業収入	-	-	-			
その他	-	-	-			
支出	総額（千円）				割合（%）	
交際費、飲食費	-	-	-		団体収入に占める補助金の割合	-
人件費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合	-
事業経費	-	-	-		交付金額に対する繰越金の割合	-
その他	-	-	-			


視点別の分析	内容	評価	
		○	□
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
効果性	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度末をもって武蔵村山市企業誘致条例が失効することから、引き続き本市への企業の立地を促進するためその期限を撤廃するなどの条例改正を行った。 なお、令和4年度は交付対象となる企業が無く、交付実績なし。	市内への移転希望のある市外事業者に対する周知方法の検討を行う。

今後の方針																							
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和3年度に新規指定した企業について、令和5年度より企業誘致奨励金の交付を行う。																							
本事業は、市内産業の振興及び市民の雇用機会の拡大に寄与するものであり、引き続き工業集積の維持、発展に向けて、製造業やその研究開発機能、先端産業企業等の誘致を図る。また、新青梅街道沿道や多摩都市モノレール想定新駅周辺区域等へ商業、サービス業等の店舗や事業所等の立地の促進を図るため、対象業種及び対象地域の拡大について検討を進める。																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
今後の方針																							
成果	コスト																						
	削減	維持	増加																				
向上																							
維持		○																					
低下																							

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	緑が丘地区暫定管理事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 3 観光		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	観光 係 内線 224
	根拠法令等	緑が丘地区の暫定管理に関する協定書 緑が丘地区の暫定管理に関する覚書		
	目的	都営村山団地の建て替えに伴う空地約2.4haを「ひまわりガーデン武蔵村山」等として整備し市民の憩いの場、また観光名所として本市の知名度の向上に寄与する。		SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も
内容	緑が丘地区の東京都が管理している用地に季節を味わうことができる草花を植え、市民等の憩いの場として整備するもの。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	「ひまわりガーデン武蔵村山」来場者数 ※目標値は設定していない。	人	目標	—	—	—
				実績	27,567	32,150	
達成率				—	—		
2	「菜の花ガーデン武蔵村山」来場者数 ※目標値は設定していない。	人	目標	—	—	—	
			実績	8,775	10,083		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算				
事業費(千円)	12,442	12,717	1,072	—			
財源内訳	一般財源	12,442	12,717				1,072
	国都支出金	0	0				0
	その他	0	0				0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,393	2,293				2,308
	所要人員(人)	0.30	0.30				0.30
	会計年度任用職員(千円)	0	0				0
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00				
合計(事業費+人件費)	14,835	15,010	3,380				

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性	見直し	
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	
市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	
廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		

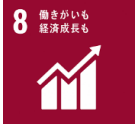
令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●ひまわりガーデン武蔵村山 開園期間：令和4年7月23日から同年8月14日まで 来場者数：32,150人</li> <li>●菜の花ガーデン武蔵村山 開園期間：令和5年2月18日から同年3月30日まで 来場者数：10,083人</li> </ul>	—

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
平成24年1月27日付けで締結した「緑が丘地区の暫定管理に関する協定書」に基づき市民等の憩いの場として整備を行い、夏の風物詩である「ひまわりガーデン武蔵村山」等を開園してきたが、協定書の期間満了となる令和5年5月末日をもって東京都へ返還し事業を廃止する。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持			
低下			

(廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要)



武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	武蔵村山観光まちづくり協会助成事業			
	施策名称	第5章 地域の特徴をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 3 観光			
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	観光 係	内線 224
	根拠法令等	令和5年度武蔵村山観光まちづくり協会交付金交付要綱			
目的	武蔵村山観光まちづくり協会の運営に当たり必要な経費を交付することにより、協会の充実を図り、地域の観光資源の活用の推進に資する。			SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も	
内容	観光まちづくり協会によりロケーションサービス事業、まち歩きイベント、その他の観光事業を実施する。				
対象（交付先）	武蔵村山観光まちづくり協会				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	まち歩きイベントの参加者数	人
			実績	23	23	
			達成率	115%	115%	
2	観光まちづくり協会会員数による会費	円	目標	845,000	850,000	1,000,000
			実績	887,000	913,000	
			達成率	105%	107%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	17,376	18,000	18,000		-
一般財源	17,376	18,000	18,000		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.30	0.30	0.30		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	19,769	20,293	20,308		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	18,459	18,952	19,530		交付金額（千円）	18,000
市補助金	17,376	18,000	18,000		人件費	13,460
会費	887	913	1,000		事業費	1,456
繰越金	146	0	0		管理費	3,084
事業収入	0	0	0			
その他	50	39	530			
支出	総額（千円）	18,459	18,952	19,530	割合（％）	
交際費、飲食費	12	0	0		団体収入に占める補助金の割合	95%
人件費	13,762	13,460	14,188		団体収入に占める繰越金の割合	0%
事業経費	1,276	1,456	1,055		交付金額に対する繰越金の割合	0%
その他	3,409	4,036	4,287			

視点別の分析	項目	評価	
		必要である	見直しの余地がある
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
率	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>


所管課の評価	令和4年度の実績				補助金交付に当たっての課題		
	会員数	法人会員	個人会員	合計			
	正会員	76	59	20	18	96	77
	賛助会員	9	8	4	4	13	12
	合計	85	67	24	22	109	89
	イベント実績	観光案内所の運営：魅力発信ポスターの発行：ロケーションサービス事業 まち歩きイベント：魅力マイスターの認証：その他					
	当協会は令和2年度に設立し、設立からの経過年数も浅く、収益事業についてもまだ十分とは言えない状況から、今後も市の交付金に依存した運営となる見込みである。 今後は収益事業を充実させ、交付金の減額を目指す。						

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
今後も、観光によるまちづくりを推進するため、行政との協働により、観光施策を充実させ、自主事業等の収益事業により観光まちづくり協会の収益の向上を図るとともに、本市の知名度の向上等により来訪者の増加を目指す。			
成果	向上	コスト	
		削減	維持 増加
	維持		○
	低下		

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	村山温泉「かたくりの湯」大規模改修事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 3 観光		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	観光 係 内線 224
	根拠法令等	武蔵村山市立温泉施設設置条例 武蔵村山市立温泉施設設置条例施行規則		
	目的	市民の健康づくり、多世代間のコミュニティの振興や観光・レクリエーションの拠点としての機能を担う村山温泉「かたくりの湯」を適正に管理し、来場者が快適に利用できる施設を維持する。		SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も 
内容	経年劣化により設備に老朽化が進行していることから、温泉施設の機能維持、保全のため適正に修繕を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	来場者数	人	目標	114,000	95,000
			実績	90,621	147,648	
			達成率	79%	155%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）	7,418	1,951	0
財源内訳			
一般財源	7,418	1,951	—
国都支出金	0	0	—
その他	0	0	—
人件費			
会計年度任用職員以外の職員（千円）	3,988	3,821	0
所要人員（人）	0.50	0.50	0.00
会計年度任用職員（千円）	0	0	0
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）	11,406	5,772	0


市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
以下のとおり設備の修繕を実施した。 ●蒸気発生器の修繕 ●ホール雨漏りの修繕 ●真空ヒーター部品の交換修繕 ●温泉施設高圧電気設備更新工事	—

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和4年度で現指定管理者の指定期間が終了するため指定管理者の公募を行ったが、応募事業者がなかったことから、令和5年度末までに市立温泉施設の在り方を検討し、市の方針を決定することとなっている。今後の施設の方針が決定するまでは、本事業については休止する。																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	都市核地区土地区画整理事業地内公園整備事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第3節 環境 2 公園・緑地		
	所管部署	環境 部	環境 課	公園緑地 係 内線 262
	根拠法令等	武蔵村山市都市核地区土地区画整理事業地内の公園等整備方針検討委員会設置要綱 武蔵村山市都市核地区暫定市民広場管理運営要綱		
	目的	公園の利用形態を含めた公園等整備方針を策定するため、公園等整備方針検討委員会（以下「委員会」という。）を庁内に設置し多角的に検討を進める。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
内容	令和4年度から令和7年度までに都市核地区土地区画整理地内（複三丁目及び本町一丁目の一部）に新たに整備される公園5施設及びポケットパーク4施設の施設名、設置遊具等及び開園時期等について、公園づくりに関する市民懇談会の意見などを踏まえながら委員会において検討を行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	委員会の開催	回	目標	—	1	3
				実績	—	1	
達成率				—	100%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	0	0	0			
国都支出金	-	-	-			
その他	-	-	-			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	383	770			
所要人員（人）	0.00	0.05	0.10			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	0	383	770			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>		
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年12月15日に第1回委員会を书面開催した。	現時点では都市核地区土地区画整理事業地内に住宅が集積していないため、今後のモノレール延伸や沿線まちづくりなどの進捗を見据えつつ、段階的に公園整備を図る必要がある。 また、区画整理課から環境課へ移管される公園等は暫定的な開園を予定しているが、順次移管されるため、設計委託業者選定等の検討が必要である。


今後の方針			
成果	向上	コスト	
		削減	維持
		増加	
		○	

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

本事業は、区画整理課で所管する「都市核地区土地区画整理事業」において本町一丁目及び複三丁目に新たに整備された公園やポケットパークについて、委員会を設置し、令和3年度に開催された「公園づくりに関する市民懇談会」での意見なども踏まえ、公園整備方針案を検討するものである。  
土地区画整理事業で行う公園の整備は、外柵、植栽までとしているため、委員会において公園利用形態を含めた整備方針の決定とともに、施設名、設置遊具等及び開園時期等について検討していく。  
また、今後は、モノレール延伸に伴い市民のニーズや周辺環境が変化していくことから、都市計画課との都市開発等の協議を進めていく必要がある。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	中藤五丁目運動広場防球ネット設置事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第3節 環境 2 公園・緑地				
	所管部署	環境 部	環境 課	公園緑地 係	内線	262
	根拠法令等	武蔵村山市地域運動場等設置条例				
	目的	防球ネットを設置することにより、施設の適切な維持管理を図る。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	コンクリート柱防球ネットを設置する。 (防球ネットの高さ4m、長さ80.934m)					

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	防球ネットの設置	—	目標	—	設置	—
				実績	—	設置	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		0	3,784	0
財源内訳	一般財源	-	3,784	-
	国都支出金	-	0	-
	その他	-	0	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	383	0
人件費	所要人員(人)	0.00	0.05	0.00
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		0	4,167	0


市民・議会等から寄せられた意見	
ボール遊び等に伴い運動広場内から近隣の住宅や庭にボールが飛び出すことがあり、市議会議員から防球ネットの設置要望があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
児童等の利用の増加に伴い、ボール遊び等で運動広場内から近隣の住宅等にボールが飛び出し、近隣住民に迷惑をかけていたため、防球ネットを設置した。	防球ネット設置工事に伴い、運動広場の利用が1か月程度制限されるため、自治会や近隣住民への周知及び施設内に周知看板を設置して対応した。 運動広場が利用できない期間の周知方法やいかに理解を得ていくかが課題である。

今後の方針																			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 運動広場は、市民の運動、レクリエーション等の用に供するため設置しており、主に幼児や低学年児童の遊び並びに高齢者の運動の用に供することを目的としている。利用者が安全・安心に利用するためには、ボール等の飛び出しを防止する防球ネットは必要である。 今後は、運動広場をより安全に利用していただくため、危険を及ぼすおそれのある球技等に関する注意や適切な利用などについて看板等での周知を継続していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上	削減	維持	増加															
	維持		○																
	低下																		

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	野山北・六道山公園（総合運動公園）整備事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第3節 環境 2 公園・緑地		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272
	根拠法令等	都市計画法、都市公園法		
目的	野山北・六道山公園（総合運動公園）の未供用区域の整備		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	未買収用地の用地取得に向けた準備を進めるとともに、未整備区域の整備内容等について調査委託を実施し整備を推進する。 用地取得：約1,150㎡（未買収用地） 公園整備等：約1.43ha（未供用区域約1.32haを含む）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	用地取得	—	目標	推進	推進	推進
								実績	未実施	未実施
達成率	—	—								
2	整備内容調査検討	—	目標	調査検討	調査検討	調査検討				
				実績	未実施	未実施				
				達成率	—	—				

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
会計年度任用職員以外の職員（千円）		80	77	77
人件費	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		80	77	77

市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	効果性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度は整備の実績なし。	令和2年度に改定された都市計画公園・緑地の整備方針では、令和11年度までに優先的に事業を進めていく公園として位置付けられており、未買収用地の用地買収及び未整備区域の整備を進めて供用開始を図る必要がある。 また、スポーツ振興課、環境課と連携して公園整備計画について調整する必要がある。

今後の方針				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
<p>総合運動公園については、憩いとやすらぎの場、健康づくりの場、スポーツ・レクリエーションの場、災害時のオープンスペースの機能を持つ拠点性の高い公園として整備するため、検討を行うものである。</p> <p>都市計画公園・緑地の整備方針（計画期間：令和2年度～令和11年度）において、重点的に事業化に向けて取り組む公園として位置付けられていることから、庁内関係部署と連携し、整備に向けた調査検討を行う。</p>				
成果	今後の方針	コスト		
		削減	維持	増加
	向上			
維持		○		
低下				

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	都市公園施設改修事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第3節 環境 2 公園・緑地				
	所管部署	環境 部	環境 課	公園緑地 係	内線	262
	根拠法令等	公園施設長寿命計画 社会資本総合整備計画「東京の防災力を向上させる公園緑地整備（防災・安全）」				
	目的	公園施設内の遊具等は老化、損傷の状態が大きく異なるため、施設老朽化に対する安全対策の強化及び改築、更新費用の平準化を図り計画的に改築、更新を行うことを目的とする。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	平成29年度から令和8年度までの10か年、公園施設長寿命化計画に基づき計画的に都市公園の設備等の整備を実施する（補助対象額3千万円、補助率2分の1）。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	改修工事した都市公園施設の件数	施設
			実績	3	7	
			達成率	100%	100%	
2	遊具等を撤去及び設置した遊具等の件数	個	目標	5	34	0
			実績	5	34	
			達成率	100%	100%	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		3,081	32,230	4,291
財源内訳	一般財源	3,081	17,230	4,291
	国都支出金	0	15,000	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	399	765	770
	所要人員（人）	0.05	0.10	0.10
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		3,480	32,995	5,061

市民・議会等から寄せられた意見	
遊具の老朽化については、安全で安心して市民が利用できるよう維持管理を行っているが、市民からは年代に合った遊具や健康道具を設置してほしいとの意見がある。	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
年に1回、運動広場等管理点検委託業務において、遊具等の点検を実施し、評価を行い安全、安心な施設管理に努めている。 令和4年度は交付金対象遊具等の改修工事として、以下の整備を実施した。 ●工事件名：雷塚公園ほか6箇所遊具等改修工事 ●工期：令和4年10月27日から令和5年3月27日まで	10年間（平成29年度から令和8年度まで）の計画で改修工事を実施しており、公園施設長寿命化計画における補助金対象遊具の改修整備は順調に進んでいる。補助対象額（3千万円）を満たす遊具の選定が困難であり、各年での工事になっている。

今後の方針																			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																			
本事業は、公園施設長寿命化計画に基づき、当該施設の利用者の安全確保及び利便性の向上のため、遊具等の点検、修繕、補修を実施するものである。 都市公園は、子どもの遊び場、レクリエーション活動やコミュニティ活動の場として利用されており、計画的な管理、整備が必要であることから、今後も本事業を継続する。また、公園施設長寿命化計画の施行期間は令和8年度までとしているが、補助金対象遊具の整備が進み、補助対象額（3千万円）を満たす遊具等の選定が困難となっているため、東京都との調整が必要である。																			
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト			削減	維持	増加	向上			維持	○		低下		
	今後の方針																		
	コスト																		
削減	維持	増加																	
向上																			
維持	○																		
低下																			
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																			



武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	樹林等保全事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第3節 環境 2 公園・緑地		
	所管部署	環境部	環境課	公園緑地係 内線 262
	根拠法令等	武蔵村山市みどりの保護及び育成に関する条例、武蔵村山市みどりの保護及び育成に関する条例施行規則、武蔵村山市みどりの保護及び育成に関する奨励金交付要綱		
	目的	市内のみどりの保護及び育成を図り、もって市民の健康で快適な生活環境を確保することを目的とする。		SDGsの取組 15 陸の豊かさも守ろう
内容	保存樹木等の保護を図るため、その所有者に対し毎年奨励金を交付する。			
対象（交付先）	市民			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	保存樹木の本数	本
			実績	81	76	
			達成率	68%	63%	
2	保存生け垣の延長	m	目標	4,850	4,850	4,013
			実績	4,013	3,928	
			達成率	83%	81%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	1,620	1,575	1,949		-
一般財源	0	0	0		
国都支出金	0	0	0		
その他	1,620	1,575	1,949		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 東京都では、1区、2市（八王子市、青梅市）に制度なし。平成29年度緑化白書からの増減内訳は、増加が14団体、減少が28団体、変化なしが10団体である。
	479	383	385		
	所要人員（人）				
	0.06	0.05	0.05		
	会計年度任用職員（千円）				
	0	0	0		
	所要人員（人）				
	0.00	0.00	0.00		
	合計（補助金+人件費）				
	2,099	1,958	2,334		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円）	1,575
市補助金	-	-	-	-	使途内訳	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	総額（千円）				割合（%）	
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	—
人件費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	—
事業経費	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	—
その他	-	-	-	-		

視点別の分析	内容	評価	
		○	□
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度は、奨励金制度を市ホームページ及び市報（4/1号、3/15号）に掲載したことにより、新たに17件の申請があった。 【申請内訳】 ●保存樹木：5本 ●保存樹林（生け垣）：208m	所有者は、毎年奨励金の申請を行い現地確認を受けることや、5年ごとに緑地保護地区の申請が必要となることから、負担軽減が必要である。 また、所有者の高齢化等により保存樹木等の維持管理が困難となるなど、保存樹木等が減少傾向にある。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
緑豊かなまちづくりを推進する上で、今後もみどりの保護及び育成が必要であり、本補助金は市民の健康で快適な生活環境に寄進するため、今後も継続していく必要がある。 今後も、現在の所有者への申請事務等の負担軽減や、新規緑地保存地区を増やすため市ホームページや市報に継続的に掲載して周知するなど、新規申請者へのPR活動を実施していく。																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="2">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			成果	コスト		削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
今後の方針																						
成果	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上																						
維持		○																				
低下																						

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）




## 第6章 計画の推進に向けて

- 行政運営
- 財政運営
- 広域行政



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	電話交換機等更新事業		
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第1節 行政運営		
	所管部署	総務部	総務契約課	総務係 内線 324
	根拠法令等	—		
	目的	電話交換機等を安定的に運用するため、更新を実施する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	既存の電話交換機は設置から10年以上経過しており、一部の部品については平成30年に製造が終了している。既に基盤等に不具合が生じ修繕を行っている状況であり、庁舎内の全ての電話が通話不能となることが懸念されるため更新を実施した。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	電話交換機の稼働日数	日	目標	—	—	—
				実績	365	365	
達成率				—	—		
2	電話交換機の年間当たりの稼働時間	時間	目標	—	—	—	
			実績	8,760	8,760		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		0	1,235	2,469	
財源内訳	一般財源	-	1,235	2,469	
	国都支出金	-	0	0	
	その他	-	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		0	1,235	2,469	


視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か <input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 市民のニーズに適合しているか <input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 市民との協働により事業を実施しているか <input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当 受益者負担は適切か <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 施策への貢献度は適切か <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	民間委託等は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 事業費の更なる削減は可能か <input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 類似事業等との統合は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度に電話交換機の更新工事を行い、10月より新たに電話交換機をリース契約にて導入した。	電話交換機の故障の程度等によっては、庁内の電話が一切使用不能となる可能性がある。また、今後も同機種種の電話交換機の製造が終了することを鑑みると10年毎ごとに更新が必要となる。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 今後も引き続き、リース契約により電話交換機の運用を継続していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	庁舎空調機器更新事業		
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第1節 行政運営		
	所管部署	総務部	総務契約課	総務係 内線 324
	根拠法令等	—		
目的	公共施設の適正な維持管理と効率的な運営を図るため、庁舎の空調機器等の設備更新を年度ごとに実施する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	庁舎冷温水発生機用冷却水ポンプ及び冷暖房機能を管理するプロテクトリレーの更新を実施した。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	空調機の稼働日数	日
			実績	210	244	
			達成率	—	—	
2	空調機の年間あたりの稼働時間	時間	目標	—	—	—
			実績	1,818	2,368	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 平成27年9月の決算特別委員会において、同年1月及び8月の空調機器の故障を踏まえ、設備更新の必要性についての意見が提出されている。
事業費(千円)		5,720	7,546	0	
財源内訳	一般財源	5,720	7,546	—	
	国都支出金	0	0	—	
	その他	0	0	—	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		5,720	7,546	0	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性 <td rowspan="2">市民との協働により事業を実施しているか</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適合している</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当</td>	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性 <td>廃止・休止した場合の市民への影響</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当</td>	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
民間委託等は可能か	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度は、庁舎冷温水発生機プロテクトリレー及び冷却水ポンプの更新工事を行った。	空調設備は、庁舎建設時から大規模な更新工事が行われていなかったことから、更新については、緊急性が高いと考えられる。しかし、更新工事に当たって多額の費用がかかることから、費用負担の平準化を図るため複数年に渡り業務執行を行う必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 複数年に渡り更新工事を行ってきた庁舎空調機器更新事業については、令和4年度を以て終了となる。今後は、設備の機能維持、保全のため製造業者等の意見を聴取し、必要に応じて実施計画にて要求又は修繕等に対応する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							

(廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(仮称) 庁舎建設基金事業		
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第1節 行政運営		
	所管部署	企画財政 部	企画政策 課	資産経営 係 内線 352
	根拠法令等	—		
	目的	新庁舎建設に向け、新たに「武蔵村山市庁舎建設基金」を設置し、必要な資金を積み立てるものである。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	基金目標額：30億円程度（新庁舎想定総事業費の25%程度） 積立期間：12年間（令和4年度から令和15年度まで）			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	基金年度末現在高	千円	目標	—	30,000	60,000
				実績	—	30,000	
達成率				—	100%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		0	30,000	30,000
財源内訳	一般財源	-	30,000	30,000
	国都支出金	-	0	0
	その他	-	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	0
人件費	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		0	30,000	30,000


市民・議会等から寄せられた意見	
令和5年3月予算特別委員会において、「年間3千万円の積立額で、目標額を達成できるのか」との意見があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	効果性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
年次計画に基づく積立額3千万円を武蔵村山市庁舎建設基金に積み立てた。	年々増額していく積立計画のため、積立目標額の財源を毎年度確保することが課題となっている。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
本市の保有する公共施設は、約80%が建築後30年を既に経過しているため、今後ますます更新等に係る費用負担が増加していく見込みである。 庁舎建設は、他の公共施設と異なり補助制度がなく、地方債依存度が大きいことから、基金積立による財源確保の重要性は非常に高い。 現庁舎は、建築後既に45年が経過しており、新庁舎建設に向けた基金積立は、今後も継続すべきと考える。 年々増額していく積立計画のため、充当可能財源を確保していかなければ目標達成は非常に困難である。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
	今後の方針		コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	保育所A   入所選考システム導入事業				
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第1節 行政運営				
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係	内線	182
	根拠法令等	情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律				
目的	職員が手作業で行っている保育所の入所選考業務について、AIを活用し入所選考させることにより、業務の効率化及び市民サービスの向上を図ることを目的とする。				SDGsの取組 10人や国の不平等をなくそう	
内容	保育所の入所選考業務について、業務の効率化及び市民サービスの向上を図るため、令和4年10月に保育所A入所選考システムを導入した。					

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	4月保育所入所選考に係る申込受付締切後から入所承諾書の発送までの日数 (第一次選考：入所申込12月15日締切)	日	目標	—	35	35
				実績	—	35	
達成率				—	100%		
2	例月保育所入所選考に係る申込受付締切後から入所承諾書の発送までの日数 (毎月入所申込15日締切)	日	目標	—	10	10	
			実績	—	10		
			達成率	—	100%		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		0	4,740	828
財源内訳	一般財源	-	879	828
	国都支出金	-	3,861	0
	その他	-	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	479	459	462
	所要人員(人)	0.06	0.06	0.06
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		479	5,199	1,290


市民・議会等から寄せられた意見	
当該システムの導入前には、保護者から「4月から就職が内定したため保育園の入所承諾通知を早く送付してほしい」、「育児休業明けで復職したいが、4月1日の入所承諾通知書が届くのが遅いので早く送付してほしい」等の要望があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある			
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
システム導入の結果、入所選考業務に係る処理時間について、10月から3月までの各月入所分については37.5時間が30分程度に縮減された。また、次年度4月入所分については107.5時間が1時間に縮減され、入所承諾通知を2週間以上早めることができた。さらに、時間外勤務の縮減も図られた。	—

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
今後も引き続き、4月入所に係る入所承諾通知書の早期発送に努め、適正な運用を図っていく。																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	広聴システム導入事業		
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第1節 行政運営		
	所管部署	企画財政 部	秘書広報 課	広報広聴 係 内線 314
	根拠法令等	—		
	目的	これまで所管部署で管理していた市民の意見等やその対応記録をデータベース化してシステムに蓄積し、職員間で共有することにより、迅速かつ適切な対応を図るとともに、市民サービスの質をより一層向上させることを目的とする。		SDGsの取組 16 平和と公正をすべての人に 
内容	市民から寄せられた市政等に関する意見や要望をデータベース化し、一元管理できるようシステム化する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	システムの導入	—	目標	—	導入	—
				実績	—	導入	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		0	4,014	0
財源内訳	一般財源	-	317	-
	国都支出金	-	3,697	-
	その他	-	0	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	153	0
人件費	所要人員(人)	0.00	0.02	0.00
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		0	4,167	0

市民・議会等から寄せられた意見	
—	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果率	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年8月24日 住民の声収集システム構築業務委託契約の締結</li> <li>令和5年2月22日 各係へのテスト送信によるシステム操作研修の実施</li> <li>令和5年3月1日 システムの運用開始</li> </ul>	システムの導入から日が浅いため、職員の理解度が不足している。今後、各課に対し、適切にサポートを行っていくとともに、職員により使いやすい仕様となるようシステム業者と調整していく。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
今後は、システムを効率的に活用すること及び各課での処理に当たりシステムを活用することを徹底していく。 なお、理事者の決裁方法(市長への手紙)については、令和5年度に文書法制課が導入する電子決裁システムとの整合性を図るため、現状は電子化されていない。今後、文書法制課と調整していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							

(廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	庶務事務システム導入事業				
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第1節 行政運営				
	所管部署	総務部	職員課	人事給与係	内線	344
	根拠法令等	—				
目的	職員の出勤等の管理に係る事務の効率化を図るため、タイムカード及び紙台帳による管理を廃止し、データで管理するための庶務事務システムを導入する。				SDGsの取組	
内容	庶務事務システムを導入する。				16 平和と公正をすべての人に 	

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	庶務事務システムの導入	—	目標	—	検討	検討
				実績	—	検討	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	77	1,000
	所要人員(人)	0.00	0.01	0.13
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		0	77	1,000

市民・議会等から寄せられた意見

—


視点別の分析	妥当性	市民の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある		
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
業者から庶務事務システムに関する資料収集を行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●システム管理対象職員の検討</li> <li>●出退勤時刻の把握方法の検討</li> <li>●時間外勤務命令簿やタイムカードの取扱い</li> <li>●人事給与システムとの連携</li> <li>●例規整備</li> </ul>

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
庶務事務システムの令和6年度の導入を目指していたが、導入後の出勤管理及び給与計算の利便性の向上等のため人事給与システムと同時に導入することとしたため、その準備を進めていく。																						
<table border="1" style="margin-left: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3" style="background-color: #d9ead3;">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="background-color: #d9ead3;">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="background-color: #d9d9d9;"></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="background-color: #d9d9d9;"></td> <td style="background-color: #d9d9d9;"></td> </tr> </thead></table>				今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	テレワーク導入事業				
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第1節 行政運営				
	所管部署	総務部	職員課	採用・制度改正	係	内線 345
	根拠法令等	—				
	目的	ワーク・ライフ・バランスの推進を図るとともに、生産性の向上を含めた多様な働き方を実現するため、テレワークを導入する。				SDGsの取組 16 平和と公正をすべての人に 
内容	テレワークを導入する。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	テレワークの導入	—	目標	—	検討	実施
								実績	—	検討
達成率	—	—								
2	—	—	目標	—	—	—				
				実績	—	—				
				達成率	—	—				

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	77	308
	所要人員(人)	0.00	0.01	0.04
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		0	77	308


市民・議会等から寄せられた意見	
●	令和4年9月市議会定例会でサテライトオフィスの整備を検討してほしい旨の意見があった。
●	令和4年6月市議会定例会他でコロナ対策又は事業継続計画上においてテレワークが有効である旨の意見があった。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
本事業を共同で所管する行政経営課(現:デジタル推進課)においてテレワークの試験運用を実施した。 また、デジタル推進課とテレワークの制度設計に係る打合せを実施した結果、対象者やテレワークの回数等を限定した導入(スモールスタート)を目指し、令和5年度に具体的な制度設計を行うことを確認した。	労務管理上の課題として、①職員間コミュニケーションの減少、②出勤職員への負担増加(窓口、電話対応等)及び③テレワーク実施職員の健康管理がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 令和5年度の導入に向けて制度設計及び各種調整を行っていく。 現状では、デジタル推進課でテレワーク用として貸与可能な端末が10台程度に限定されている。そのため、テレワーク導入後において対象者を拡大する場合や希望者が想定を上回る場合には、端末の購入費等が発生する。 テレワーク導入後は、テレワーク実施者及びその上司の意見等を聴取し、効果や問題点を踏まえて制度の改善を図っていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	文書管理システム・電子決裁システム導入事業		
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第1節 行政運営		
	所管部署	総務部	文書法制課	文書係 内線 382
	根拠法令等	武蔵村山市文書管理システム等導入事業者選定委員会設置要綱 武蔵村山市文書管理システム等導入業務プロポーザル実施要領		
	目的	文書事務の管理を一元的・効率的に行うために、文書管理システム・電子決裁システムの導入を行う。		SDGsの取組 16 平和と公正をすべての人に 
内容	文書管理を電子化する文書管理システム・電子決裁システムを導入するに当たり、委託契約の相手方となるべき事業者を選定し、業務委託契約を締結した。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	事業の推進	-	目標	検討	事業者選定	実施
				実績	検討	事業者選定	
				達成率	-	-	
2	-	-	目標	-	-	-	
			実績	-	-		
			達成率	-	-		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		0	0	28,202
財源内訳	一般財源	-	-	1,789
	国都支出金	-	-	0
	その他	-	-	26,413
会計年度任用職員以外の職員(千円)		80	383	847
人件費	所要人員(人)	0.01	0.05	0.11
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		80	383	29,049


市民・議会等から寄せられた意見	
平成18年第1回市議会定例会の提出議案である武蔵村山市情報公開条例の総務文教委員会における審議の際、公文書目録について、容易に検索できるようにされたいとの趣旨の発言があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
市内のDXの推進に伴い、令和4年8月をもってシステムの導入検討を完了し、同年11月に新規導入システムとして電子計算組織管理運営委員会による可決を得て事業者選定委員会を設置した。また、同年12月に令和4年度一般会計補正予算(第7号)にシステム構築費用を債務負担行為として予算化し、同月から令和5年2月までの間をかけて公募型プロポーザルを実施した。優先契約交渉事業者を選定し、同年3月に当該事業者とシステム導入業務委託契約の締結に至った。	システムは委託事業者のパッケージ(プロポーザルにおける提案内容を含む。)として導入するが、その仕様に合わせた文書管理や事務決裁の見直しが必要となるほか、システムを効果的に運用できるよう綿密な調整が必要となる。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 令和6年1月を目標として文書管理システム・電子決裁システムを稼働するため、システム要件の検討、初期データのセットアップ、操作研修の調整等を順次行っていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	収納管理システム改修等事業			
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第2節 財政運営			
	所管部署	市民部	収納課	管理係	内線 193
	根拠法令等	令和3年度税制改正、令和4年度税制改正			
	目的	自治体によって納付書や取扱金融機関が異なることや、金融機関窓口で納付しなくてはならないこと等の納税義務者の負担を軽減するため、収納管理システムを改修し地方税共通納税システムを介した端末機からの電子納付が可能な税目を拡大する。			SDGsの取組 17 パートナリーシップで目標を達成しよう
内容	地方税共通納税システムの対象税目に市都民税（普通徴収）、固定資産税・都市計画税、軽自動車税（種別割）、国民健康保険税を追加し、令和5年度課税分から対応できるようにシステム改修を行う。また、これらの再発行納付書にQRコードを印字する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	システム改修の実施	—
				実績	—	—
				達成率	—	—
2	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—
				達成率	—	—

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	0	3,212	0			
国都支出金	-	3,212	-			
その他	-	0	-			
会計年度任用職員以外の職員（千円）	399	459	0			
人件費						
所要人員（人）	0.05	0.06	0.00			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	399	3,671	0			


視点別の分析	内容	妥当性		有効性		効率性	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある				
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
追加した税目について、地方税共通納税システムを利用した電子納付や公金収納処理を行えるよう、次のとおりシステムを改修した。 ●公金収納日計システム 追加税目と公金収納日計処理の連携を可能とした。 ●収納管理システム 追加税目に対して確認番号等を付して電子納付を可能とした。また、再発行納付書へのQRコードの印字を可能とした。	—

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
これまでの、法人市民税及び市都民税（特別徴収）の電子納付が可能となっていたが、今回のシステム改修は、令和3年度税制改正及び令和4年度税制改正に基づき、地方税共通納税の税目（固定資産税・都市計画税、軽自動車税（種別割）、市都民税（普通徴収）及び国民健康保険税）の拡大に対応させるために行ったものである。 必要な対応は完了しているため、今後もシステムの適正な運用に努めながら現状を維持する予定である。しかし、地方税の徴収に当たっては、今後も多様な対応が求められることが予想されるため、情報収集を行い、関係機関との協力・連携の下、必要な対応を図る必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							

（廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	広域連携推進事業		
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第3節 広域行政		
	所管部署	企画財政 部	企画政策 課	企画政策 係 内線 372
	根拠法令等	—		
	目的	市域を越えた広域的な連携による効率的な行政運営を推進する。		SDGsの取組 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 
内容	本市のほか、昭島市、東大和市、瑞穂町及び長野県栄村との連携により、各自治体の小学校4年生から6年生までの子どもたちが本市の姉妹都市である栄村にて2泊3日の雪国体験を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	事業全体の参加者数 ※令和3年度及び令和4年度は未実施	人	目標	—	—	60
				実績	—	—	
達成率				—	—		
2	事業実施後のアンケートで「楽しかった」と回答した参加者の割合 ※令和3年度及び令和4年度は未実施	%	目標	—	—	90	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	
事業費（千円）	0	0	4,200	
財源内訳	一般財源	-	0	
	国都支出金	-	0	
	その他	-	4,200	
会計年度任用職員以外の職員（千円）	258	247	497	
人件費	所要人員（人）	0.03	0.03	0.06
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）	258	247	4,697	

**市民・議会等から寄せられた意見**

平成29年3月予算特別委員会において、「姉妹都市栄村で夏休みの体験事業はできないか」、同年9月決算特別委員会において、「貴重な体験事業なので継続してほしい」との意見があった。

令和2年1月の事業実施時の保護者アンケートにおいて、「親元から離れて、自分でいろいろな経験をするのはとても良いことであり、素晴らしい取組である」との意見があった。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効果性	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事業を中止とした。	事業費の10分の8は東京都市長会の多摩・島しょ広域連携活動助成金の交付を受け、10分の2は参加費を徴収している。今後の実施に当たっては、感染対策や物価高騰の影響を受けることが予想されるが、参加者一人当たりの負担をなるべく増やさないために工夫が必要である。

今後の方針			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
平成22年度から実施している人気のある事業である。 令和2年度から令和4年度までは新型コロナウイルス感染症の影響で中止としたが、令和5年度については、昭島市、東大和市、瑞穂町、栄村及び本市で構成する「子ども雪国体験事業実行委員会」において、感染症の状況等を注視しつつ、実施の可否を決定する。現時点では、令和6年2月に実施する予定である。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

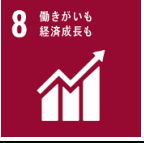
見直し等を必要とする事務事業

○ 目的や効果の検証が必要と思われる補助事業





武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	職員自主研究グループ補助事業			
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第1節 行政運営			
	所管部署	総務部	職員課	研修厚生係	内線 345
	根拠法令等	武蔵村山市職員自主研究グループ助成金交付要綱			
	目的	市職員の自主的な調査研究活動を育成し、及びその普及を促進するとともに、市職員の自己啓発意欲の向上を図ることを目的とする。			SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も
内容	市政に関する事項について自主的に調査研究することを目的として、5人以上の市職員によって構成された自主研究グループに対し、その活動に必要な経費（講師への謝礼、図書・資料等の購入代金、会場の使用料等）を補助する。助成額は、1グループにつき年額40,000円以下とする。				
対象（交付先）	市職員				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	申請件数	件
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2	-	-	目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
補助金	交付金額（千円）	0			0			40				
	一般財源	-			-			40				
	国都支出金	-			-			0				
	その他	-			-			0				
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	240			230			231				
	所要人員（人）	0.03			0.03			0.03				
	会計年度任用職員（千円）	0			0			0				
	所要人員（人）	0.00			0.00			0.00				
合計（補助金+人件費）		240			230			271				

市民・議会等から寄せられた意見

他市等の状況

近隣市では、三鷹市、国立市、東久留米市及び羽村市で同様の補助事業を実施していることを確認している。

交付団体等の決算予算の状況				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
収入	総額（千円）	0			0			0				
	市補助金	-			-			-				
	会費	-			-			-				
	繰越金	-			-			-				
	事業収入	-			-			-				
支出	総額（千円）	0			0			0				
	交際費、飲食費	-			-			-				
	人件費	-			-			-				
	事業経費	-			-			-				
	その他	-			-			-				

交付団体等の令和4年度の市補助金の使途

使途内訳

割合（%）

団体収入に占める補助金の割合 —

団体収入に占める繰越金の割合 —

交付金額に対する繰越金の割合 —

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	継続性	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
類似の補助金との統合は可能か		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
市職員による自主研究グループが構成されなかったため実績なし。		以前から申請件数は低調だったが、数年前までは新規採用職員などを対象とした自主研究グループが構成され、調査研究活動が行われていた。現在は、市政に関する事項について、5名以上で自主的に調査研究をする市職員が減少しており、周知方法が課題となる。	

今後の方針

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

平成30年度以降、交付実績がないが、市職員の自己啓発意欲の向上を図ることが目的のため、今後も事業を継続していきたい。


		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		職員自主研究グループ補助事業	
所管部署		総務部 職員課 研修厚生係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・一般市民にも間接的な受益があるか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・補助基準は明確か</li> <li>・補助金の交付により期待された効果が得られたか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助内容や補助額の見直しは可能か</li> <li>・補助期間を設定しているか</li> <li>・類似の補助金との統合は可能か</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、職員による自主的な調査研究活動の普及等を図るとともに、職員の自己啓発意欲の向上を図る上で一定の意義が認められる。</p> <p>他方、近年補助の実績がなく、いかに自主研究グループの結成を促進し、制度を活発化するかが課題となっている。</p> <p>よって、今後は、本事業の利用促進を図るため、活動報告書の発表や評価の機会を創出するなど達成感を高める仕組みを構築するとともに、人数要件の緩和等の制度の見直しを行い活用の障壁を下げるなどの工夫改善を求めたい。</p>		

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	消防団員厚生事業交付金交付事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 2 消防体制		
	所管部署	総務部	防災安全課	消防係 内線 333
	根拠法令等	武蔵村山市消防団員厚生事業交付金交付要綱		
	目的	武蔵村山市消防団員をもって組織する武蔵村山市消防団員互助会（以下「互助会」という。）が行う厚生事業に対し消防団員厚生事業交付金を交付することにより、消防団員の相互の親睦を図るとともに福利厚生の充実を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	互助会が行う次の厚生事業に対し交付する。①共済給付金：会員の相互扶助と福利厚生、②運営交付金：本部・分団・女性部において運営交付金の交付、③厚生事業：会員及び家族に対する厚生事業、④委託事業：出初式でのふるまい委託及びラッパ隊演奏委託、⑤補助事業：家族慰労交付金			
対象（交付先）	武蔵村山市消防団員互助会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	交付実績	円
			実績	2,835,000	2,752,000	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
補助金	交付金額（千円）	2,835	2,752	3,186	市民・議会等から寄せられた意見							
	一般財源	2,835	2,752	3,186	—							
	国都支出金	0	0	0								
	その他	0	0	0								
合計	2,835	2,752	3,186									
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77	他市等の状況							
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01	26市中17市が福利厚生事業を行っている。							
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0								
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00								
合計（補助金+人件費）	2,915	2,829	3,263									

交付団体等の決算予算の状況				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
収入	総額（千円）	6,395	6,803	6,092	交付団体等の令和4年度の市補助金の使途							
	市補助金	2,835	2,752	2,933	交付金額（千円）	2,752						
	会費	0	0	0	本部交付金	120						
	繰越金	1,472	2,913	3,159	分団運営交付金	1,859						
	事業収入	0	0	0	女性部運営交付金	66						
	その他	2,088	1,138	0	家族慰労事業費	800						
支出	総額（千円）	3,482	3,644	2,933	割合（％）							
	交際費、飲食費	0	81	0	団体収入に占める補助金の割合	40%						
	人件費	0	0	0	団体収入に占める繰越金の割合	43%						
	事業経費	3,420	3,236	2,933	交付金額に対する繰越金の割合	106%						
	その他	62	327	0								

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類同性	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
類似の補助金との統合は可能か		<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
本部交付金：27,000円	各分団計：1,859,000円	女性部：66,000円	家族慰労事業費：800,000円
合計：2,752,000円	互助会の発足時に、所属する消防団員が厚生事業に係る事務を処理する体制が整っておらず、市がサポートしてきた経緯があるが、現在も体制面の不安は解消されていない。互助会において主体的な運営が行われるべきであるが、厚生事業に係る事務を担う消防団員がおらず、所管部署の負担が続いている。		

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

各事業の実施により消防団員相互の親睦や福利厚生の充実を図るため、引き続き本補助金の交付を維持していく。一方、互助会に係る事務処理等の体制が整っておらず、市がその運営のサポートを行っているため、所管部署の負担が続いている状況である。今後、所管部署の負担軽減を図れるよう検討、調整を進めていく必要がある。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			


(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		消防団員厚生事業交付金交付事業	
所管部署		総務部 防災安全課 消防係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・一般市民にも間接的な受益があるか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・補助基準は明確か</li> <li>・補助金の交付により期待された効果が得られたか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助内容や補助額の見直しは可能か</li> <li>・補助期間を設定しているか</li> <li>・類似の補助金との統合は可能か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>本事業は、消防団員互助会が行う厚生事業に対し補助金を交付することにより、消防団員の結束力の強化や福利厚生の実現を図るものであり、その意義は十分に認められることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>また、団員の確保やモチベーションの向上にも少なからず寄与しているものと思料するが、より効果的な事業とするため、厚生事業について実績や団員の年齢構成に応じた内容に見直すなど工夫改善していくことが望ましい。</p> <p>さらに、女性団員の増加を推進していることを踏まえれば、女性部への交付金の使途や配分の見直しなどを検討することが肝要である。</p>		



武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	姉妹都市宿泊施設利用者補助事業			
	施策名称	第1章 市民との協働による地域振興 第1節 コミュニティ 2 交流			
	所管部署	市民部	市民課	窓口係	内線 146
	根拠法令等	武蔵村山市姉妹都市宿泊費助成事業実施要綱			
	目的	市民が姉妹都市長野県栄村を観光、保養等のために訪問し、姉妹都市宿泊施設に宿泊する際の費用の一部を補助することにより、市民と栄村民の自主的な交流の促進に寄与し、もって本市と栄村が姉妹都市として連携を深めていくことを目的とする。			SDGsの取組 17 パートナリーシップで目標を達成しよう
内容	大人：1泊3,500円 小人（施設利用日において満3歳以上中学生未満の者）：1泊3,000円 年間における宿泊回数の制限なし。				
対象（交付先）	姉妹都市長野県栄村に観光や保養のため訪問して宿泊する市民				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	延べ利用者数	人
			実績	53	105	
			達成率	19%	38%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
補助金	交付金額（千円）	182	363	945
	一般財源	182	363	945
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	240	230	231
	所要人員（人）	0.03	0.03	0.03
	会計年度任用職員（千円）	927	988	983
	所要人員（人）	0.69	0.69	0.69
	合計（補助金+人件費）	1,349	1,581	2,159

**市民・議会等から寄せられた意見**  
令和3年9月の決算特別委員会において、「利用者を増やせるよう内部で検討してほしい」との意見があった。

**他市等の状況**  
宿泊費助成制度を実施する自治体は以下の6市。武蔵野、調布、国分寺、東久留米、福生（一般施設）、昭島（岩手・宮城・福島・熊本県、北茨城市及び奥多摩町の施設）の各市。

交付団体等の決算予算の状況		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
収入	総額（千円）	0	0	0
	市補助金	-	-	-
	会費	-	-	-
	繰越金	-	-	-
	事業収入 その他	-	-	-
支出	総額（千円）	0	0	0
	交際費、飲食費	-	-	-
	人件費	-	-	-
	事業経費 その他	-	-	-

**交付団体等の令和4年度の市補助金の使途**

交付金額（千円）	363
使途内訳	
割合（％）	
団体収入に占める補助金の割合	-
団体収入に占める繰越金の割合	-
交付金額に対する繰越金の割合	-

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	性	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない
	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
延べ105人に合計363千円を補助した。補助金額の内訳は以下のとおり。 大人：延べ96人、336千円 小人：延べ9人、27千円	本補助金は、市民と栄村民との交流の促進に寄与するものであるが、利用者数は伸び悩んでおり、利用者の固定化が見受けられるため改善策が必要である。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により、数年間利用者数が大幅に減少しているため、利用を促進するための方策が必要である。

今後の方針

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

補助金額の見直しを検討するとともに、幅広く市民の利用を促進するためホームページでの掲載を拡充させる。


		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		姉妹都市宿泊施設利用者補助事業	
所管部署		市民部 市民課 窓口係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・一般市民にも間接的な受益があるか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・補助基準は明確か</li> <li>・補助金の交付により期待された効果が得られたか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助内容や補助額の見直しは可能か</li> <li>・補助期間を設定しているか</li> <li>・類似の補助金との統合は可能か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、市民と栄村民の自主的な交流の促進に寄与し、もって本市と栄村が姉妹都市として連携を深めていくことを目的としており、その意義が認められる。また、利用者数について、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したものの、今後はそれ以前の平均的な水準である300人程度まで回復する見込みであることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、適切性の観点からは、本事業が栄村との直接的な交流に寄与しているかは疑問である。また、近年、観光や保養が体験型へと変わりつつあることにも対応できていない。</p> <p>よって、将来的には姉妹都市交流を所管する部署への所管替えを検討していく必要があると思料するが、当面は、栄村で実施される体験型のイベントや活動の開催に合わせて積極的に本事業を周知するなど周知方法の工夫改善を行うことを求めたい。</p> <p>また、大人と子どもで補助額の差を設けていることについては、その意図を明確にするとともに、利用実績を分析した上で、見直しの必要性を検討することが肝要である。</p>		

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	消費生活展実行委員会交付金交付事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第3節 暮らし 1 消費生活		
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係 内線 242
	根拠法令等	令和5年度武蔵村山市みんなのくらしフェスタ実行委員会交付金交付要綱		
	目的	武蔵村山市みんなのくらしフェスタ実行委員会に対し交付金を交付することにより、武蔵村山市みんなのくらしフェスタの充実を図り、もって市民の消費者意識の向上を図る。		SDGsの取組 12 作る責任 使う責任
内容	交付金の交付対象となる経費は、くらしフェスタの開催に要する経費のうち、①消耗品費、②会議費、③パネル作成経費、④視察研修に係るバス借上料⑤市長が必要と認める経費である。交付金の交付は、補助対象経費の実支出額から他の制度により補助を受けた額を差し引いた額と300,000円とを比較していずれが少ない方の額とする。			
対象(交付先)	武蔵村山市みんなのくらしフェスタ実行委員会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	武蔵村山市みんなのくらしフェスタ参加者数	人
			実績	73	215	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額(千円)	222	251	300		参加者の7割が満足度81~100%であった。
一般財源	222	251	300		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	639	612	616		他市等の状況 26市で消費生活展を開催し、そのうち23市で行政が事業予算を負担(全額又は一部負担)している。事業予算額は、2千円~124万円。
会計年度任用職員以外の職員(千円)	639	612	616		
所要人員(人)	0.08	0.08	0.08		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	861	863	916		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額(千円)	222	251	300		交付金額(千円)	251
市補助金	222	251	300			192
会費	0	0	0			2
繰越金	0	0	0			57
事業収入	0	0	0			
その他	0	0	0			
支出	222	251	300		割合(%)	
交際費、飲食費	0	0	0		団体収入に占める補助金の割合	100%
人件費	0	0	0		団体収入に占める繰越金の割合	0%
事業経費	222	251	300		交付金額に対する繰越金の割合	0%
その他	0	0	0			

視点別の分析	内容	評価	
		○	□
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
率	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない
性	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和5年1月14日及び15日に「防災とSDGs」をテーマとして「武蔵村山市みんなのくらしフェスタ2022」を開催した。パネル展示やフードライブ、シーグラスを利用したハンドメイド体験を実施し、215人の来場者があった。	—


【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

「武蔵村山市みんなのくらしフェスタ」は、「消費者問題」、「食」、「健康」、「環境」、「子ども」その他暮らしに関する様々な問題をテーマに、消費者団体やグループの日頃の活動成果を発表する場として開催している。市民の消費者意識を向上を図るため、今後も「武蔵村山市みんなのくらしフェスタ」を開催する。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	桜まつり交付金交付事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 3 観光		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	観光 係 内線 224
	根拠法令等	令和5年度武蔵村山市桜まつり交付金交付要綱		
	目的	桜まつりの充実を図り、もって地域の活性化に資することを目的とする。		SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も
内容	桜まつりの開催に当たって武蔵村山市桜まつり実行委員会に対して交付金を交付するもの。			
対象（交付先）	武蔵村山市桜まつり実行委員会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	—	—
				実績	—	—
				達成率	—	—
2	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—
				達成率	—	—

事業経費				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算			市民・議会等から寄せられた意見
補助金	交付金額（千円）	800			800			800			—		
	一般財源	800			800			800					
	国都支出金	0			0			0					
	その他	0			0			0					
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	798			765			770			他市等の状況		
	所要人員（人）	0.10			0.10			0.10					
	会計年度任用職員（千円）	0			0			0					
	所要人員（人）	0.00			0.00			0.00					
合計（補助金+人件費）				1,598			1,565			1,570			

交付団体等の決算予算の状況				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算			交付団体等の令和4年度の市補助金の使途		
収入	総額（千円）	2,265			1,156			3,461			交付金額（千円）		800		
	市補助金	800			800			800			使途内訳	事業経費		800	
	会費	0			0			0							
	繰越金	327			356			126							
	事業収入	0			0			0							
その他	1,138			0			2,535								
支出	総額（千円）	1,909			995			3,461			割合（％）				
	交際費、飲食費	0			0			155			団体収入に占める補助金の割合		69%		
	人件費	0			0			0			団体収入に占める繰越金の割合		31%		
	事業経費	1,365			933			2,476			交付金額に対する繰越金の割合		45%		
	その他	544			62			830							

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類同性	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない
類似の補助金との統合は可能か		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会場イベントの開催は中止とし、さくら回廊ライトアップのみ実施した。 ●さくら回廊ライトアップ 野山北公園自転車道 期間：令和4年3月29日（火）～同年4月10日（日）（13日間）		—	

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了


引き続き、武蔵村山市桜まつり実行委員会に対して補助金を交付していくが、協賛金による自主財源の確保についても検討する必要がある。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）



武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	民間遊び場対策事業補助事業（遊び場用地の改善整備事業補助）		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第3節 環境 2 公園・緑地		
	所管部署	環境 部	環境 課	公園緑地 係 内線 262
	根拠法令等	武蔵村山市民間遊び場対策事業補助金交付要綱		
	目的	市内の自治会が行う遊び場施設の設置及び改善に関する事業に対し補助金を交付することにより児童の遊び場施設を確保する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	補助金の交付額は、補助の対象となる費用に3分の2を乗じて得た額と5万円とを比較していずれか少ない方の額とする。			
対象（交付先）	民間遊び場を管理する自治会等			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	補助金交付申請件数	件
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2	-	-	目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	0	0	50		-
一般財源	-	-	50		
国都支出金	-	-	0		
その他	-	-	0		
人件費	80	77	77		他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77		
所要人員（人）	0.01	0.01	0.01		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	80	77	127		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	50		交付金額（千円）	-
市補助金	-	-	50		使途内訳	
会費	-	-	0			
繰越金	-	-	0			
事業収入	-	-	0			
その他	-	-	0			
支出	0	0	0		割合（%）	
総額（千円）	0	0	0		団体収入に占める補助金の割合	-
交際費、飲食費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合	-
人件費	-	-	-		交付金額に対する繰越金の割合	-
事業経費	-	-	-			
その他	-	-	-			

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
民間遊び場は市内に14施設あり、管理自治会に対して通知を送付して本事業を周知したが、申請はなかった。	毎年、市内に14施設ある民間遊び場を管理している自治会に対して、本事業を周知しているが、ここ数年は申請には至っていない。

今後の方針

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

本補助金は、平成30年度の交付実績が最後となっており、数年前に予算額を2件から1件に減らし継続している。また、交付実績はないものの管理自治会から随時相談等を受けているため今後も継続していく。

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			


（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）



外部評価調書（補助金等）

事務事業名		民間遊び場対策事業補助事業（遊び場用地の改善整備事業補助）	
所管部署		環境部 環境課 公園緑地係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・一般市民にも間接的な受益があるか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・補助基準は明確か</li> <li>・補助金の交付により期待された効果が得られたか</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助内容や補助額の見直しは可能か</li> <li>・補助期間を設定しているか</li> <li>・類似の補助金との統合は可能か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、自治会が管理する遊び場施設の改善整備に係る費用を補助することによりその確保に寄与するものであり、自治会の財政負担を補う観点からは、今後も継続する必要がある。</p> <p>他方、補助額が低いため、遊具の老朽化に十分に対応できているとは言えないことや、自治会の加入率の低下や高齢化の進展により遊び場の管理に係る負担が増加していることが課題となっている。また、子どもの数が減少していることや市内に児童遊園が整備されていることから、遊び場の利用ニーズは低下していると思料する。</p> <p>よって、今後は、遊び場の長期的なニーズや自治会を取り巻く環境を踏まえ、地域コミュニティのつながりを作るための効果的な利用方法について検討した上で、補助内容等の見直しを行うことが肝要である。</p>		

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	奨学資金支給事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育部	教育総務課	学事係 内線 422
	根拠法令等	武蔵村山市奨学資金基金条例、武蔵村山市奨学資金条例、武蔵村山市奨学資金条例施行規則		
	目的	市内に住所を有する者で、高等学校等に在学し、向学心旺盛にして、かつ、経済的理由による修学困難者に対して、修学上必要な学資金を支給し、もって有用な人材を育成することを目的とする。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに
内容	支給額：月額5,000円 支給期間：正規の修業期間 奨学金の支給決定の審査を行う「奨学資金審議会」の委員報酬			
対象（交付先）	高校性			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	奨学資金支給者数	人
			実績	60	71	
			達成率	83%	99%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	3,644	4,349	4,454		令和4年9月決算特別委員会で、「定住を条件に、学生を支援するのはどうか。」との意見があった。
一般財源	44	89	134		
国都支出金	0	0	0		
その他	3,600	4,260	4,320		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 給付型奨学金を実施している自治体は7市である（昭島市、八王子市、府中市、狛江市、日野市、小金井市、小平市）。
所要人員（人）	0.01	0.01	1.19		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	3,724	4,426	13,608		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円）	4,349
市補助金	-	-	-	-	使途内訳	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	総額（千円）				割合（%）	
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	—
人件費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	—
事業経費	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	—
その他	-	-	-	-		

視点別の分析	市の関与は必要か		見直しの余地がある	
	公益性	市のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効果性	補助基準は明確か	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	
率	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
性	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない	
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
合計71人に4,260千円を支給した。 【内訳】 高校1年生：23人 高校2年生：24人 高校3年生：24人	平成26年度から奨学資金基金を取り崩して奨学資金に充てており、令和7年度には基金残高が枯渇してしまう。

今後の方針


【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

本事業については、令和5年度以降の新たな募集を中止し、現在の奨学生が高等学校を卒業する時期に合わせて廃止することとしている。  
なお、廃止に伴う新たな就学支援策の実施について検討することとしている。

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持			
低下			

(廃止・休止・終了の場合は「O」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	市立小・中学校健全育成推進奨励費補助事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育部	教育指導課	指導係 内線 434
	根拠法令等	武蔵村山市立小・中学校健全育成推進奨励費補助金交付要綱		
	目的	小学校及び中学校において校長及び教職員が児童・生徒の健全な育成を図ることを目的とする。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに
内容	①校内において実施する教育活動、②家庭、地域、関係諸機関等と連携して実施する教育活動、③児童及び生徒の問題行動等に対する指導、調査、研究等、④教職員等の研修、⑤その他児童及び生徒の健全な育成に寄与すると認められる事業を補助対象とする。			
対象（交付先）	市内全小中学校			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	市内全小・中学校において、健全育成を目的として研究を実施するため、統一的な指標設定が困難	—
2	—	—	実績	—	—	—
			達成率	—	—	—
			目標	—	—	—
3	—	—	実績	—	—	—
			達成率	—	—	—
			目標	—	—	—

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	510	549	570	—	
一般財源	510	549	570		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
会計年度任用職員以外の職員（千円）	479	459	462		
所要人員（人）	0.06	0.06	0.06		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	989	1,008	1,032		
他市等の状況	—				

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
総額（千円）	510	549	570	交付金額（千円）	549
市補助金	510	549	570	事業費	549
会費	0	0	0		
繰越金	0	0	0		
事業収入	0	0	0		
その他	0	0	0		
総額（千円）	510	549	570		
交際費、飲食費	0	0	0		
人件費	0	0	0		
事業経費	510	549	570		
その他	0	0	0		
				割合（％）	
				団体収入に占める補助金の割合	100%
				団体収入に占める繰越金の割合	0%
				交付金額に対する繰越金の割合	0%

視点別の分析	公	益	性	有効性		
				補助基準は明確か	補助金の交付により期待された効果が得られたか	補助内容や補助額の見直しは可能か
市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある		
市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/>	適合している	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの余地がある		
一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	受益がある	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある		
廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は少ない		
補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	明確である	<input type="checkbox"/>	不明確な部分がある		
補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/>	効果がある	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある		
補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある		
補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	設定している	<input checked="" type="checkbox"/>	設定していない		
類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある		

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
市内全小・中学校に対する補助 小学校（9校） 248,930円 中学校（5校） 299,726円	補助内容の幅広さや全校に一律の補助を実施する中で事務処理の負担が、補助金額に比べて大きくなっている。

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

健全育成に対する幅広い補助の実施により、各校が考える健全育成の実現という重要な側面を担っているが、全校に対する補助という現在の手法においては補助額に対する人件費の割合も大きく出ており、学校側にも事務処理の負担が掛かっている可能性が高い。各校に共通する健全育成の課題の解決に役立てられる形での補助とし、窓口の一本化等や類似の補助金への統合等を検討した上、健全育成自体への補助は継続していきたい。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		市立小・中学校健全育成推進奨励費補助事業	
所管部署		教育部 教育指導課 指導係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・一般市民にも間接的な受益があるか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・補助基準は明確か</li> <li>・補助金の交付により期待された効果が得られたか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助内容や補助額の見直しは可能か</li> <li>・補助期間を設定しているか</li> <li>・類似の補助金との統合は可能か</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、市立小・中学校が実施する健全育成事業に対し補助金を交付することにより、学校ごとの自主性に応じて校内や家庭、地域等の枠組みに捉われず広く教育活動の充実に寄与していることから、一定の意義が認められる。</p> <p>他方、本事業の目的が抽象的なため類似する他の補助金との差別化が困難であることや、学校と市の双方とも補助金の申請等に係る事務負担が大きいことが課題となっている。</p> <p>よって、当委員会としても、所管課の評価と同様に事務負担の軽減を図るため他の類似の補助金との統廃合を検討する必要があると思料するが、検討に当たっては、教育施策における健全育成に係る体系を整理した上で、本事業の目的を明確にし、より効果的な事業へと発展させていくことを求めたい。</p>		

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	生涯学習フェスティバル交付金交付事業					
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 2 生涯学習					
	所管部署	教育部	文化振興課	生涯学習係	内線	652	
	根拠法令等	武蔵村山市生涯学習フェスティバル交付金交付要綱					
	目的	生涯学習活動団体がこれまで培ってきた技術や知識の発表の場を設けるとともに、体験学習を通じて市民交流を図ることを目的として開催する生涯学習フェスティバルを主催する実行委員会に対し、交付金を交付することによりその円滑な実施に資する。				SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	生涯学習フェスティバル実行委員会に対し、生涯学習フェスティバルの運営等に係る費用について交付金を交付する。						
対象(交付先)	生涯学習フェスティバル実行委員会						



評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	生涯学習フェスティバルの実施 (令和3年度はコロナ禍に伴い事業中止)	—
2	生涯学習フェスティバル参加人数 (令和3年度はコロナ禍に伴い事業中止)	人	実績	中止	実施	
			達成率	—	—	
			目標	1,500	1,500	1,500
			実績	0	1,200	
			達成率	0%	80%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額(千円)	155	400	400		—
一般財源	155	400	400		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,393	2,293	2,308	他市等の状況
	所要人員(人)	0.30	0.30	0.30	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	—
合計(補助金+人件費)	2,548	2,693	2,708		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
総額(千円)	153	699	820	交付金額(千円)	400
市補助金	8	400	400	舞台出演団体謝礼	40
会費	0	0	0	体験ブース出展団体謝礼	24
繰越金	145	145	194	会場設営費	213
事業収入	0	151	220	食材・道具等材料費	123
その他	0	3	6		
総額(千円)	8	505	505	割合(%)	
交際費、飲食費	0	5	5	団体収入に占める補助金の割合	57%
人件費	0	64	64	団体収入に占める繰越金の割合	21%
事業経費	8	426	426	交付金額に対する繰越金の割合	36%
その他	0	10	10		

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	類似的補助金との統合は可能か	市の関与は必要か		
					<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
					<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
					<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
					<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
					<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
					<input checked="" type="checkbox"/> 補助基準は明確か	<input type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
					<input checked="" type="checkbox"/> 補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
					<input type="checkbox"/> 補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある
					<input checked="" type="checkbox"/> 補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
					<input type="checkbox"/> 類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
生涯学習フェスティバルを開催し、日頃、生涯学習活動を推進する市民団体が実施する体験学習などに市民が参加することにより、生涯学習のきっかけづくりを行うとともに、世代間交流の推進を図った。	生涯学習フェスティバル実行委員会委員の高齢化が進んでいることから、若い世代を対象とした委員の成り手を確保する必要がある。また、開催時期や事業内容についても見直しが必要である。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
生涯学習活動は、文化や音楽、ものづくりなど、その内容は様々であり、生涯学習フェスティバルは、その発表の場を設けるとともに体験学習を通じた市民交流を図り、市民の生涯学習を推進するためのイベントである。			
同フェスティバルを市が主催する場合は制約があるため、生涯学習活動団体で構成する実行委員会に対し交付金を交付して事業を実施することにより、団体の活性化及び世代間の交流を図れることから、今後も本事業を継続していくことが望ましいと考える。			
成果	向上		
	維持	○	
	低下		

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)



武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	地区ふれあいスポレク大会交付金交付事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 3 スポーツ・レクリエーション		
	所管部署	教育部	スポーツ振興課	スポーツ振興係 内線 654
	根拠法令等	武蔵村山市地区ふれあいスポレク大会交付金交付要綱		
	目的	地区ふれあいスポレク大会の開催を奨励し、もって市民相互の融和と親睦を深め、健康な心身を培うことを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	地区ふれあいスポレク大会を開催する各地区の実行委員会に対し、補助金を交付する。			
対象(交付先)	地区ふれあいスポレク大会実行委員会			



評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	地区ふれあいスポレク大会の実施 (令和3年度及び令和4年度はコロナ禍に伴い事業中止)	—	目標 実績 達成率	実施 中止 —	実施 中止 —
2	—	—	目標 実績 達成率	— — —	— — —	— — —

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
補助金	交付金額(千円)	0	0	2,561	
	一般財源	-	-	2,561	
	国都支出金	-	-	0	
	その他	-	-	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	770	他市等の状況
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.10	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	—
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(補助金+人件費)		0	0	3,331	

交付団体等の決算予算の状況		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
収入	総額(千円)	0	0	2,561	
	市補助金	-	-	2,561	
	会費	-	-	0	
	繰越金	-	-	0	
	事業収入 その他	- -	- -	0 0	
支出	総額(千円)	0	0	2,561	割合(%)
	交際費、飲食費	-	-	0	
	人件費	-	-	0	
	事業経費	-	-	2,561	
	その他	-	-	0	
団体収入に占める補助金の割合				—	
団体収入に占める繰越金の割合				—	
交付金額に対する繰越金の割合				—	


視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、地区ふれあいスポレク大会の開催を中止としたため、補助金の交付実績はない。	今後、地区ふれあいスポレク大会の内容や開催方法を見直した場合、補助金の在り方が大きく変わる可能性がある。

今後の方針				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
地区ふれあいスポレク大会は、市内を4地区に分け、地区ごとに実行委員会を組織し企画・運営を行いながら、運動会形式で開催している。しかし、近年、自治会の会員数の減少や高齢化が進んでいることから、各自治会やスポーツ協力員から大会への参加が困難との意見が市に多数寄せられている。				
また、大会については、当日の荒天や新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、平成28年度を最後に6年間にわたって開催されておらず、各地区において運営のノウハウ等が失われており、今後、安全に開催することが困難であることが懸念される。				
よって、大会の実施内容や開催方法の検討が必要であり、その結果により本補助金の在り方も大きく変わる可能性がある。				
成果	今後の方針	コスト		
		削減	維持	増加
	向上			
維持		○		
低下				

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	社会教育関係団体補助事業（体育協会）		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 3 スポーツ・レクリエーション		
	所管部署	教育部	スポーツ振興課	スポーツ振興係 内線 654
	根拠法令等	武蔵村山市社会体育団体補助金交付要綱		
	目的	社会体育団体に対し補助金を交付することにより、団体が行うスポーツ振興活動を奨励し、市におけるスポーツの振興を図る。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	交付対象団体がを行い、又は参加するスポーツの普及、振興又は奨励のための事業に要する経費の一部として、補助金を交付する。			
対象（交付先）	一般社団法人武蔵村山市体育協会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	武蔵村山市総合体育大会の開催	—	目標	実施	実施
2	—	—	実績	実施	実施	
			達成率	—	—	
			目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	
			目標	—	—	—

補助金	事業経費	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
	交付金額（千円）	4,317	4,544	4,544	
一般財源	4,317	4,544	4,544		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	798	765	770	
所要人員（人）	0.10	0.10	0.10		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	5,115	5,309	5,314		
他市等の状況					—

収入	交付団体等の決算予算の状況	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	総額（千円）	5,273	6,329	7,314		交付金額（千円）
市補助金	市補助金	4,317	4,544	4,544	事業費	2,662
	会費	180	612	770	人件費	759
	繰越金	606	943	1,730	分担金	490
	事業収入	0	0	0	会議費	15
	その他	170	230	270	消耗品費	120
支出	総額（千円）	4,330	4,599	7,314	その他	498
	交際費、飲食費	0	0	0	割合（％）	
	人件費	596	759	1,100	団体収入に占める補助金の割合	72%
	事業経費	2,133	2,662	4,410	団体収入に占める繰越金の割合	15%
	その他	1,601	1,178	1,804	交付金額に対する繰越金の割合	21%

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
体育協会により、都民大会、東京都市町村総合体育大会等の各種大会への市民選手の派遣や、本市総合体育大会の開催等、市のスポーツ振興に大きく貢献する活動が行われた。	体育協会は、令和4年度に法人格を取得しており、今後財政面での自立を促すことで、本補助金の在り方も変化していく可能性があり、状況を見守りつつ適正な補助額等を見極めていく必要がある。

今後の方針

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

体育協会は、都民大会、東京都市町村総合体育大会等各種大会への市民選手の派遣や、本市総合体育大会の開催等、市のスポーツ振興に大きく貢献する活動を行っており、今後も継続して本補助金により支援していく必要がある。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			


（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

見直し等を必要とする事務事業

○ 行政評価会議において外部評価の実施が必要と判断された  
事務事業



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調書

事務事業の概要	事務事業名	DX推進事業			
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第1節 行政運営			
	所管部署	企画財政 部	デジタル推進 課	デジタル企画 係	内線 392
	根拠法令等	—			
目的	令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とする第五次情報化基本計画に基づき、市民の利便性の向上及び業務の効率化を図るため、デジタル技術を活用した取組を推進する。			SDGsの取組 16 平和と公正をすべての人に 	
内容	市民ニーズに対応した行政手続のオンライン化の推進や窓口業務改善を実施することで市民サービスの向上を図るとともに、限られた経営資源の有効な活用や働き方改革を推進するため、ペーパーレス化や電子決裁化等行政事務のデジタル化を積極的に行い、業務の効率化を図る。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	武蔵村山市第五次情報化基本計画に掲げる主要施策の実施済（継続中を含む。）件数	件	目標		33	33	33
					実績	15	24	
達成率					45%	73%		
2	国のDX推進計画において「特に国民の利便性向上に資する手続」とされた27手続のオンライン化件数	件	目標		27	27	27	
				実績	14	16		
				達成率	52%	59%		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—	
一般財源	30,882	13,074	13,492		
国都支出金	16,392	10,138	11,934		
その他	14,490	2,936	1,558		
会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	7,976	7,642	7,692		
会計年度任用職員（千円）	1,00	1,00	1,00		
所要人員（人）	0	0	1,425		
所要人員（人）	0,00	0,00	1,00		
合計（事業費+人件費）	38,858	20,716	22,609		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	効果率	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
		民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
	<p>電子申請サービスの拡充を図るため、令和4年8月に市民等が市に対して行う申請、届出等の洗い出し調査を行うとともに、進捗状況の管理等を行い、順次その実施に向けて取組を進めた。</p> <p>さらに、同年10月には、本市の情報化施策を総合的かつ効果的に推進し、もって市民サービスの利便性の向上及び行政の効率化に資するため、CIO（副市長）を本部長とするデジタルトランスフォーメーション推進本部を設置した。</p> <p>また、東京都が主催する会議、説明会や事業者との打合せなどをWeb会議で行うことが定例的となってきたことから、令和4年4月にWeb会議システムを3セットから6セットに増設するとともに、対面で会議等に参加できない場合でも遠隔から参加できる環境の整備を行ったほか、令和5年3月のグループウェアシステムの更改に合わせ、ビジネスチャットを導入するなどデジタル技術の活用を行った。</p>	DX推進に当たり、職員のDX推進に関する意識の醸成、知識が不足しているため、DXが浸透していない。

今後の方針																							
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
成果	DXの推進を図るため、令和4年度に設置したデジタルトランスフォーメーション推進本部においてDX推進施策の進捗状況等を管理し、外部デジタル人材の活用を図りながら、電子申請サービスの拡充、デジタル技術を活用した業務改善等に取り組み、行政のデジタル化を強力に推進していく。また、職員のDXの基礎などのデジタルリテラシーの向上や、DX推進のマインドセット（デジタル技術やデータを活用して業務変革を推進する意識）の習得を行うための研修を実施していく。																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト				削減	維持	増加	向上			○	維持				低下			
	今後の方針																						
	コスト																						
	削減	維持	増加																				
向上			○																				
維持																							
低下																							
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																							



外部評価調書（事務事業）

事務事業名		D X 推進事業	
所管部署		企画財政部 デジタル推進課 デジタル企画係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・市民との協働により事業を実施しているか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・受益者負担は適切か</li> <li>・施策への貢献度は適切か</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託等は可能か</li> <li>・事業費の更なる削減は可能か</li> <li>・類似事業等との統合は可能か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>本事業は、行政手続のオンライン化や行政事務のペーパーレス化などデジタル技術を活用して市民の利便性の向上及び業務の効率化を図るものであり、その意義が認められることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、本事業の実績把握及び効果検証が不十分であることや、デジタルデバイドの解消に向けた方針が明確に定まっていないことが課題となっている。</p> <p>また、機能面の充実とは別に、業務の効率化により削減した時間を接遇対応等の市民サービスの質の向上に充てることが肝要である。</p> <p>よって、今後は、市民の評価やニーズを的確に把握するための体制を構築するとともに、D X 推進本部において事業全体の効果を分析し、その結果を個別の取組に反映させるなど、より効果的な事業に発展させていくことを求めたい。</p>		

## 参考資料

### 1 武蔵村山市行政評価実施要綱

〔令和4年3月29日  
武蔵村山市  
訓令（乙）第25号〕

（目的）

第1条 この要綱は、武蔵村山市（以下「市」という。）の行政評価の実施に関し必要な事項を定めることにより、行政評価の結果を市政に適切に反映させ、市民の視点に立った効果的かつ効率的な市政を推進するとともに、市政について市民に説明する責務を全うすることを目的とする。

（用語の意義）

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 行政評価 市が実施した事務事業について、その効果等の分析及び検証を行い、総合的に評価することをいう。
- (2) 事務事業 施策を実現するための手段として、個別の予算及び人員から構成される行政活動の基本的な単位をいう。
- (3) 実施計画 施策を計画的に実施するために、特に重点的かつ優先的に進めていくべき事務事業を記載し、毎年度策定される計画をいう。

（行政評価の対象）

第3条 行政評価の対象は、前年度の実施計画に記載された全ての事務事業（評価の実施が困難なものを除く。）その他市長が必要と認める事務事業（以下「対象事務事業」という。）とする。

（行政評価の種類等）

第4条 行政評価は、毎年度、次の各号に掲げる種類に応じ、当該各号に掲げる方法により行うものとする。

- (1) 内部評価 対象事務事業を所管する部課等が、当該対象事務事業について行う妥当性、有効性などの分析及び検証とこれに伴う評価とする。
  - (2) 外部評価 武蔵村山市行政評価委員会が、行政評価の客観性及び透明性を確保するため、武蔵村山市行政評価会議（次条第1項を除き、以下「行政評価会議」という。）が必要と認める対象事務事業について、内部評価の結果を踏まえて行う評価とする。
- 2 企画財政部長は、行政評価の実施に関し、対象事務事業を所管する部の長に対し、必要な調整及び助言を行うことができる。

（行政評価会議）

第5条 前条第1項第2号の外部評価を実施する対象事務事業の選定を行うため、武蔵村山市行政評価会議を置く。

- 2 行政評価会議は、副市長主宰の下に、企画財政部長、総務部長、市民部長、協働推進部長、環境部長、健康福祉部長、子ども家庭部長、都市整備部長及び教育部長をもって組織する。
- 3 副市長に事故があるとき、又は副市長が欠けたときは、企画財政部長がその職務を代理す

る。

4 この要綱に定めるもののほか、行政評価会議の運営に関し必要な事項は、副市長が行政評価会議に諮って定める。

(選定結果の市長への報告等)

第6条 行政評価会議は、前条第1項の規定により外部評価を実施する対象事務事業の選定を行ったときは、その結果を市長に報告するとともに、対象事務事業を所管する部の長及び企画財政部長に通知するものとする。

(評価結果の活用)

第7条 市長は、行政評価の結果(内部評価のみの結果を含む。以下同じ。)を予算編成上の資料として活用する。

2 対象事務事業を所管する部の長は、行政評価の結果により対象事務事業の見直しが必要とされた場合は、適宜、必要な措置を講じなければならない。

(評価結果の公表)

第8条 市長は、行政評価の結果を市民に公表するものとする。

(庶務)

第9条 行政評価の庶務は、企画財政部企画政策課が行う。

(委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか、行政評価の実施に関し必要な事項(第5条第4項及び第7条第2項に規定する事項を除く。)は、企画財政部長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

附 則(令和5年3月24日訓令(乙)第41号)

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

## 2 令和5年度行政評価会議構成員名簿

氏名	職名
石川 浩喜	副市長
雨宮 則和	企画財政部長
室賀 和之	総務部長
島田 拓	市民部長
並木 篤志	協働推進部長
乙幡 康司	環境部長
小延 明子	健康福祉部長
増田 宗之	子ども家庭部長
樋渡 圭介	都市整備部長
鈴木 義雄	教育部長

## 3 令和5年度行政評価会議の審議経過

	開催年月日	審議内容
第1回	令和5年6月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外部評価対象事務事業の選定について</li> <li>○ 行政評価の評価結果等を踏まえた事務事業等の見直し状況について</li> </ul>

#### 4 武蔵村山市行政評価委員会設置要綱

平成28年5月31日  
武蔵村山市  
訓令(乙)第147号

(設置)

第1条 武蔵村山市が行う行政評価(以下「行政評価」という。)について、その公正性及び客観性を確保するとともに市民感覚を取り入れた評価とするため、武蔵村山市行政評価委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について審議し、その結果を市長に報告する。

- (1) 武蔵村山市行政評価実施要綱(令和4年武蔵村山市訓令(乙)第25号)第4条第1項第2号に規定する外部評価に関すること。
- (2) その他行政評価の実施に関して必要と認めること。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げるところにより市長が委嘱する委員6人をもって組織する。

- (1) 学識経験者 1人
  - (2) 企業経営分野等に関し識見を有する者 3人
  - (3) 公募による市民 2人
- 2 委員の任期は、委嘱の日からその日の属する年度の翌年度の末日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 前項の委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に、委員長及び副委員長1人を置く。

- 2 委員長は、前条第1項第1号に掲げる委員をもって充てる。
- 3 副委員長は、委員の互選により選任する。
- 4 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集する。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、企画財政部企画政策課において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成28年5月31日から施行する。



附 則（令和2年3月31日訓令（乙）第62号）

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和4年3月29日訓令（乙）第26号）

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

附 則（令和5年3月31日訓令（乙）第60号）

この訓令は、令和5年4月1日から施行する。

## 5 行政評価委員会委員名簿

（令和5年9月1日委嘱）

氏名	選出区分	任期	備考
坂野達郎	学識経験者	令和5年9月1日から 令和7年3月31日まで	委員長
栗原誠	企業経営分野等に関し識見 を有する者	同上	副委員長
清本浩介	企業経営分野等に関し識見 を有する者	同上	
清恒夫	企業経営分野等に関し識見 を有する者	同上	
池田真知子	公募による市民	同上	
矢口愛	公募による市民	同上	

（選出区分ごとに五十音順（敬称略））

## 6 行政評価委員会の審議経過

	開催年月日	審議内容
第1回	令和5年9月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 副委員長の互選について</li> <li>○ 事務事業の外部評価について</li> </ul>
第2回	令和5年9月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事務事業の外部評価について</li> <li>○ 行政評価委員会としての意見整理</li> </ul>
第3回	令和5年10月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事務事業の外部評価について</li> <li>○ 行政評価委員会としての意見整理</li> </ul>
第4回	令和5年10月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事務事業の外部評価について</li> <li>○ 行政評価委員会としての意見整理</li> </ul>
第5回	令和5年10月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事務事業の外部評価について</li> <li>○ 行政評価委員会としての意見整理</li> </ul>
第6回	令和5年10月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事務事業の外部評価について</li> <li>○ 行政評価委員会としての意見整理</li> </ul>
第7回	令和5年10月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事務事業の外部評価について</li> <li>○ 行政評価委員会としての意見整理</li> <li>○ 令和5年度行政評価報告書（案）について</li> </ul>

# 令和5年度行政評価報告書

発行年月／令和6年2月

発行／武蔵村山市

編集／武蔵村山市企画財政部企画政策課

〒208-8501

武蔵村山市本町一丁目1番地の1

T E L 042(565)1111(代表)